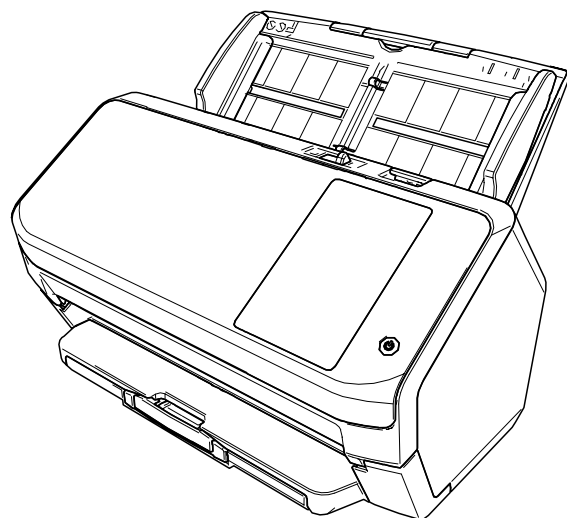


Image Scanner

fi-7300NX

オペレーターガイド



目次

はじめに	9
マニュアルの種類	9
商標および登録商標	14
開発・販売元	14
発行日・発行責任	14
安全にお使いいただくために	14
本書で正在している記号	15
本書での略記	16
連続する操作の表記	16
本書に掲載している画面	16
お願い	17
スキャナーをお使いになる前に	18
特長	18
運用形態	21
各部の名称と働き	23
タッチパネルのアイコン	28
スキャナーのセットアップ	33
スキャナーを無線 LAN で接続する場合	36
無線アクセスポイントの一覧から選択して接続する場合	39
無線アクセスポイントの WPS のボタンを押して接続する場合	40
無線アクセスポイントの WPS の PIN コードを入力して接続する場合	41
無線アクセスポイントの情報を入力して接続する場合	42
証明書が必要なネットワーク環境に接続する場合	43
スキャナーを有線 LAN で接続する場合	45
スキャナーを USB ケーブルでコンピューターに接続する場合	48
スキャナーのネットワーク接続確認	50
ソフトウェアのインストール	51
ソフトウェアの概要	51
動作環境	54
おすすめインストール	55
カスタムインストール	56
基本的な使い方	57

電源の投入/切断	57
電源の投入.....	57
電源の切断.....	58
ログイン/ログアウト（PaperStream NX Manager を使用する場合）	59
省電力モードへの移行と復帰	62
ADF の開閉	64
ADF の開け方	64
ADF の閉じ方	65
ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定	66
スタッカーの設定	67
原稿の長さが、A6 横以上の場合	67
原稿の長さが、A6 横より短い場合.....	68
基本的な読み取り方	69
コンピューターの画像読み取り用アプリケーションを使って読み取る	70
タッチパネルから画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る	72
ボタンの設定	74
スキャナーでの操作	76
ジョブを使って読み取る（PaperStream NX Manager を使用する場合）	77
原稿のセット方法	78
原稿のセット	78
原稿の準備.....	78
原稿のセット方法.....	80
読み取りできる原稿	82
原稿のサイズ	82
原稿の種類.....	82
原稿の厚さ.....	82
うまく読み取れない原稿	83
読み取れない原稿.....	83
事前の注意.....	84
セットできる原稿の枚数	86
穴を開けてはいけない領域	87
原稿の重なり（マルチフィード）を正しく検出するための条件	88
混載条件	90
自動用紙サイズ検出を行うための条件	93
A3 キャリアシートを使用する場合の条件	94

いろいろな読み取り方	96
幅の違う原稿を読み取りたいとき	97
2つ折りの原稿を読み取りたいとき	99
封筒や複数枚つづりの複写紙などの原稿を読み取りたいとき	102
写真や切り抜きなどの原稿を読み取りたいとき	104
長尺帳票を読み取りたいとき	106
手差しで原稿を読み取りたいとき	108
決まったパターンの原稿の重なりを検出したくないとき	110
操作方法	111
原稿保護機能（ペーパープロテクション）を無効にしたいとき	113
操作方法	113
原稿の枚数をカウントしたいとき	114
日常のお手入れ	115
清掃用品	115
清掃箇所と清掃頻度	117
スキャナー外部の清掃	119
スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（クリーニングペーパーによる場合）	120
スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（布による場合）	122
A3 キャリアシートの清掃	127
消耗品の交換	128
消耗品と交換周期	128
プレーキローラの交換	130
ピックローラの交換	135
困ったときには	143
原稿づまりが発生したときは	143
エラーについて	145
搬送系エラー	148
原稿保護	148
原稿づまり	148
マルチフィード	148
給紙モードスイッチ切り替え検出	149

センサーよごれ	149
カバーオープンエラー	150
カバーオープン	150
光学異常、内部異常	151
光量異常	151
操作パネル異常	151
EEPROM 異常	151
画像メモリー RW エラー	152
オーバラン異常	153
裏当て切り替え異常	153
チップ系異常	154
メモリー異常	154
モーター系異常	155
モーター系異常	155
ランプ系異常	155
センサー系異常	156
センサー異常	156
通信系異常	157
モジュール異常	157
ネットワーク設定異常	157
サーバー設定異常	158
Scanner Central Admin Server 設定異常	158
認証失敗	159
その他の異常	160
他で使用中	160
スキャナーが原稿枚数カウントモードです	160
読み取りが一時停止されました	160
読み取り領域指定異常	160
異常コマンド	161
接続確認結果	162
トラブルと対処方法	163
電源が投入されない	165
タッチパネルの表示、[Power] ボタンの点灯が消える	166
タッチパネルが反応しない	167
タッチパネルの動作がおかしい位置がずれる	168
タッチパネルの表示が乱れる	169
スキャナーとコンピューターを無線 LAN で接続できない	170
無線アクセスポイントがアクセスポイントの一覧に表示されない	177
WPS の無線 LAN 設定に失敗する	179

手動の無線 LAN 設定に失敗する.....	183
スキャナーとコンピューターの接続が頻繁に切れる.....	186
スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続できない.....	187
スキャナーとコンピューターを USB で接続できない.....	192
IP アドレス指定でスキャナーから接続先に接続できない.....	193
ホスト名指定でスキャナーから接続先に接続できない.....	195
読み取りが開始されない.....	198
原稿の読み取りに時間がかかる.....	199
絵や写真が汚くなる.....	200
文字や線の読み取り結果が良くない.....	201
画像がゆがむまたは鮮明ではない.....	202
画像に縦線（縦筋）が出る.....	203
読み取り中に、タッチパネルに「U4:40」のコードが表示される.....	204
頻繁に原稿が重なって搬送される.....	205
原稿が ADF に送り込まれない状態が頻繁に起こる.....	208
原稿保護が頻繁に起こる.....	210
原稿づまり/ピックミスが頻繁に起こる.....	212
画像が間延びする.....	214
画像の先端または後端に影がある.....	215
原稿に黒い跡が残る.....	216
A3 キャリアシートがうまく送られないつまる.....	217
A3 キャリアシートで読み取ると画像が欠ける.....	219
工場出荷設定の管理者パスワードを入力するとエラーになる.....	220
サービスセンターに連絡する前に.....	221
概要.....	221
エラーの状況.....	221
装置ラベルの確認.....	223

スキャナー設定（タッチパネル編） **224**

設定項目	224
接続方法	227
電源管理	228
スキャナー名	230
スキャナーコード	230
ネットワーク	231
給紙 / 搬送	237
原稿保護	242
画像	245

清掃 / 点検	249
USB	250
管理者パスワード	250
工場出荷設定に戻す	251
スキャナー設定 (Software Operation Panel 編)	252
Software Operation Panel の起動	252
Software Operation Panel のパスワード設定	254
パスワードの設定	255
「閲覧モード」の設定	256
「閲覧モード」の設定解除	258
パスワードの変更	260
パスワードの設定解除	261
パスワードを紛失したときの対応	262
設定項目	263
装置設定	263
装置設定 2	265
枚数カウンタに関する設定	267
枚数カウンタの確認	267
枚数カウンタのクリア	269
消耗品交換/清掃指示メッセージ	270
スキャナーの清掃周期の設定 (清掃周期設定)	271
消耗品の交換周期の設定 (寿命設定カウンタ)	272
読み取りに関する設定	273
読み取り開始位置の調整 (オフセット設定/倍率調整)	273
画像の端にできる影やスジの消去 (縁消し (ADF))	276
指定した色を除いた読み取りの設定 (ドロップアウトカラー)	278
読み取り時間の短縮 (プレピックモード)	280
給紙のリトライ回数 (給紙のリトライ回数)	281
原稿送りの設定 (ピック速度)	282
画像の端数の設定 (自動用紙サイズ検出時のバウンダリ)	283
原稿を保護する機能の設定 (ペーパープロテクション)	284
原稿を保護する機能の感度設定 (ペーパープロテクション検知レベル)	286
高地で読み取る機能の設定 (高地モード)	288
読み取るときの画質の設定 (画質モード)	289
原稿の重なり (マルチフィード) 検出に関する設定	290
原稿の重なりを検出する方法の設定 (マルチフィード)	290
原稿の重なりを検出する範囲の設定 (マルチフィード原稿チェック領域指定)	292
決まったパターンの重なりを検出しない設定 (インテリジェントマルチフィード設定)	298

待機時間に関する設定	300
手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し）	300
省電力モードの待機時間の設定（省電力設定）	302
電源投入/切断およびスキャナーの起動に関する設定	303
電源投入/切断方法の設定（電源スイッチ制御）	303
スキャナーの起動モードの設定（起動モード）	305
スキャナーの保守に関する設定	306
縦筋を検知する機能の設定（縦筋検知設定）	306
縦筋を検知する機能の感度設定（縦筋検知レベル）	307
スキャナーの保守・点検周期の設定（保守・点検周期設定）	308
付録	309
スキャナー基本仕様	309
設置諸元	312
外形寸法	313
スキャナーのオプション	314
スキャナー選択ツール for fi Series の起動方法	316
ソフトウェアのアンインストール手順	317
e-文書法に適合した電子文書の作成	319
スキャナー設定情報の移出（PaperStream NX Manager を使用する場合）	321
Scanner Central Admin Server から資源を配付するときの留意事項	322
修理・お問い合わせ	324
トラブル対処	324
修理サービスのご案内	324
お問い合わせ窓口	326
サプライ用品の購入先	327

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

マニュアルの種類

本製品には、次のマニュアルが用意されています。
必要に応じてお読みください。

マニュアル	内容
安全上のご注意（紙、PDF）	本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。 本製品をお使いになる前に必ずお読みください。 PDF 版は Setup DVD-ROM で提供されています。
スタートアップガイド（紙）	スキャナーの設置から電源の投入までの操作方法を説明しています。
オペレーターガイド（本書）（HTML）	スキャナーのセットアップ方法、基本的な操作方法、日常のお手入れ、消耗品の交換、およびトラブルの対処方法を説明しています。 Setup DVD-ROM で提供されています。
タッチパネルヘルプ（HTML）	エラーが発生した場合の対処方法、日々の清掃方法などを説明しています。 スキャナーのタッチパネルから参照できます。
PaperStream Capture ユーザーズガイド（PDF）	PaperStream Capture の概要、導入方法、原稿の読み取り方法、アクティベート方法、マルチステーション運用について説明しています。 Setup DVD-ROM で提供されています。
Scanner Central Admin ユーザーズガイド（PDF）	Scanner Central Admin の概要、導入方法、運用方法、保守方法を説明しています。 Setup DVD-ROM で提供されています。
PaperStream NX Manager ユーザーズガイド	PaperStream NX Manager の概要、導入方法、設定方法、運用方法、保守方法、画面項目を説明しています。 次のホームページからダウンロードできます。 https://www.pfu.ricoh.com/fi/manual/software.html
スキャナードライバーヘルプ	各スキャナードライバーの使い方や設定方法を説明しています。 各スキャナードライバーから参照できます。
アプリケーションヘルプ	各アプリケーションの使い方や設定方法を説明しています。 必要に応じて使用してください。 各アプリケーションから参照できます。

- **スキャナーをセットアップするときの参照マニュアル**

スキャナーをセットアップするときの運用形態ごとの作業とマニュアルは、次のとおりです。必要に応じてお読みください。

運用形態については、[運用形態 \(21 ページ\)](#)を参照してください。




コンピューター運用の場合



作業		参照先
開梱～電源投入		スタートアップガイド
スキャナーのセットアップ	接続方法の設定	 <p>スキャナーを無線 LAN で接続する場合 (36 ページ)</p>
		 <p>スキャナーを有線 LAN で接続する場合 (45 ページ)</p>
		 <p>スキャナーを USB ケーブルでコンピューターに接続する場合 (48 ページ)</p>
	証明書が必要なネットワークの設定	オペレーターガイド  <p>証明書が必要なネットワーク環境に接続する場合 (43 ページ)</p>
サーバーの構築	DNS サーバーの環境設定 (DNS サーバーを使用する場合)	DNS サーバーのマニュアル
	プロキシサーバーの環境設定 (プロキシサーバーを経由する場合)	プロキシサーバーのマニュアル

作業		参照先
	Scanner Central Admin の導入～運用 (Scanner Central Admin Agent を使用する場 合)	Scanner Central Admin ユーザーズガイド <ul style="list-style-type: none"> ● 第 2 章 Scanner Central Admin の導入 ● 第 3 章 Scanner Central Admin Server を利用し た運用 ● 第 4 章 メール通知を利用した運用 ● 第 5 章 統合管理システムと連携した運用
読み取り	読み取りの流れ	オペレーターガイド <ul style="list-style-type: none"> ● コンピューターの画像読み取り用アプリケーションを使って読み取る (70 ページ) ● タッチパネルから画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (72 ページ)
	読み取り設定	<ul style="list-style-type: none"> ● スキャナードライバーのヘルプ ● 画像読み取りアプリケーションのヘルプ
	スキャナーの動作設定	オペレーターガイド <ul style="list-style-type: none"> ● スキャナー設定 (タッチパネル編) (224 ページ) ● スキャナー設定 (Software Operation Panel 編) (252 ページ)



PaperStream NX Manager 運用の場合

作業		参照先
開梱～電源投入		スタートアップガイド
スキャナーのセッ トアップ	接続方法の設定	オペレーターガイド <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ● スキャナーを無線 LAN で接続する場合 (36 ページ)

作業		参照先
		 スキャナーを有線 LAN で接続する場合 (45 ページ)
	証明書が必要なネットワークの設定	オペレーターガイド  証明書が必要なネットワーク環境に接続する場合 (43 ページ)
サーバーの構築	DNS サーバーの環境設定 (DNS サーバーを使用する場合)	DNS サーバーのマニュアル
	プロキシサーバーの環境設定 (プロキシサーバーを経由する場合)	プロキシサーバーのマニュアル
	PaperStream NX Manager の導入～運用	PaperStream NX Manager ユーザーズガイド <ul style="list-style-type: none"> ● 導入～運用までの流れ ● 導入 ● 設定 ● 運用
	Scanner Central Admin の導入～運用 (Scanner Central Admin Server を使用する場合)	Scanner Central Admin ユーザーズガイド <ul style="list-style-type: none"> ● 第 2 章 Scanner Central Admin の導入 ● 第 3 章 Scanner Central Admin Server を利用した運用
読み取り	読み取りの流れ	オペレーターガイド <ul style="list-style-type: none"> ● ジョブを使って読み取る (PaperStream NX Manager を使用する場合) (77 ページ)
	読み取り設定	PaperStream NX Manager ユーザーズガイド <ul style="list-style-type: none"> ● 設定
	スキャナーの動作設定	オペレーターガイド <ul style="list-style-type: none"> ● スキャナー設定 (タッチパネル編) (224 ページ)

商標および登録商標

ISIS は、Open Text の商標です。

Intel および Intel Core は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標です。

Google および Google Chrome は、Google LLC.の商標または登録商標です。

Wi-Fi、Wi-Fi Protected Setup、および Wi-Fi Protected Setup ロゴは、Wi-Fi Alliance の商標です。

ABBYY™ FineReader™ Engine © ABBYY. OCR by ABBYY

ABBYY および FineReader は、いくつかの法域で登録されている場合がある ABBYY Software Ltd.の商標です。

N マークは、NFC Forum, Inc.の米国その他の国における商標または登録商標です。

本スキャナーには、製品開発元である株式会社 PFU の著作物のほかに、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) などのフリーソフトウェアが含まれています。Open Source Software (OSS) に含まれるライセンス条件に関する詳細は、本スキャナーのタッチパネルの画面

面右下にある 、「認証 / ライセンス」の順に押すと表示される画面から参照できます。

Microsoft、Excel、Windows、および Windows Server は、マイクロソフトグループの企業の商標です。

ScanSnap および PaperStream は、株式会社 PFU の日本における登録商標または商標です。

その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

開発・販売元

株式会社 PFU

〒220-8567

神奈川県横浜市西区みなとみらい4-4-5（横浜アイマークプレイス）

発行日・発行責任

発行日 2024 年 1 月

発行責任 株式会社 PFU

Regulatory Model : P3768A

© PFU Limited 2018-2024

安全にお使いいただくために

添付の安全上のご注意には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。

本製品をお使いになる前に安全上のご注意を必ずお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

本書で使用している記号

本書では、使用者および周囲の方の身体や財産に損害を与えないために、警告表示を使用しています。警告表示は、警告レベルの記号と警告文で構成しています。次に、警告レベルの記号とその意味について説明します。



警告

この表示は、取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

この表示は、取り扱いを誤った場合、軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

本書での略記

本書では、次の名称について省略して記載しています。

名称	本文中の表記
Windows® 10 Home (32/64 ビット) Windows® 10 Pro (32/64 ビット) Windows® 10 Enterprise (32/64 ビット) Windows® 10 Education (32/64 ビット)	Windows 10 (*1)
Windows Server® 2016 Standard (64 ビット)	Windows Server 2016 (*1)
Windows Server® 2019 Standard (64 ビット)	Windows Server 2019 (*1)
Windows Server® 2022 Standard (64 ビット)	Windows Server 2022 (*1)
Windows® 11 Home (64 ビット) Windows® 11 Pro (64 ビット) Windows® 11 Enterprise (64 ビット) Windows® 11 Education (64 ビット)	Windows 11 (*1)
Google Chrome™	Google Chrome
Microsoft® Word	Word
Microsoft® Excel®	Excel
Wi-Fi Protected Setup™	WPS
PaperStream IP (TWAIN) PaperStream IP (TWAIN x64) PaperStream IP (ISIS) Bundle	PaperStream IP ドライバー
無線アクセスポイント 無線接続ルーター	無線アクセスポイント

*1：すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記しています。

連続する操作の表記

本文中の操作手順で、連続する操作手順を「→」でつなげて記載しています。

例：「スタート」メニュー→「コントロール パネル」をクリックします。

本書に掲載している画面

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。

表示された画面が、本書に掲載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアのマニュアルを参考にして、実際の画面に従って操作してください。

オペレーティングシステムによって表示される画面および操作が異なります。また、ソフトウェアをアップデートすると、本書で掲載している画面および操作が異なることがあります。その場合は、アップデートするときに提供されるマニュアルを参照してください。

お願い

- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

スキャナーをお使いになる前に

ここでは、本製品の特長と各部の名称と働きについて説明します。

特長

本製品には、次のような特長があります。

- **高速読み取りを実現**

毎分 60 枚/120 面 (*1) の読み取り速度を実現しました。

さらに、一度に 80 枚 (*2) までの連続読み取りが可能ですので、大量の原稿をスピーディーに電子化できます。

- **ネットワーク接続に対応**

無線 LAN および有線 LAN に直接接続できます。

ネットワーク接続でも、毎分 60 枚/120 面 (*1) の読み取り速度を実現しました。

スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続する必要がないため、スキャナーの設置場所を自由に選べます。

- **タッチパネルを搭載**

4.3 インチ TFT カラータッチパネルが搭載されており、見て触れるといった簡単な動作でスキャナーの操作ができます。

タッチパネルで、原稿を読み取る時の様々な動作設定をしたり、原稿の読み取り枚数やエラー状況などを簡単に確認できます。

- **非接触 IC カードリーダーを搭載**

非接触 IC カードリーダーが搭載されており、IC カードをスキャナーにかざすと簡単にログインできます。

- **2 つ折りの原稿、封筒や複数枚つづりの転写紙などの原稿の読み取りを実現**

2 つ折りの原稿、封筒や複数枚つづりの転写紙などの原稿を読み取るために、手差し・単送モードに切り替える給紙モードスイッチが搭載されています。

手差し・単送モードでは搬送中に原稿にかかる負荷を低減し、原稿を確実に搬送して読み取ります。

- **読み取り前処理を効率化**

厚さやサイズの異なる原稿を一度に読み取る「混載読み取り」ができます。

読み取り前の原稿仕分け作業を簡略化できます。

- **マルチフィードによる業務ロスを低減**

一度に 2 枚以上の原稿が重なって搬送（マルチフィード）されたことを確実に検出する超音波方式マルチフィードセンサーが搭載されています。

厚さやサイズが異なる原稿を一度に読み取る「混載読み取り」の場合でも、原稿の重なりを確実に検出でき、業務ロスを未然に防止できます。

- **インテリジェントマルチフィード検出機能を搭載**

原稿の決まった位置に同じ大きさの紙が貼り付けてある場合、その貼り付け位置をスキャナーに認識させるインテリジェントマルチフィード検出機能が搭載されています。

スキャナーに認識させた貼り付け位置部分は、原稿の重なりを検出せずに読み取りを継続できます。

- **原稿づまり音による原稿保護機能を搭載**

原稿づまりが発生したときの音を検知した時点で読み取りを中止するため、大切な原稿の破損を抑制できます。

- **e-文書法（*3）の画質要件を満たす画像を生成**

2005年4月に施行されたe-文書法により、紙での保存が義務付けられていた税務関連書類（申込書、請求書、検収書など）を、電子化して保存できるようになりました。

e-文書法では、府省令により解像度や階調など画質要件が規定されている場合があります。

本製品は、府省令に合わせた読み取り設定を行うことにより、e-文書法の画質要件を満たす画像を生成できます。

- **高度な画像処理機能を搭載**

原稿に合わせて自動的にカラー/モノクロの出力を行う自動判別機能が搭載されています。

- **写真や切り抜きなどの原稿の読み取りを実現**

写真や切り抜きなどの原稿を読み取るために、A3 キャリアシートをオプションとして用意しています。A3 キャリアシートは、複数枚まとめて読み取ったり、一般の原稿と同時に読み取ったりできます。

- **スキャナーを集中運用**

PaperStream NX Manager を使用することで、複数台のスキャナーを集中運用できます。

例えば、スキャナーを使用するユーザーを特定したり、ユーザーに応じた読み取りを設定して、スキャナーに配信したりできます。

また、画像を指定した連携先に保存したり、画像の処理状況を監視したりできます。

詳細は、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照してください。

PaperStream NX Manager ユーザーズガイドは、次のホームページからダウンロードできます。

<https://www.pfu.ricoh.com/fi/manual/software.html>

- **スキャナーを集中管理**

Scanner Central Admin Server を使用することで、複数台のスキャナーを集中管理できます。

例えば、スキャナーの設定情報やファームウェアのアップデートモジュールを一括してアップデートしたり、スキャナーの稼働状況を確認できます。

PaperStream NX Manager を使用しない場合は、Scanner Central Admin Agent を使用することで、Scanner Central Admin Server と連携できます（*4）。

詳細は、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

*1：解像度 200/300dpi、JPEG 圧縮を設定して、A4 サイズの原稿を読み取った場合です。

*2：厚さ 80g/m²（69kg/連）の原稿の場合です。

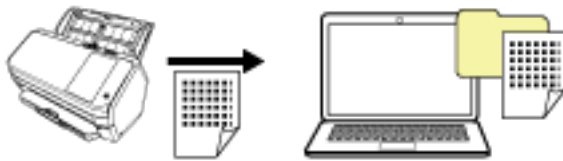
- *3 : e-文書法（通称）とは、民間事業者などに対して、法令により紙での原本保存が義務付けられていた文書を、スキャナーで電子化し、原本の保存に代えて画像での保存を容認する法律です。
e-文書法の正式名称は、「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律」および「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」です。
- *4 : PaperStream IP ドライバーを使用してネットワーク経由でコンピューターとスキャナーを接続している場合は、スキャナーの設定情報（Software Operation Panel 設定情報）は配付できません。

運用形態

スキャナーの運用形態について説明します。

- **コンピューター運用**

スキャナーとコンピューターを USB ケーブルやネットワークで接続して、画像をコンピューターで管理する運用です。



- **PaperStream NX Manager 運用**

スキャナーと PaperStream NX Manager をネットワークで接続して、PaperStream NX Manager で、スキャナーから送られた画像を処理する運用です。

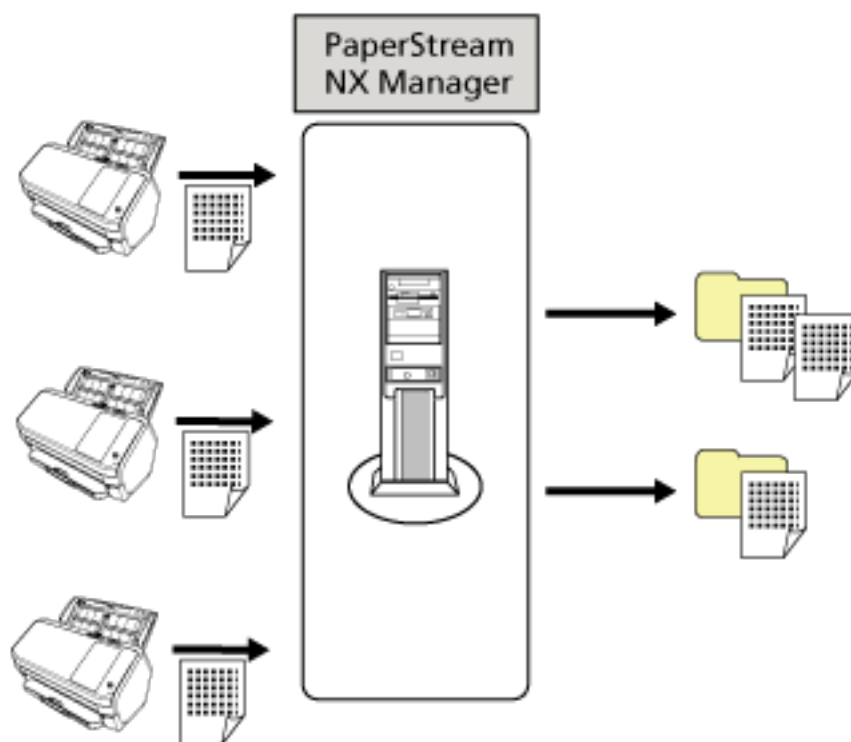
画像の処理状況を監視したり、画像を指定した連携先に保存したりできます。

本書では、自社サーバーを使用する PaperStream NX Manager 運用を例に説明しています。

PaperStream NX Manager での運用方法の詳細は、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照してください。

PaperStream NX Manager ユーザーズガイドは、次のホームページからダウンロードできます。

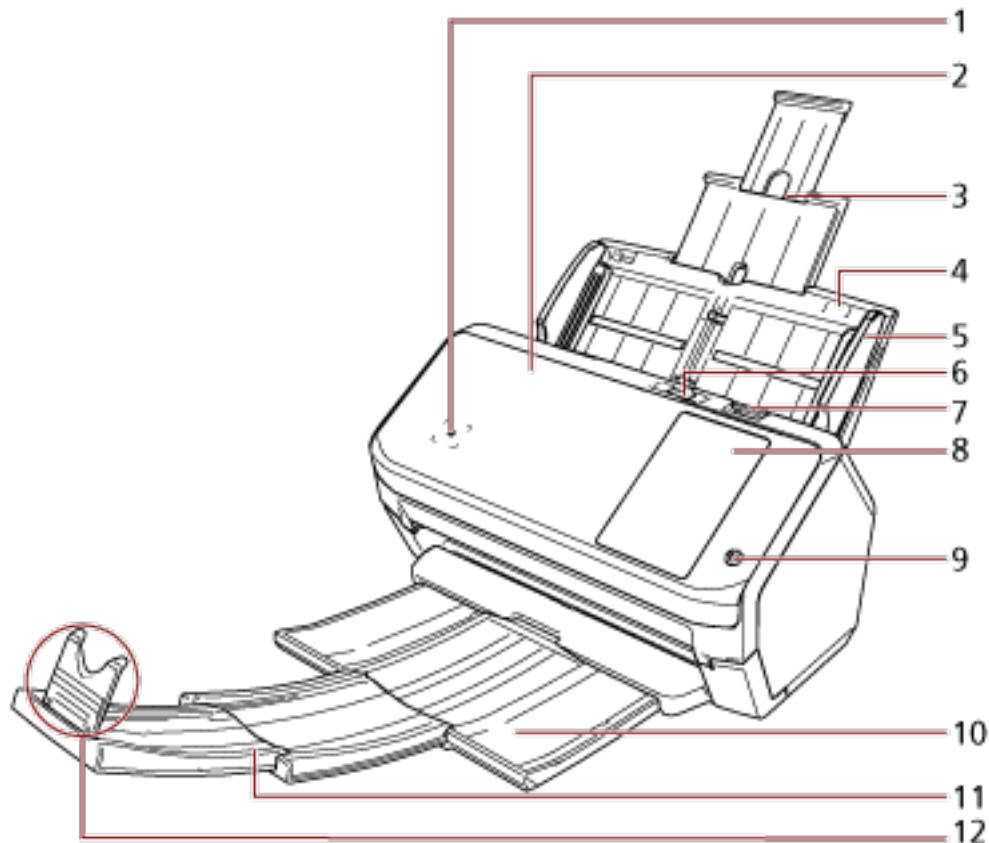
<https://www.pfu.ricoh.com/fi/manual/software.html>



各部の名称と働き

スキャナーの各部名称について説明します。

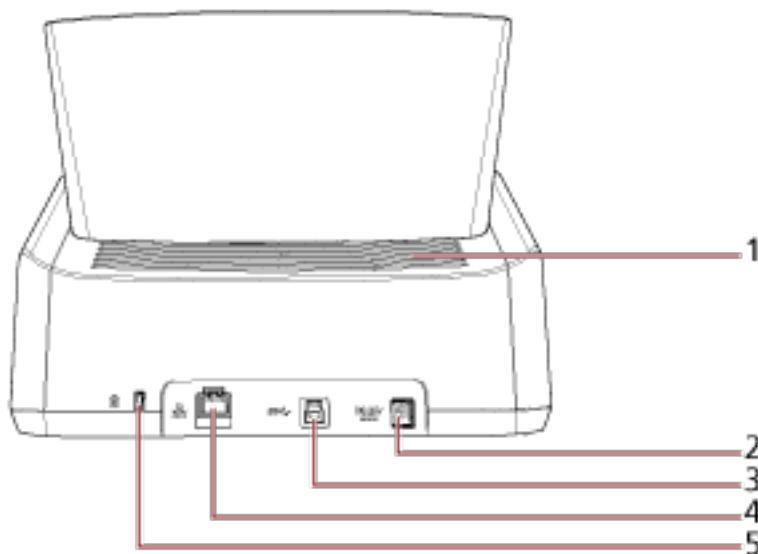
- 前面



No.	名称	働き
1	非接触 IC カードリーダー	IC カードの情報を読み取れます。
2	ADF (自動給紙機構)	ADF 給紙シュート (フィーダー) にセットした原稿を、1 枚ずつ引き込んで搬送します。 消耗品の交換や、内部を清掃する場合に開けます。
3	シュートエクステンション	読み取る原稿の長さに合わせて、引き上げて使います。
4	ADF 給紙シュート (フィーダー)	読み取る原稿をセットするための台です。
5	サイドガイド	ADF 給紙シュート (フィーダー) にセットした原稿の幅に合わせて、ズレを防止します。
6	給紙モードスイッチ	給紙モードスイッチを左にスライドすると、手差し・単送モードに切り替わります。
7	ADF オープンレバー	ADF オープンレバーを手前に引くと、ADF が開きます。

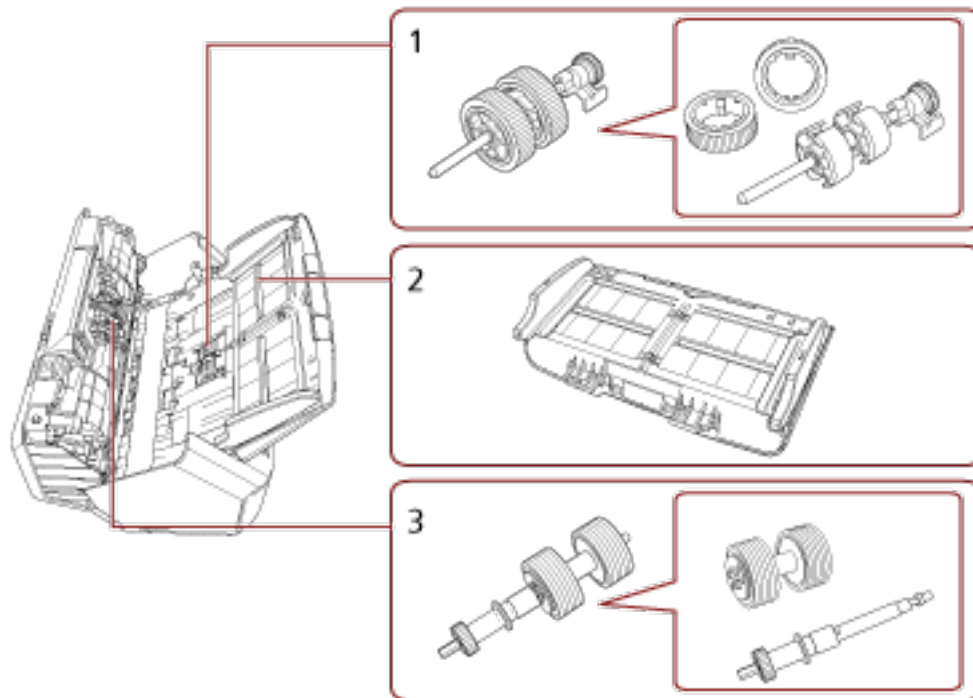
No.	名称	働き
8	タッチパネル	スキャナーを操作したり、スキャナーの状態を確認したりできます。
9	[Power] ボタン	スキャナーの電源を投入したり、切断したりできます。
10	スタッカー	排出された原稿が積み重ねられます。
11	スタッカーエクステンション	読み取る原稿の長さに合わせて、手前にスライドさせて使います。
12	ストッパー	読み取る原稿の長さに合わせて、起こして使います。

● 背面



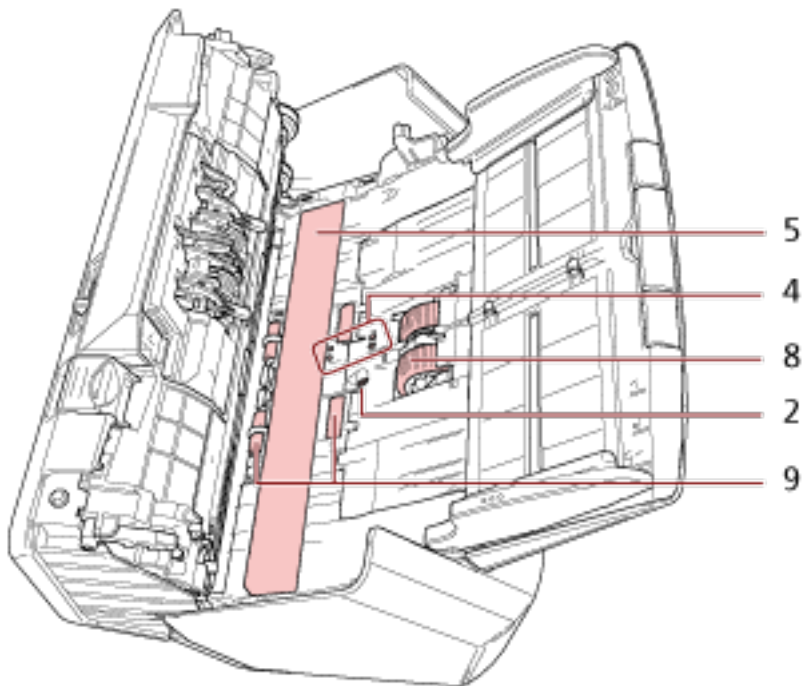
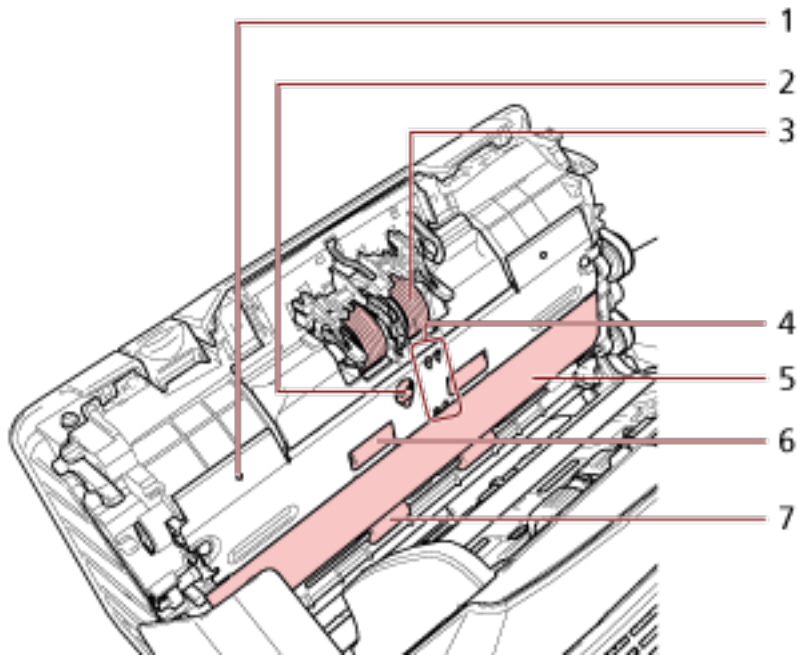
No.	名称	働き
1	通気孔	スキャナー内部の熱を外部に逃すための開孔部です。
2	電源コネクタ	電源ケーブルを接続します。 電源ケーブルは、AC ケーブルと AC アダプターを接続したケーブルのことです。
3	USB コネクタ	USB ケーブルを接続します。
4	LAN コネクタ	LAN ケーブルを接続します。
5	セキュリティケーブルスロット	市販のセキュリティケーブル（盗難防止用）を接続します。

● 取り外し可能部品



No.	名称	働き
1	ピックローラ	ADF 給紙シュート（フィーダー）の原稿を ADF 内に搬送するローラーです。
2	ADF 給紙シュート（フィーダー）	読み取る原稿をセットするための台です。
3	ブレーキローラ	ADF 内へ複数枚の原稿が搬送されるのを防止するローラーです。

● 内部 (ADF)



No.	名称	働き
1	マイク (2 か所)	原稿がつまる音を検出します。
2	超音波センサー (2 か所)	超音波によって原稿の重なりを検出するセンサーです。原稿を透過する超音波の差異を監視し、原稿の重なりを検出します。

No.	名称	働き
3	ブレーキローラ (2 か所)	ADF 内へ複数枚の原稿が搬送されるのを防止するローラーです。
4	原稿検知センサー (8 か所)	原稿の有無を検知するセンサーです。
5	ガラス (2 か所)	原稿を読み取る面です。
6	フィードローラー (2 か所)	ADF 内で原稿を搬送するローラーです。
7	排出口ローラー (2 か所)	ADF からスタッカーへ原稿を搬送するローラーです。
8	ピックローラ (2 か所)	ADF 給紙シュート (フィーダー) の原稿から 1 枚だけ分離させ、ADF 内に搬送するローラーです。
9	プラスチックローラー (4 か所)	ADF 内で原稿を搬送するローラーです。

タッチパネルのアイコン

タッチパネルの下部には、次のようなアイコンが表示されます。
USB で接続している場合の画面例で示します。



スキャナーの接続方法が確認できます。

詳細は、[接続方法 \(29 ページ\)](#)を参照してください。

スキャナーが無線 LAN で接続している場合は、アイコンを押すと「無線 LAN 診断」画面が表示され、無線 LAN の接続状態を確認できます。



スキャナーの設定内容、メッセージ、およびヘルプを確認できます。

メッセージがある場合、が表示されます。

アイコンを押すと、メッセージが表示されます。

詳細は、[通知 \(29 ページ\)](#)を参照してください。



(3)

スキャナーの設定内容を確認したり、設定を変更したりできます。
アイコンを押すと、設定項目の一覧が表示されます。
詳細は、[設定 \(30 ページ\)](#)を参照してください。



(4)

元の画面に戻ります。
長押しすると、接続方法に応じたメイン画面に戻ります。

● **接続方法**

接続方法	アイコン	接続状態
無線 LAN	 (強)	無線 LAN で接続されています。電波強度は 3 段階で表示されます。
	 (中)	
 (弱)		
無線 LAN		無線 LAN で接続されていません。
	有線 LAN	
有線 LAN		有線 LAN で接続されていません。
USB		USB ケーブルで接続されています。
		USB ケーブルで接続されていません。


● **通知**

タブ	概要
インフォメーション	次の設定の状態を確認できます。 ● 読み取り枚数

タブ	概要
	<ul style="list-style-type: none"> ● インテリジェントマルチフィード検出機能の動作モードと、重なりパターンを記憶した原稿の枚数（重なりパターンは最新の 8 枚分だけ記憶できます） ● 原稿を保護する機能の「ペーパープロテクション (タッチパネル設定) (243 ページ)」の設定を優先するか無効にするか ● 直前に発生したエラー情報
メッセージ	消耗品交換、清掃指示、ガラス清掃、定期保守のメッセージを確認できます。
ヘルプ	原稿のセット方法やスキャナーの清掃方法を確認できます。

● 設定

項目	概要
スキャナー情報	<p>スキャナーの設定内容を確認できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スタンドアード情報 ● スキャナー名 ● 電源管理 ● 表示言語 ● 接続方法 ● ネットワーク ● ネットワーク (アクセスポイント) ● 読み取り可能領域 ● ビデオ出力 ● 物理機能 ● イメージング機能 ● 搭載 IPC オプション ● 圧縮機能 ● その他機能 ● エラーコード情報
給紙 / 搬送	<p>原稿送りの</p> <p>原稿の搬送を開始するタイミングを設定できます。原稿が重なって搬送されたり、原稿づまりが頻繁に発生する場合に設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 関連項目 <ul style="list-style-type: none"> - 原稿送りの設定 (ピックアップ速度) (282 ページ)

項目		概要
	原稿枚数カウント	<p>原稿の画像は出力せずに枚数だけをカウントできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 関連項目 <ul style="list-style-type: none"> - 原稿の枚数をカウントしたいとき (114 ページ)
表示言語		タッチパネルに表示する言語を設定できます。
清掃 / 点検	縦筋検知	<p>ガラスのよごれを検知する設定ができます。</p> <p>ガラスがよごれていると、タッチパネルの  に「ガラス清掃」のメッセージが通知されます。メッセージが通知されたら、ガラスを清掃してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 関連項目 <ul style="list-style-type: none"> - 縦筋を検知する機能の設定 (縦筋検知設定) (306 ページ) - 縦筋を検知する機能の感度設定 (縦筋検知レベル) (307 ページ)
	クリーニング	<p>スキャナー内部を清掃する場合に使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 関連項目 <ul style="list-style-type: none"> - 日常のお手入れ (115 ページ)
	枚数カウンター	<p>読み取り枚数の記録を確認できます。消耗品を交換した場合または清掃した場合は、枚数カウンターの枚数をクリアできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 関連項目 <ul style="list-style-type: none"> - 清掃箇所と清掃頻度 (117 ページ) - 消耗品と交換周期 (128 ページ)
スキャナー設定		<p>スキャナー管理者が、スキャナーの設定をするときに使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 関連項目 <ul style="list-style-type: none"> - スキャナー設定 (タッチパネル編) (224 ページ)
認証 / ライセンス		認証ラベル、Open Source Software に含まれるライセンス条件を確認できます。
限定保証ガイド/保証情報		<p>保証ガイドまたは保証情報を確認できます。ただし、スキャナーを購入された国や地域によっては表示されません。</p>

項目	概要
保守	サービスエンジニアが、スキャナーの保守で使 います。

スキャナーのセットアップ

ここでは、スキャナーのセットアップについて説明します。

スキャナーのセットアップは、スキャナーの接続方法によって異なります。

それぞれの参照先を確認して、スキャナーをセットアップしてください。

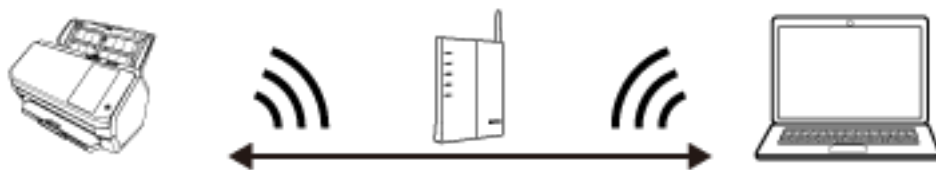
セットアップに必要な作業は、[スキャナーをセットアップするときの参照マニュアル \(10 ページ\)](#)を参照してください。



● コンピューター運用



スキャナーを無線 LAN で接続する場合 (36 ページ)

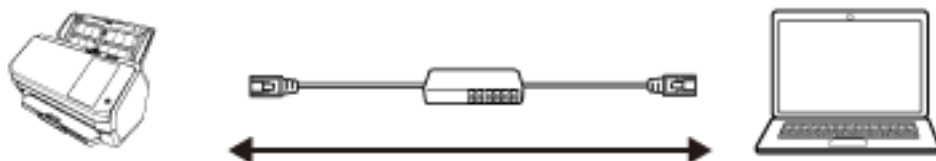


ヒント

証明書が必要なネットワーク環境の場合は、[証明書が必要なネットワーク環境に接続する場合 \(43 ページ\)](#)を参照してください。

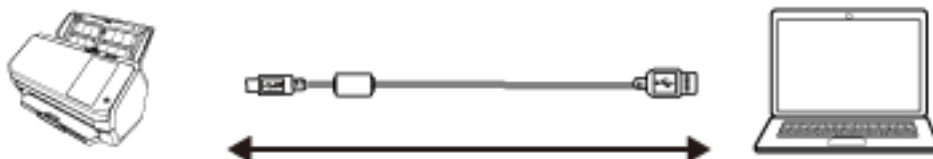


スキャナーを有線 LAN で接続する場合 (45 ページ)





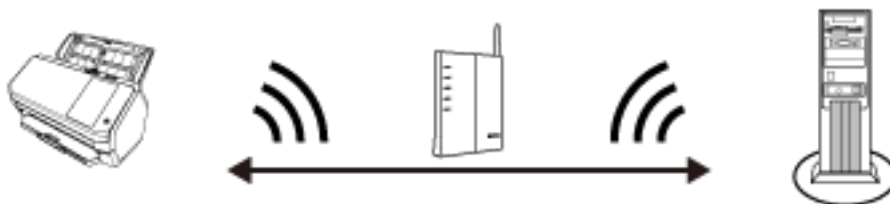
スキャナーを USB ケーブルでコンピューターに接続する場合 (48 ページ)



- PaperStream NX Manager 運用



スキャナーを無線 LAN で接続する場合 (36 ページ)

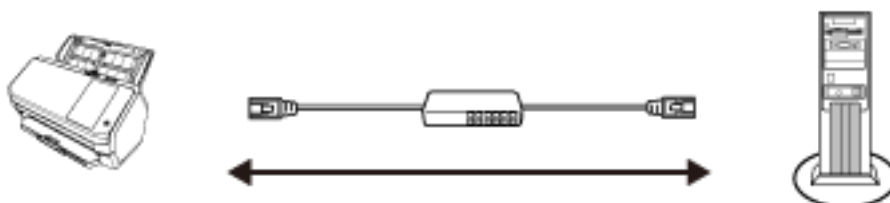


ヒント

証明書が必要なネットワーク環境の場合は、証明書が必要なネットワーク環境に接続する場合 (43 ページ)を参照してください。



スキャナーを有線 LAN で接続する場合 (45 ページ)



ヒント

スキャナーを PaperStream NX Manager を使用して集中運用する場合は、PaperStream NX Manager の環境構築および環境設定が必要です。

詳細は、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照してください。

PaperStream NX Manager ユーザーズガイドは、次のホームページからダウンロードできます。

<https://www.pfu.ricoh.com/fi/manual/software.html>

スキャナーを無線 LAN で接続する場合

開梱から電源投入までの手順は、スタートアップガイドを参照してください。

1 スキャナーの電源を投入します。

詳細は、[電源の投入 \(57 ページ\)](#)を参照してください。

2 無線 LAN で接続するかどうかを確認する画面で、[はい] ボタンを押します。

3 設定方法を選択し、[次へ] ボタンを押します。

無線アクセスポイントを、次のどれかの方法で設定します。

- 一覧から選択

無線アクセスポイントの一覧から、接続する無線アクセスポイントを選択して接続します。

[無線アクセスポイントの一覧から選択して接続する場合 \(39 ページ\)](#)を参照して設定します。

- WPS を使用

無線アクセスポイントの WPS を使って接続します。

- WPS のボタンを押して接続する場合

[無線アクセスポイントの WPS のボタンを押して接続する場合 \(40 ページ\)](#)を参照して設定します。

- WPS の PIN コードを入力して接続する場合

[無線アクセスポイントの WPS の PIN コードを入力して接続する場合 \(41 ページ\)](#)を参照して設定します。

- 手動で設定

無線アクセスポイントの情報を入力して接続します。

[無線アクセスポイントの情報を入力して接続する場合 \(42 ページ\)](#)を参照して設定します。

ヒント

- 証明書が必要なネットワーク環境の場合は、スキャナーに証明書の登録が必要です。
- [証明書が必要なネットワーク環境に接続する場合 \(43 ページ\)](#)を参照して、スキャナーをセットアップします。

4 次の項目を設定します。

- IP アドレス

スキャナーの IP アドレスを設定します。

IP アドレスを手動で設定する場合は、「サブネットマスク」と「デフォルトゲートウェイ」も設定します。

- DNS サーバー

DNS サーバーを使用する場合に設定します。

「プライマリー DNS」と「セカンダリー DNS」の IP アドレスを設定します。

- ダイナミック DNS

IP アドレスを自動で取得する場合に設定します。

スキャナー選択ツール for fi Series で、スキャナー名（ホスト名）を指定して、スキャナーを検索するときに有効にします。

詳細は[ネットワーク \(231 ページ\)](#)の「ダイナミック DNS」を参照してください。

- 通信の暗号化
ネットワークで通信するデータを暗号化するかどうかを選択します。
- プロキシサーバー
プロキシサーバーを経由する場合に設定します。
「ホスト名 / IP アドレス」と「ポート番号」を設定します。認証が必要な場合は、「ユーザー名」と「パスワード」も設定します。
- PaperStream NX Manager
PaperStream NX Manager を使用する場合に設定します。
「ホスト名 / IP アドレス」と「ポート番号」を設定します。
- Scanner Central Admin Server
PaperStream NX Manager を使用する場合に、Scanner Central Admin Server を設定できます。
スキャナーを Scanner Central Admin Server から遠隔監視したり、一括操作する場合に設定します。
「ホスト名 / IP アドレス」と「ポート番号」を設定します。
- 起動モード
スキャナーの起動モードを選択します。
- スキャナー名
スキャナーの名前を設定します。

設定が終わったら、設定完了の画面が表示されます。

5 設定内容を確認し、[完了] ボタンを押します。

6 スキャナーを使用するコンピューターをネットワークに接続します。

ネットワークの接続方法は、コンピューターのマニュアルを参照してください。

7 ネットワークの接続状況を確認します。

詳細は、[スキャナーのネットワーク接続確認 \(50 ページ\)](#)を参照してください。

8 スキャナーと接続するコンピューターに、必要なソフトウェアをインストールします。

ソフトウェアの詳細は、[ソフトウェアのインストール \(51 ページ\)](#)を参照してください。

添付の Setup DVD-ROM を準備してください。

ヒント

PaperStream NX Manager を使用する場合は、添付の Setup DVD-ROM でのソフトウェアのインストールは必要ありません。PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照して、必要なソフトウェアをインストールしてください。

- a 旧バージョンのソフトウェアがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。
詳細は、[ソフトウェアのアンインストール手順 \(317 ページ\)](#)を参照してください。
- b 添付の Setup DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。
「fi シリーズ セットアップ」画面が表示されます。
- c 表示される画面の指示に従って、インストールを開始します。

「おすすめインストール」でインストールすることを推奨します。

d コンピューターでスキャナーが使用できるように設定します。

スキャナー選択ツール for fi Series を使って、使用するスキャナーを選択してください。

詳細は、スキャナー選択ツール for fi Series のヘルプを参照してください。

スキャナー選択ツール for fi Series は、Network Setup Tool for fi Series のインストールが完了したあとに、自動的に起動されます。起動されない場合は、[スキャナー選択ツール for fi Series の起動方法 \(316 ページ\)](#)を参照して起動してください。

9 読み取りが開始できるかを確認します。

詳細は、[基本的な読み取り方 \(69 ページ\)](#)を参照してください。

重要

スキャナーの設定を変更するには、管理者パスワードが必要です。

工場出荷設定の管理者パスワードは、ラベルの有無で確認できます。

ラベルの詳細は、[装置ラベルの確認 \(223 ページ\)](#)を参照してください。

管理者以外による設定の変更を防止するために、管理者パスワードを変更してください。

また、管理者パスワードは、定期的に見直してください。

管理者パスワードは、次の手順で表示される画面で設定できます。



→ 「スキャナー設定」 → 「管理者パスワード」

ヒント

ネットワークの設定は、次の手順で表示されるメニューで変更できます。



→ 「スキャナー設定」 → 「ネットワーク」

無線アクセスポイントの一覧から選択して接続する場合

- 1 設定方法を選択する画面で「一覧から選択」を選択して、[次へ] ボタンを押します。
- 2 設定する項目と順番を確認して、[開始] ボタンを押します。
無線アクセスポイントの一覧が表示されます。
- 3 接続する無線アクセスポイントを選択して、[次へ] ボタンを押します。
- 4 無線アクセスポイントの情報を入力します。
次の情報を入力します。
 - セキュリティキー
 - 認証方式
 - ユーザー ID
 - パスワード
 - そのほか、接続する無線アクセスポイントに必要な情報
- 5 必要な情報を入力したら、[次へ] ボタンを押します。
接続処理が終わったら、接続結果が表示されます。
- 6 [次へ] ボタンを押します。
各項目を設定します。
[スキャナーを無線 LAN で接続する場合 \(36 ページ\)](#)の手順 4 を参照してください。

無線アクセスポイントの WPS のボタンを押して接続する場合

- 1 設定方法を選択する画面で「WPS を使用」を選択して、[次へ] ボタンを押します。
- 2 設定する項目と順番を確認して、[開始] ボタンを押します。
WPS の方式を選択する画面が表示されます。
- 3 「プッシュボタン方式」を選択して、[次へ] ボタンを押します。
操作ガイダンスの画面が表示されます。
- 4 無線アクセスポイントで WPS のボタンを押して、スキャナーと接続できる状態にします。
WPS の詳細は、使用している無線アクセスポイントのマニュアルを参照してください。
- 5 タッチパネルに戻り、2 分以内に [次へ] ボタンを押します。
接続処理が終わったら、接続結果が表示されます。
- 6 [次へ] ボタンを押します。
各項目を設定します。
[スキャナーを無線 LAN で接続する場合 \(36 ページ\)](#)の手順 4 を参照してください。

無線アクセスポイントの WPS の PIN コードを入力して接続する場合

- 1 設定方法を選択する画面で「WPS を使用」を選択して、[次へ] ボタンを押します。
- 2 設定する項目と順番を確認して、[開始] ボタンを押します。
WPS の方式を選択する画面が表示されます。
- 3 「PIN コード入力方式」を選択して、[次へ] ボタンを押します。
操作ガイダンスの画面が表示されます。
- 4 画面に PIN コードが表示されるので、紙に書きとめます。
- 5 コンピューターで、無線アクセスポイントの WPS を設定する画面を開きます。
WPS の詳細は、使用している無線アクセスポイントのマニュアルを参照してください。
- 6 紙に書きとめた PIN コードを設定して、スキャナーと接続できる状態にします。
- 7 タッチパネルに戻り、2 分以内に [次へ] ボタンを押します。
接続処理が終わったら、接続結果が表示されます。
- 8 [次へ] ボタンを押します。
各項目を設定します。
[スキャナーを無線 LAN で接続する場合 \(36 ページ\)](#)の手順 4 を参照してください。

無線アクセスポイントの情報を入力して接続する場合

- 1 設定方法を選択する画面で「**手動で設定**」を選択して、**[次へ]** ボタンを押します。
- 2 設定する項目と順番を確認して、**[開始]** ボタンを押します。
無線アクセスポイントを設定する画面が表示されます。
- 3 **無線アクセスポイントの情報を入力します。**
次の情報を入力します。
入力する情報は、接続する無線アクセスポイントによって異なります。
 - ネットワーク名 (SSID)
 - セキュリティ種別
 - セキュリティキー
 - 暗号方式
 - 認証方式
 - ユーザー ID
 - パスワード
 - そのほか、接続する無線アクセスポイントに必要な情報
- 4 **必要な情報を入力したら、[次へ] ボタンを押します。**
接続処理が終わったら、接続結果が表示されます。
- 5 **[次へ] ボタンを押します。**
各項目を設定します。
[スキャナーを無線 LAN で接続する場合 \(36 ページ\)](#)の手順 4 を参照してください。

証明書が必要なネットワーク環境に接続する場合

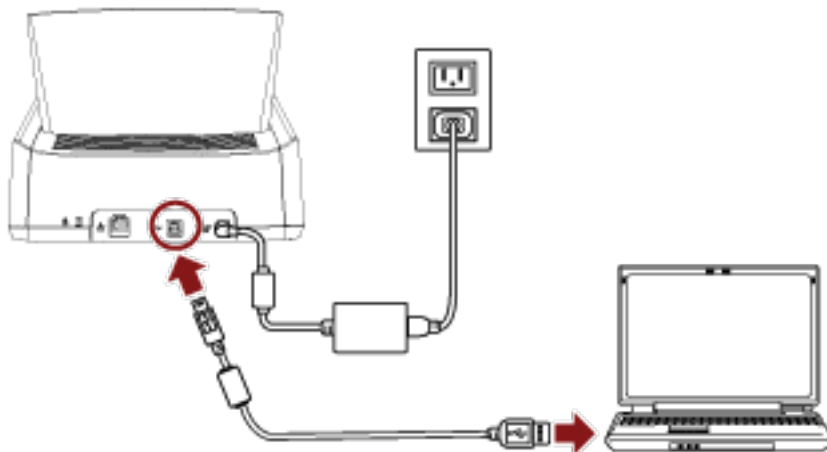
開梱から電源投入までの手順は、スタートアップガイドを参照してください。

- 1 スキャナーの電源を投入します。
詳細は、[電源の投入 \(57 ページ\)](#)を参照してください。
- 2 スキャナーと接続するコンピューターに、必要なソフトウェアをインストールします。
ソフトウェアの詳細は、[ソフトウェアのインストール \(51 ページ\)](#)を参照してください。
添付の Setup DVD-ROM を準備してください。

ヒント

PaperStream NX Manager を使用する場合は、添付の Setup DVD-ROM でのソフトウェアのインストールは必要ありません。PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照して、必要なソフトウェアをインストールしてください。

- a 旧バージョンのソフトウェアがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。
詳細は、[ソフトウェアのアンインストール手順 \(317 ページ\)](#)を参照してください。
- b 添付の Setup DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。
「fi シリーズ セットアップ」画面が表示されます。
- c 表示される画面の指示に従って、インストールを開始します。
「おすすめインストール」でインストールすることを推奨します。
- d スキャナーとコンピューターを添付の USB ケーブルで接続します。



- e スキャナーに証明書を登録します。
証明書登録ツール for fi Series を使って、証明書をスキャナーに登録してください。
詳細は、[証明書登録ツール for fi Series のヘルプ](#)を参照してください。
証明書登録ツール for fi Series は、次の手順で起動します。
 - Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022
「スタート」メニュー→「fi Series」→「証明書登録ツール for fi Series」をクリックします。

- Windows 11
「スタート」メニュー → 「すべてのアプリ」 → 「fi Series」 → 「証明書登録ツール for fi Series」 をクリックします。

f スキャナーとコンピューターを接続している USB ケーブルを取り外します。

3 スキャナーのタッチパネルで、スキャナーを無線 LAN で接続する設定をします。

詳細は、[スキャナーを無線 LAN で接続する場合 \(36 ページ\)](#)の手順 2~7 を参照してください。

4 コンピューターでスキャナーが使用できるように設定します。

スキャナー選択ツール for fi Series を使って、使用するスキャナーを選択してください。

詳細は、スキャナー選択ツール for fi Series のヘルプを参照してください。

スキャナー選択ツール for fi Series の起動方法については、[スキャナー選択ツール for fi Series の起動方法 \(316 ページ\)](#)を参照してください。

5 読み取りが開始できるかを確認します。

詳細は、[基本的な読み取り方 \(69 ページ\)](#)を参照してください。

重要

スキャナーの設定を変更するには、管理者パスワードが必要です。

工場出荷設定の管理者パスワードは、ラベルの有無で確認できます。

ラベルの詳細は、[装置ラベルの確認 \(223 ページ\)](#)を参照してください。

管理者以外による設定の変更を防止するために、管理者パスワードを変更してください。

また、管理者パスワードは、定期的に見直してください。

管理者パスワードは、次の手順で表示される画面で設定できます。



→ 「スキャナー設定」 → 「管理者パスワード」

ヒント

ネットワークの設定は、次の手順で表示されるメニューで変更できます。

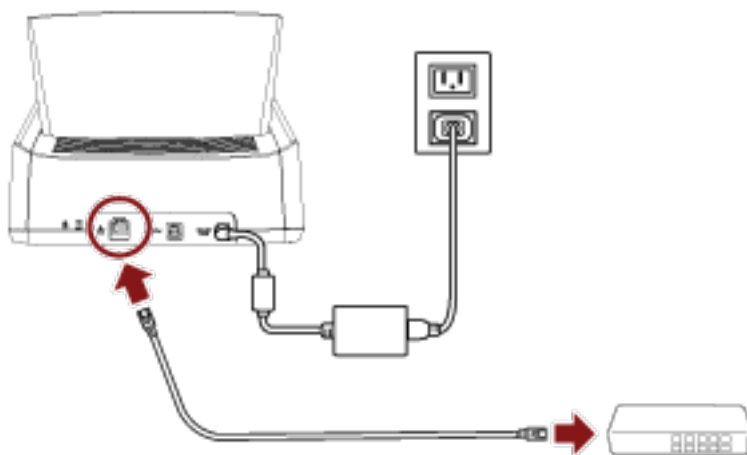


→ 「スキャナー設定」 → 「ネットワーク」

スキャナーを有線 LAN で接続する場合

開梱から電源投入までの手順は、スタートアップガイドを参照してください。

- 1 スキャナーの電源を投入します。
詳細は、[電源の投入 \(57 ページ\)](#)を参照してください。
- 2 無線 LAN で接続するかどうかを確認する画面で、**【いいえ】** ボタンを押します。
- 3 接続方法を選択する画面で、**「有線 LAN」** を選択して、**【次へ】** ボタンを押します。
- 4 表示される画面で、設定する項目と順番を確認します。
- 5 スキャナーとネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）を LAN ケーブルで接続します。



- 6 手順 4 の画面で、**【開始】** ボタンを押します。
- 7 次の項目を設定します。
 - IP アドレス
スキャナーの IP アドレスを設定します。
IP アドレスを手動で設定する場合は、「サブネットマスク」と「デフォルトゲートウェイ」も設定します。
 - DNS サーバー
DNS サーバーを使用する場合に設定します。
「プライマリー DNS」と「セカンダリー DNS」の IP アドレスを設定します。
 - ダイナミック DNS
IP アドレスを自動で取得する場合に設定します。
スキャナー選択ツール for fi Series で、スキャナー名（ホスト名）を指定して、スキャナーを検索するときに有効にします。
詳細は[ネットワーク \(231 ページ\)](#)の「ダイナミック DNS」を参照してください。
 - 通信の暗号化
ネットワークで通信するデータを暗号化するかどうかを選択します。
 - プロキシサーバー

プロキシサーバーを経由する場合に設定します。

「ホスト名/IP アドレス」と「ポート番号」を設定します。認証が必要な場合は、「ユーザー名」と「パスワード」も設定します。

- PaperStream NX Manager
PaperStream NX Manager を使用する場合に設定します。
「ホスト名/IP アドレス」と「ポート番号」を設定します。
- Scanner Central Admin Server
PaperStream NX Manager を使用する場合に、Scanner Central Admin Server を設定できます。
スキャナーを Scanner Central Admin Server から遠隔監視したり、一括操作する場合に設定します。
「ホスト名/IP アドレス」と「ポート番号」を設定します。
- 起動モード
スキャナーの起動モードを選択します。
- スキャナー名
スキャナーの名前を設定します。

設定が終わったら、設定完了の画面が表示されます。

8 設定内容を確認し、[完了] ボタンを押します。

9 スキャナーを使用するコンピューターをネットワークに接続します。

ネットワークの接続方法は、コンピューターのマニュアルを参照してください。

10 ネットワークの接続状況を確認します。

詳細は、[スキャナーのネットワーク接続確認 \(50 ページ\)](#)を参照してください。

11 スキャナーと接続するコンピューターに、必要なソフトウェアをインストールします。

ソフトウェアの詳細は、[ソフトウェアのインストール \(51 ページ\)](#)を参照してください。
添付の Setup DVD-ROM を準備してください。

ヒント

PaperStream NX Manager を使用する場合は、添付の Setup DVD-ROM でのソフトウェアのインストールは必要ありません。PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照して、必要なソフトウェアをインストールしてください。

- a 旧バージョンのソフトウェアがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。
詳細は、[ソフトウェアのアンインストール手順 \(317 ページ\)](#)を参照してください。
- b 添付の Setup DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。
「fi シリーズ セットアップ」画面が表示されます。
- c 表示される画面の指示に従って、インストールを開始します。
「おすすめインストール」でインストールすることを推奨します。
- d コンピューターでスキャナーが使用できるように設定します。
スキャナー選択ツール for fi Series を使って、使用するスキャナーを選択してください。
詳細は、スキャナー選択ツール for fi Series のヘルプを参照してください。

スキャナー選択ツール for fi Series は、Network Setup Tool for fi Series のインストールが完了したあとに、自動的に起動されます。起動されない場合は、[スキャナー選択ツール for fi Series の起動方法 \(316 ページ\)](#)を参照して起動してください。

12 読み取りが開始できるかを確認します。

詳細は、[基本的な読み取り方 \(69 ページ\)](#)を参照してください。

重要

スキャナーの設定を変更するには、管理者パスワードが必要です。
工場出荷設定の管理者パスワードは、ラベルの有無で確認できます。
ラベルの詳細は、[装置ラベルの確認 \(223 ページ\)](#)を参照してください。
管理者以外による設定の変更を防止するために、管理者パスワードを変更してください。
また、管理者パスワードは、定期的に見直してください。
管理者パスワードは、次の手順で表示される画面で設定できます。



→ 「スキャナー設定」 → 「管理者パスワード」

ヒント

ネットワークの設定は、次の手順で表示されるメニューで変更できます。



→ 「スキャナー設定」 → 「ネットワーク」

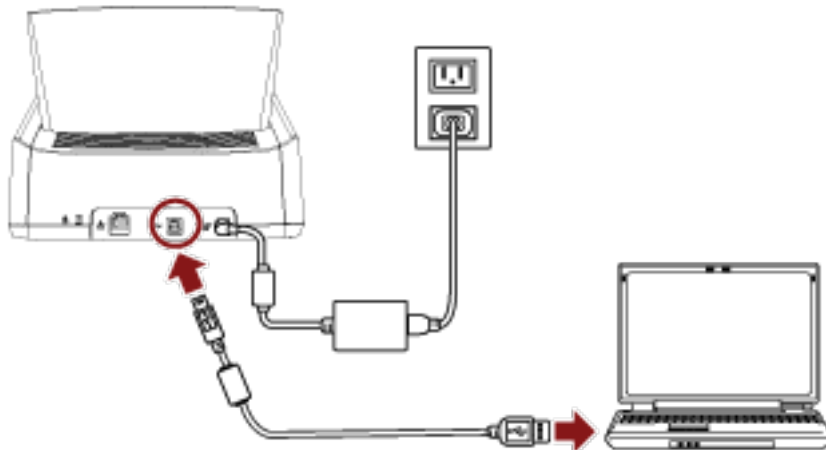
スキャナーを USB ケーブルでコンピューターに接続する場合

開梱から電源投入までの手順は、スタートアップガイドを参照してください。

- 1 **スキャナーの電源を投入します。**
詳細は、[電源の投入 \(57 ページ\)](#)を参照してください。
- 2 **無線 LAN で接続するかどうかを確認する画面で、[いいえ] ボタンを押します。**
- 3 **接続方法を選択する画面で、「USB」を選択して、[次へ] ボタンを押します。**
- 4 **表示される画面で、設定する項目と順番を確認して、[開始] ボタンを押します。**
- 5 **次の項目を設定します。**
 - **起動モード**
スキャナーの起動モードを選択します。
 - **スキャナー名**
スキャナーの名前を設定します。

設定が終わったら、設定完了の画面が表示されます。
- 6 **設定内容を確認し、[完了] ボタンを押します。**
- 7 **スキャナーと接続するコンピューターに、必要なソフトウェアをインストールします。**
ソフトウェアの詳細は、[ソフトウェアのインストール \(51 ページ\)](#)を参照してください。
添付の Setup DVD-ROM を準備してください。
 - a **旧バージョンのソフトウェアがすでにインストールされている場合は、アンインストールしてください。**
詳細は、[ソフトウェアのアンインストール手順 \(317 ページ\)](#)を参照してください。
 - b **添付の Setup DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。**
「fi シリーズ セットアップ」画面が表示されます。
 - c **表示される画面の指示に従って、インストールを開始します。**
「おすすめインストール」でインストールすることを推奨します。

8 スキャナーとコンピューターを添付の USB ケーブルで接続します。



9 読み取りが開始できるかを確認します。

詳細は、[基本的な読み取り方 \(69 ページ\)](#)を参照してください。

重要

スキャナーの設定を変更するには、管理者パスワードが必要です。
工場出荷設定の管理者パスワードは、ラベルの有無で確認できます。
ラベルの詳細は、[装置ラベルの確認 \(223 ページ\)](#)を参照してください。
管理者以外による設定の変更を防止するために、管理者パスワードを変更してください。
また、管理者パスワードは、定期的に見直してください。
管理者パスワードは、次の手順で表示される画面で設定できます。



→ 「スキャナー設定」 → 「管理者パスワード」

スキャナーのネットワーク接続確認

スキャナーを無線 LAN または有線 LAN で接続した場合、ネットワークへの接続状態を確認できます。

- 無線 LAN で接続した場合


「無線 LAN 診断」で無線アクセスポイントとの接続状態を確認します。

無線アクセスポイントとの接続が確認できたら、「接続確認 (Ping)」で、コンピューターまたはサーバーとの接続確認をします。


- 有線 LAN で接続した場合

「接続確認 (Ping)」で、コンピューターまたはサーバーとの接続確認をします。

- 「無線 LAN 診断」で確認

- 1 タッチパネルで、 を押します。
- 2 「無線 LAN 診断」画面で、「診断」ボタンを押します。
診断結果が表示されます。
表示されるメッセージに従って、対処してください。

- 「接続確認 (Ping)」で確認

- 1 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「ネットワーク」 → 「接続確認 (Ping)」の順に押します。
- 2 「接続確認 (Ping)」画面で、接続先のホスト名または IP アドレスを入力します。

ヒント

ホスト名を入力して確認する場合は、DNS サーバーが設定されている必要があります。

- 3 「実行」ボタンを押します。
接続確認結果が表示されます。
詳細は、[接続確認結果 \(162 ページ\)](#)を参照してください。

ソフトウェアのインストール

スキャナーと接続するコンピューターに必要なソフトウェア、動作環境、およびインストール方法について説明します。

PaperStream NX Manager を使用する場合は、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照してください。

Scanner Central Admin を使用する場合は、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

ヒント

ソフトウェアは、添付の Setup DVD-ROM からインストール、またはダウンロードサイトよりダウンロードしてインストールします。

ソフトウェアの概要

本製品には、次のソフトウェアが添付されています。

- PaperStream IP ドライバー
 - PaperStream IP ドライバーは、TWAIN/ISIS 規格に準拠したスキャナードライバーです。ネットワークに接続したスキャナーにも対応しています。
 - PaperStream IP ドライバーには、次の 3 種類があります。
 - PaperStream IP (TWAIN)
 - TWAIN 規格に準拠したスキャナードライバーです。TWAIN 規格に準拠した 32 ビットのアプリケーションからスキャナーを操作する場合に使用します。
 - PaperStream IP (TWAIN x64)
 - TWAIN 規格に準拠したスキャナードライバーです。TWAIN 規格に準拠した 64 ビットのアプリケーションからスキャナーを操作する場合に使用します。
 - 64 ビットオペレーティングシステムの場合にインストールできます。
 - PaperStream IP (ISIS) Bundle
 - ISIS 規格に準拠したスキャナードライバーです。ISIS 規格に準拠したアプリケーションからスキャナーを操作する場合に使用します。
 - 詳細は、PaperStream IP ドライバーのヘルプを参照してください。
- Network Setup Tool for fi Series
 - 次のアプリケーションが含まれています。
 - fi-7300NX をネットワークに接続して使用する場合に必要なアプリケーションです。
 - スキャナー選択ツール for fi Series
 - ネットワークに接続しているスキャナーをコンピューターで使用できるようにするアプリケーションです。
 - 詳細は、スキャナー選択ツール for fi Series のヘルプを参照してください。
 - 証明書登録ツール for fi Series
 - 証明書が必要なネットワーク環境の場合に、証明書をスキャナーに登録するアプリケーションです。
 - 詳細は、証明書登録ツール for fi Series のヘルプを参照してください。
 - Button Event Manager for fi Series

ネットワーク接続の場合に、スキャナーのタッチパネルから起動する画像読み取り用アプリケーションを設定するアプリケーションです。

詳細は、Button Event Manager for fi Series のヘルプを参照してください。

- Software Operation Panel
原稿を読み取るときの動作や消耗品の管理などの設定ができます。
PaperStream IP ドライバーと同時にインストールされます。
詳細は、[スキャナー設定 \(Software Operation Panel 編\) \(252 ページ\)](#)を参照してください。
- Error Recovery Guide
スキャナーのエラーが発生した場合に、スキャナーの状態と対処方法を表示します。
PaperStream IP ドライバーと同時にインストールされます。
対処方法は、[困ったときには \(143 ページ\)](#)でも参照できます。
- PaperStream ClickScan
PaperStream IP (TWAIN) に対応した 32 ビットの画像読み取り用アプリケーションです。
シンプルな設定と操作だけで読み取り処理を実行できます。
コンピューターにログインすると同時に自動で起動し、画面右下の通知領域に常駐します。
詳細は、PaperStream ClickScan のヘルプを参照してください。
- PaperStream ClickScan Searchable PDF Option
画像を検索可能な PDF、Word (*1)、Excel (*1) などの形式で出力するためのアプリケーションです。
PaperStream ClickScan で使用できます。
詳細は、PaperStream ClickScan のヘルプを参照してください。
- PaperStream Capture
PaperStream IP (TWAIN) /PaperStream IP (ISIS) Bundle に対応した 32 ビットの画像読み取り用アプリケーションです。
スキャナーの読み取り処理の設定をドキュメントプロファイルに定義し、業務内容に応じた読み取り処理を実行できます。
- PaperStream Capture Pro (EVALUATION)
PaperStream IP (TWAIN) に対応した 32 ビットの画像読み取り用アプリケーションです。
PaperStream Capture Pro の体験版です。
製品版にするには、ライセンスを購入してアクティベートしてください。
PaperStream Capture Pro は、PaperStream Capture の機能に加え、マルチステーション運用や高度なメタデータ設定ができます。
詳細は、PaperStream Capture ユーザーズガイドを参照してください。
- ABBYY FineReader for ScanSnap™
画像を Word (*1) や Excel (*1) などのアプリケーションのファイルに変換するためのアプリケーションです。
PaperStream Capture/PaperStream Capture Pro で画像を読み取る場合に使用できます。
ダウンロードサイトよりダウンロードインストールします。
- マニュアル
安全上のご注意およびオペレーターガイドがインストールされます。
- Scanner Central Admin Agent

Scanner Central Admin Server と連携するために、スキャナーを接続しているコンピューターにインストールするアプリケーションです。

Scanner Central Admin Server と連携すると、スキャナーの設定情報などのアップデートをスキャナーに適用できます。

なお、PaperStream NX Manager を使用する場合は、スキャナーに Scanner Central Admin Server と連携する機能があるため、Scanner Central Admin Agent をインストールする必要はありません。詳細は、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

- fi Series Online Update

fi シリーズに関連するソフトウェアおよびファームウェアの最新のアップデートプログラムを確認し、アップデートするアプリケーションです。

詳細は、fi Series Online Update のヘルプを参照してください。

*1 : Microsoft® Office 製品がインストールされている必要があります。

動作環境

ソフトウェアをインストールするコンピューターの動作環境は、次のとおりです。

オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> ● Windows® 10 Home (32/64 ビット) (*1) ● Windows® 10 Pro (32/64 ビット) (*1) ● Windows® 10 Enterprise (32/64 ビット) (*1) ● Windows® 10 Education (32/64 ビット) (*1) ● Windows Server® 2016 Standard (64 ビット) (*1) ● Windows Server® 2019 Standard (64 ビット) (*1) ● Windows Server® 2022 Standard (64 ビット) (*1) ● Windows® 11 Home (64 ビット) (*1) ● Windows® 11 Pro (64 ビット) (*1) ● Windows® 11 Enterprise (64 ビット) (*1) ● Windows® 11 Education (64 ビット) (*1)
CPU	Intel または Intel 互換プロセッサ
ディスプレイ解像度	1024×768 ピクセル以上、65536 色以上が表示可能なディスプレイ
ディスク容量	11GB 以上の空き容量が必要 (*2)
DVD ドライブ	ソフトウェアをインストールするときに必要
インターフェイス	USB3.1 Gen1/USB3.0/USB2.0/USB1.1

*1：添付ソフトウェアは、デスクトップアプリケーションとして動作します。

*2：原稿を読み取るときは、保存されるファイルサイズに応じたディスク容量が必要となります。

おすすめインストール

「おすすめインストール」では、次のソフトウェアがインストールされます。

1回の操作で、スキャナーを使用するために必要なソフトウェアがすべてインストールされます。

- PaperStream IP (TWAIN)
- Network Setup Tool for fi Series
- Software Operation Panel
- Error Recovery Guide
- PaperStream ClickScan
- PaperStream Capture
- マニュアル
- fi Series Online Update

- 1 コンピューターの電源を投入して、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで、Windows にログインします。
- 2 Setup DVD-ROM を DVD ドライブにセットします。
「fi シリーズ セットアップ」画面が表示されます。

ヒント

「fi シリーズ セットアップ」画面が表示されない場合は、「エクスプローラー」または「コンピューター」から、Setup DVD-ROM 内の「Setup.exe」をダブルクリックしてください。

- 3 使用するスキャナーの機種名をクリックします（機種名選択画面が表示された場合）。
- 4 【おすすめインストール】 ボタンをクリックします。



- 5 表示される画面の指示に従ってインストールします。

カスタムインストール

「カスタムインストール」では、必要なソフトウェアを選択してインストールします。

- 1 **おすすめインストール (55 ページ)**と同様に手順 1～3 の操作を行います。
- 2 **「カスタムインストール」** ボタンをクリックします。



- 3 表示される画面の内容を確認し、**「次へ」** ボタンをクリックします。
- 4 インストールするソフトウェアのチェックボックスにチェックを付けて、**「次へ」** ボタンをクリックします。
- 5 表示される画面の指示に従ってインストールします。

基本的な使い方

ここでは、基本的な操作方法について説明します。

電源の投入/切断

電源の投入/切断について説明します。

ヒント

スキャナーの電源の投入/切断方法を、次のどれかに設定できます。

- スキャナーの [Power] ボタンでスキャナーの電源を投入/切断する。
- コンピューターの電源に合わせて、スキャナーなどの周辺機の電源を管理する AC ケーブルタップを使用して電源を投入/切断する。
- コンピューターの電源の投入/切断と連動してスキャナーの電源を投入/切断する。

詳細は、[電源投入/切断方法の設定（電源スイッチ制御）（303 ページ）](#)を参照してください。

電源の投入

- 1 スキャナーの [Power] ボタンを押します。



電源が投入され、[Power] ボタンが緑色に点灯します。

スキャナーの起動処理中はタッチパネルに次のような画面が表示されます。



電源の切断

- 1 スキャナーの [Power] ボタンを 2 秒以上押します。
電源が切断され、[Power] ボタンが消灯します。

ログイン/ログアウト（PaperStream NX Manager を使用する場合）

PaperStream NX Manager と接続してスキャナーを使用する場合には、PaperStream NX Manager へのログインが必要です。

次のどれかの方法で PaperStream NX Manager へログインできます。

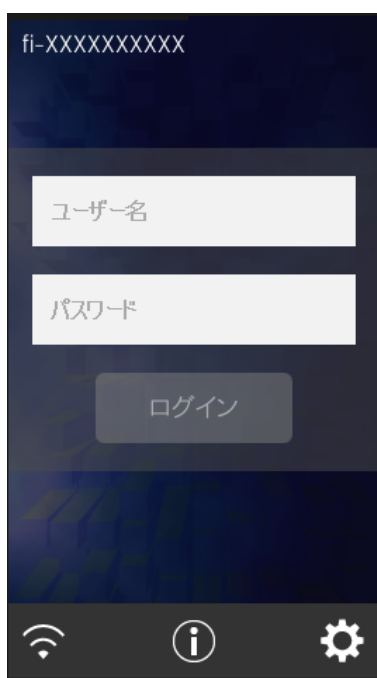
詳細は、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照してください。

- ユーザー名/パスワード
ログイン画面で、指定されたユーザー名でログインします。
- IC カード
IC カードに格納されているユーザー情報でログインします。
- ジョブグループコード
ログイン画面で、指定されたジョブグループコードでログインします。

● ログイン

ユーザー名/パスワードによるログイン

- 1 ログイン画面が表示されます。



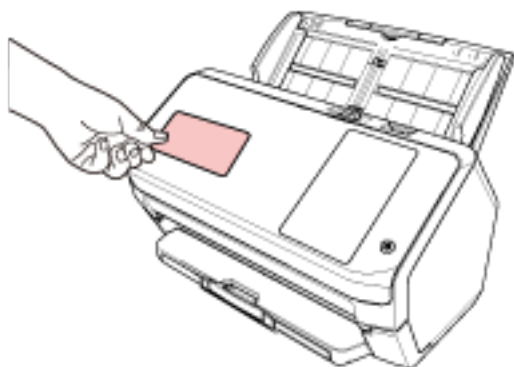
- 2 ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン] ボタンを押します。

ICカードによるログイン

- 1 ログイン画面が表示されます。

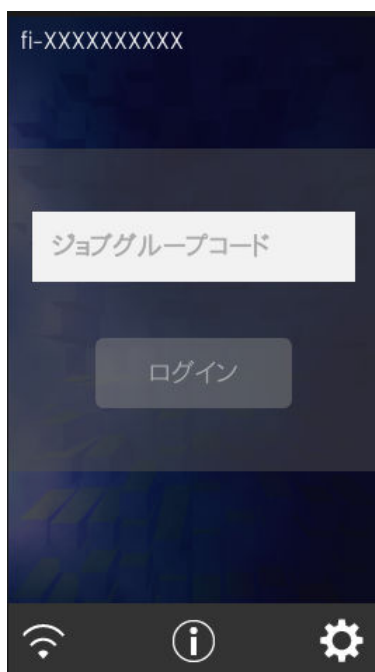


- 2 ICカードを非接触ICカードリーダーにかざします。



ジョブグループコードによるログイン

- 1 ログイン画面が表示されます。



- 2 ジョブグループコードを入力し、[ログイン] ボタンを押します。
ジョブグループコードについては、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照してください。

- **ログアウト**

タッチパネル右上のアイコンを押してログアウトします。

省電力モードへの移行と復帰

スキャナーの電源を投入したまま、一定時間操作されないと、省電力モードに移行します。

省電力モードとは、電源が投入されたスキャナーが一定時間操作されない場合に、消費電力を低い状態に保つことです。

省電力モードには、次の2つの設定があります。

● 省電力

スキャナーの電源を投入したままで15分（工場出荷設定値）以上何も操作しないと、自動的に省電力状態に切り替わります。

省電力状態に切り替わると、タッチパネルの表示が消えます。[Power] ボタンは緑色で点滅します。

省電力状態から復帰するためには、次のどれかの操作を行います。

- ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットする。
- タッチパネルを押す。
- スキャナーを使用できる画像読み取り用アプリケーションから読み取る。

● 自動電源切断

スキャナーの電源を投入したままで一定時間（工場出荷設定は4時間後）何も操作しないと、自動的にスキャナーの電源が切断されます。

自動的にスキャナーの電源が切断された場合に、再度スキャナーの電源を投入するには、スキャナーの [Power] ボタンを押します。詳細は、[電源の投入 \(57 ページ\)](#)を参照してください。

重要

- 搬送路上に原稿が残されたままになっていると、省電力状態に移行しないことがあります。[原稿づまりが発生したときは \(143 ページ\)](#)を参照して、原稿を取り除いてください。
- 使用する画像読み取り用アプリケーションによっては、「自動電源切断 (時間)」に切断時間を設定しても、スキャナーの電源が切断されない場合があります。
- 画像読み取り用アプリケーションを使用中にスキャナーの電源が自動的に切断された場合は、画像読み取り用アプリケーションを終了してから、スキャナーの電源を再投入してください。
- 「起動モード」を「クイック」に設定している場合の省電力モードの動作については、[電源管理 \(228 ページ\)](#)を参照してください。

ヒント

- 省電力状態に切り替わるまでの時間を変更する方法

タッチパネルの「省電力モード」画面で、「省電力 (分)」を設定します。

「省電力モード」画面は、次の手順で表示できます。



→ 「スキャナー設定」 → 「電源管理」 → 「省電力モード」

Software Operation Panel の場合は、[省電力モードの待機時間の設定 \(省電力設定\) \(302 ページ\)](#)を参照してください。

- 自動的にスキャナーの電源が切断されないようにする方法

タッチパネルの「省電力モード」画面で、「自動電源切断 (時間)」を「無効」に設定します。

「省電力モード」画面は、次の手順で表示できます。



→ 「スキャナー設定」 → 「電源管理」 → 「省電力モード」

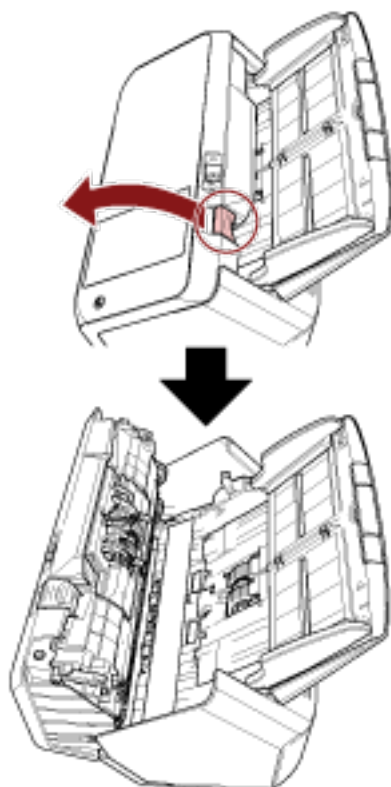
Software Operation Panel の場合は、[省電力モードの待機時間の設定（省電力設定）（302 ページ）](#)を参照してください。

ADF の開閉

ADF の開閉について説明します。

ADF の開け方

- 1 ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。
- 2 ADF オープンレバーを手前に引いて、ADF を開けます。



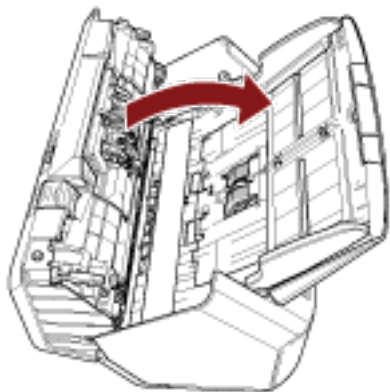
注意

ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

ADF の閉じ方

1 ADF を閉じます。

「カチッ」という音がするまで、ADF の中央を押し込んでください。



注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

重要

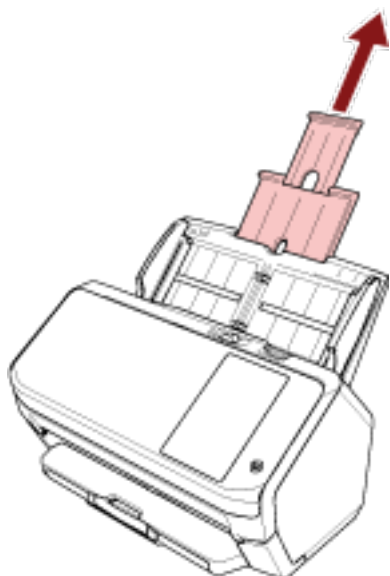
閉じるときは、異物が ADF 内にはさまれていないことを確認してください。

ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿は、読み取りを開始すると、順次 ADF に搬送されていきます。

次の手順のように、シュートエクステンションを使用して原稿を支えることによって、原稿が搬送されやすくなります。

1 シュートエクステンションを引き上げます。



ヒント

スキャナーを押さえながら、シュートエクステンションをまっすぐに引き上げるとスムーズに操作できます。

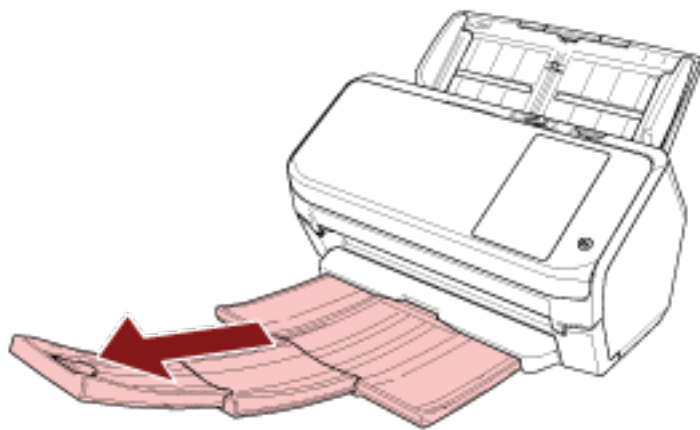
スタッカーの設定

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットした原稿は、読み取りを開始すると、順次スタッカーに排出されて積み重ねられていきます。

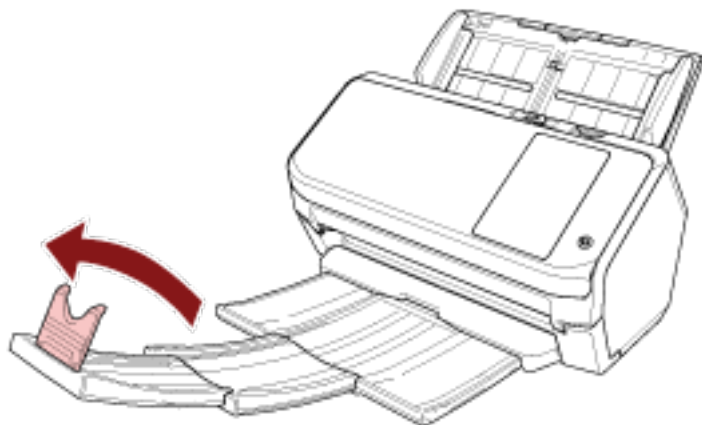
次の手順のように、スタッカー、スタッカーエクステンション、およびストッパーを使用して原稿を支えることによって、原稿がきれいに積み重ねられます。

原稿の長さが、A6 横以上の場合

- 1 スタッカーとスタッカーエクステンションを手前に引き出します。
スタッカーエクステンションは最後まで引き出してください。



- 2 ストッパーを起こします。

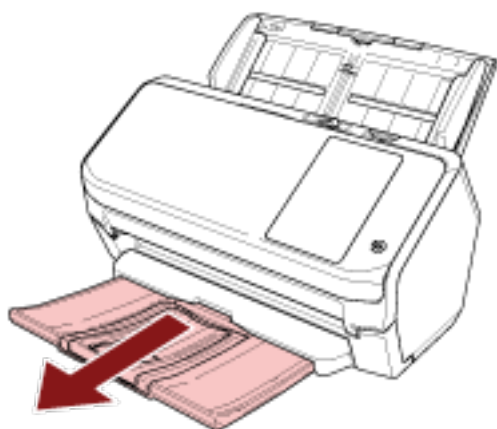


重要

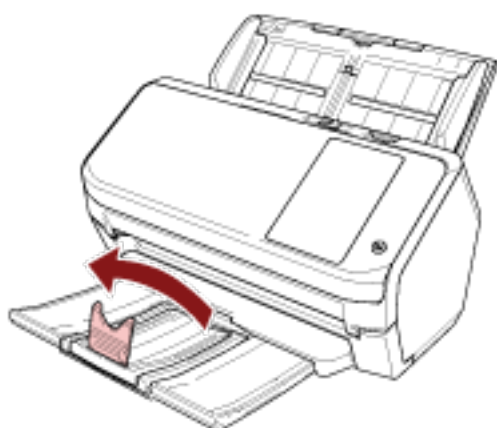
ストッパーを無理に 90 度以上起こすと、破損するおそれがあります。

原稿の長さが、A6 横より短い場合

1 スタッカーを手前に引き出します。



2 ストッパーを起こします。



重要

ストッパーを無理に 90 度以上起こすと、破損するおそれがあります。

ヒント

原稿の長さに合わせて、ストッパーをスライドさせることもできます。
排出された原稿がきれいに積み重ならない場合は、ストッパー位置を原稿よりも長い位置に合わせてください。

基本的な読み取り方

ここでは、基本的な読み取り方について説明します。



● コンピューター運用

次のどちらかの方法で、読み取りを開始します。

- コンピューターの画像読み取り用アプリケーションを使って読み取る (70 ページ)
- タッチパネルから画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る (72 ページ)



● PaperStream NX Manager 運用

次の方法で、読み取りを開始します。

- ジョブを使って読み取る (PaperStream NX Manager を使用する場合) (77 ページ)

ヒント

スキャナーを PaperStream NX Manager を使用して集中運用する場合は、PaperStream NX Manager の環境構築および環境設定が必要です。

詳細は、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照してください。

PaperStream NX Manager ユーザーズガイドは、次のホームページからダウンロードできます。

<https://www.pfu.ricoh.com/fi/manual/software.html>

コンピューターの画像読み取り用アプリケーションを使って読み取る

コンピューターの画像読み取り用アプリケーションを使って読み取りを開始する場合の、基本的な読み取り操作の流れを説明します。

この場合、コンピューターにスキャナードライバーと、そのスキャナードライバーに対応した画像読み取り用アプリケーションが必要です。

本製品には、次のスキャナードライバーと、画像読み取り用アプリケーションが添付されています。

- スキャナードライバー
 - PaperStream IP ドライバー
- 画像読み取り用アプリケーション
 - PaperStream ClickScan
 - PaperStream Capture

ヒント

スキャナードライバーおよび画像読み取り用アプリケーションの詳細は、[ソフトウェアの概要 \(51 ページ\)](#)を参照してください。

画像読み取り用アプリケーションやスキャナードライバーによっては、読み取り手順や操作、読み取り条件の設定項目が若干異なります。

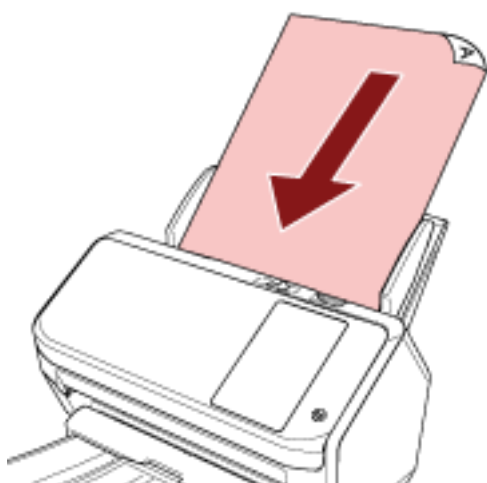
詳細は、画像読み取り用アプリケーションやスキャナードライバーのヘルプを参照してください。

1 スキャナーの電源を投入します。

詳細は、[電源の投入 \(57 ページ\)](#)を参照してください。

2 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。

原稿の表面（読み取り面）が下向きになるように、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。



詳細は、[原稿のセット方法 \(80 ページ\)](#)を参照してください。

3 画像読み取り用アプリケーションを起動します。

4 読み取りに使用するスキャナードライバーを指定します。

画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナードライバーを指定しなくてもよい場合があります。

5 読み取りに使用するスキャナーを指定します。

ネットワークに接続しているスキャナーを使用する場合は、事前に、スキャナー選択ツール for fi Series で選択したスキャナーを指定します。

画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナーを指定しなくてもよい場合があります。

6 スキャナードライバーの設定画面で、スキャナーの読み取り条件を設定します。

画像読み取り用アプリケーションによっては、スキャナードライバーの設定画面を表示しない場合があります。

7 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

重要

読み取り中に、次に示すような、スキャナーとコンピューターの接続を切断する操作をしないでください。

例:

- USB ケーブルを抜く
- LAN ケーブルを抜く
- ネットワークを切断する
- ログオフする

ヒント

コンピューターに PaperStream Capture のようなプロファイルが作成できる画像読み取り用アプリケーションがインストールされている場合、画像読み取り用アプリケーションの設定で、スキャナーのボタンにプロファイルを関連付けると、スキャナーのタッチパネルのボタンにプロファイル名が表示されます。また、コンピューターの画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始するときに、スキャナーのタッチパネルの「Scan Button」ボタンを押して読み取りを開始できる場合があります。

このとき、スキャナーのタッチパネルの「Scan Button」ボタンのボタン名がプロファイル名に変更されていても、ボタンを押すと「Scan Button」ボタンとして読み取りを開始できます。

タッチパネルから画像読み取り用アプリケーションを起動して読み取る

スキャナーのタッチパネルからコンピューターの画像読み取り用アプリケーションを起動して、原稿の読み取りを開始する場合の、基本的な読み取り操作の流れを説明します。
この場合、事前に読み取りを開始するための設定が必要です。

1 ボタンの設定 (74 ページ)

コンピューターで、タッチパネルのボタンの設定をします。ボタンには、読み取りに使用する画像アプリケーションを設定します

ここで設定するボタンが、スキャナーのタッチパネルに表示されるボタンと対応します。
スキャナーの接続方法によって、ボタンの設定方法が異なります。

- USB で接続する場合

Windows の「デバイスとプリンター」を設定する画面を表示して、スキャナーの「スキャン プロパティ」でボタンを設定します。詳細は、[ボタンの設定 \(74 ページ\)](#)を参照してください。

- 無線 LAN または有線 LAN で接続する場合

Button Event Manager for fi Series でボタンの設定をします。詳細は、Button Event Manager for fi Series のヘルプを参照してください。

Button Event Manager for fi Series のヘルプの参照方法は次のとおりです。

a Button Event Manager for fi Series を起動します。

- Windows 10 / Windows Server 2016 / Windows Server 2019 / Windows Server 2022 の場合
「スタート」メニュー → 「fi Series」 → 「Button Event Manager for fi Series」を選択します。
- Windows 11 の場合
「スタート」メニュー → 「すべてのアプリ」 → 「fi Series」 → 「Button Event Manager for fi Series」を選択します。

Button Event Manager for fi Series を起動すると、コンピューターの画面右下にある通知領域に

が表示されます。

b を右クリックします。

Button Event Manager for fi Series のメニューが表示されるので、「ヘルプ」をクリックします。

2 起動する画像読み取り用アプリケーションでの設定

起動する画像読み取り用アプリケーションによっては、画像読み取り用アプリケーションでも設定が必要な場合があります。

詳細は、起動する画像読み取り用アプリケーションのヘルプを参照してください。

3 スキャナーでの操作 (76 ページ)

スキャナーに原稿をセットして、タッチパネルのボタンを押します。

ボタンを押すと、画像読み取り用アプリケーションが起動され、読み取りが開始されます。

ヒント

PaperStream ClickScan が常駐しているかどうかで、タッチパネルのスキャナーの読み取りを開始するボタンを押したときに起動する画像読み取り用アプリケーションが異なります。

- 常駐している場合
PaperStream ClickScan が起動します。
- 常駐していない場合
PaperStream Capture が起動します。

ボタンの設定

USB で接続している場合は、次の手順でタッチパネルのボタンを設定します。

1 スキャナーの電源を投入し、スキャナーとコンピューターが接続されていることを確認します。

スキャナーの電源の投入方法は、[電源の投入 \(57 ページ\)](#)を参照してください。

スキャナーとコンピューターの接続確認方法は、[タッチパネルのアイコン \(28 ページ\)](#)を参照してください。

2 「コントロールパネル」画面を表示します。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022

「スタート」メニュー→「Windows システムツール」→「コントロールパネル」をクリックします。

- Windows 11

「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「Windows ツール」をクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。

3 「デバイスとプリンターの表示」をクリックします。

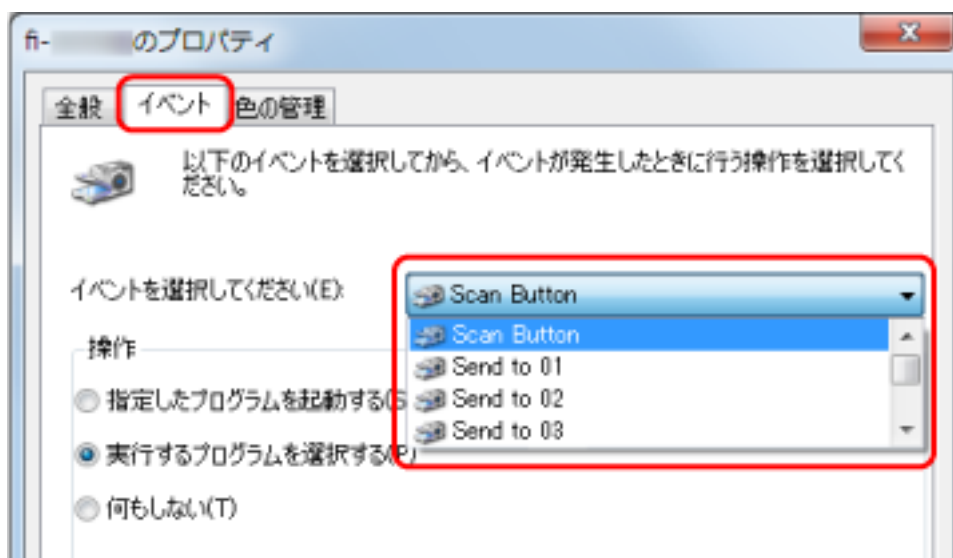
「デバイスとプリンター」画面が表示されます。

4 スキャナーのアイコンを右クリックして表示されるメニューから「スキャン プロパティ」をクリックします。

スキャナーのプロパティの画面が表示されます。

5 「イベント」タブをクリックし、設定するボタンを選択します。

「イベントを選択してください」のボタン一覧から、設定するボタンを選択します。



次のボタンが選択できます。

- 「Scan Button」 / 「Send to 01」～「Send to 50」

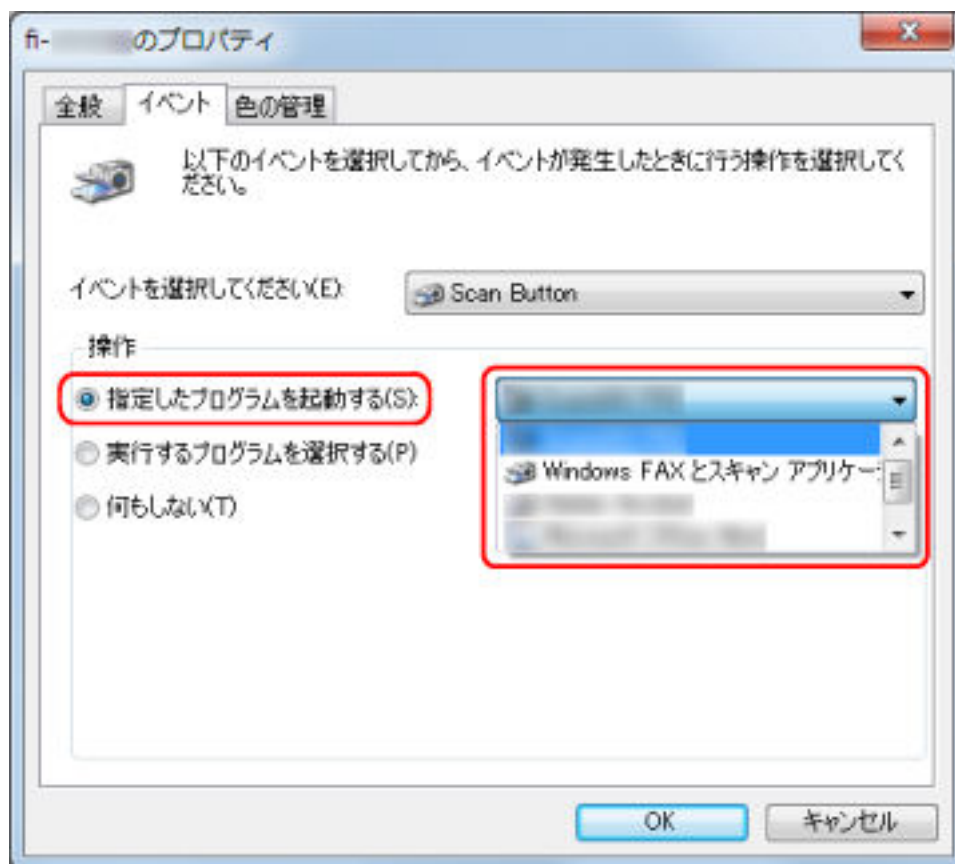
読み取りに使用するボタンを選択します。

ボタン一覧に表示されるボタンとタッチパネルに表示されるボタンは同じ順番で並んでいます。

タッチパネルに表示されるボタンは、[スキャナーでの操作 \(76 ページ\)](#)を参照してください。

6 ボタンを押したときに起動する、画像読み取り用アプリケーションを選択します。

「操作」の「指定したプログラムを起動する」をクリックして、プログラム一覧から画像読み取り用アプリケーションを選択します。



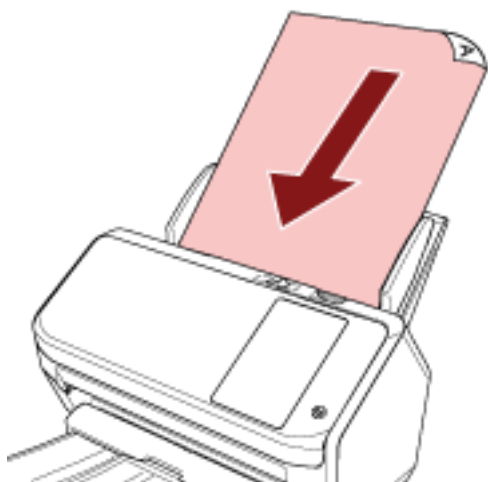
7 [OK] ボタンをクリックします。

ヒント

- 複数のボタンを設定する場合は、手順 5～6 を繰り返します。
- コンピューターに PaperStream Capture のようなプロファイルが作成できる画像読み取り用アプリケーションがインストールされている場合、画像読み取り用アプリケーションの設定で、スキャナーのボタンにプロファイルを関連付けると、スキャナーのタッチパネルのボタンにプロファイル名が表示されます。
また、コンピューターの画像読み取り用アプリケーションから読み取りを開始するときに、スキャナーのタッチパネルの「Scan Button」ボタンを押して読み取りを開始できる場合があります。
このとき、スキャナーのタッチパネルの「Scan Button」ボタンのボタン名がプロファイル名に変更されていても、ボタンを押すと「Scan Button」ボタンとして読み取りを開始できます。

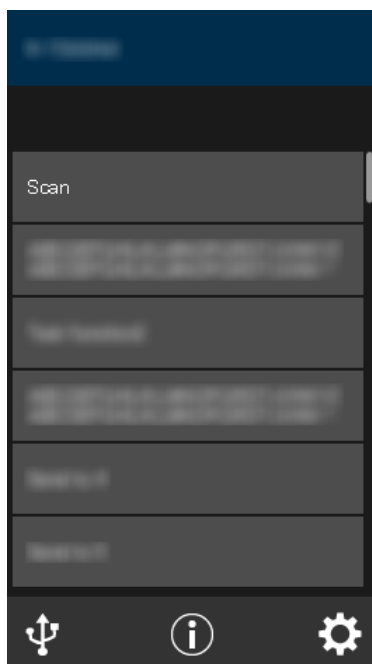
スキャナーでの操作

- 1 スキャナーの電源を投入します。
詳細は、[電源の投入 \(57 ページ\)](#)を参照してください。
- 2 ADF 給紙シュート (フィーダー) に原稿をセットします。
原稿の表面 (読み取り面) が下向きになるように、ADF 給紙シュート (フィーダー) に原稿をセットします。



詳細は、[原稿のセット方法 \(80 ページ\)](#)を参照してください。

- 3 タッチパネルに表示されているボタンの中から、目的の読み取りができるボタンを押します。
ボタンを押すと、[ボタンの設定 \(74 ページ\)](#)で設定した画像読み取り用アプリケーションが起動され、読み取りが開始されます。



ジョブを使って読み取る (PaperStream NX Manager を使用する場合)

PaperStream NX Manager から配信されたジョブを使って読み取りを開始する場合の、基本的な読み取り操作の流れを説明します。

ジョブを使って読み取るには、事前に PaperStream NX Manager の環境構築および環境設定が必要です。

また、構築された環境によっては、読み取り手順や操作が若干異なります。

詳細は、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照してください。

1 スキャナーの電源を投入します。

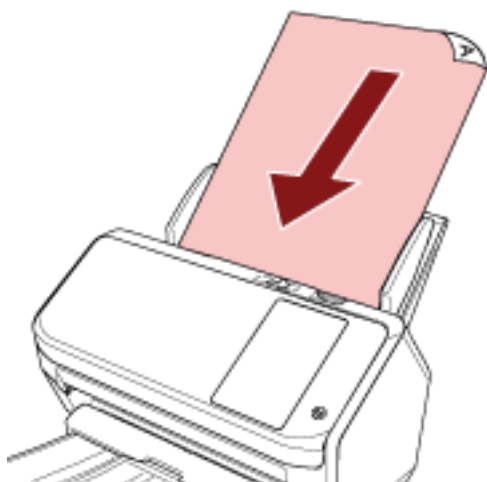
詳細は、[電源の投入 \(57 ページ\)](#)を参照してください。

2 タッチパネルにログイン画面が表示されたら、認証してログインします。

詳細は、[ログイン/ログアウト \(PaperStream NX Manager を使用する場合\) \(59 ページ\)](#)を参照してください。

3 ADF 給紙シュート (フィーダー) に原稿をセットします。

原稿の表面 (読み取り面) が下向きになるように、ADF 給紙シュート (フィーダー) に原稿をセットします。



詳細は、[原稿のセット方法 \(80 ページ\)](#)を参照してください。

4 タッチパネルでジョブを選択し、画面の指示に従って読み取りを開始します。

ジョブおよび画像の送信先については、PaperStream NX Manager ユーザーズガイドを参照してください。

原稿のセット方法

ここでは、原稿をスキャナーにセットする方法について説明します。

原稿のセット

書類のような普通紙の原稿をセットする方法について説明します。

原稿の準備

ヒント

スキャナーが正しく動作するために必要な原稿のサイズと原稿の紙質の詳細は、[読み取りできる原稿 \(82 ページ\)](#)を参照してください。

1 原稿を確認します。

a セットする原稿の幅がすべて同じか、異なるかを確認します。

原稿の幅が同じか異なるかによって、原稿のセット方法が異なります。

原稿の幅が異なる場合は、[混載条件 \(90 ページ\)](#)および幅の違う原稿を読み取りたいとき ([97 ページ](#))を参照してください。

b 原稿の枚数を確認します。

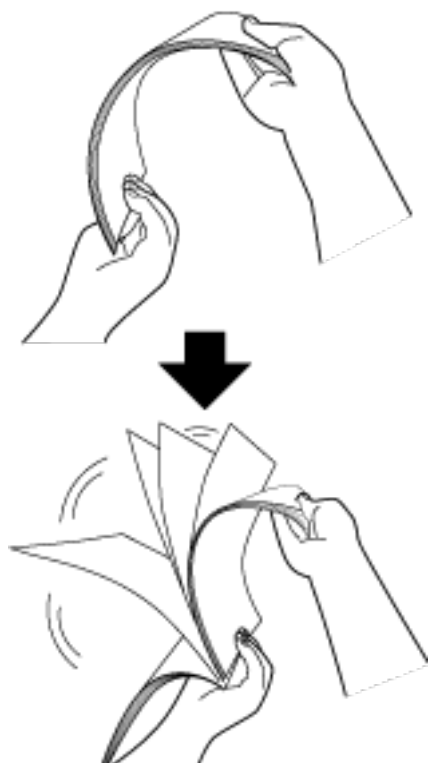
セットできる原稿枚数は 80 枚までです（厚さ 80g/m² (69kg/連) の原稿、原稿の総厚みが 8mm 以下)。

詳細は、[セットできる原稿の枚数 \(86 ページ\)](#)を参照してください。

2 原稿をさばきます。

a 原稿を 8mm 以下の厚みで取り出します。

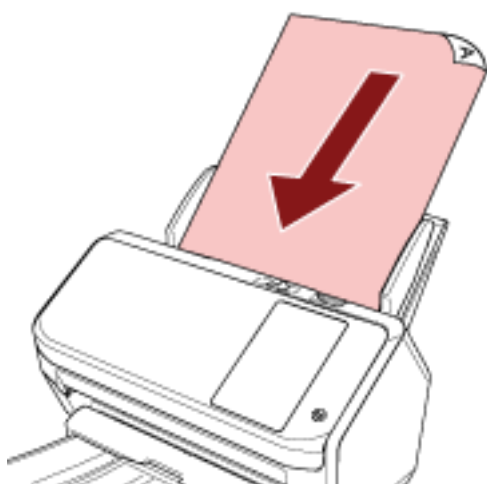
- b 両手で原稿の両端を軽くつかみ、2〜3回さばきます。



- c 原稿の向きを90度回転し、同じようにさばきます。
d すべての原稿に対して、手順a〜cを行います。
e 原稿の先端をそろえます。

原稿のセット方法

- 1 原稿の長さに合わせて、シュートエクステンションを引き上げます。
詳細は、[ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定（66 ページ）](#)を参照してください。
- 2 原稿の長さに合わせて、スタッカーを設定します。
詳細は、[スタッカーの設定（67 ページ）](#)を参照してください。
- 3 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。
原稿の表面（読み取り面）が下向きになるように、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。

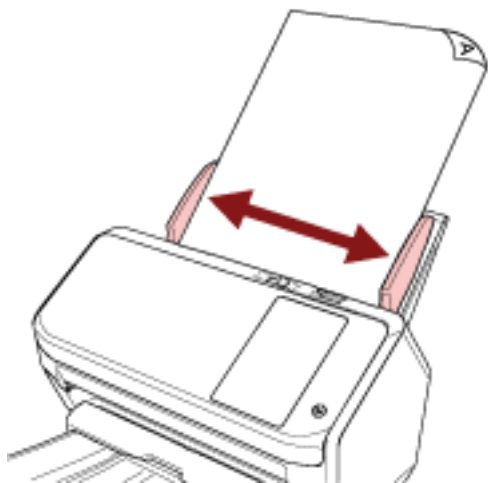


重要

- クリップ、ステーブルは取り除いてください。
- 原稿が搬送されなかったり、原稿が重なって搬送されたりする場合は、原稿の分量を減らしてください。

- 4 原稿の幅に合わせて、サイドガイドを移動します。
サイドガイドを動かして、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにします。

サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が斜めに搬送されることがあります。



読み取りできる原稿

原稿のサイズ

読み取りできる原稿のサイズを次に示します。

最大サイズ（幅×長さ）	<ul style="list-style-type: none"> ● A4 縦（210×297mm） ● リーガル縦（8.5×14 インチ） ● 長尺帳票（*1）（215.9×863mm、215.9×5,588mm）
最小サイズ（幅×長さ）	<ul style="list-style-type: none"> ● 50.8×54.0mm ● 54.0×50.8mm

*1：画像読み取りアプリケーションやスキャナードライバーの読み取り設定によっては、メモリーが不足して読み取りができない場合があります。

長尺帳票を読み取る場合は、読み取り解像度を 200dpi 以下にすると、最大の長さ 5,588mm（220 インチ）まで読み取りできます。

原稿の種類

推奨する原稿の種類は次のとおりです。

- 上質紙
- 中質紙
- PPC 用紙（再生紙）
- プラスチックカード

上記以外の種類の原稿を読み取る場合には、事前に読み取りができるかどうかを同質の原稿で確認してください。

原稿の厚さ

読み取りできる原稿の厚さは次のとおりです。

- 27～413g/m²（23～355kg/連）
- A8 サイズ以下は 128～209g/m²（110～180kg/連）
- プラスチックカードは 1.4mm 以下

うまく読み取れない原稿

次の原稿はうまく読み取れない場合があります。

- 厚さが一定していない原稿（封筒、写真を貼り付けた原稿など）
- しわが寄っているまたはカールしている原稿
- 折れたり、裂けたりしている原稿
- トレーシングペーパー
- コート紙
- カーボン紙
- 感光紙
- 端にミシン目のある原稿
- 四角形ではない原稿
- 非常に薄い原稿
- 非常に厚い原稿
- 写真（印画紙）

読み取れない原稿

次の原稿は読み取らないでください。

- クリップまたはステープルが付いた原稿
- インクが乾いていない原稿
- 次のサイズより小さい原稿
 - 50.8×54mm（幅×長さ）
 - 54×50.8mm（幅×長さ）
- 幅が 216mm（8.5 インチ）より大きい原稿
- 紙/プラスチックカード以外のもの（布、金属箔、OHP フィルムなど）
- 傷ついたりよごれたりしてはならない重要書類

事前の注意

● 読み取る原稿の注意

読み取る原稿によっては、次のことに注意してください。

- ノーカーボン紙は、ブレーキローラやピックアップローラを損なうような化学物質を含んでいるため、次のことに注意してください。
 - 清掃
原稿づまりが頻繁に起きるときは、ブレーキローラとピックアップローラを清掃してください。
詳細は、[日常のお手入れ \(115 ページ\)](#)を参照してください。
 - 部品の交換
ブレーキローラとピックアップローラの寿命は、上質紙の原稿を読み取る場合に比べて短くなる場合があります。
- 中質紙の原稿を読み取った場合、ブレーキローラとピックアップローラの寿命は、上質紙の原稿を読み取った場合に比べて短くなる場合があります。
- 原稿に貼り付けられた写真やメモ用紙が、原稿を読み取るときにブレーキローラやピックアップローラに接触すると、ブレーキローラやピックアップローラが傷つく可能性があります。
- 写真などの光沢紙を読み取った場合、原稿の表面が傷つく可能性があります。
- 光沢のある原稿を読み取った場合、LED 光源の輝点が見えることがあります。
- 半透明の原稿を読み取るときは、裏写りを防止するためにスキャナードライバーで「明るさ」を明るめに設定してください。
- 鉛筆書きの原稿を読み取るときは、原稿に黒い跡が転写される可能性があるため、できる限り頻繁に各ローラを清掃してください。
清掃方法については、[日常のお手入れ \(115 ページ\)](#)を参照してください。
- 原稿が搬送されなかったり、原稿が重なって搬送されたり、原稿づまりが頻繁に発生したりする場合は、[トラブルと対処方法 \(163 ページ\)](#)を参照してください。
- すべての原稿は先端が平らでなければなりません。
原稿先端のカールは次の数値を満たしている必要があります。

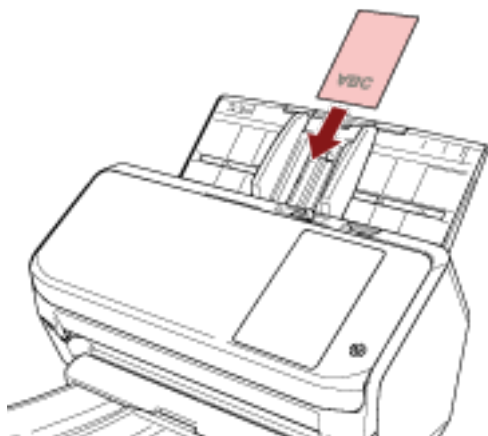


● プラスチックカードの注意

プラスチックカードを読み取る場合は、次のことに注意してください。

- 次の仕様のプラスチックカードを使用し、事前に搬送できることを確認してください。
 - タイプ：ISO7810 ID-1 タイプに準拠
 - サイズ：85.6×53.98mm

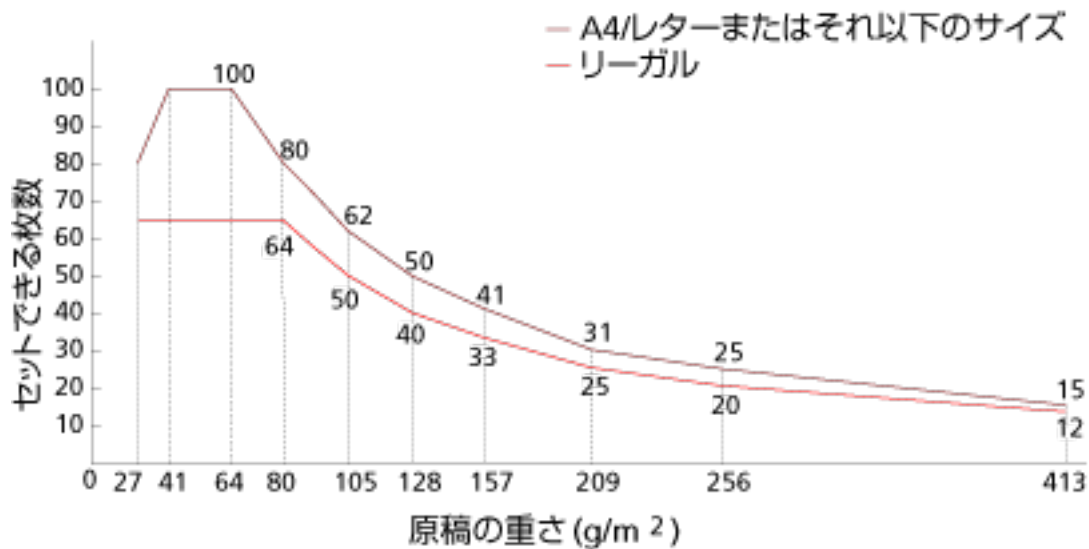
- 厚さ：1.4mm 以下
- 素材：ポリ塩化ビニル（PVC）またはポリ塩化酢酸ビニル（PVCA）
- プラスチックカードは、ADF 給紙シュート（フィーダー）に、最大 3 枚までセットできます。
ただし、プラスチックカードにエンボス加工（凹凸）が施されている場合は、1 枚ずつセットしてください。



- プラスチックカードの表面が下向きになるように、ADF 給紙シュート（フィーダー）にプラスチックカードをセットすることを推奨します。
- 厚い、硬いなどの理由で、曲がりにくいプラスチックカードは、斜めに搬送されることがあります。
- プラスチックカードの表面が油（手の脂）などによごれている場合は、よごれをふき取ってから読み取ってください。
- プラスチックカードのような厚い原稿を読み取ると、常に原稿の重なりが検出されます。
このような場合は、次のどれかの設定で読み取ってください。
 - インテリジェントマルチフィード検出機能を使用する。
 - 超音波センサーで原稿の重なりを検出する設定を無効にする。
 - 手差し・単送モードで読み取る。

セットできる原稿の枚数

ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットできる原稿の枚数は原稿のサイズと厚さで決まります。次のグラフを参照してください。



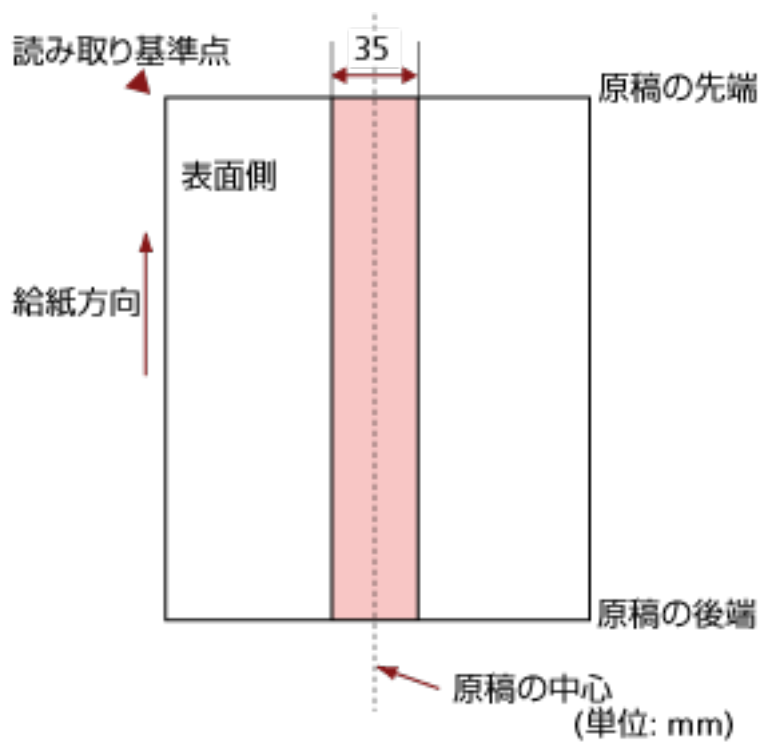
厚さの単位	g/m ² (坪量)	lb	kg/連 (連量) (*1)
変換表	27	7.2	23
	41	11	35
	64	17	55
	80	21	69
	105	28	90
	128	34	110
	157	42	135
	209	56	180
	256	68	220
	413	110	355

*1：四六判連量

穴を開けてはいけない領域

図 1 にある薄桃色の領域に穴があると、エラーの原因となる場合があります。

図 1



重要

この条件は、原稿がピックアップの幅の中央（左右対称）にセットされていることが前提となります。

ヒント

原稿の中央 35mm の領域については、原稿セット位置を左右にずらすことによって回避できます。

原稿の重なり（マルチフィード）を正しく検出するための条件

マルチフィードとは、一度に2枚以上の原稿が重なって搬送される現象のことです。原稿の重なりは、超音波センサーや原稿の長さの違いで検出します。正しく検出するには、次に示す条件が必要です。

超音波センサーで原稿の重なりを検出する場合

- 原稿の厚さ：27～413g/m²（23～355kg/連）（0.033～0.50mm）
- 原稿の中心線をはさむ35mmの領域に、穴を開けないでください。
穴を開けてはいけない領域（87ページ）の図1を参照してください。
- 原稿の中心線をはさむ35mmの領域に、のりなどの接着剤でほかの原稿を貼り付けしないでください。
穴を開けてはいけない領域（87ページ）の図1を参照してください。

原稿の長さの違いで原稿の重なりを検出する場合

- 同じ長さの原稿をADF給紙シュート（フィーダー）にセットしてください。
- 原稿の長さのばらつき：1%以下
- 原稿の中心線をはさむ35mmの領域に、穴を開けないでください。
穴を開けてはいけない領域（87ページ）の図1を参照してください。

超音波センサーと原稿の長さの違いの両方で、原稿の重なりを検出する場合

- 同じ長さの原稿をADF給紙シュート（フィーダー）にセットしてください。
- 原稿の厚さ：27～413g/m²（23～355kg/連）（0.033～0.50mm）
- 原稿の長さのばらつき：1%以下
- 原稿の中心線をはさむ35mmの領域に、穴を開けないでください。
穴を開けてはいけない領域（87ページ）の図1を参照してください。
- 原稿の中心線をはさむ35mmの領域に、のりなどの接着剤でほかの原稿を貼り付けしないでください。
穴を開けてはいけない領域（87ページ）の図1を参照してください。

重要

- この条件は、原稿がピックアップローラの幅の中央（左右対称）にセットされていることが前提です。
- 超音波センサーで原稿の重なりを検出する場合、プラスチックカードのような厚い原稿を読み取ると、常に原稿の重なりが検出されます。
このような場合は、次のどれかの設定で読み取ってください。
 - インテリジェントマルチフィード検出機能を使用する。
 - 超音波センサーで原稿の重なりを検出する設定を無効にする。
 - 手差し・単送モードで読み取る。

ヒント

- 原稿によっては、原稿の重なるの検出精度が低下する場合があります。
搬送方向で、原稿の先端から約 30mm は、原稿の重なりを検出できません。
- [穴を開けてはいけない領域 \(87 ページ\)](#)の図 1 の領域で、原稿の重なりを検出しない範囲を、タッチパネルの「マルチフィード検出範囲」画面で設定できます。
「マルチフィード検出範囲」画面は、次の手順で表示できます。



→ 「スキャナー設定」 → 「給紙 / 搬送」 → 「マルチフィード検出範囲」

Software Operation Panel の場合は、[原稿の重なり \(マルチフィード\) 検出に関する設定 \(290 ページ\)](#)を参照してください。

混載条件

厚み/摩擦係数/サイズの異なる原稿を混載して読み取る場合は、次の制限があります。
 なお、原稿を混載して読み取る場合は、必ず、事前に搬送性能の確認を行ってください。

原稿の向き

原稿のスキ目方向（紙の繊維の並んだ方向）を、搬送方向に合わせてください。

原稿の厚さ

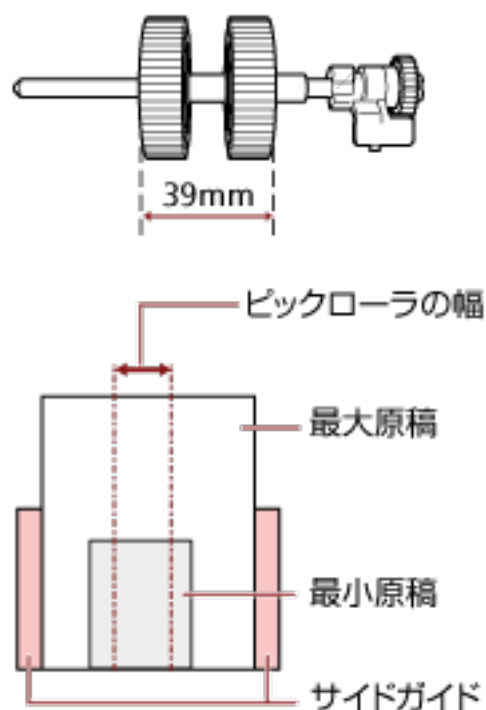
厚さの異なる原稿を混載する場合、読み取りできる原稿の厚さは次のとおりです。
 27～413g/m²（23～355kg/連）

原稿の摩擦係数

原稿に使う用紙は、同一メーカーの同一銘柄のものを推奨します。
 いろいろな用紙メーカー/銘柄が混載されると、摩擦係数の差が大きくなり、搬送性能に影響をおよぼす場合があります。
 推奨摩擦係数は次のとおりです。
 0.35～0.60（紙間摩擦係数参考値）

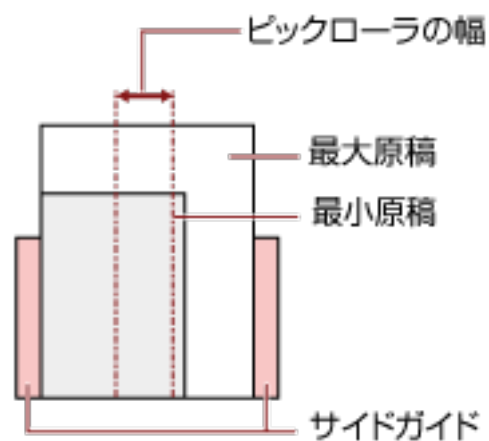
原稿のセット位置条件

すべての原稿が、ピックアップローラの幅にかかるように原稿をセットしてください。
 異なるサイズの原稿を組み合わせたときの目安は、[原稿のサイズ \(91 ページ\)](#)の定型サイズの混載での組み合わせ例 ([92 ページ](#))を参照してください。



ヒント

最小原稿が、下図のように、片側に寄せてセットしてもピックアップの幅にかかるサイズの場合は、原稿を片側に寄せてセットしてください。原稿が傾いて搬送されにくくなります。

**原稿のサイズ**

異なるサイズの原稿を混載して読み取る場合、原稿が傾いて搬送されると、画像欠けや原稿づまりなどのトラブルが発生することがあります。

原稿が大きく傾いて搬送されたときには、読み取られた画像を確認することを推奨します。

重要

- 異なるサイズの原稿を混載して読み取る場合、すべての原稿をサイドガイドで固定できないので、原稿が傾いて搬送されやすくなります。
- 長さの異なる原稿を混載して読み取る時に、原稿の重なりを検出する場合は、原稿の長さの違いによる検出方法を設定しないでください。

定型サイズの混載での組み合わせ例

次の範囲が混載可能な組み合わせの目安です。

原稿サイズ 幅(mm)			最大原稿サイズ											
			LTR縦 A3-CS	A4縦 A5横	B5縦 B6横	A5縦 A6横	B6縦 B7横	A6縦 A7横	B7縦 B8横	A7縦 A8横	B8縦	A8縦		
			216	210	182	149	129	105	91	74.3	64.3	52.5		
最小原稿サイズ	LTR縦 A3-CS	216	■											
	A4縦 A5横	210	■	■										
	B5縦 B6横	182	■	■	■									
	A5縦 A6横	149			■	■								
	B6縦 B7横	129				■	■							
	A6縦 A7横	105					■	■						
	B7縦 B8横	91					■	■	■					
	A7縦 A8横	74.3						■	■	■				
	B8縦	64.3									■			
	A8縦	52.5											■	

■ 混載可能範囲

LTR： レターサイズ

A3-CS： A3 キャリアシート

重要

B8 縦または A8 縦は、ほかのサイズの前稿と組み合わせで混載することはできません。

混載できない原稿

次の原稿は混載して読み取れません。

- ノーカーボン紙
- ボンド紙
- 端にミシン目のある原稿
- 感熱紙
- 裏カーボン紙
- OHP 紙
- トレーシングペーパー

自動用紙サイズ検出を行うための条件

次のような原稿の場合、「自動用紙サイズ検出」ができません。

- 長方形ではない原稿

また、次のような原稿の場合、「自動用紙サイズ検出」ができないことがあります。

- 厚さが 52g/m^2 (45kg/連) 以下の薄い原稿
- 原稿端が光沢のある白い原稿
- 原稿端が薄暗い（グレー色）の原稿

A3 キャリアシートを使用する場合の条件

● 原稿のサイズ

読み取りできる原稿のサイズを次に示します。

- A3 キャリアシートサイズ (216×297mm)
- A3 (297×420mm) (*1)
- A4 (210×297mm)
- A5 (148×210mm)
- A6 (105×148mm)
- B4 (257×364mm) (*1)
- B5 (182×257mm)
- B6 (128×182mm)
- はがき (100×148mm) (*2)
- 名刺 (91×55mm、55×91mm) (*2)
- ビジネスカード (51×89mm) (*3)
- レター (8.5×11 インチ、216×279.4mm)
- ダブルレター (11×17 インチ、279.4×431.8mm) (*1)
- 写真 E 版 (83×117mm、117×83mm) (*2)
- 写真 L 版 (89×127mm、127×89mm) (*2)
- 写真 LL 版 (127×178mm、178×127mm) (*2)
- カスタムサイズ
 - 幅
25.4～216mm (1～8.5 インチ)
 - 長さ
25.4～297mm (1～11.69 インチ)

*1：2つ折りにして読み取ります。

*2：スキャナードライバーが、PaperStream IP (TWAIN) /PaperStream IP (TWAIN x64) の場合に読み取りができます。

*3：スキャナードライバーが、PaperStream IP (ISIS) Bundle の場合に読み取りができます。

● 原稿の紙質

原稿の種類

推奨される原稿の種類は次のとおりです。

- 一般的なオフィス用紙

原稿の厚さ

使用可能な原稿の厚さは次のとおりです。

- 209g/m² まで（180kg/連まで）

2 つ折りにして読み取る場合の使用可能な原稿の厚さは次のとおりです。

- 105g/m² まで（90kg/連まで）

事前の注意

次のことに注意してください。

- A3 キャリアシートは同時に最大 3 枚までセットできます。
- A3 キャリアシートで「見開き」読み取りをするときに、高解像度で読み取ると、使用する画像読み取り用アプリケーションによっては、メモリーが不足して読み取りができない場合があります。このような場合は解像度を低くして読み取ってください。
- A3 キャリアシート先端に印刷された白黒のパターン部分に、文字を書いたり、色を塗ったり、よごしたり、切り取ったりしないでください。
A3 キャリアシートが正しく認識できなくなります。
- A3 キャリアシートを逆向きにして、スキャナーにセットしないでください。
原稿づまりが発生して、A3 キャリアシートおよび A3 キャリアシート内の原稿が破損するおそれがあります。
- 原稿を、A3 キャリアシートに入れたまま長期間放置しないでください。
印刷が A3 キャリアシートに転写する場合があります。
- A3 キャリアシートを、直射日光の当たる場所や暖房機の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないでください。
また、高温環境下で A3 キャリアシートを使用しないでください。
A3 キャリアシートが変形するおそれがあります。
- A3 キャリアシートを折り曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- 破損した A3 キャリアシートは使用しないでください。
スキャナーが破損、または故障する可能性があります。
- A3 キャリアシートは、変形を避けるため、できるだけ水平な場所で、重量のかからない状態で保管してください。
- A3 キャリアシートの端を、指で勢いよくこすらないでください。
指を切るおそれがあります。
- 原稿づまりが頻繁に発生するときは、PPC 用紙（再生紙）を 50 枚ほど連続給紙したあとに、A3 キャリアシートの読み取りを行ってください。
PPC 用紙（再生紙）は、印刷された用紙でも白紙でもかまいません。
- A3 キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を複数枚並べて読み取ると、原稿づまりが発生する可能性があります。
A3 キャリアシートには、1 枚ずつ原稿をセットして読み取ることを推奨します。

いろいろな読み取り方

ここでは、スキャナーの動作や読み取り条件を設定して、画像読み取り用アプリケーションからスキャナーでいろいろな原稿を読み取る方法について説明します。

ここに記載のない原稿の読み取り方については、画像読み取り用アプリケーションやスキャナードライバーのヘルプを参照してください。

幅の違う原稿を読み取りたいとき

重要

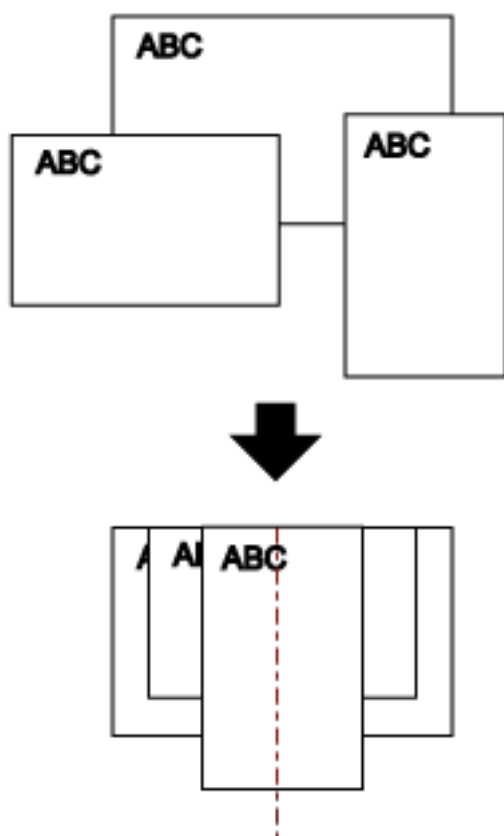
幅の違う原稿を一度にまとめて読み取ると、原稿幅の小さな原稿が傾いて搬送されるまたは搬送されないことがあります。

うまく読み取れない場合は、同じ幅の原稿ごとに分けて、別々に読み取ってください。

ヒント

原稿を混載して読み取る場合の原稿の条件は、[混載条件 \(90 ページ\)](#)を参照してください。

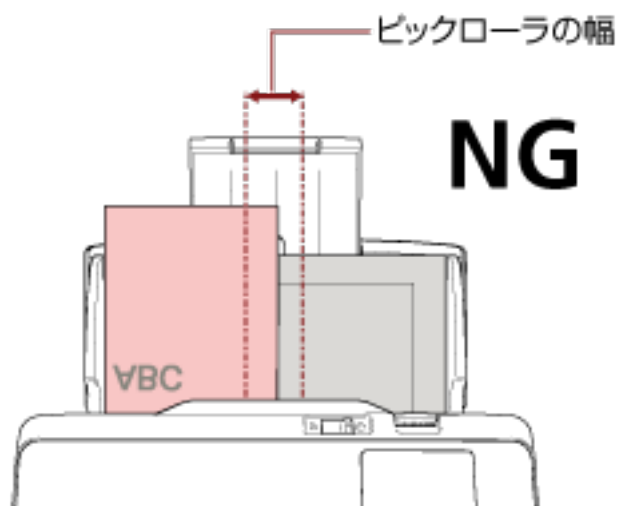
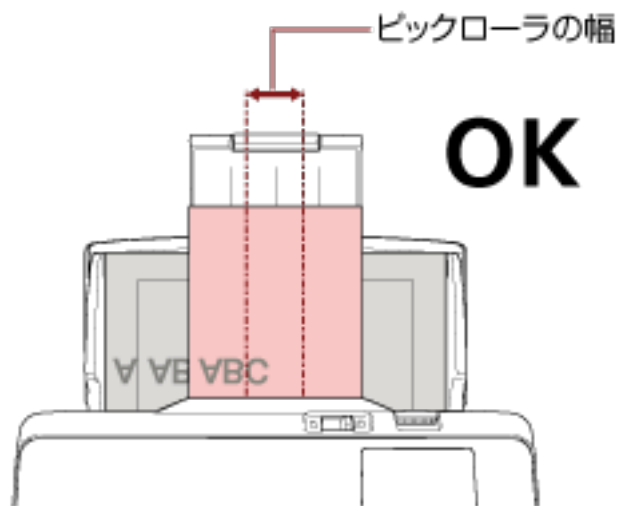
1 原稿の先端をそろえます。



2 ADF 給紙シュート (フィーダー) の中央に原稿をセットし、最も幅の広い原稿の両側がサイドガイドに接するようにサイドガイドを移動します。

重要

すべての原稿がピックアップローラ（中央）にかかるようにセットしてください。ピックアップローラから外れた位置に原稿があると、原稿が傾いて搬送されるまたは搬送されないことがあります。



3 最も長い原稿に合わせて、スタッカーを設定します。

詳細は、[スタッカーの設定 \(67 ページ\)](#)を参照してください。

4 スキャナードライバーで、用紙サイズを自動的に検出する読み取り条件を設定します。

詳細は、[スキャナードライバーのヘルプ](#)を参照してください。

5 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

詳細は、[画像読み取り用アプリケーションのヘルプ](#)を参照してください。

2つ折りの原稿を読み取りたいとき

給紙モードスイッチを左にスライドして、手差し・単送モードに切り替えると、2つに折り曲げた原稿（A3サイズ、ダブルレターサイズの2つ折りまで）をそのまま読み取れます。

重要

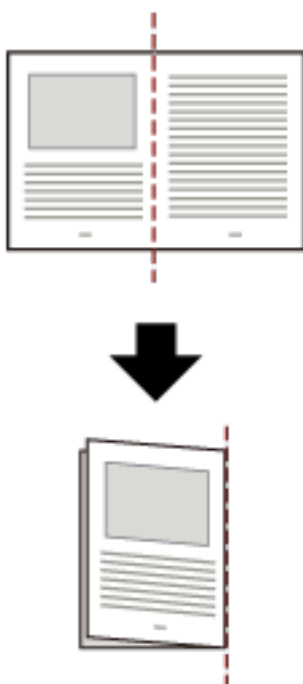
原稿を2つ折りにして読み取る場合、原稿の厚みによって原稿の折り曲げ部分がふくらんでいると、原稿が斜めに搬送されることがあります。

1 読み取り面が外側にくるように、原稿を中央から2つに折り曲げます。

原稿の折り曲げ部分がふくらまない程度まで、しっかりと折り曲げてください。

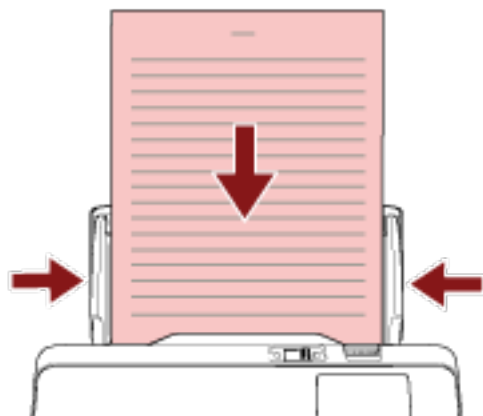
折り曲げ部分がふくらんだまま読み取ると、傾いて搬送され、画像の傾きの原因となります。

例

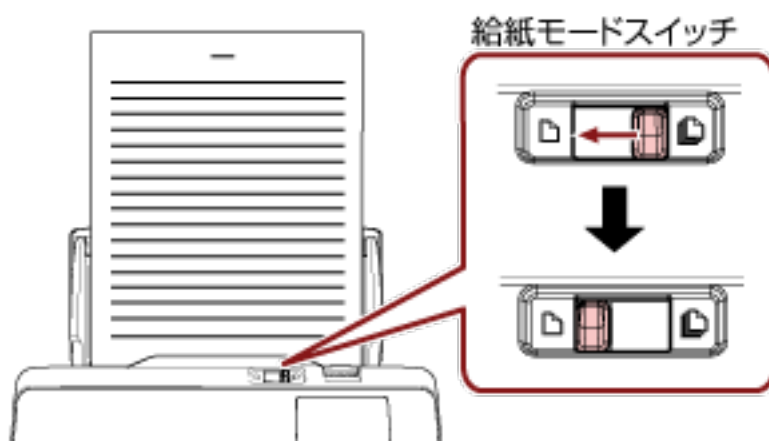


2 2つ折りの原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットします。

詳細は、[原稿のセット方法 \(80 ページ\)](#)を参照してください。



3 給紙モードスイッチを左にスライドして、手差し・単送モードにします。



タッチパネルの上部に「手差し・単送モード」と表示されます。

4 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

詳細は、[画像読み取り用アプリケーションのヘルプ](#)を参照してください。

重要

- 原稿を読み取っているときに、給紙モードスイッチを操作するとエラーになります。
- 給紙モードスイッチを手差し・単送モードにすると、原稿の重なりを超音波センサーで検出することはできません。

ヒント

ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がない状態でも、タッチパネルの「手差し」画面の「タイムアウト時間（秒）」で設定した時間内で原稿がセットされるのを待ちます。「手差し」画面は、次の手順で表示できます。



→ 「スキャナー設定」 → 「給紙/搬送」 → 「手差し」

Software Operation Panel の場合は、手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し）
(300 ページ)を参照してください。

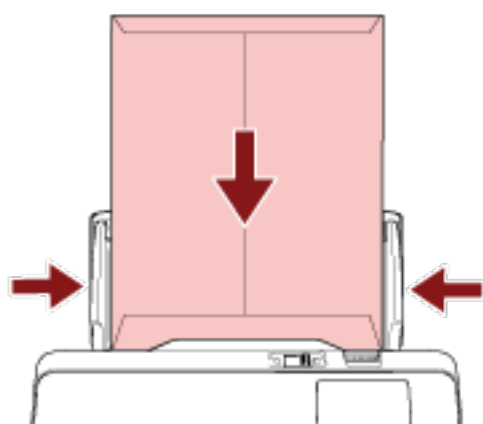
封筒や複数枚つづりの複写紙などの原稿を読み取りたいとき

給紙モードスイッチを左にスライドして、手差し・単送モードに切り替えると、封筒や複数枚つづりの複写紙などの原稿を読み取れます。

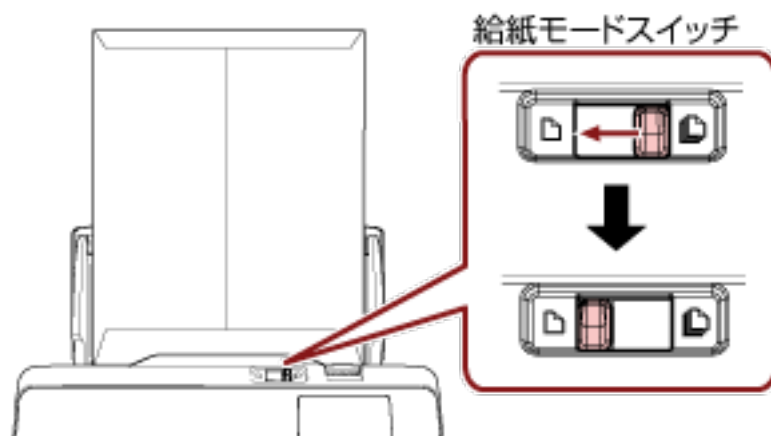
重要

読み取れる原稿の厚さは、[読み取りできる原稿 \(82 ページ\)](#)を参照してください。

- 1 ADF 給紙シュート (フィーダー) に原稿をセットします。
複数枚つづりの複写紙の場合は、つづられている側を下にしてセットしてください。
詳細は、[原稿のセット方法 \(80 ページ\)](#)を参照してください。



- 2 給紙モードスイッチを左にスライドして、手差し・単送モードにします。



タッチパネルの上部に「手差し・単送モード」と表示されます。

- 3 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。
詳細は、[画像読み取り用アプリケーションのヘルプ](#)を参照してください。

重要

- 原稿を読み取っているときに、給紙モードスイッチを操作するとエラーになります。

- 給紙モードスイッチを手差し・単送モードにすると、原稿の重なりを超音波センサーで検出することはできません。

ヒント

ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がない状態でも、タッチパネルの「手差し」画面の「タイムアウト時間（秒）」で設定した時間内で原稿がセットされるのを待ちます。「手差し」画面は、次の手順で表示できます。



→ 「スキャナー設定」 → 「給紙 / 搬送」 → 「手差し」

Software Operation Panel の場合は、[手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定（手差し）](#)（300 ページ）を参照してください。

写真や切り抜きなどの原稿を読み取りたいとき

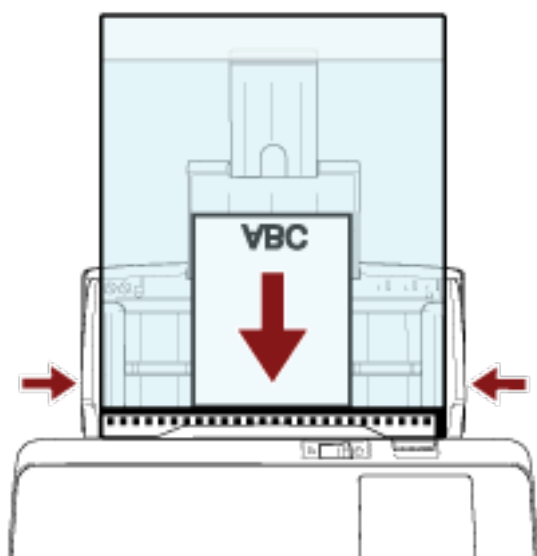
A3 キャリアシートを使用すると、傷つけたくない写真や、資料の切り抜きなどの原稿を読み取れます。

1 A3 キャリアシートに原稿をセットします。

A3 キャリアシートを開けて、原稿を A3 キャリアシートの幅方向に対して中央に置き、原稿の上端を A3 キャリアシートの上端に突き当ててはさんでください。



- 2 A3 キャリアシートの白黒のパターンが印刷された部分を下にし、原稿の読み取り面が ADF 給紙シート（フィーダー）側（下向き）になるようにして、ADF 給紙シート（フィーダー）にセットします。A3 キャリアシートをセットしたら、ずれないように、サイドガイドで固定してください。



- 3 スキャナードライバーで、A3 キャリアシート用の読み取り条件を設定します。
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- 4 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。
詳細は、画像読み取り用アプリケーションのヘルプを参照してください。

重要

- スキャナードライバーの「用紙サイズ」で指定されているサイズの中央に画像が配置されます。

- スキャナードライバーの「用紙サイズ」に「自動」が指定されている場合、「用紙サイズ」で指定可能な定型サイズの中から最適なサイズが指定されます。ただし、原稿によっては、出力される画像のサイズが原稿より小さくなったり、切れたりする場合があります。

例

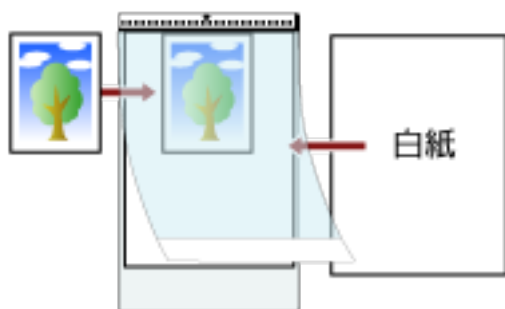
A4 サイズの原稿の中央に A5 サイズで印刷されている場合
→A5 サイズで出力されます。

原稿サイズと同じサイズで画像を出力したい場合は、「用紙サイズ」に原稿と同じサイズを指定してください。

ヒント

次のような現象が発生する場合は、原稿のうしろに白紙をはさんでください。

- スキャナードライバーの「用紙サイズ」に「自動」が指定されている場合、画像が原稿と同じサイズで出力されない。
- 画像に原稿の端の影が入る。
- 特殊な形に切り抜いた原稿を A3 キャリアシートにはさんだ場合、画像に原稿の形をした黒線が入る。
- 画像に原稿の外側の画像が含まれる。



長尺帳票を読み取りたいとき

給紙方向（長さ方向）が 5,588mm（220 インチ）までの原稿を読み取りできます。

解像度の設定や、画像読み取り用アプリケーションによっては、読み取りできる原稿サイズが異なります。詳細は、スキャナードライバーおよび画像読み取り用アプリケーションのヘルプを参照してください。

1 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。

詳細は、[原稿のセット方法 \(80 ページ\)](#)を参照してください。

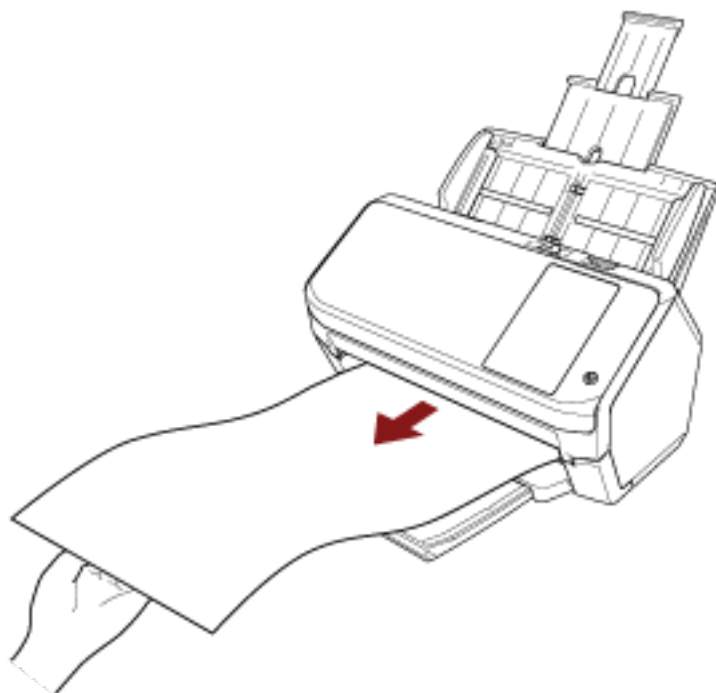
重要

- 長尺帳票は、1 枚ずつ ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットしてください。
- 長尺帳票を読み取る場合は、次のことに注意してください。
 - 原稿をセットするとき
原稿が ADF 給紙シュート（フィーダー）から落ちないように、原稿を手で押さえてください。



- 原稿が排出される時

スタッカー側に十分なスペースを設け、排出された原稿がスタッカーから落ちないように、手で受け取ってください。



ヒント

長尺帳票を読み取る場合は、次のようにしてください。

- シュートエクステンションを引き出します。
詳細は、[ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定（66 ページ）](#)を参照してください。
- スタッカーエクステンションを最後まで引き出します。
詳細は、[原稿の長さが、A6 横以上の場合（67 ページ）の手順 1](#)を参照してください。

2 スキャナードライバーで、長尺帳票用の読み取り条件を設定します。

詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

3 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのヘルプを参照してください。

手差しで原稿を読み取りたいとき

手差しとは、ADF 給紙シュート（フィーダー）に手で 1 枚ずつ原稿をセットして読み取る操作です。セットした原稿がなくなると、指定した時間だけ次の原稿がセットされるのを待ちます。指定した時間内に原稿がセットされると読み取りを継続し、セットされないと読み取りを終了します。

この方法で読み取ると、複数枚の原稿を 1 枚ずつ確認しながら読み取りできます。

手差しは、次のような場合に効果があります。

- 原稿に書かれている内容を確認しながら読み取る場合
- 原稿をまとめてセットして読み取ると、原稿が重なって搬送されたり、原稿づまりが発生してうまく読み取れない場合
- 雑誌や新聞の切り抜きなど、まとめてセットできない原稿を 1 枚ずつ続けて読み取りたい場合
- 2 つ折りの原稿、封筒、複数枚つづりの複写紙を、1 枚ずつ読み取る場合

1 スキャナーの設定をします。

- 複数枚の原稿を、手差しで読み取るとき

- タッチパネルの「手差し」画面で、「連送モード」を ON にして、「タイムアウト時間 (秒)」を設定します。

「手差し」画面は、次の手順で表示できます。



→ 「スキャナー設定」 → 「給紙 / 搬送」 → 「手差し」

Software Operation Panel の場合は、[手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定 \(手差し\) \(300 ページ\)](#)を参照してください。

- 2 つ折りの原稿、封筒、複数枚つづりの複写紙を、手差しで読み取るとき

- 給紙モードスイッチを左にスライドし、手差し・単送モードにします。

- タッチパネルの「手差し」画面で、「タイムアウト時間 (秒)」を設定します。「連送モード」の設定は無視され、「タイムアウト時間 (秒)」の設定だけが有効になります。「手差し」画面は、次の手順で表示できます。



→ 「スキャナー設定」 → 「給紙 / 搬送」 → 「手差し」

Software Operation Panel の場合は、[手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定 \(手差し\) \(300 ページ\)](#)を参照してください。

重要

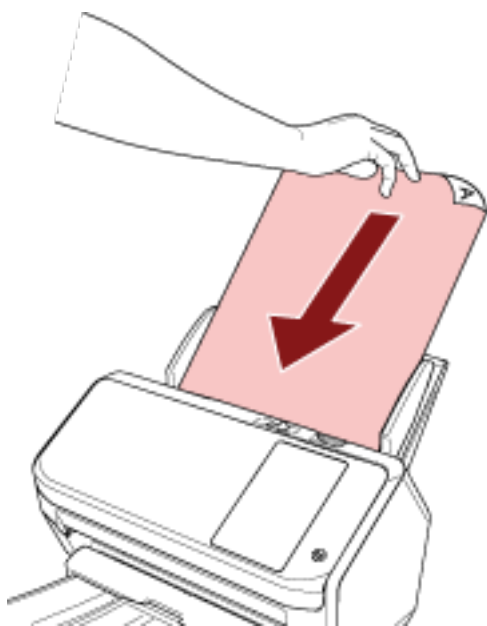
読み取れる原稿の厚さは、[読み取りできる原稿 \(82 ページ\)](#)を参照してください。

原稿を 2 つ折りにして読み取る場合、原稿の厚みによって原稿の折り曲げ部分がふくらんでいると、原稿が斜めに搬送されることがあります。

2 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。

原稿の表面（読み取り面）が下向きになるように、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。

複数枚つづりの複写紙の場合は、つづられている側を下にしてセットします。



3 画像読み取り用アプリケーションから原稿の読み取りを開始します。

詳細は、画像読み取り用アプリケーションのヘルプを参照してください。

読み取り後、タッチパネルまたは Software Operation Panel で指定したタイムアウト時間までは、ADF のローラーが回転したまま、次の原稿がセットされるまで待機します。

手差し・単送モードの場合は、ADF のローラーは回転しないで、次の原稿がセットされるまで待機します。

4 ADF 給紙シュート（フィーダー）に次の原稿をセットします。

5 読み取る原稿がなくなるまで、手順 4 を繰り返します。

タッチパネルまたは Software Operation Panel で指定したタイムアウト時間までに、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がセットされない場合、読み取りを終了します。

ヒント

- 次の原稿がセットされるのを待っている状態のときに、タッチパネルの [中止] ボタンを押すと、すぐに読み取りを終了できます。
- ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がない状態で読み取りを開始しても、タイムアウト時間まで原稿がセットされるのを待ちます。
- 頻繁に手差しで原稿を読み取ると、消耗品の交換周期が短くなる場合があります。

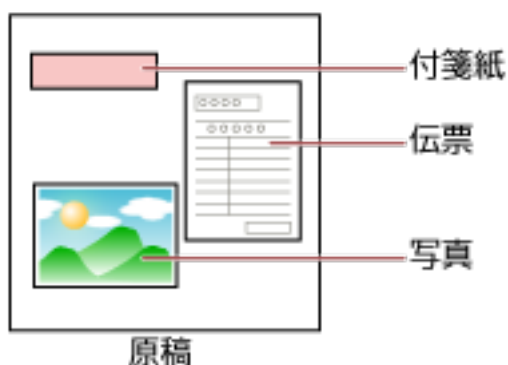
決まったパターンの原稿の重なりを検出したくないとき

読み取り中に原稿の重なりを検出する設定をしている場合、付箋紙、伝票、写真などの紙片が貼り付けてある原稿を読み取ると、原稿の重なりを検出して、読み取りが中断される場合があります。このような原稿の重なりを検出しないために、インテリジェントマルチフィード検出機能があります。

本機能には、原稿の重なりを検出するたびに手動で設定するモードと、原稿に貼り付けてある付箋紙、伝票、写真などの紙片の重なりパターン(長さや位置)を記憶し、それに基づいて自動で設定するモードがあります。

この設定を行うには、事前に原稿の重なりを検出する設定が必要です。

- スキャナードライバーの「マルチフィード検出」
設定の詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- タッチパネルの「マルチフィード検出」または Software Operation Panel の「マルチフィード」
タッチパネルでの設定の詳細は、[マルチフィード検出 \(237 ページ\)](#)を参照してください。
Software Operation Panel での設定の詳細は、[原稿の重なりを検出する方法の設定 \(マルチフィード\) \(290 ページ\)](#)を参照してください。



用途に応じて、次の3つの動作モードが用意されています。

動作モード	用途
手動で無効	原稿の重なりが検出されるたびに、重なりを検出するか、検出しないかを設定します。
自動で無効 (長さや位置)	原稿に貼ってある紙片の長さや位置が同じ場合に、自動的に重なりを検出しないときに設定します。
自動で無効 (長さ)	原稿に貼ってある紙片の長さが同じかそれよりも短い場合に、自動的に重なりを検出しないときに設定します。

タッチパネルの「インテリジェントマルチフィード検出」画面で、動作モードを選択します。

「インテリジェントマルチフィード検出」画面は、次の手順で表示できます。



→ 「スキャナー設定」 → 「給紙 / 搬送」 → 「インテリジェントマルチフィード検出」

Software Operation Panel の場合は、[決まったパターンの重なりを検出しない設定 \(インテリジェントマルチフィード設定\) \(298 ページ\)](#)を参照してください。

操作方法

- 1 「マルチフィード(重なり検出)」(コード「J2:55」)がタッチパネルに表示されたら、**【原稿排出】**ボタンを押して搬送路から原稿を排出するか、ADFを開けて原稿を取り除きます。
詳細は、[ADFの開け方\(64ページ\)](#)を参照してください。



注意

ADFが閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

- 2 ADFを開けて原稿を取り除いた場合は、ADFを閉じます。
詳細は、[ADFの閉じ方\(65ページ\)](#)を参照してください。



注意

ADFを閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

重要

ADFが完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿が搬送されない場合があります。

- 3 取り除いた原稿をADF給紙シュート(フィーダー)に戻します。
- 4 タッチパネルに、メッセージが表示されるので応答します。
「インテリジェントマルチフィード検出」画面で設定した動作モードに応じて、次の設定ができます。
 - 「手動で無効」の場合
 - 「マルチフィード検出を無効にする」
次に読み取る原稿で、原稿の重なりを検出するかどうかを選択します。
 - 「マルチフィード検出時の画像を残す」
原稿の重なりが発生したときに画像を保存するかどうかを選択します。
スキャナードライバーの設定によっては、表示されないこともあります。
 - 「自動で無効(長さ&位置)」の場合
 - 「重なりパターンを記憶する」
紙片の重なりパターンを記憶するかどうかを選択します。
 - 「マルチフィード検出時の画像を残す」
原稿の重なりが発生したときに画像を保存するかどうかを選択します。
スキャナードライバーの設定によっては、表示されないこともあります。
 - 「自動で無効(長さ)」の場合
 - 「重なりパターンを記憶する」
紙片の重なりパターンを記憶するかどうかを選択します。
 - 「マルチフィード検出時の画像を残す」
原稿の重なりが発生したときに画像を保存するかどうかを選択します。
スキャナードライバーの設定によっては、表示されないこともあります。

上記手順と「インテリジェントマルチフィード検出」画面で設定した動作モードによって、次のように動作します。

- 「手動で無効」の場合
次の原稿は、原稿の重なりを検出しないで読み取り、2枚目以降はスキャナードライバー、タッチパネルまたは Software Operation Panel の設定で原稿の重なりを検出します。
 - 「自動で無効 (長さと位置)」の場合
原稿の重なりとして検出された貼り付け紙片の長さや位置を記憶し、読み取りを続けます。それ以降は、同じ重なりパターンで検出された原稿は、原稿の重なりを検出しません (*1) (*2)。
 - 「自動で無効 (長さ)」の場合
原稿の重なりとして検出された貼り付け紙片で最も長いものを記憶し、読み取りを続けます。それ以降は、同じ重なりパターンか、それよりも短い重なりで検出された原稿は、原稿の重なりを検出しません (*2)。
- *1 : 「重なりパターンの記憶」の「電源切断時」を有効にした場合、記憶した重なりパターンの中で、最新の 8 枚だけが記憶されます。
- *2 : ここで記憶された重なりパターンは、タッチパネルの「インテリジェントマルチフィード検出」画面または Software Operation Panel から消去できます。誤って記憶された重なりパターンを消去できますが、記憶しているパターンすべてが消去されるため、注意して操作してください。

原稿保護機能（ペーパープロテクション）を無効にしたいとき

原稿保護機能（ペーパープロテクション）を有効にして、しわが多く寄っている原稿を読み取ると、正常に搬送しているときでも、原稿づまりのエラーが発生して読み取りが中断される場合があります。このような場合は、保護された原稿を再度読み取りするときだけ原稿保護機能を無効にできます。

操作方法

- 1 「原稿保護（つまり音）」（コード「J0:37」）または「原稿保護（たわみ）」（コード「J0:51」）がタッチパネルに表示されたら、ADFを開けて原稿を取り除きます。
詳細は、[ADFの開け方（64ページ）](#)を参照してください。



注意

ADFが閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

- 2 ADFを閉じます。
詳細は、[ADFの閉じ方（65ページ）](#)を参照してください。



注意

ADFを閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

重要

ADFが完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿が搬送されない場合があります。

- 3 取り除いた原稿をADF給紙シュート（フィーダー）に戻します。
- 4 タッチパネルにメッセージが表示されるので応答します。
次の設定ができます。

次の読み取りだけ原稿を保護しない

保護された原稿を読み取り直すときに、原稿保護を無効にするかどうかを選択します。

- 5 [Scan] ボタンを押します。
原稿の読み取りが開始されます。
1枚目の原稿だけ、原稿保護機能が無効になります。2枚目の原稿からは、原稿保護機能が有効になります。

ヒント

原稿保護のエラーが、頻りにタッチパネルに表示される場合は、[原稿保護が頻りに起こる（210ページ）](#)を参照してください。

原稿の枚数をカウントしたいとき

原稿の画像は出力せずに枚数だけのカウントできます。

原稿枚数が多いときに、原稿の枚数を把握するときに使用します。

1 スキャナーの電源を投入します。

詳細は、[電源の投入 \(57 ページ\)](#)を参照してください。

2 給紙モードスイッチが右側にスライドされていることを確認します。

給紙モードスイッチが手差し・単送モードの場合はカウントできません。

3 タッチパネルの → 「給紙 / 搬送」 → 「原稿枚数カウント」を押します。

「原稿枚数カウント」画面が表示されます。

4 ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットします。

詳細は、[原稿のセット方法 \(80 ページ\)](#)を参照してください。

5 タッチパネルの【開始】ボタンを押します。

スキャナーにセットした原稿の枚数がカウントされます。

「原稿枚数カウント」画面に原稿枚数が表示されます。

重要

カウント中に原稿が重なって搬送された場合、正しくカウントできないことがあります。



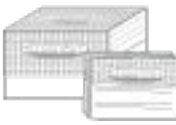
日常のお手入れ

ここでは、スキャナーの清掃方法について説明します。

注意

- エアスプレーおよびアルコールを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、紙粉やほこりがスキャナー内部に侵入し、故障や装置異常の原因となることがあります。
また、静電気によるスパーク（火花）によって引火するおそれがあります。
- スキャナーを使用しているときは、ADF 内部が高温になります。
ADF 内部を清掃する場合は、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて15分以上待って、温度が下がってから清掃してください。

清掃用品

品名	型名	備考
クリーナ F1 	FI-C100CF1	1 本（100ml） よごれを落とすためのクリーナー液です。
クリーニングペーパー 	FI-C100CP	1 パック（10 枚入り） スキャナーの内部を簡易的に清掃できます。 クリーナ F1 を吹き付けて、原稿と同じようにスキャナーで読み取って使用します。
クリーニングワイブ 	FI-C100CW	1 箱（24 袋入り） クリーナ F1 をしみこませたウェットティッシュタイプのクリーナーです。クリーナ F1 を布にしみこませる代わりに、本品を使用できます。
綿棒	市販のもの	超音波センサーなどの細かい箇所の清掃に使用します。
乾いた布		よごれをふき取るための布です。少量のクリーナ F1 をしみこませて使用します。
ScanAid (*1)	FI-728SA	-

*1：ScanAidの詳細は、[スキャナーのオプション \(314 ページ\)](#)を参照してください。

重要


清掃用品を正しく安全に使用していただくために、清掃用品に記載されている注意事項をよくお読みください。

清掃用品の詳細は、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU PFU ダイレクト \(327 ページ\)](#)にお問い合わせください。

清掃箇所と清掃頻度

清掃箇所		清掃頻度
スキャナー内部（ADF 内部）	ブレイキローラ	5,000 枚の読み取りごとに清掃してください。
	ピックローラ	
	プラスチックローラー	
	ガラス	
	超音波センサー	
	原稿検知センサー	
	フィードローラー	
	排出ローラー	
スキャナー外部	スキャナー本体	ほこりやよごれが目立ったら清掃してください。
	タッチパネル	

スキャナー内部（ADF 内部）は、読み取り枚数ごとに定期的な清掃が必要です。スキャナーでは、読み取った原稿の枚数が記録されているので、前回清掃してからの読み取り枚数を確認できます。読み取り枚数の確認手順は、次のとおりです。

- 1 タッチパネルで、 → 「清掃 / 点検」 → 「枚数カウンター」の順に押します。
- 2 「枚数カウンター」画面で、「清掃後」の表示を確認します。
 - カウンターの背景が黄色の場合
そろそろ清掃が必要な時期です。
 - カウンターの背景が赤色の場合
清掃周期がきました。清掃してください。

Software Operation Panel で確認したい場合は、[枚数カウンタに関する設定 \(267 ページ\)](#)を参照してください。

重要

原稿の状態によっては、清掃周期が短くなる場合があります。また、次のような原稿を読み取る場合は、頻繁に清掃する必要があります。

- コート紙のように表面が滑らかな原稿
- ほぼ全面に印刷してある原稿
- ノーカーボン紙のように特殊加工してある原稿
- カルシウムを多く含む原稿
- 鉛筆書きの原稿

- トナーが十分定着していない原稿

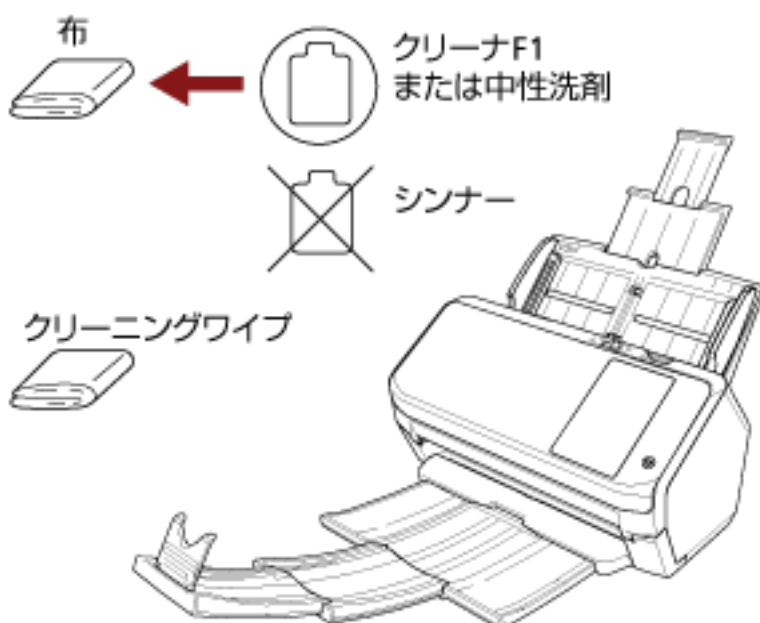
スキャナー外部の清掃

● スキャナー本体

スキャナー本体（ADF 給紙シュート（フィーダー）、スタッカーなど）は、乾いた布や、少量のクリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。

重要

- シンナーなどの有機溶剤は、決して使用しないでください。変形、変色するおそれがあります。
- 清掃中に、スキャナー内部に水分が入らないように注意してください。
- クリーナ F1 または中性洗剤を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってください。



● タッチパネル

タッチパネルの表面に、ほこりやよごれがある場合は、乾いた柔らかい布で定期的に軽くふいてください。

タッチパネルは、慎重に取り扱ってください。表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

重要

水分を含んだ布などで、タッチパネルをふかないでください。

タッチパネルとスキャナー本体の境目に、タッチパネル表面に付着したほこりが固まって入り込み、タッチパネルが誤動作する原因となります。

スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（クリーニングペーパーによる場合）

ADF 内部は、クリーナ F1 を吹き付けたクリーニングペーパーで清掃します。

原稿の読み取りを繰り返していると、ADF 内部に、紙粉やほこりがたまり、読み取り不良の原因となる場合があります。ADF 内部の清掃は、目安として、原稿を 5,000 枚読み取るごとに行ってください。ただし、この目安は読み取る原稿によって変わります。例えば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となることがあります。

重要

- ADF 内部を清掃するときは、水や中性洗剤を使用しないでください。
- クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量をクリーニングペーパーにしみこませて使用してください。

1 スキャナーの電源を投入します。

詳細は、[電源の投入 \(57 ページ\)](#)を参照してください。

2 タッチパネルで、 → 「清掃 / 点検」 → 「クリーニング」 → 「クリーニングペーパー」の順に押します。

「クリーニングペーパー」画面が表示されます。

重要

清掃中に、画像読み取り用アプリケーションからの読み取りは開始しないでください。

3 クリーナ F1 をクリーニングペーパーに吹き付けます。

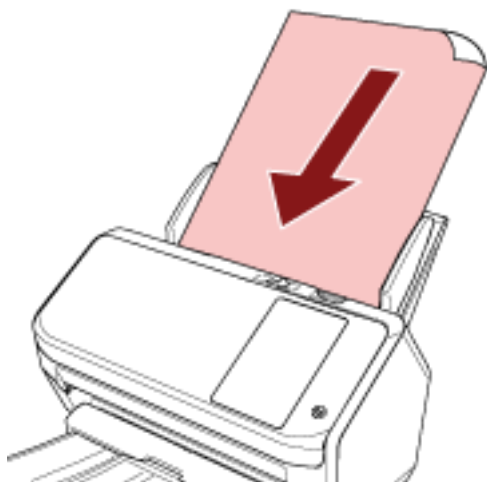
4 クリーニングペーパーの長さに合わせて、シュートエクステンションを引き上げます。

詳細は、[ADF 給紙シュート（フィーダー）の設定 \(66 ページ\)](#)を参照してください。

5 クリーニングペーパーの長さに合わせて、スタッカーを設定します。

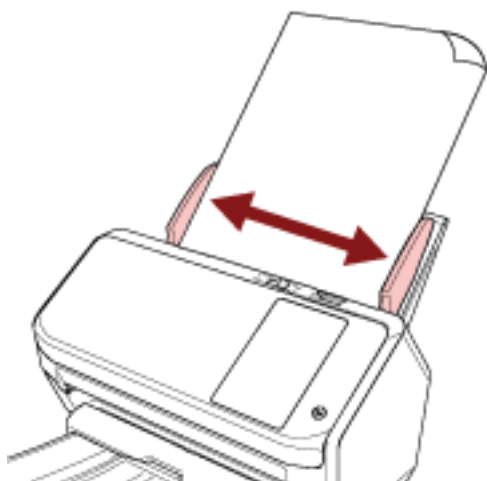
詳細は、[原稿の長さが、A6 横以上の場合 \(67 ページ\)](#)を参照してください。

6 ADF 給紙シュート（フィーダー）にクリーニングペーパーをセットします。



7 クリーニングペーパーの幅に合わせて、サイドガイドを移動します。

サイドガイドを動かして、サイドガイドとクリーニングペーパーの間に隙間ができないようにします。サイドガイドとクリーニングペーパーの間に隙間があると、クリーニングペーパーが斜めに搬送されることがあります。



8 タッチパネルで、「クリーニングペーパー」画面の【開始】ボタンを押します。

クリーニングペーパーが搬送され、スタッカーに排出されます。

9 清掃後の読み取り枚数のカウンターをクリアします。

a タッチパネルで、 → 「清掃 / 点検」 → 「枚数カウンター」の順に押します。

b 「枚数カウンター」画面で、「清掃後」の【クリア】ボタンを押します。

Software Operation Panel の場合は、[枚数カウンタのクリア \(269 ページ\)](#)を参照してください。

スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（布による場合）

ADF 内部は、少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで清掃します。

原稿の読み取りを繰り返していると、ADF 内部に、紙粉やほこりがたまり、読み取り不良の原因となる場合があります。ADF 内部の清掃は、目安として、原稿を 5,000 枚読み取るごとに行ってください。ただし、この目安は読み取る原稿によって変わります。例えば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となる場合があります。



注意

スキャナーを使用しているときは、ADF 内部が高温になります。

ADF 内部を清掃する場合は、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待って、温度が下がってから清掃してください。

重要

- ADF 内部を清掃するときは、水や中性洗剤を使用しないでください。
- クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。少量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナー液が残らないようによくふき取ってください。

1 スキャナーの電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待ちます。

詳細は、[電源の切断 \(58 ページ\)](#)を参照してください。

2 ADF を開けます。

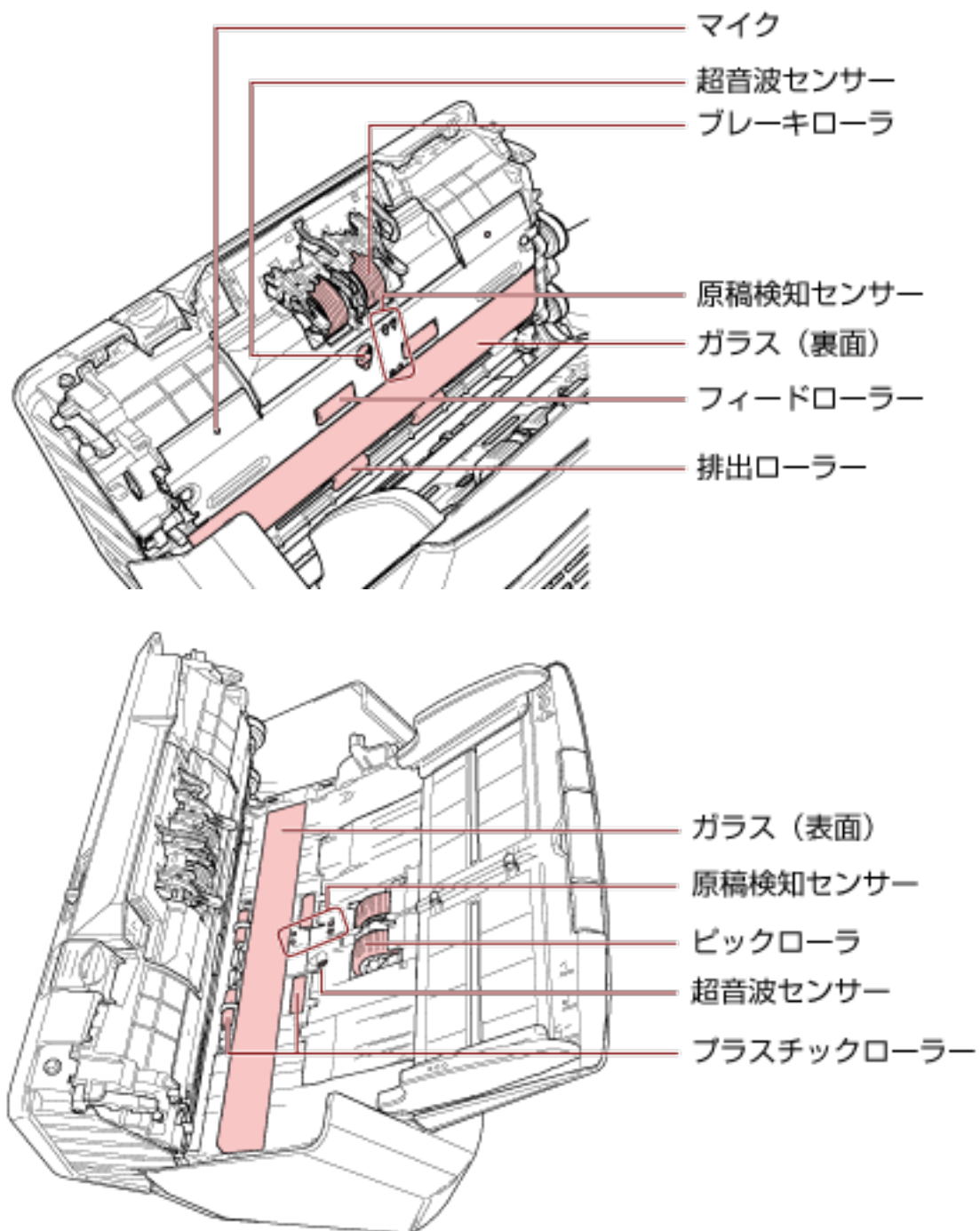
詳細は、[ADF の開け方 \(64 ページ\)](#)を参照してください。



注意

ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

3 少量のクリーナ F1 をしみこませた布やクリーニングワイプで、次の場所を清掃します。

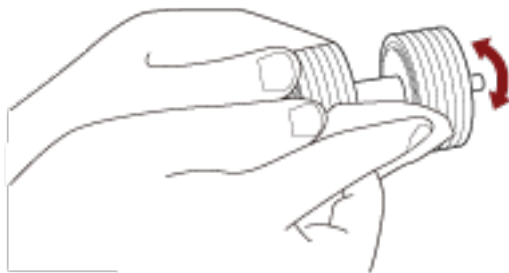


ブレーキローラ (2 か所)

ブレーキローラはスキャナーから取り外して清掃します。

ブレーキローラの取り外し方法は、[ブレーキローラの交換 \(130 ページ\)](#)を参照してください。

ローラーの表面をいためないように、ローラー表面の溝に沿ってよごれやほこりを軽くふき取ります。



ピックアップローラ（2 か所）

手で回転させながら、ローラーの表面をいためないように、ローラー表面の溝に沿ってよごれやほこりを軽くふき取ります。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出るので、十分にふき取ってください。


プラスチックローラー（4 か所）

ローラーの表面をいためないように、よごれやほこりを軽くふき取ります。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出るので、十分にふき取ってください。
プラスチックローラーに取り付けてあるスポンジをいためないように注意してください。

ガラス（2 か所）

ガラス面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。

重要

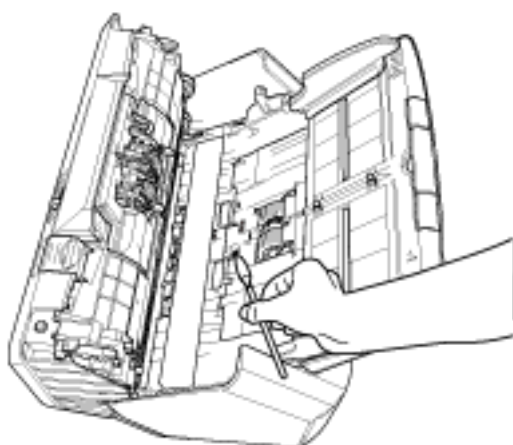
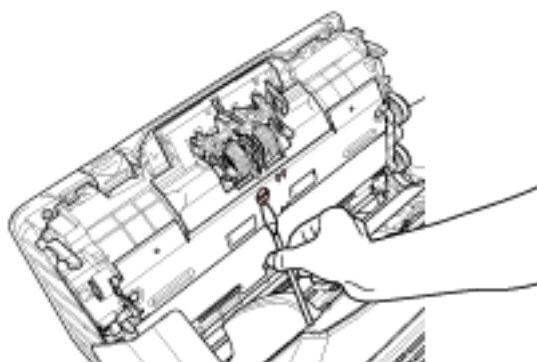
- ガラス面がよごれていると、画像に縦線（縦筋）が出ることがあります。
- タッチパネルの  に「ガラス清掃」のメッセージが通知された場合は、よごれているガラス面を確認してから清掃してください。
なお、よごれているガラス面が片方だけの場合、清掃しても「ガラス清掃」のメッセージが通知されることがあります。その場合は、両方のガラス面を清掃してください。

超音波センサー（2 か所）/原稿検知センサー（8 か所）

超音波センサー/原稿検知センサーの表面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。

ヒント


ふき取りにくい場合は、綿棒を使用して清掃してください。



フィードローラー (2 か所) / 排出ローラー (2 か所)

フィードローラー/排出ローラーは、電源を投入して回転させながら清掃します。

- a 電源ケーブルをコンセントに接続し、スキャナーの電源を投入します。
詳細は、[電源の投入 \(57 ページ\)](#)を参照してください。

- b タッチパネルで、 → 「清掃 / 点検」 → 「クリーニング」 → 「クリーニングワイプ」の順に押します。
「クリーニングワイプ」画面が表示されます。

重要

清掃中に、画像読み取り用アプリケーションからの読み取りは開始しないでください。

- c ADF を開けます。
詳細は、[ADF の開け方 \(64 ページ\)](#)を参照してください。



注意

ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

- d タッチパネルで、「クリーニングワイプ」画面の【開始】ボタンを押します。フィードローラー/排出ローラーが、同時に一定量回転します。また、【開始】ボタンを押し続けると、フィードローラー/排出ローラーが、連続して回転します。



注意

回転中のローラーに直接手が触れないように、注意してください。

- e 少量のクリーナー F1 をしみこませた布やクリーニングワイプを、回転しているフィードローラー/排出ローラー表面に押し当てて左右にこすり、ローラー全域のよごれやほこりをふき取ります。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出るので、十分にふき取ってください。

4 ADF を閉じます。

詳細は、[ADF の閉じ方 \(65 ページ\)](#)を参照してください。



注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

重要

ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿が搬送されない場合があります。

5 清掃後の読み取り枚数のカウンターをクリアします。



- a タッチパネルで、 → 「清掃 / 点検」 → 「枚数カウンター」の順に押します。

- b 「枚数カウンター」画面で、「清掃後」の【クリア】ボタンを押します。

Software Operation Panel の場合は、[枚数カウンタのクリア \(269 ページ\)](#)を参照してください。

A3 キャリアシートの清掃

A3 キャリアシートは、乾いた布や、少量のクリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布やクリーニングワイブで清掃します。

A3 キャリアシートの表面や内部のよごれやほこりを、軽くふき取ります。

A3 キャリアシートを繰り返し使用しているうちに、表面や内部によごれやほこりが付着する場合があります。

そのまま使い続けると、読み取り不良の原因となる場合がありますので、定期的に清掃してください。

重要

- A3 キャリアシートに折り目が付かないよう注意してください。
- シンナーなどの有機溶剤は、決して使用しないでください。変形、変色するおそれがあります。
- 強くこすらないでください。A3 キャリアシートが傷ついたり、変形したりするおそれがあります。
- A3 キャリアシートの内部を、クリーナ F1 または中性洗剤をしみこませた布やクリーニングワイブで清掃したあとは、十分乾かしてから A3 キャリアシートを閉じてください。
- A3 キャリアシートは、目安として、500 回読み取るごとに交換することを推奨します。
A3 キャリアシートの購入については、[株式会社 PFU PFU ダイレクト \(327 ページ\)](#)にお問い合わせください。

消耗品の交換

ここでは、スキャナーの消耗品の交換について説明します。



注意

スキャナーを使用しているときは、ADF 内部が高温になります。

消耗品を交換する場合は、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待って、温度が下がってから交換してください。


消耗品と交換周期

品名	型名	交換周期（目安）
ブレーキローラ 	FI-C728BR	200,000 枚または 1 年ごとに交換
ピックローラ 	FI-C728PR	200,000 枚または 1 年ごとに交換
ScanAid (*1)	FI-728SA	-

*1：ScanAid の詳細は、[スキャナーのオプション \(314 ページ\)](#)を参照してください。

消耗品は定期的な交換が必要です。寿命前に消耗品を準備されることを推奨します。また、スキャナーには、消耗品（ブレーキローラおよびピックローラ）ごとに、読み取った原稿の枚数が記録されているので、消耗品の交換時期を確認できます。

読み取った原稿の枚数の確認手順は、次のとおりです。

- 1 タッチパネルで、 → 「清掃 / 点検」 → 「枚数カウンター」の順に押します。
- 2 「枚数カウンター」画面で、「ブレーキローラ交換後」または「ピックローラ交換後」の表示を確認します。
 - カウンターの背景が黄色の場合
そろそろブレーキローラまたはピックローラの交換が必要な時期です。
 - カウンターの背景が赤色の場合
ブレーキローラまたはピックローラの交換時期がきました。ブレーキローラまたはピックローラを交換してください。

Software Operation Panel で確認したい場合は、[枚数カウンタに関する設定 \(267 ページ\)](#)を参照してください。

交換周期は、A4 原稿 80g/m² (69kg/連) の上質紙または中質紙を使用した場合の目安であり、使用する原稿、お客様の使用頻度、および清掃の頻度によって異なります。

ヒント

当社指定の消耗品以外は使用しないでください。

消耗品の購入については、[株式会社 PFU PFU ダイレクト \(327 ページ\)](#)にお問い合わせください。

ブレーキローラの交換

ブレーキローラを交換する手順を次に示します。

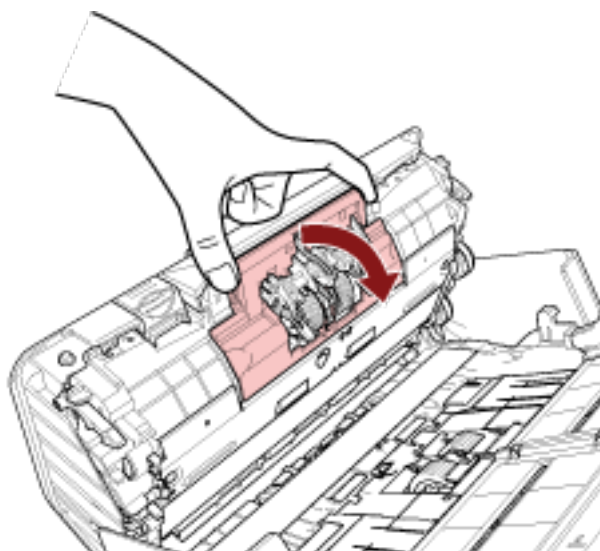
- 1 スキャナーの電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待ちます。
詳細は、[電源の切断 \(58 ページ\)](#)を参照してください。
- 2 ADF 給紙シュート (フィーダー) の上にある原稿を取り除きます。
- 3 ADF を開けます。
詳細は、[ADF の開け方 \(64 ページ\)](#)を参照してください。



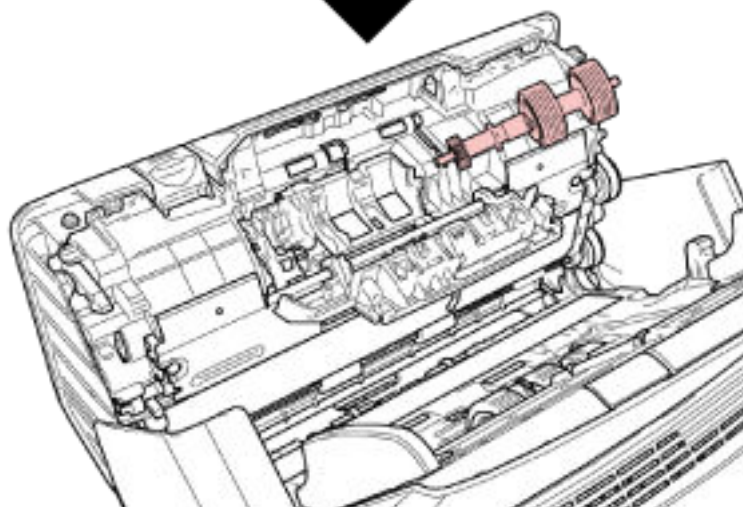
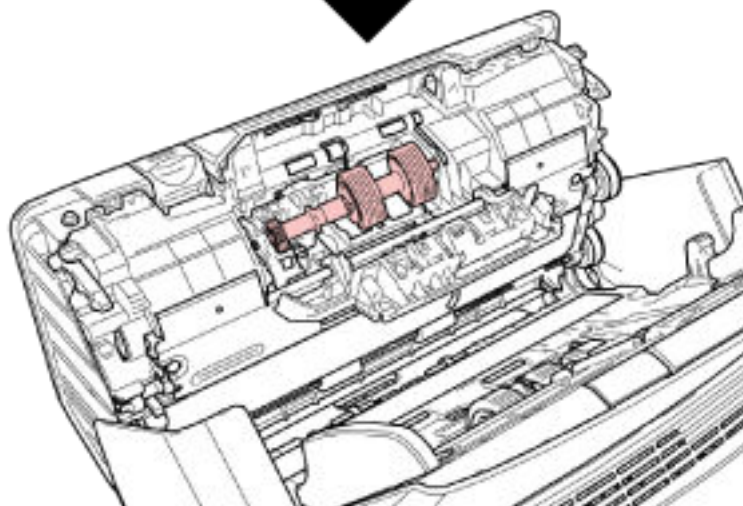
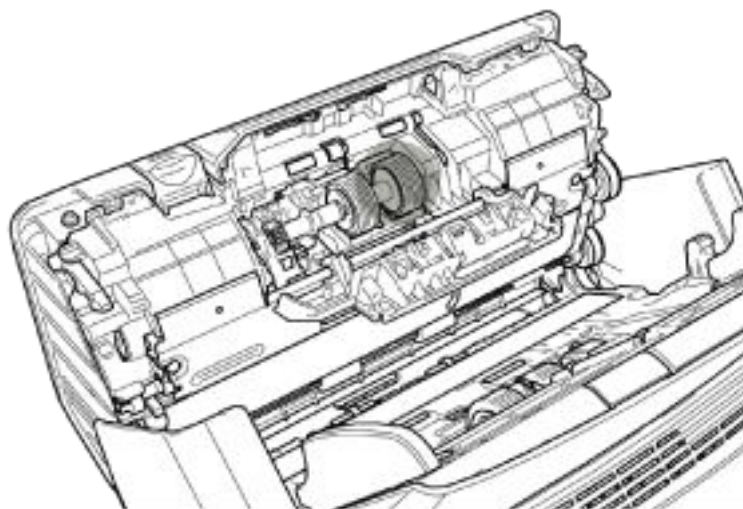
注意

ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

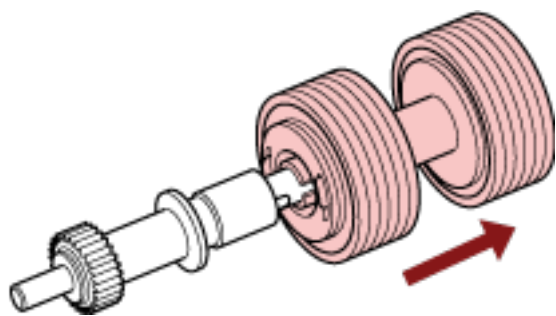
- 4 ブレーキローラ軸を取り外します。
 - a ブレーキローラのカバーの左右側面をつまんで、矢印の方向に開けます。



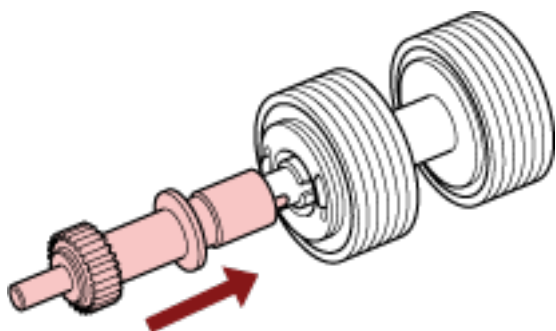
b ブレーキローラを持ち上げて軸の右側を外し、軸の左側を穴から抜き取ります。



5 ブレーキローラを、ブレーキローラ軸から取り外します。

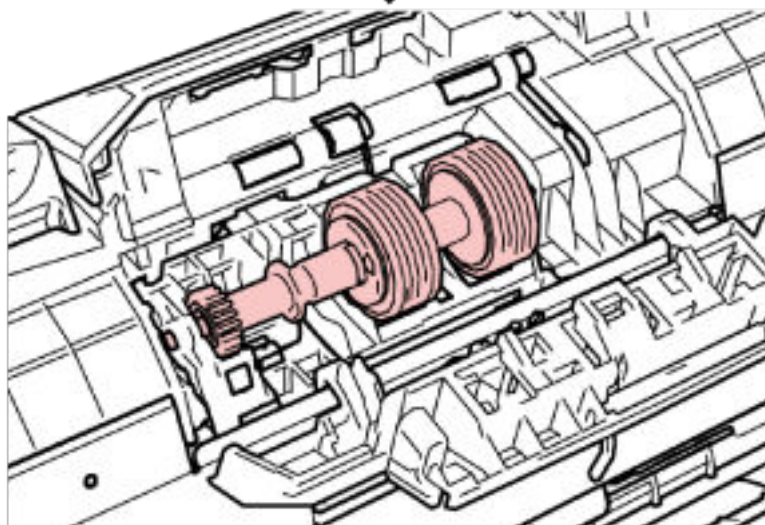
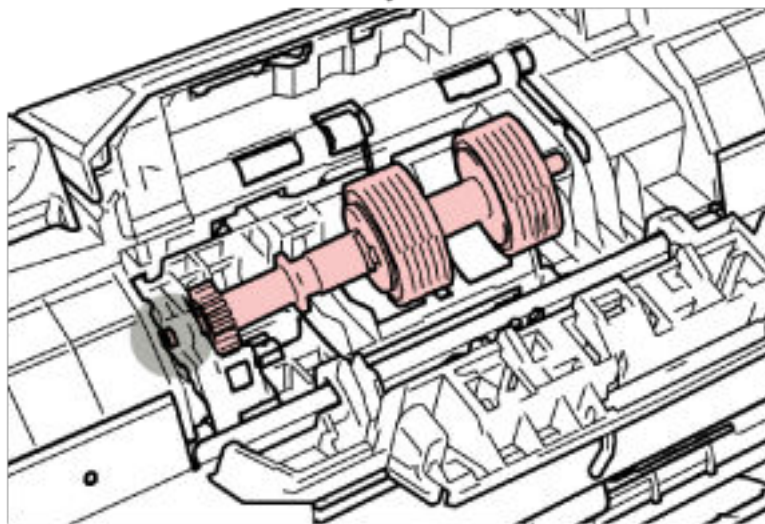
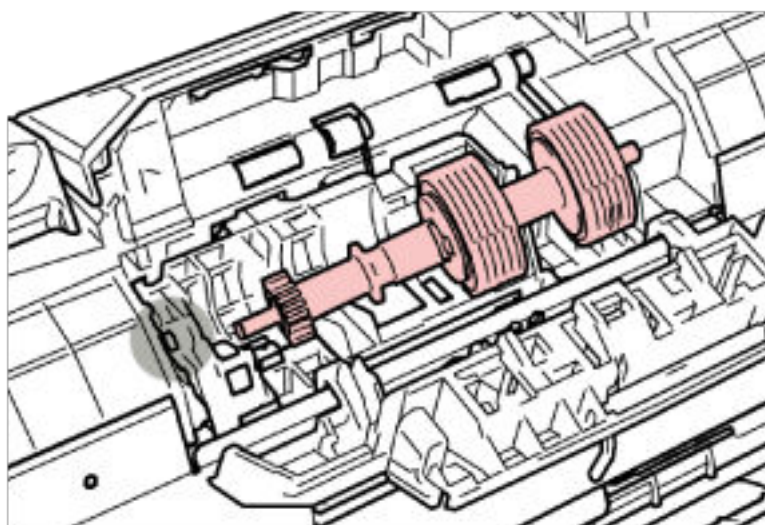


6 新しいブレーキローラを、ブレーキローラ軸に取り付けます。
 ブレーキローラ軸の突起部分とブレーキローラの溝を合わせて差し込みます。



7 ブレーキローラ軸を取り付けます。

- a ブレーキローラ軸の先端を、穴の形状に合わせて差し込んでから、軸の右側を取り付けます。



b ブレーキローラのカバーを閉じます。

重要

ブレーキローラ軸がしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

8 ADF を閉じます。

詳細は、[ADF の閉じ方 \(65 ページ\)](#)を参照してください。



注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

9 電源ケーブルをコンセントに接続し、スキャナーの電源を投入します。

詳細は、[電源の投入 \(57 ページ\)](#)を参照してください。

10 ブレーキローラのカウンターをクリアします。

a タッチパネルで、 → 「清掃 / 点検」 → 「枚数カウンター」の順に押します。

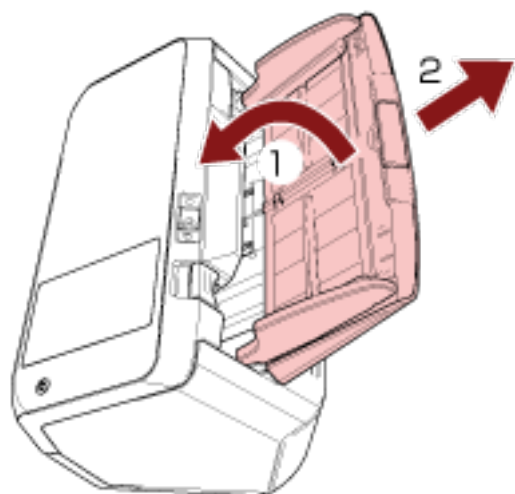
b 「枚数カウンター」画面で、「ブレーキローラ交換後」の [クリア] ボタンを押します。

Software Operation Panel でカウンターをクリアする場合は、[枚数カウンタのクリア \(269 ページ\)](#)を参照してください。

ピックアップローラの交換

ピックアップローラを交換する手順を次に示します。

- 1 スキャナーの電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待ちます。
詳細は、[電源の切断 \(58 ページ\)](#)を参照してください。
- 2 ADF 給紙シュート (フィーダー) の上にある原稿を取り除きます。
- 3 ADF 給紙シュート (フィーダー) を取り外します。
ADF 給紙シュート (フィーダー) の両端を持って、1 の矢印方向に持ち上げながら、2 の矢印方向に引き上げます。



- 4 ADF を開けます。
詳細は、[ADF の開け方 \(64 ページ\)](#)を参照してください。

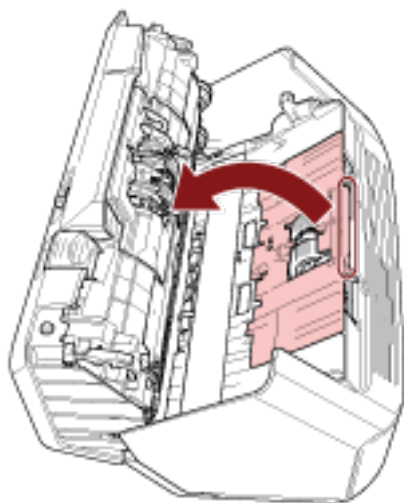


注意

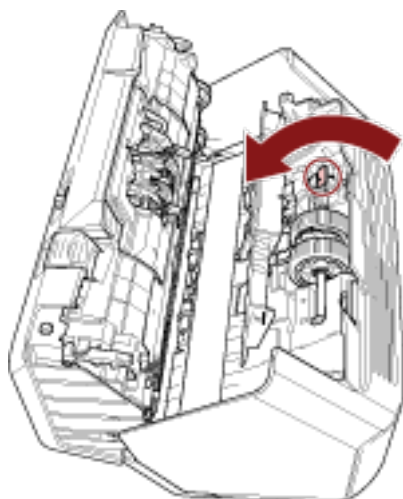
ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

- 5 ピックローラ軸を取り外します。

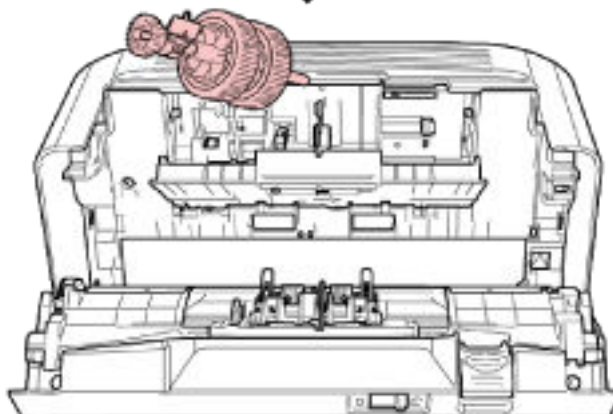
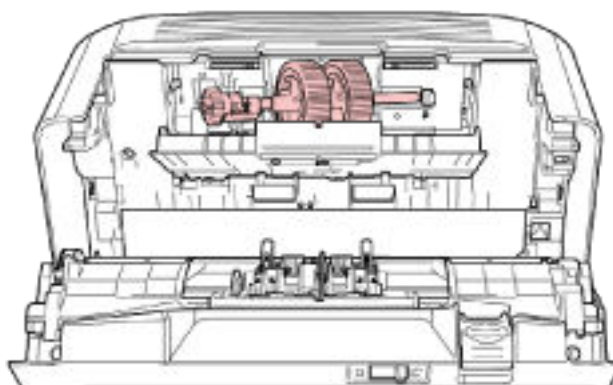
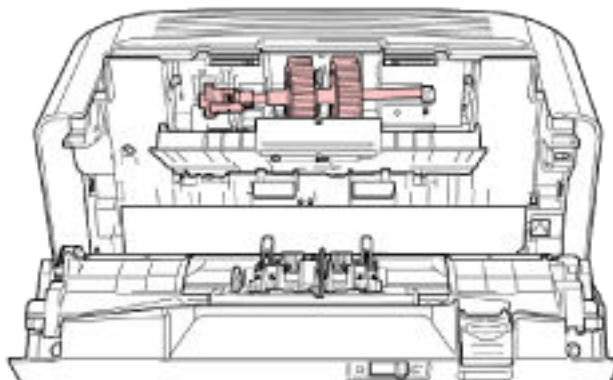
a シートガイドの取っ手を上に持ち上げて、シートガイドを開けます。



b ピックローラ軸のレバーを、矢印の方向に回転させます。



- c ピックローラ軸のレバーを軽く引き上げ、ピックアップ軸の先端を穴から抜いたあと、持ち上げて取り外します。

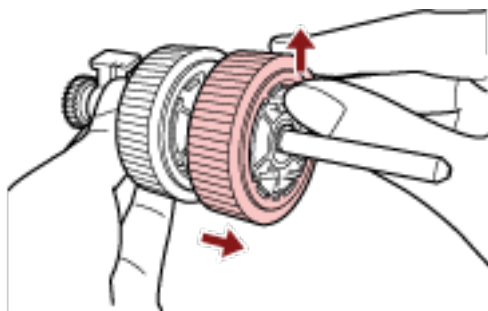


重要

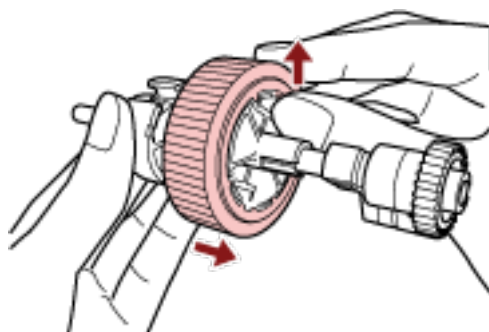
ピックアップ軸のレバーのそばにあるギヤにはグリース（油）が付いていますので、触らないように注意してください。

6 ピックローラ（2個）を1個ずつ、ピックアップ軸から取り外します。

a ピックローラのツメを持ち上げながら、ピックアップ軸から引き抜きます。

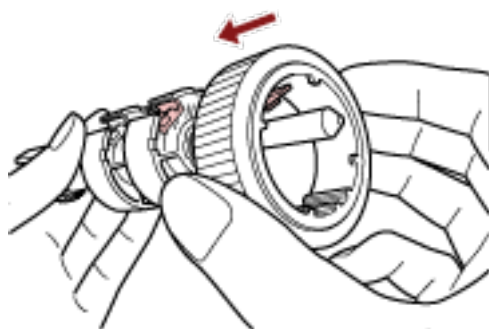


b もう一方のピックアップローラもピックアップローラのツメを持ち上げながら、ピックアップ軸から引き抜きます。

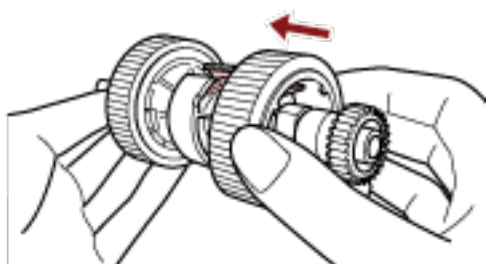


7 新しいピックアップローラ（2個）を1個ずつ、ピックアップ軸に取り付けます。

a ピックローラのツメとピックアップ軸の溝を合わせて差し込みます。



b もう一方のピックアップローラもピックアップローラのツメとピックアップ軸の溝を合わせて差し込みます。

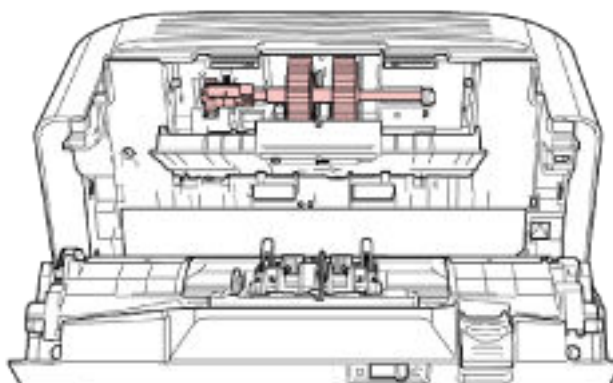
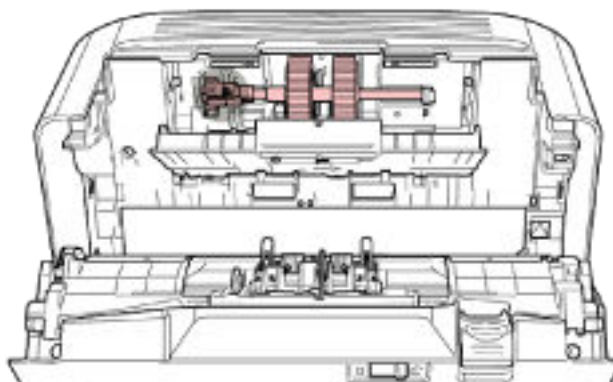
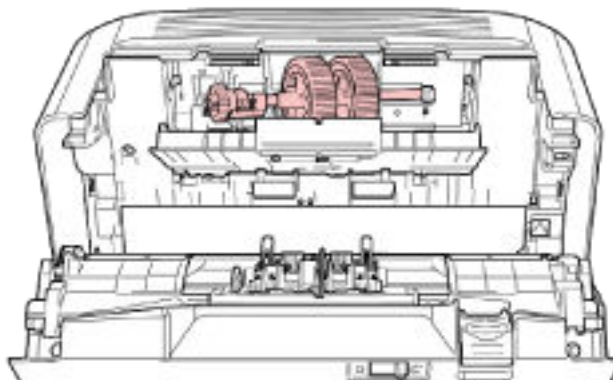


重要

ピックアップが完全に取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。
なお、ピックアップは取り付けるとき、「カチッ」という音になります。音がなるまで差し込んでください。

8 ピックローラ軸を取り付けます。

- a ピックローラ軸のレバーを持ち、先端を右側の穴に斜め上からはめます。レバー側の軸を下げ、全体をはめ込み、レバーを手前から奥に向けて回転させて固定します。



- b シートガイドを閉じます。シートガイドの両側が確実に固定しているか確認してください。

重要

ピックアップ軸がしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

9 ADF を閉じます。

詳細は、[ADF の閉じ方 \(65 ページ\)](#)を参照してください。

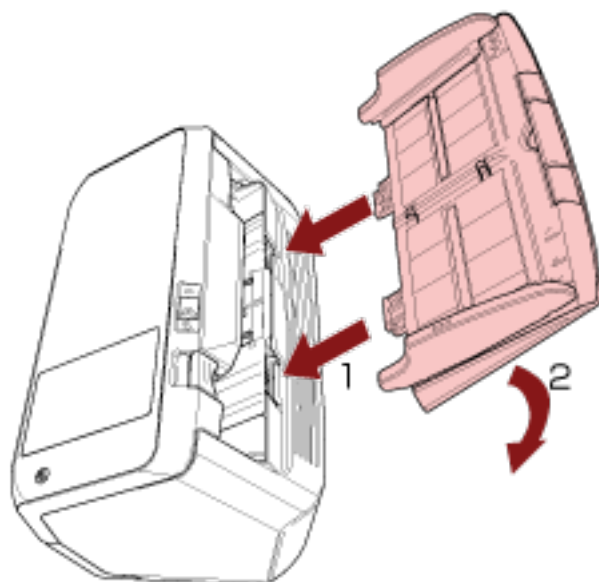


注意

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

10 ADF 給紙シュート (フィーダー) を取り付けます。

スキャナー背面にある穴に ADF 給紙シュート (フィーダー) のツメが入るように、1 の矢印方向に差し込み、2 の矢印方向に引き下げてしっかり固定します。サイドガイドのある面が上になるように取り付けます。




重要

ADF 給紙シュート (フィーダー) はスキャナーとの隙間がないようにしっかり差し込んでください。

11 電源ケーブルをコンセントに接続し、スキャナーの電源を投入します。

詳細は、[電源の投入 \(57 ページ\)](#)を参照してください。

12 ピックローラのカウンターをクリアします。

- a **タッチパネルで、**  → 「清掃 / 点検」 → 「枚数カウンター」の順に押します。
- b 「枚数カウンター」画面で、「ピックアップローラー交換後」の [クリア] ボタンを押します。

Software Operation Panel でカウンターをクリアする場合は、[枚数カウンタのクリア \(269 ページ\)](#)を参照してください。

困ったときには

ここでは、原稿づまりの対処方法、トラブルの対処方法、サービスセンターに連絡する前にお調べいただきたい項目、および装置ラベルの確認方法について説明します。

重要

記載されている内容以外のトラブルおよびエラーの詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

原稿づまりが発生したときは

次の手順に従い ADF 内部に残った原稿を取り除いてください。



注意

- つまった原稿は無理に引き抜かず、ADF を開けてから取り除いてください。
- つまった原稿を取り除くときは、鋭利な部分に触れないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- つまった原稿を取り除くときは、ネクタイ、ネックレス、髪などのスキャナー内部に巻き込まれる可能性のあるものに注意してください。
- ADF 内部が高温になっている場合があります。やけどに注意してください。

1 ADF 給紙シュート（フィーダー）の上にある原稿を取り除きます。

2 ADF を開けます。

詳細は、[ADF の開け方 \(64 ページ\)](#)を参照してください。



注意

ADF が閉じて、指をはさむおそれがあります。注意してください。

3 つまっている原稿を取り除きます。

重要

- ステープルやクリップなどの金属物は原稿づまりの原因となるため、原稿と搬送路をよく調べて必ず取り除いてください。
- ステープルやクリップなどの金属物が付いた原稿を取り除くときに、ガラスやガイドを傷つけるおそれがあるため注意してください。

4 ADF を閉じます。

詳細は、[ADF の閉じ方 \(65 ページ\)](#)を参照してください。

**注意**

ADF を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

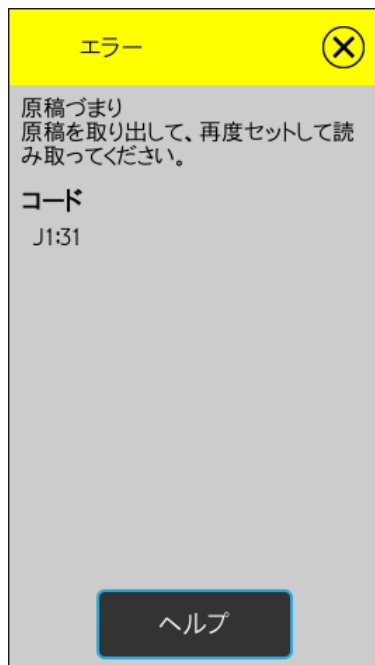
重要


- ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿が搬送されない場合があります。
- 読み取りを終了したりキャンセルしたときに、エラーメッセージが表示されずに原稿が ADF 内部に残る場合があります。その場合は、上記の手順 1～4 に従って取り除いてください。
- 読み取りを継続するときは、再開ページを確認のうえ、原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）に再度セットしてください。

エラーについて

- 「エラー」画面

スキャナーにエラーが発生すると、タッチパネルに「エラー」画面が表示されます。



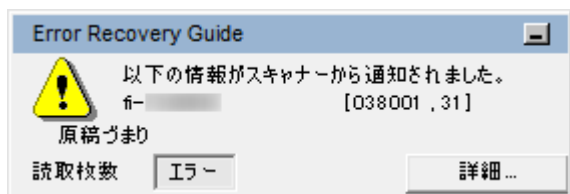
エラーの対処方法を確認してから  を押して、「エラー」画面を閉じてください。

ヒント

コンピューターに Error Recovery Guide がインストールされている場合、Windows にログオンしたときに、Error Recovery Guide が起動されます。

スキャナーのエラーが発生すると、エラーの名称やコード番号が、Error Recovery Guide の画面に表示されます。

画面に表示される情報を書きとめて、[詳細] ボタンをクリックし、対処方法を確認してください。



- コード一覧

コード	エラー概要	参照先
C0:E5	メモリー異常 (表)	メモリー異常 (154 ページ)
C0:E6	メモリー異常 (裏)	

コード	エラー概要	参照先
C0:E9	LSI 異常 (表)	
C0:EA	LSI 異常 (裏)	
E2:74	光量異常 (ADF 表面)	光量異常 (151 ページ)
E3:75	光量異常 (ADF 裏面)	
E6:D3	操作パネル異常	操作パネル異常 (151 ページ)
E7:D2	EEPROM 異常	EEPROM 異常 (151 ページ)
E9:F5	画像メモリー RW エラー (表)	画像メモリー RW エラー (152 ページ)
E9:F6	画像メモリー RW エラー (裏)	
F4:C2	裏当て切り替え異常 (ADF 表面)	裏当て切り替え異常 (153 ページ)
F4:C3	裏当て切り替え異常 (ADF 裏面)	
H0:84	モーター系異常	モーター系異常 (155 ページ)
H1:80		
H2:81		
H7:84	ランプ系異常	ランプ系異常 (155 ページ)
H8:88	モーター系異常	モーター系異常 (155 ページ)
J0:37	原稿保護 (つまり音)	原稿保護 (148 ページ)
J0:51	原稿保護 (たわみ)	
J1:31	原稿つまり	原稿つまり (148 ページ)
J1:50	ピックエラー	
J2:55	マルチフィード (重なり検出)	マルチフィード (148 ページ)
J2:56	マルチフィード (長さ検出)	
J7:5F	給紙モードスイッチ切り替え検出	給紙モードスイッチ切り替え検出 (149 ページ)
J8:01	センサーよごれ	センサーよごれ (149 ページ)
J8:04		
L0:11	センサー異常	センサー異常 (156 ページ)
L2:13		
L6:1B		
M0:D4	無線 LAN 異常	モジュール異常 (157 ページ)
M1:D5	有線 LAN 異常	
M2:D6	非接触 IC カードリーダー異常	

コード	エラー概要	参照先
M4:A2	ネットワーク設定異常	ネットワーク設定異常 (157 ページ)
M4:A3		
M4:A4		
M4:A5		
M4:A6		
M4:A7		
M4:A8		
M4:A9		
M4:AA		
M4:AB		
M4:AD		
M4:AC	Scanner Central Admin Server 設定異常	Scanner Central Admin Server 設定異常 (158 ページ)
M5:A3		
M5:A4		
M5:A5		
M5:A2	サーバー設定異常	サーバー設定異常 (158 ページ)
M5:AC		
M5:AE		
M6:AF	認証失敗	認証失敗 (159 ページ)
U4:40	ADF オープン	カバーオープン (150 ページ)

搬送系エラー

原稿保護

原稿を保護する機能（ペーパープロテクション）が働くと、原稿の搬送が中断され、タッチパネルの「エラー」画面に次のコードが表示されます。

J0:37	原稿保護 (つまり音) 原稿を取り出して原稿の状態を確認してください。 原稿が傾いて搬送されないようにセットして、再度読み取ってください。
J0:51	原稿保護 (たわみ) 原稿を取り出して原稿の状態を確認してください。 原稿が傾いて搬送されないようにセットして、再度読み取ってください。

原稿を保護する機能（ペーパープロテクション）とは、原稿つまりに対する検出レベルを上げて、ADFで原稿を読み取る時に原稿の破損を抑制する機能です。

次の対処をしてください。

- 本エラーが発生したら、まず、使用している原稿が読み取りできる原稿 (82 ページ)の条件を満たしているかを確認してください。
- 読み取りできる原稿の条件を満たした原稿を使用しても本エラーが頻繁に発生する場合は、原稿を保護する機能の検知レベルを低く設定してください。
- ADF 内部に原稿が残っている場合は、[原稿つまりが発生したときは \(143 ページ\)](#)を参照して原稿を取り除いてください。

原稿つまり

原稿つまりが発生すると、タッチパネルの「エラー」画面に次のコードが表示されます。

J1:31	原稿つまり 原稿を取り出して、再度セットして読み取ってください。
J1:50	ピックエラー 原稿を取り出して、再度セットして読み取ってください。

原稿つまり発生後、[原稿つまりが発生したときは \(143 ページ\)](#)を参照して原稿を取り除きます。

原稿つまりが頻繁に発生する場合は、[原稿つまり/ピックミスが頻繁に起こる \(212 ページ\)](#)を参照して対処してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

マルチフィード

原稿が重なって搬送されると、タッチパネルの「エラー」画面に次のコードが表示されます。

J2:55	マルチフィード (重なり検出) [原稿排出]ボタンを押すと原稿排出を行います。
-------	--

J2:56	マルチフィード (長さ検出) [原稿排出]ボタンを押すと原稿排出を行います。
-------	---

スキャナー内部に原稿が残っている場合は、[原稿づまりが発生したときは \(143 ページ\)](#)を参照して原稿を取り除きます。

頻繁に原稿が重なって搬送される場合は、[頻繁に原稿が重なって搬送される \(205 ページ\)](#)を参照して対処してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(326 ページ\)](#)に連絡してください。

給紙モードスイッチ切り替え検出

読み取り中に給紙モードスイッチを切り替えると、タッチパネルの「エラー」画面に次のコードが表示されます。

J7:5F	給紙モードスイッチ切り替え検出 給紙モードスイッチの設定を確認し、原稿を再度セットして読み取ってください。
-------	--

給紙モードスイッチの位置を確認してください。

ADF 内部に原稿が残っている場合は、[原稿づまりが発生したときは \(143 ページ\)](#)を参照して原稿を取り除いてください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(326 ページ\)](#)に連絡してください。

センサーよごれ

センサーがよごれると、タッチパネルの「エラー」画面に次のコードが表示されます。

J8:01	センサーよごれ ピックアップセンサーを清掃してください。
J8:04	センサーよごれ 原稿検知センサーを清掃してください。

次の対処をしてください。

- [スキャナー内部 \(ADF 内部\) の清掃 \(布による場合\) \(122 ページ\)](#)を参照して原稿検知センサーを清掃してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(326 ページ\)](#)に連絡してください。

カバーオープンエラー

カバーオープン

読み取り中に ADF を開けると、タッチパネルの「エラー」画面に次のコードが表示されます。

U4:40	ADF オープン
-------	----------

ヒント

待機中に ADF を開けた場合は、「エラー」画面にコードは表示されません。

また、ADF が開いている間は、タッチパネルの操作はできません。

ADF が確実に閉じていることを確認してください。

確実に閉じていることを確認できない場合は、一度 ADF を開けてから再度 ADF を閉じてください。

ADF の開閉については、[ADF の開閉 \(64 ページ\)](#)を参照してください。

光学異常、内部異常

光量異常

ADF で光量異常が発生すると、タッチパネルの「エラー」画面に次のコードが表示されます。

E2:74	光量異常 (ADF 表面) 電源再投入後、同状態となる場合は、下記のコードをサービスエンジニアに通知ください。 コード E2:74
E3:75	光量異常 (ADF 裏面) 電源再投入後、同状態となる場合は、下記のコードをサービスエンジニアに通知ください。 コード E3:75

次の対処をしてください。

- スキャナー内部 (ADF 内部) の清掃 (布による場合) (122 ページ)を参照してガラスを清掃してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

操作パネル異常

タッチパネルに異常が発生すると、タッチパネルの「エラー」画面に次のコードが表示されます。

E6:D3	操作パネル異常 電源再投入後、同状態となる場合は、下記のコードをサービスエンジニアに通知ください。 コード E6:D3
-------	---

スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

EEPROM 異常

EEPROM 異常が発生すると、タッチパネルの「エラー」画面に次のコードが表示されます。

E7:D2	EEPROM 異常 電源再投入後、同状態となる場合は、下記のコードをサービスエンジニアに通知ください。 コード E7:D2
-------	---

スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

画像メモリー RW エラー

画像メモリーからデータを読み出したり、画像メモリーにデータを書き込んだりするときにエラーが発生すると、タッチパネルの「エラー」画面に次のコードが表示されます。

E9:F5	画像メモリー RW エラー (表) 電源再投入後、同状態となる場合は、下記のコードをサービスエンジニアに通知ください。 コード E9:F5
E9:F6	画像メモリー RW エラー (裏) 電源再投入後、同状態となる場合は、下記のコードをサービスエンジニアに通知ください。 コード E9:F6

スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

オーバラン異常

裏当て切り替え異常

裏当て切り替え異常が発生すると、タッチパネルの「エラー」画面に次のコードが表示されます。

F4:C2	裏当て切り替え異常 (ADF 表面) 電源再投入後、同状態となる場合は、下記のコードをサービスエンジニアに通知ください。 コード F4:C2
F4:C3	裏当て切り替え異常 (ADF 裏面) 電源再投入後、同状態となる場合は、下記のコードをサービスエンジニアに通知ください。 コード F4:C3

ADF を開けて原稿が残っていないかを確認してから、スキャナーの電源を再投入してください。
症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、本製品を購入した販社/販売店または株式会社
PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

チップ系異常

メモリー異常

メモリーに異常が発生すると、タッチパネルの「エラー」画面に次のコードが表示されます。

C0:E5	メモリー異常 (表) 電源再投入後、同状態となる場合は、下記のコードをサービスエンジニアに通知ください。 コード C0:E5
C0:E6	メモリー異常 (裏) 電源再投入後、同状態となる場合は、下記のコードをサービスエンジニアに通知ください。 コード C0:E6
C0:E9	LSI 異常 (表) 電源再投入後、同状態となる場合は、下記のコードをサービスエンジニアに通知ください。 コード C0:E9
C0:EA	LSI 異常 (裏) 電源再投入後、同状態となる場合は、下記のコードをサービスエンジニアに通知ください。 コード C0:EA

スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(326 ページ\)](#)に連絡してください。

モーター系異常

モーター系異常

モーター回路に異常が発生すると、タッチパネルの「エラー」画面に次のコードが表示されます。

H0:84	モーター系異常 電源再投入後、同状態となる場合は、下記のコードをサービスエンジニアに通知ください。 コード H0:84
H1:80	モーター系異常 電源再投入後、同状態となる場合は、下記のコードをサービスエンジニアに通知ください。 コード H1:80
H2:81	モーター系異常 電源再投入後、同状態となる場合は、下記のコードをサービスエンジニアに通知ください。 コード H2:81
H8:88	モーター系異常 電源再投入後、同状態となる場合は、下記のコードをサービスエンジニアに通知ください。 コード H8:88

スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

ランプ系異常

ランプ回路異常が発生すると、タッチパネルの「エラー」画面に次のコードが表示されます。

H7:84	ランプ系異常 電源再投入後、同状態となる場合は、下記のコードをサービスエンジニアに通知ください。 コード H7:84
-------	--

スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

センサー系異常

センサー異常

センサーに異常が発生すると、タッチパネルの「エラー」画面に次のコードが表示されます。

L0:11	センサー異常 電源再投入後、同状態となる場合は、下記のコードをサービスエンジニアに通知ください。 コード L0:11
L2:13	センサー異常 電源再投入後、同状態となる場合は、下記のコードをサービスエンジニアに通知ください。 コード L2:13
L6:1B	センサー異常 電源再投入後、同状態となる場合は、下記のコードをサービスエンジニアに通知ください。 コード L6:1B

次の対処をしてください。

- [スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（布による場合）（122 ページ）](#)を参照して、超音波センサーおよび原稿検知センサーを清掃してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター（326 ページ）](#)に連絡してください。

通信系異常

モジュール異常

モジュールに異常が発生すると、タッチパネルの「エラー」画面に次のコードが表示されます。

M0:D4	無線 LAN 異常 電源再投入後、同状態となる場合は、下記のコードをサービスエンジニアに通知ください。 コード M0:D4
M1:D5	有線 LAN 異常 電源再投入後、同状態となる場合は、下記のコードをサービスエンジニアに通知ください。 コード M1:D5
M2:D6	IC カードリーダーに異常が発生しました。 電源再投入後、同状態となる場合は、下記のコードをサービスエンジニアに通知ください。 コード M2:D6

スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

ネットワーク設定異常

ネットワークの設定に異常が発生すると、タッチパネルの「エラー」画面に次のコードが表示されます。

M4:A2	スキャナーはネットワークに接続していません。ネットワーク設定を確認してください。
M4:A3	プロキシサーバーに接続できません。ネットワーク設定を確認してください。
M4:A4	PaperStream NX Manager に接続できません。ネットワーク設定を確認してください。
M4:A5	PaperStream NX Manager もしくはプロキシサーバーに接続できません。ネットワーク設定を確認してください。
M4:A6	ネットワーク接続がタイムアウトしました。PaperStream NX Manager が稼働しているか確認してください。またネットワーク接続を確認してください。
M4:A7	ネットワーク接続のクライアント証明書が正しくありません。ネットワーク接続を確認してください。
M4:A8	データの送信に失敗しました。ネットワークの状態を確認してから、原稿を再度セットして読み取ってください。
M4:A9	データの受信に失敗しました。PaperStream NX Manager が稼働しているか確認してください。またネットワーク接続を確認してください。
M4:AA	ネットワーク接続においてエラーが発生しました。ネットワーク接続を確認してください。
M4:AB	データの送信に失敗しました。ネットワークの状態を確認してから、原稿を再度セットして読み取ってください。

M4:AD	待ち合わせ処理でタイムアウトが発生しました。PaperStream NX Manager でファイルの保存が完了しているか確認してください。
-------	--

「エラー」画面に表示されたメッセージを確認して対処してください。

スキャナーのネットワークの設定を確認する場合は、[設定] ボタンを押してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(326 ページ\)](#)に連絡してください。

サーバー設定異常

PaperStream NX Manager 側の設定に異常が発生すると、タッチパネルの「エラー」画面に次のコードが表示されます。

M5:A2	ファイルの保存に失敗しました。PaperStream NX Manager の設定を確認してください。
M5:AC	PaperStream NX Manager との通信でエラーが発生しました。PaperStream NX Manager の設定を確認してください。
M5:AE	IC カードの読み取り設定が異常です。IC カード読み取り設定を確認してください。

「エラー」画面に表示されたメッセージを確認して、次の設定を見直してください。

- スキャナーの「PaperStream NX Manager」の設定

- PaperStream NX Manager 側の設定

スキャナーのネットワークの設定を確認する場合は、[設定] ボタンを押してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(326 ページ\)](#)に連絡してください。

Scanner Central Admin Server 設定異常

Scanner Central Admin Server 側の設定に異常が発生すると、タッチパネルの「エラー」画面に次のコードが表示されます。

M4:AC	Scanner Central Admin Server へのスキャナー情報の登録に失敗しました。Scanner Central Admin Server との接続環境を確認してください。
M5:A3	接続先の Scanner Central Admin Server のバージョンをサポートしていません。
M5:A4	スキャナーの最大登録数を超過して端末登録をしようとしてしました。
M5:A5	メンテナンス中です。しばらく待ってから再度実行してください。

M4:AC、M5:A3、または M5:A4 の場合

「エラー」画面に表示されたメッセージを確認して、次の設定を見直してください。

- スキャナーの「Scanner Central Admin Server」の設定

- Scanner Central Admin Server 側の設定

スキャナーのネットワークの設定を確認する場合は、[設定] ボタンを押してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(326 ページ\)](#)に連絡してください。

M5:A5 の場合

しばらく待ってから再度実行してください。

認証失敗

PaperStream NX Manager の認証に失敗すると、タッチパネルの「エラー」画面に次のコードが表示されます。

M6:AF	自動ログインモードで、認証に失敗しました。自動ログインの設定を確認してください。
-------	--

「エラー」画面に表示されたメッセージを確認して、次の設定を見直してください。

- スキャナーの「自動ログイン」の設定

- PaperStream NX Manager 側の認証設定

スキャナーのネットワークの設定を確認する場合は、[設定] ボタンを押してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

そのほかの異常

他で使用

スキャナーがすでに使用されています。

- スキャナーがほかのアプリケーションで使用されていないかを確認してください。
- スキャナーの接続方法が正しいかを確認してください。
- スキャナーのタッチパネルを操作していないかを確認してください。


スキャナーが原稿枚数カウントモードです

スキャナーが原稿枚数カウントモードになっているため、読み取りが開始できません。

スキャナーのタッチパネルの「原稿枚数カウント」画面を閉じて、原稿枚数カウントモードを終了してください。

読み取りが一時停止されました

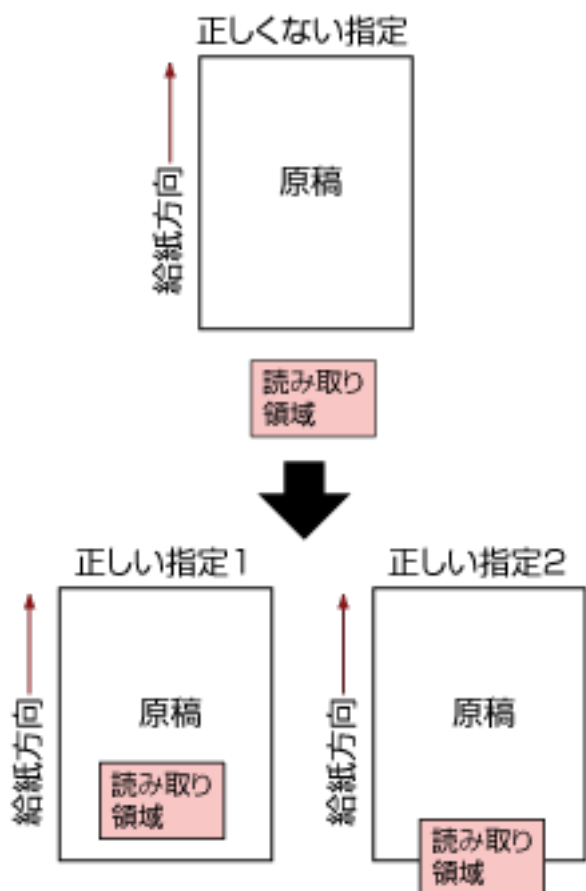
読み取り中にスキャナーのタッチパネルの [一時停止] ボタンを押すと、読み取りが一時停止します。読み取りを再開するには、タッチパネルの [Scan] ボタンを押してください。

読み取りを中止するには、タッチパネルの  を押してください。

読み取り領域指定異常

ADF で読み取りを開始したときに、指定された領域を読み取る前に、原稿の後端が検出されると発生します。

例：



読み取った原稿が指定された用紙サイズよりも短かったため、読み取り領域が原稿の外部になってしまった可能性があります。次のどちらかの対処をして、再度読み取りを開始してください。

- 指定した用紙サイズの原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットする。
- 読み取り領域が原稿の範囲内になるように、読み取り設定を見直す。

重要

読み取り領域の指定方法は、画像読み取り用アプリケーションによって異なります。詳細は、画像読み取り用アプリケーションのヘルプを参照してください。

異常コマンド

コマンドが正常に終了できませんでした。
USB ケーブルの接続に問題がある可能性があります。

- USB ケーブルの接続を確認してください。
- スキャナーの電源を再投入してください。

症状が改善しない場合は、エラーコードを記録のうえ、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

接続確認結果

- **確認結果に「0% packet loss」と表示される**

意味

「ホスト名 / IP アドレス」に指定したホストとの通信は正常です。

- **確認結果に「100% packet loss」と表示される**

意味

「ホスト名 / IP アドレス」に指定した接続確認先との通信ができません。

対処方法

「ホスト名 / IP アドレス」が正しく指定されていない可能性があります。ホスト名または IP アドレスが正しく指定されているかを確認してください。

それでも解決しない場合、[トラブルと対処方法 \(163 ページ\)](#)の次の項を参照してください。

- [スキャナーとコンピューターの接続が頻繁に切れる \(186 ページ\)](#)
- [IP アドレス指定でスキャナーから接続先に接続できない \(193 ページ\)](#)
- [ホスト名指定でスキャナーから接続先に接続できない \(195 ページ\)](#)

- **確認結果に「99% packet loss」と表示される**

意味

「ホスト名 / IP アドレス」に指定した接続確認先との通信が安定していません。

対処方法

[スキャナーとコンピューターを無線 LAN で接続できない \(170 ページ\)](#)または[スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続できない \(187 ページ\)](#)を参照して対処してください。

- **確認結果に「ping: bad address」と表示される**

意味

「ホスト名 / IP アドレス」に指定された接続確認先の名前 / アドレス解決に失敗した可能性があります。

対処方法

- 「ホスト名 / IP アドレス」が誤っていないかを確認してください。
- DNS サーバーの設定が誤っていないかを確認してください。
- 「ホスト名 / IP アドレス」が正しく指定されている場合は、[ホスト名指定でスキャナーから接続先に接続できない \(195 ページ\)](#)を参照して、対処してください。
- [スキャナーとコンピューターを無線 LAN で接続できない \(170 ページ\)](#)または[スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続できない \(187 ページ\)](#)を参照して対処してください。

トラブルと対処方法

スキャナーの使用中に発生するトラブル事例とその対処方法について説明します。

修理を依頼される前に、トラブル事例とその対処方法を確認し対処をしてください。

それでも解決できない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の各項目を確認して、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)にお問い合わせください。

発生するトラブル事例を次に示します。

● スキャナーの電源

- 電源が投入されない (165 ページ)
- タッチパネルの表示、[Power] ボタンの点灯が消える (166 ページ)

● タッチパネル

- タッチパネルが反応しない (167 ページ)
- タッチパネルの動作がおかしい位置がずれる (168 ページ)
- タッチパネルの表示が乱れる (169 ページ)

● スキャナーの接続

無線 LAN

- スキャナーとコンピューターを無線 LAN で接続できない (170 ページ)
- 無線アクセスポイントがアクセスポイントの一覧に表示されない (177 ページ)
- WPS の無線 LAN 設定に失敗する (179 ページ)
- 手動の無線 LAN 設定に失敗する (183 ページ)
- スキャナーとコンピューターの接続が頻繁に切れる (186 ページ)

有線 LAN

- スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続できない (187 ページ)

USB

- スキャナーとコンピューターを USB で接続できない (192 ページ)

サーバー

- IP アドレス指定でスキャナーから接続先に接続できない (193 ページ)
- ホスト名指定でスキャナーから接続先に接続できない (195 ページ)

● 読み取り操作

- 読み取りが開始されない (198 ページ)
- 原稿の読み取りに時間がかかる (199 ページ)

- 画像に縦線（縦筋）が出る (203 ページ)
 - 読み取り中に、タッチパネルに「U4:40」のコードが表示される (204 ページ)
 - 頻繁に原稿が重なって搬送される (205 ページ)
 - 原稿が ADF に送り込まれない状態が頻繁に起こる (208 ページ)
 - 原稿保護が頻繁に起こる (210 ページ)
 - 原稿づまり/ピックミスが頻繁に起こる (212 ページ)
- **読み取り結果**
 - 絵や写真が汚くなる (200 ページ)
 - 文字や線の読み取り結果が良くない (201 ページ)
 - 画像がゆがむまたは鮮明ではない (202 ページ)
 - 画像が間延びする (214 ページ)
 - 画像の先端または後端に影がある (215 ページ)
 - 原稿に黒い跡が残る (216 ページ)
- **A3 キャリアシート**
 - A3 キャリアシートがうまく送られない/つまる (217 ページ)
 - A3 キャリアシートで読み取ると画像が欠ける (219 ページ)
- **パスワード**
 - 工場出荷設定の管理者パスワードを入力するとエラーになる (220 ページ)

電源が投入されない

ここをお調べください

- 電源ケーブルが正しく接続されていますか？ (165 ページ)
 - スキャナーの [Power] ボタンを押しましたか？ (165 ページ)
- 症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

- 電源ケーブルが正しく接続されていますか？

対処方法

電源ケーブルを正しく接続してください。
詳細は、スタートアップガイドを参照してください。

- スキャナーの [Power] ボタンを押しましたか？

対処方法

スキャナーの [Power] ボタンを押してください。
詳細は、[電源の投入 \(57 ページ\)](#)を参照してください。

タッチパネルの表示、[Power] ボタンの点灯が消える

ここをお調べください

- スキャナーの電源を投入したまま、何も操作しないで長時間経過していますか？ (166 ページ)
症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

- スキャナーの電源を投入したまま、何も操作しないで長時間経過していますか？

対処方法

省電力または自動的にスキャナーの電源が切断された状態になっています。

- 省電力状態になっている場合
タッチパネルの表示が消え、[Power] ボタンは緑色で点滅します。
次のどれかを行って、省電力状態から復帰してください。
 - ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿をセットする。
 - タッチパネルを押す。
 - スキャナーを使用できる画像読み取り用アプリケーションから読み取る。
詳細は、[省電力モードへの移行と復帰 \(62 ページ\)](#)を参照してください。
- 自動的にスキャナーの電源が切断された状態になっている場合
タッチパネルの表示および [Power] ボタンの点灯が消えています。
スキャナーの電源を投入してください。
詳細は、[電源の投入 \(57 ページ\)](#)を参照してください。

タッチパネルが反応しない

ここをお調べください

- [スキャナーの電源を入れ直しましたか？ \(167 ページ\)](#)

症状が改善しない場合は、[サービスセンターに連絡する前に \(221 ページ\)](#)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(326 ページ\)](#)に連絡してください。

- **スキャナーの電源を入れ直しましたか？**

対処方法

スキャナーの電源を一度切断してから、再度電源を投入してください。
電源を切断してから、再度電源を投入するまでは、5 秒以上間隔を空けてください。
詳細は、[電源の投入 \(57 ページ\)](#)を参照してください。

タッチパネルの動作がおかしい/位置がずれる

ここをお調べください

- スキャナーの電源を入れ直しましたか？ (168 ページ)

症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

- スキャナーの電源を入れ直しましたか？

対処方法

スキャナーの電源を一度切断してから、再度電源を投入してください。
電源を切断してから、再度電源を投入するまでは、5 秒以上間隔を空けてください。
詳細は、[電源の投入 \(57 ページ\)](#)を参照してください。

タッチパネルの表示が乱れる

ここをお調べください

- [スキャナーの電源を入れ直しましたか？ \(169 ページ\)](#)

症状が改善しない場合は、[サービスセンターに連絡する前に \(221 ページ\)](#)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(326 ページ\)](#)に連絡してください。

- **スキャナーの電源を入れ直しましたか？**

対処方法

スキャナーの電源を一度切断してから、再度電源を投入してください。
電源を切断してから、再度電源を投入するまでは、5 秒以上間隔を空けてください。
詳細は、[電源の投入 \(57 ページ\)](#)を参照してください。

スキャナーとコンピューターを無線 LAN で接続できない

ここをお調べください

- 無線アクセスポイントの電源が入っていますか？ (170 ページ)
 - 無線アクセスポイントのファームウェアバージョンが最新になっていますか？ (170 ページ)
 - スキャナーと無線アクセスポイントの距離が離れていませんか？また、電波を遮るような障害物（壁や金属製の板など）や電磁波の発生源が近くにありませんか？ (171 ページ)
 - 接続方法が「無線 LAN」になっていますか？ (171 ページ)
 - スキャナーを無線アクセスポイントに接続しましたか？ (172 ページ)
 - コンピューターの無線接続環境が有効になっていますか？ (172 ページ)
 - コンピューターを無線アクセスポイントに接続しましたか？ (172 ページ)
 - スキャナーとコンピューターが同じネットワークに接続されていますか？ (172 ページ)
 - 無線アクセスポイントで通信許可に関する設定を行っていませんか？ (173 ページ)
 - ネットワークにセキュリティの制限はありませんか？ (174 ページ)
 - コンピューターにセキュリティの制限が設定されていませんか？ (174 ページ)
 - スキャナーがほかのコンピューターから接続されていませんか？ (174 ページ)
 - スキャナーの IP アドレスは正しいですか？ (174 ページ)
 - スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？ (175 ページ)
 - DNS サーバーの情報が正しく設定されていますか？ (175 ページ)
 - DNS サーバーが正常に動作していますか？ (175 ページ)
 - スキャナー選択ツール for fi Series で、スキャナーをスキャナー名（ホスト名）で検索して選択していますか？ (175 ページ)
- 症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

● 無線アクセスポイントの電源が入っていますか？

対処方法

無線アクセスポイントの電源を入れてください。
また、無線アクセスポイントに異常や故障が発生していないかを確認してください。
無線アクセスポイントの異常は、使用している無線アクセスポイントのマニュアルを参照してください。

● 無線アクセスポイントのファームウェアバージョンが最新になっていますか？

対処方法

無線アクセスポイントのファームウェアバージョンが古い場合、予期しない動作をする場合があります。
ネットワーク管理者に確認のうえ、最新バージョンへアップデートすることを検討してください。

無線アクセスポイントのファームウェアのアップデートについては、使用している無線アクセスポイントのマニュアルを参照してください。

- **スキャナーと無線アクセスポイントの距離が離れていませんか？また、電波を遮るような障害物（壁や金属製の板など）や電磁波の発生源が近くにありませんか？**

対処方法

無線アクセスポイントとスキャナーの間の電波が弱い、または電波干渉が発生していることが考えられます。

タッチパネルの左下に表示されるアイコンで電波の状態を確認してください。

アイコン	電波強度
	強
	中
	弱
	未接続


電波の状態が良好ではない場合、スキャナーと無線アクセスポイントの設置位置を変更してください。

- スキャナーを無線アクセスポイントに近づけます。
 - スキャナーおよび無線アクセスポイントを、次に示すものから離します。
 - 電波を遮るような障害物（壁や金属性の板など）
 - 電波の干渉が発生するような機器（電子レンジやコードレス電話など）や無線機器
 - スキャナーの向きを変えます。
- また、ノイズなどの電波障害の影響で、特定の無線チャンネルの通信が不安定になることがあります。無線アクセスポイントの無線チャンネルの値を変更してください。

- **接続方法が「無線 LAN」になっていますか？**

対処方法




次の手順で、接続方法を確認してください。

- 1 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「接続方法」の順に押します。
- 2 「接続方法」画面で、「無線 LAN」が選択されていることを確認します。

- **スキャナーを無線アクセスポイントに接続しましたか？**

対処方法

次の手順で、スキャナーが無線アクセスポイントに接続していることを確認してください。

- 1 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「接続方法」の順に押します。
- 2 「接続方法」画面で、「無線 LAN」が選択されていることを確認します。
- 3 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「ネットワーク」 → 「無線 LAN」 → 「無線 LAN 診断」の順に押します。
- 4 「無線 LAN 診断」画面で、接続したい無線アクセスポイントに接続されていることを確認します。
接続されていない場合は、次の手順に進み、接続したい無線アクセスポイントに接続し直します。
- 5 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「ネットワーク」 → 「無線 LAN」 → 「アクセスポイント」の順に押します。
- 6 「アクセスポイント」画面で、設定方法を選択します。
- 7 表示される画面に従って、スキャナーを無線アクセスポイントに接続します。

- **コンピューターの無線接続環境が有効になっていますか？**

対処方法

使用するコンピューターの無線接続環境を有効に設定してください。
詳細は、使用しているコンピューターのマニュアルを参照してください。

- **コンピューターを無線アクセスポイントに接続しましたか？**


対処方法

コンピューターを無線アクセスポイントに接続してください。
詳細は、使用しているコンピューターのマニュアルを参照してください。

- **スキャナーとコンピューターが同じネットワークに接続されていますか？**

対処方法



スキャナーとコンピューターが同じネットワークに接続されているかを確認してください。
次の手順で、スキャナーが接続されているネットワーク名を確認します。

- 1 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「ネットワーク」 → 「無線 LAN」 → 「無線 LAN 診断」の順に押します。
- 2 「無線 LAN 診断」画面で、「ネットワーク名 (SSID)」の表示を確認します。

コンピューターが接続されているネットワーク名の確認方法は、使用しているコンピューターのマニュアルを参照してください。

スキャナーとコンピューターが異なるネットワークに接続されている場合は、同じネットワークに接続してください。

次の手順で、スキャナーの接続先を変更します。

- 1 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「接続方法」の順に押します。
- 2 「接続方法」画面で、「無線 LAN」が選択されていることを確認します。
- 3 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「ネットワーク」 → 「無線 LAN」 → 「アクセスポイント」の順に押します。
- 4 「アクセスポイント」画面で、設定方法を選択します。
- 5 表示される画面に従って、スキャナーをコンピューターと同じ無線アクセスポイントに接続します。

● 無線アクセスポイントで通信許可に関する設定を行っていませんか？

対処方法

無線アクセスポイントで次の設定をしている場合、設定に応じて対処してください。

- 無線機器間の通信を無効に設定している（プライバシーセパレーター機能やポートセパレーター機能など）。
無線アクセスポイントの無線機器間の通信を許可してください。
- SSID ブロードキャスト（ANY 接続など）を無効に設定している。
無線アクセスポイントの SSID ブロードキャストを許可してください。または手動で無線 LAN の設定をしてください。
- プロトコルフィルター機能を設定している。
無線アクセスポイントにプロトコルを設定してください。
- ステルス機能を設定している。
ステルス機能を無効にしてから、再度 WPS を使用して無線 LAN の設定をしてください。または手動で無線 LAN の設定をしてください。
- MAC アドレスフィルタリングを設定している。
スキャナーの MAC アドレスを無線アクセスポイントに設定してから、再度無線 LAN の設定をしてください。

また、ほかの無線アクセスポイントとチャンネルが重複していることがあります。

この場合は、無線アクセスポイントの無線チャンネルの値を変更してください。

なお、無線アクセスポイントの設定については、使用している無線アクセスポイントのマニュアルを参照してください。

- **ネットワークにセキュリティの制限はありませんか？**

対処方法

無線 LAN でユーザーのアクセス制限が設定されている場合があります。
詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- **コンピューターにセキュリティの制限が設定されていませんか？**

対処方法

Windows またはセキュリティソフトのファイアウォールの設定で、次のソフトウェアが使用するポート番号の通信のブロックを解除してください。

- スキャナー選択ツール for fi Series
ポート番号: 52217
- Button Event Manager for fi Series
ポート番号: 53218

解除方法は、使用しているコンピューターまたはセキュリティソフトのマニュアルまたはヘルプを参照してください。

- **スキャナーがほかのコンピューターから接続されていませんか？**


対処方法

スキャナーが一度に接続できるコンピューターは 1 台です。ほかのコンピューターからの接続が切断されるのを待ってから、再度接続してください。

- **スキャナーの IP アドレスは正しいですか？**

対処方法

次の手順で、スキャナーの IP アドレスを確認してください。

- 1 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「ネットワーク」 → 「無線 LAN」 → 「IP アドレス」の順に押します。
- 2 「IP アドレス」画面で、設定項目を確認します。
IP アドレスを手動で設定している場合は、正しい IP アドレスを設定してください。
IP アドレスを自動で取得している場合は、DHCP サーバーが正常に動作しているかを確認してください。
DHCP サーバーが正常に動作していても、DHCP サーバー側の設定によって正しく IP アドレスが割り当てられていないことがあります。DHCP サーバーの運用状態と DHCP サーバー側の設定内容を確認してください。

- **スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？**


対処方法

同じネットワーク内に、IP アドレスが重複している通信機器が存在すると、正しく通信できません。IP アドレスが重複しないように対処してください。

- **DNS サーバーの情報が正しく設定されていますか？**

対処方法


次の手順で、スキャナーの DNS サーバーの設定を確認してください。

- 1 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「ネットワーク」 → 「無線 LAN」 → 「DNS サーバー」の順に押します。
- 2 「DNS サーバー」画面で、設定項目を確認します。
 - DNS サーバーの設定を有効にしているか。
 - プライマリー DNS およびセカンダリー DNS の設定が正しいか。

- **DNS サーバーが正常に動作していますか？**

対処方法

次の手順で、DNS サーバーが正常に動作しているかを確認してください。

- 1 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「ネットワーク」 → 「接続確認 (Ping)」の順に押します。
- 2 「接続確認 (Ping)」画面で、DNS サーバーの IP アドレスを入力し、[実行] ボタンを押します。
結果が表示されます。
[接続確認結果 \(162 ページ\)](#)を参照して対処してください。
動作していない場合は、DNS サーバーの管理者に連絡してください。

- **スキャナー選択ツール for fi Series で、スキャナーをスキャナー名 (ホスト名) で検索して選択していますか？**

対処方法

次の手順で、スキャナーがネットワークに接続されていることと、スキャナー選択ツール for fi Series の画面に表示されている IP アドレスが正しいことを確認してください。

- 1 スキャナー選択ツール for fi Series を実行したコンピューターで、コマンド プロンプトを起動します。
例えば Windows 10 の場合、「スタート」メニュー → 「Windows システムツール」 → 「コマンド プロンプト」で起動できます。

2 次のコマンドを実行します。

```
ping スキャナー名
```

3 次のどちらかの場合は、スキャナーの電源を切断してから、再度電源を投入してください。

- 応答がない。
- 応答した IP アドレスが、スキャナー選択ツール for fi Series の画面に表示されている IP アドレスと異なる。

無線アクセスポイントがアクセスポイントの一覧に表示されない

ここをお調べください

- 無線アクセスポイントの電源が入っていますか？ (177 ページ)
 - スキャナーと無線アクセスポイントの距離が離れていませんか？また、電波を遮るような障害物（壁や金属製の板など）や電磁波の発生源が近くにありませんか？ (177 ページ)
 - 無線アクセスポイントで通信許可に関する設定を行っていませんか？ (178 ページ)
- 症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

● 無線アクセスポイントの電源が入っていますか？

対処方法

無線アクセスポイントの電源を入れてください。
また、無線アクセスポイントに異常や故障が発生していないかを確認してください。
無線アクセスポイントの異常は、使用している無線アクセスポイントのマニュアルを参照してください。

● スキャナーと無線アクセスポイントの距離が離れていませんか？また、電波を遮るような障害物（壁や金属製の板など）や電磁波の発生源が近くにありませんか？

対処方法

無線アクセスポイントとスキャナーの間の電波が弱い、または電波干渉が発生していることが考えられます。
タッチパネルの左下に表示されるアイコンで電波の状態を確認してください。

アイコン	電波強度
	強
	中
	弱
	未接続

電波の状態が良好ではない場合、スキャナーと無線アクセスポイントの設置位置を変更してください。

- スキャナーを無線アクセスポイントに近づけます。
- スキャナーおよび無線アクセスポイントを、次に示すものから離します。

- 電波を遮るような障害物（壁や金属性の板など）
 - 電波の干渉が発生するような機器（電子レンジやコードレス電話など）や無線機器
 - スキャナーの向きを変えます。
- また、ノイズなどの電波障害の影響で、特定の無線チャンネルの通信が不安定になることがあります。無線アクセスポイントの無線チャンネルの値を変更してください。

● 無線アクセスポイントで通信許可に関する設定を行っていませんか？

対処方法

無線アクセスポイントで次の設定をしている場合、設定に応じて対処してください。

- 無線機器間の通信を無効に設定している（プライバシーセパレーター機能やポートセパレーター機能など）。
無線アクセスポイントの無線機器間の通信を許可してください。
- SSID ブロードキャスト（ANY 接続など）を無効に設定している。
無線アクセスポイントの SSID ブロードキャストを許可してください。または手動で無線 LAN の設定をしてください。
- プロトコルフィルター機能を設定している。
無線アクセスポイントにプロトコルを設定してください。
- ステルス機能を設定している。
ステルス機能を無効にしてから、再度 WPS を使用して無線 LAN の設定をしてください。または手動で無線 LAN の設定をしてください。
- MAC アドレスフィルタリングを設定している。
スキャナーの MAC アドレスを無線アクセスポイントに設定してから、再度無線 LAN の設定をしてください。

また、ほかの無線アクセスポイントとチャンネルが重複していることがあります。

この場合は、無線アクセスポイントの無線チャンネルの値を変更してください。

なお、無線アクセスポイントの設定については、使用している無線アクセスポイントのマニュアルを参照してください。

WPS の無線 LAN 設定に失敗する

ここをお調べください

- 無線アクセスポイントの電源が入っていますか？ (179 ページ)
- スキャナーと無線アクセスポイントの距離が離れていませんか？また、電波を遮るような障害物（壁や金属製の板など）や電磁波の発生源が近くにありませんか？ (179 ページ)
- 無線アクセスポイントが WPS（自動設定）に対応していますか？ (180 ページ)
- 無線アクセスポイントの暗号方式が WEP になっていませんか？ (180 ページ)
- WPS（PIN コード入力方式）で設定する場合、正しい PIN コードを入力しましたか？ (180 ページ)
- WPS の操作を時間内に正しく行いましたか？ (181 ページ)
- 無線アクセスポイントで通信許可に関する設定を行っていませんか？ (181 ページ)

症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

- 無線アクセスポイントの電源が入っていますか？

対処方法

無線アクセスポイントの電源を入れてください。

また、無線アクセスポイントに異常や故障が発生していないかを確認してください。

無線アクセスポイントの異常は、使用している無線アクセスポイントのマニュアルを参照してください。


- スキャナーと無線アクセスポイントの距離が離れていませんか？また、電波を遮るような障害物（壁や金属製の板など）や電磁波の発生源が近くにありませんか？

対処方法

無線アクセスポイントとスキャナーの間の電波が弱い、または電波干渉が発生していることが考えられます。

タッチパネルの左下に表示されるアイコンで電波の状態を確認してください。

アイコン	電波強度
	強
	中
	弱

アイコン	電波強度
	未接続

電波の状態が良好ではない場合、スキャナーと無線アクセスポイントの設置位置を変更してください。

- スキャナーを無線アクセスポイントに近づけます。
- スキャナーおよび無線アクセスポイントを、次に示すものから離します。
 - 電波を遮るような障害物（壁や金属性の板など）
 - 電波の干渉が発生するような機器（電子レンジやコードレス電話など）や無線機器
- スキャナーの向きを変えます。

また、ノイズなどの電波障害の影響で、特定の無線チャンネルの通信が不安定になることがあります。無線アクセスポイントの無線チャンネルの値を変更してください。

● **無線アクセスポイントが WPS（自動設定）に対応していますか？**

対処方法

無線アクセスポイントが WPS に対応していない場合は、手動で無線 LAN の設定をしてください。無線アクセスポイントが WPS に対応しているかどうかは、使用している無線アクセスポイントのマニュアルを参照してください。

● **無線アクセスポイントの暗号方式が WEP になっていませんか？**


対処方法

無線アクセスポイントの暗号方式が WEP の場合、暗号方式を変更してから、再度実行してください。

● **WPS（PIN コード入力方式）で設定する場合、正しい PIN コードを入力しましたか？**

対処方法

次の手順で、PIN コードを確認してください。


- 1 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「ネットワーク」 → 「無線 LAN」 → 「アクセスポイント」 → 「WPS を使用」 → 「PIN コード入力方式」の順に押します。
- 2 「PIN コード入力方式」画面に表示される PIN コードを、無線アクセスポイントに正しく入力します。
PIN コードの入力方法は、使用している無線アクセスポイントのマニュアルを参照してください。

● WPS の操作を時間内に正しく行いましたか？


対処方法

WPS で無線設定を再度実行してください。

● プッシュボタン方式の場合

- 1 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「ネットワーク」 → 「無線 LAN」 → 「アクセスポイント」 → 「WPS を使用」 → 「プッシュボタン方式」 の順に押します。
- 2 無線アクセスポイントの WPS ボタンを押します。
- 3 手順 2 をしてから 2 分以内に、手順 1 で表示されたタッチパネルの画面で [次へ] ボタンを押します。

● PIN コード入力方式の場合

- 1 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「ネットワーク」 → 「無線 LAN」 → 「アクセスポイント」 → 「WPS を使用」 → 「PIN コード入力方式」 の順に押します。
- 2 「PIN コード入力方式」画面に表示される PIN コードを、無線アクセスポイントに正しく入力します。
PIN コードの入力方法は、使用している無線アクセスポイントのマニュアルを参照してください。
- 3 手順 2 をしてから 2 分以内に、手順 1 で表示されたタッチパネルの画面で [次へ] ボタンを押します。

なお、複数の無線アクセスポイントが WPS による接続待ちになっている場合、接続に失敗することがあります。

この場合、しばらく待ってから、再度 WPS を使用して無線 LAN 設定をしてください。または、手動で無線 LAN 設定をしてください。

● 無線アクセスポイントで通信許可に関する設定を行っていませんか？

対処方法

無線アクセスポイントで次の設定をしている場合、設定に応じて対処してください。

- 無線機器間の通信を無効に設定している（プライバシーセパレーター機能やポートセパレーター機能など）。
無線アクセスポイントの無線機器間の通信を許可してください。
- SSID ブロードキャスト（ANY 接続など）を無効に設定している。
無線アクセスポイントの SSID ブロードキャストを許可してください。または手動で無線 LAN の設定をしてください。
- プロトコルフィルター機能を設定している。
無線アクセスポイントにプロトコルを設定してください。
- ステルス機能を設定している。

ステルス機能を無効にしてから、再度 WPS を使用して無線 LAN の設定をしてください。または手動で無線 LAN の設定をしてください。

- MAC アドレスフィルタリングを設定している。
スキャナーの MAC アドレスを無線アクセスポイントに設定してから、再度無線 LAN の設定をしてください。

また、ほかの無線アクセスポイントとチャンネルが重複していることがあります。

この場合は、無線アクセスポイントの無線チャンネルの値を変更してください。

なお、無線アクセスポイントの設定については、使用している無線アクセスポイントのマニュアルを参照してください。

手動の無線 LAN 設定に失敗する

ここをお調べください

- 無線アクセスポイントの電源が入っていますか？ (183 ページ)
- スキャナーと無線アクセスポイントの距離が離れていませんか？また、電波を遮るような障害物（壁や金属製の板など）や電磁波の発生源が近くにありませんか？ (183 ページ)
- ネットワーク名 (SSID)、セキュリティ種別（認証方式）、暗号方式、セキュリティキーの設定値は正しいですか？ (184 ページ)
- 無線アクセスポイントで通信許可に関する設定を行っていませんか？ (184 ページ)
- 「暗号方式がアクセスポイントのものと一致しません。」というメッセージが表示されていませんか？ (185 ページ)

症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

- 無線アクセスポイントの電源が入っていますか？

対処方法

無線アクセスポイントの電源を入れてください。

また、無線アクセスポイントに異常や故障が発生していないかを確認してください。

無線アクセスポイントの異常は、使用している無線アクセスポイントのマニュアルを参照してください。

- スキャナーと無線アクセスポイントの距離が離れていませんか？また、電波を遮るような障害物（壁や金属製の板など）や電磁波の発生源が近くにありませんか？

対処方法

無線アクセスポイントとスキャナーの間の電波が弱い、または電波干渉が発生していることが考えられます。

タッチパネルの左下に表示されるアイコンで電波の状態を確認してください。

アイコン	電波強度
	強
	中
	弱
	未接続

電波の状態が良好ではない場合、スキャナーと無線アクセスポイントの設置位置を変更してください。

- スキャナーを無線アクセスポイントに近づけます。
- スキャナーおよび無線アクセスポイントを、次に示すものから離します。
 - 電波を遮るような障害物（壁や金属性の板など）
 - 電波の干渉が発生するような機器（電子レンジやコードレス電話など）や無線機器
- スキャナーの向きを変えます。

また、ノイズなどの電波障害の影響で、特定の無線チャンネルの通信が不安定になることがあります。無線アクセスポイントの無線チャンネルの値を変更してください。

- **ネットワーク名 (SSID)、セキュリティ種別 (認証方式)、暗号方式、セキュリティキーの設定値は正しいですか？**

対処方法

ネットワーク名 (SSID)、セキュリティ種別 (認証方式)、暗号方式、セキュリティキーの設定値は、無線アクセスポイントの設定と一致させてください。

ネットワーク名 (SSID)、セキュリティキーがわからない場合は、使用している無線アクセスポイントのマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

- **無線アクセスポイントで通信許可に関する設定を行っていませんか？**

対処方法

無線アクセスポイントで次の設定をしている場合、設定に応じて対処してください。

- 無線機器間の通信を無効に設定している（プライバシーセパレーター機能やポートセパレーター機能など）。
無線アクセスポイントの無線機器間の通信を許可してください。
- SSID ブロードキャスト（ANY 接続など）を無効に設定している。
無線アクセスポイントの SSID ブロードキャストを許可してください。または手動で無線 LAN の設定をしてください。
- プロトコルフィルター機能を設定している。
無線アクセスポイントにプロトコルを設定してください。
- ステルス機能を設定している。
ステルス機能を無効にしてから、再度 WPS を使用して無線 LAN の設定をしてください。または手動で無線 LAN の設定をしてください。
- MAC アドレスフィルタリングを設定している。
スキャナーの MAC アドレスを無線アクセスポイントに設定してから、再度無線 LAN の設定をしてください。

また、ほかの無線アクセスポイントとチャンネルが重複していることがあります。

この場合は、無線アクセスポイントの無線チャンネルの値を変更してください。

なお、無線アクセスポイントの設定については、使用している無線アクセスポイントのマニュアルを参照してください。

- 「暗号方式がアクセスポイントのものと一致しません。」というメッセージが表示されていませんか？

対処方法

無線アクセスポイントと同じ暗号方式を設定してください。

なお、次の場合は、無線アクセスポイントと接続できません。

ほかの暗号方式またはセキュリティ種別に変更してください。

- 無線アクセスポイントの暗号方式に「WEP」が設定されている
- 無線アクセスポイントのセキュリティ種別に「WEP(Transitional Security Network)」が設定されている

スキャナーとコンピューターの接続が頻繁に切れる

ここをお調べください

- スキャナーと無線アクセスポイントの距離が離れていませんか？また、電波を遮るような障害物（壁や金属製の板など）や電磁波の発生源が近くにありませんか？ (186 ページ)
症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

- スキャナーと無線アクセスポイントの距離が離れていませんか？また、電波を遮るような障害物（壁や金属製の板など）や電磁波の発生源が近くにありませんか？

対処方法

無線アクセスポイントとスキャナーの間の電波が弱い、または電波干渉が発生していることが考えられます。

タッチパネルの左下に表示されるアイコンで電波の状態を確認してください。

アイコン	電波強度
	強
	中
	弱
	未接続

電波の状態が良好ではない場合、スキャナーと無線アクセスポイントの設置位置を変更してください。

- スキャナーを無線アクセスポイントに近づけます。
- スキャナーおよび無線アクセスポイントを、次に示すものから離します。
 - 電波を遮るような障害物（壁や金属性の板など）
 - 電波の干渉が発生するような機器（電子レンジやコードレス電話など）や無線機器
- スキャナーの向きを変えます。

また、ノイズなどの電波障害の影響で、特定の無線チャンネルの通信が不安定になることがあります。無線アクセスポイントの無線チャンネルの値を変更してください。

スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続できない

ここをお調べください

- スキャナーとネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）が LAN ケーブルで接続されていますか？ (187 ページ)
 - 接続方法設定が「有線 LAN」になっていますか？ (188 ページ)
 - ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）の電源が入っていますか？ (188 ページ)
 - ネットワーク機器のファームウェアバージョンが最新になっていますか？ (188 ページ)
 - コンピューターをネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）に接続しましたか？ (188 ページ)
 - ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）で通信条件に関する設定を行っていませんか？ (188 ページ)
 - ネットワークにセキュリティの制限はありませんか？ (189 ページ)
 - ネットワークの状態は安定していますか？ (189 ページ)
 - コンピューターにセキュリティの制限が設定されていませんか？ (189 ページ)
 - コンピューターを有線 LAN に接続していますか？ (189 ページ)
 - スキャナーがほかのコンピューターから接続されていませんか？ (190 ページ)
 - スキャナーの IP アドレスは正しいですか？ (190 ページ)
 - スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？ (190 ページ)
 - DNS サーバーの情報が正しく設定されていますか？ (190 ページ)
 - DNS サーバーが正常に動作していますか？ (190 ページ)
 - スキャナー選択ツール for fi Series で、スキャナーをスキャナー名（ホスト名）で検索して選択していますか？ (191 ページ)
- 症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

- **スキャナーとネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）が LAN ケーブルで接続されていますか？**

対処方法

スキャナーとネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）は LAN ケーブルで接続してください。また、LAN ケーブルを正しく接続してください。

LAN ケーブルが正しく接続されている場合は、次の対処をしてください。


- LAN ケーブルを交換する。
- ネットワーク機器に接続している LAN ケーブルの接続先ポートを変更する。
- ネットワーク機器の伝送方法を「全二重」または「半二重」に変更する。

- **接続方法設定が「有線 LAN」になっていますか？**

対処方法

次の手順で、接続方法を確認してください。



- 1 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「接続方法」の順に押します。
- 2 「接続方法」画面で、「有線 LAN」が選択されていることを確認します。

- **ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）の電源が入っていますか？**

対処方法

ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）の電源を入れてください。
また、ネットワーク機器に異常や故障が発生していないかを確認してください。
ネットワーク機器の異常については、使用しているネットワーク機器のマニュアルを参照してください。

- **ネットワーク機器のファームウェアバージョンが最新になっていますか？**

対処方法

ネットワーク機器のファームウェアバージョンが古い場合、予期しない動作をする場合があります。
ネットワーク管理者に確認のうえ、最新バージョンへアップデートすることを検討してください。
ネットワーク機器のファームウェアのアップデートについては、使用しているネットワーク機器のマニュアルを参照してください。

- **コンピューターをネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）に接続しましたか？**

対処方法

コンピューターをネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）に接続してください。
詳細は、使用しているコンピューターのマニュアルを参照してください。

- **ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）で通信条件に関する設定を行っていませんか？**

対処方法

ネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）で次の設定をしている場合、設定に応じて対処してください。

- プロトコルフィルター機能を設定している。
通信で使用するプロトコルを許可してください。
 - MAC アドレスフィルタリングを設定している。
スキャナーの MAC アドレスをネットワーク機器（スイッチ、ハブ、ルーターなど）に設定してください。
- ネットワーク機器の設定方法については、使用しているネットワーク機器のマニュアルを参照してください。

- ネットワークにセキュリティの制限はありませんか？

対処方法

ネットワークにユーザーのアクセス制限が設定されている場合があります。
詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- ネットワークの状態は安定していますか？

対処方法

ネットワークが安定してから接続してください。
ネットワークが不安定になる原因には、次のような事象が考えられます。

- ネットワークモニタープログラムが動作している。
- ファイル転送が行われている。

ネットワークが不安定な場合は、ほかの通信への影響がないことを確認してから、ネットワーク機器を再起動してください。ネットワーク機器の動作が不安定になっている場合があります。

- コンピューターにセキュリティの制限が設定されていませんか？

対処方法

Windows またはセキュリティソフトのファイアウォールの設定で、次のソフトウェアが使用するポート番号の通信のブロックを解除してください。


- スキャナー選択ツール for fi Series
ポート番号: 52217
- Button Event Manager for fi Series
ポート番号: 53218

解除方法は、使用しているコンピューターまたはセキュリティソフトのマニュアルまたはヘルプを参照してください。

- コンピューターを有線 LAN に接続していますか？

対処方法

次の手順で、コンピューターの接続状態を確認してください。

- 1 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「ネットワーク」 → 「接続確認 (Ping)」の順に押します。
- 2 「接続確認 (Ping)」画面で、コンピューターのホスト名または IP アドレスを入力し、[実行] ボタンを押します。
結果が表示されます。
[接続確認結果 \(162 ページ\)](#)を参照して対処してください。

- **スキャナーがほかのコンピューターから接続されていませんか？**


対処方法

スキャナーが一度に接続できるコンピューターは 1 台です。ほかのコンピューターからの接続が切断されるのを待ってから、再度接続してください。

- **スキャナーの IP アドレスは正しいですか？**

対処方法

次の手順で、スキャナーの IP アドレスを確認してください。

- 1 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「ネットワーク」 → 「有線 LAN」 → 「IP アドレス」の順に押します。
- 2 「IP アドレス」画面で、設定項目を確認します。
IP アドレスを手動で設定している場合は、正しい IP アドレスを設定してください。
IP アドレスを自動で取得している場合は、DHCP サーバーが正常に動作しているかを確認してください。
DHCP サーバーが正常に動作していても、DHCP サーバー側の設定によって正しく IP アドレスが割り当てられていないことがあります。DHCP サーバーの運用状態と DHCP サーバー側の設定内容を確認してください。

- **スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？**


対処方法

同じネットワーク内に、IP アドレスが重複している通信機器が存在すると、正しく通信できません。IP アドレスが重複しないように対処してください。

- **DNS サーバーの情報が正しく設定されていますか？**

対処方法


次の手順で、スキャナーの DNS サーバーの設定を確認してください。

- 1 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「ネットワーク」 → 「有線 LAN」 → 「DNS サーバー」の順に押します。
- 2 「DNS サーバー」画面で、設定項目を確認します。
 - DNS サーバーの設定を有効にしているか
 - プライマリー DNS およびセカンダリー DNS の設定が正しいか

- **DNS サーバーが正常に動作していますか？**

対処方法

次の手順で、DNS サーバーが正常に動作しているかを確認してください。

- 1 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「ネットワーク」 → 「接続確認 (Ping)」の順に押します。
- 2 「接続確認 (Ping)」画面で、DNS サーバーの IP アドレスを入力し、[実行] ボタンを押します。
結果が表示されます。
[接続確認結果 \(162 ページ\)](#)を参照して対処してください。
動作していない場合は、DNS サーバーの管理者に連絡してください。

- **スキャナー選択ツール for fi Series で、スキャナーをスキャナー名 (ホスト名) で検索して選択していませんか？**

対処方法

次の手順で、スキャナーがネットワークに接続されていることと、スキャナー選択ツール for fi Series の画面に表示されている IP アドレスが正しいことを確認してください。

- 1 スキャナー選択ツール for fi Series を実行したコンピュータで、コマンド プロンプトを起動します。
例えば Windows 10 の場合、「スタート」メニュー → 「Windows システムツール」 → 「コマンド プロンプト」で起動できます。
- 2 次のコマンドを実行します。

```
ping スキャナー名
```
- 3 次のどちらかの場合は、スキャナーの電源を切断してから、再度電源を投入してください。
 - 応答がない。
 - 応答した IP アドレスが、スキャナー選択ツール for fi Series の画面に表示されている IP アドレスと異なる。

スキャナーとコンピューターを USB で接続できない

ここをお調べください

- スキャナーの USB の設定に「自動」を設定していますか？ (192 ページ)


症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

- スキャナーの USB の設定に「自動」を設定していますか？

対処方法

スキャナーの USB の設定に「自動」を設定している場合、一部のコンピューターでスキャナーが接続できないことがあります。

次の手順で、スキャナーの USB の設定を「USB2.0」に変更してください。

- 1 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「USB」の順に押します。
- 2 「USB2.0」を選択します。

IP アドレス指定でスキャナーから接続先に接続できない

ここをお調べください

- スキャナーとサーバーがネットワークに接続されていますか？ (193 ページ)
 - スキャナーの IP アドレスは正しいですか？ (193 ページ)
 - スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？ (194 ページ)
 - 過去に、スキャナーと同じ IP アドレスの通信機器を接続していましたか？ (194 ページ)
 - スキャナーとサーバーの同一のネットワークにファイアウォール装置が設置されていませんか？ (194 ページ)
 - スキャナーで設定するサーバーに関する設定内容は正しいですか？ (194 ページ)
 - サーバーで設定する設定内容は正しいですか？ (194 ページ)
- 症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

● スキャナーとサーバーがネットワークに接続されていますか？

対処方法


接続方法によって、次を参照して対処してください。

- 無線 LAN の場合
スキャナーとコンピューターを無線 LAN で接続できない (170 ページ)
- 有線 LAN の場合
スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続できない (187 ページ)

● スキャナーの IP アドレスは正しいですか？

対処方法

次の手順で、スキャナーの IP アドレスを確認してください。

- 1 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「ネットワーク」の順に押します。
- 2 接続方法によって、次の操作をします。
無線 LAN の場合は、「無線 LAN」 → 「IP アドレス」の順に押します。
有線 LAN の場合は、「有線 LAN」 → 「IP アドレス」の順に押します。
- 3 「IP アドレス」画面で、設定項目を確認します。
IP アドレスを手動で設定している場合は、正しい IP アドレスを設定してください。
IP アドレスを自動で取得している場合は、DHCP サーバーが正常に動作しているかを確認してください。
DHCP サーバーが正常に動作していても、DHCP サーバー側の設定によって正しく IP アドレスが割り当てられていないことがあります。DHCP サーバーの運用状態と DHCP サーバー側の設定内容を確認してください。

- スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？

対処方法

同じネットワーク内に、IP アドレスが重複している通信機器が存在すると、正しく通信できません。IP アドレスが重複しないように対処してください。

- 過去に、スキャナーと同じ IP アドレスの通信機器を接続していましたか？

対処方法

過去にスキャナーと同じ IP アドレスを持つホストまたは通信機器と通信した直後に、サーバーの電源を切断しないままスキャナーへ接続し、環境設定を変更した場合は正しく通信できません。サーバーを再起動してください。

- スキャナーとサーバーの同一のネットワークにファイアウォール装置が設置されていませんか？


対処方法

ファイアウォール装置でスキャナーからのアクセスが禁止されていないかを確認してください。

- スキャナーで設定するサーバーに関する設定内容は正しいですか？

対処方法

次の手順で、サーバーの設定項目を確認してください。

- 1 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「ネットワーク」 → 「サーバー」の順に押します。
- 2 接続するサーバーを押して、設定項目を確認します。
 - 「有効にする」が ON になっているか。
 - 「ホスト名 / IP アドレス」、「ポート番号」が正しいか。
 - プロキシサーバーの「認証」の情報は正しいか。

- サーバーで設定する設定内容は正しいですか？

対処方法

サーバーのマニュアルを参照して、設定内容を確認してください。

ホスト名指定でスキャナーから接続先に接続できない


ここをお調べください

- DNS サーバーの情報が正しく設定されていますか？ (195 ページ)
 - DNS サーバーが正常に動作していますか？ (195 ページ)
 - スキャナーとサーバーがネットワークに接続されていますか？ (196 ページ)
 - スキャナーの IP アドレスは正しいですか？ (196 ページ)
 - スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？ (196 ページ)
 - 過去に、スキャナーと同じ IP アドレスの通信機器を接続していましたか？ (196 ページ)
 - スキャナーとサーバーの同一のネットワークにファイアウォール装置が設置されていませんか？ (197 ページ)
 - スキャナーで設定するサーバーに関する設定内容は正しいですか？ (197 ページ)
 - サーバーで設定する設定内容は正しいですか？ (197 ページ)
- 症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

● DNS サーバーの情報が正しく設定されていますか？

対処方法


次の手順で、スキャナーの DNS サーバーの設定を確認してください。

- 1 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「ネットワーク」の順に押します。
- 2 接続方法によって、次の操作をします。
無線 LAN の場合は、「無線 LAN」 → 「DNS サーバー」の順に押します。
有線 LAN の場合は、「有線 LAN」 → 「DNS サーバー」の順に押します。
- 3 「DNS サーバー」画面で、設定項目を確認します。
 - DNS サーバーの設定を有効にしているか
 - プライマリー DNS およびセカンダリー DNS の設定が正しいか

● DNS サーバーが正常に動作していますか？

対処方法

次の手順で、DNS サーバーが正常に動作しているかを確認してください。

- 1 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「ネットワーク」 → 「接続確認 (Ping)」の順に押します。

- 2 「接続確認 (Ping)」画面で、DNS サーバーの IP アドレスを入力し、[実行] ボタンを押します。
結果が表示されます。
[接続確認結果 \(162 ページ\)](#)を参照して対処してください。
動作していない場合は、DNS サーバーの管理者に連絡してください。

- **スキャナーとサーバーがネットワークに接続されていますか？**

対処方法


接続方法によって、次を参照して対処してください。

- 無線 LAN の場合
[スキャナーとコンピューターを無線 LAN で接続できない \(170 ページ\)](#)
- 有線 LAN の場合
[スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続できない \(187 ページ\)](#)

- **スキャナーの IP アドレスは正しいですか？**

対処方法

次の手順で、スキャナーの IP アドレスを確認してください。

- 1 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「ネットワーク」の順に押します。
- 2 接続方法によって、次の操作をします。
無線 LAN の場合は、「無線 LAN」 → 「IP アドレス」の順に押します。
有線 LAN の場合は、「有線 LAN」 → 「IP アドレス」の順に押します。
- 3 「IP アドレス」画面で、設定項目を確認します。
IP アドレスを手動で設定している場合は、正しい IP アドレスを設定してください。
IP アドレスを自動で取得している場合は、DHCP サーバーが正常に動作しているかを確認してください。
DHCP サーバーが正常に動作していても、DHCP サーバー側の設定によって正しく IP アドレスが割り当てられていないことがあります。DHCP サーバーの運用状態と DHCP サーバー側の設定内容を確認してください。

- **スキャナーの IP アドレスが、ほかの通信機器で使用されていませんか？**

対処方法

同じネットワーク内に、IP アドレスが重複している通信機器が存在すると、正しく通信できません。IP アドレスが重複しないように対処してください。

- **過去に、スキャナーと同じ IP アドレスの通信機器を接続していましたか？**

対処方法

過去にスキャナーと同じ IP アドレスを持つホストまたは通信機器と通信した直後に、サーバーの電源を切断しないままスキャナーへ接続し、環境設定を変更した場合は正しく通信できません。サーバーを再起動してください。

- スキャナーとサーバーの同一のネットワークにファイアウォール装置が設置されていませんか？


対処方法

ファイアウォール装置でスキャナーからのアクセスが禁止されていないかを確認してください。

- スキャナーで設定するサーバーに関する設定内容は正しいですか？

対処方法

次の手順で、サーバーの設定項目を確認してください。

- 1 タッチパネルで、 → 「スキャナー設定」 → 「ネットワーク」 → 「サーバー」の順に押します。
- 2 接続するサーバーを押して、設定項目を確認します。
 - 「有効にする」が ON になっているか。
 - 「ホスト名 / IP アドレス」、「ポート番号」が正しいか。
 - プロキシサーバーの「認証」の情報は正しいか。

- サーバーで設定する設定内容は正しいですか？

対処方法

サーバーのマニュアルを参照して、設定内容を確認してください。

読み取りが開始されない

ここをお調べください

- [ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿が正しくセットされていますか？（198 ページ）](#)
- [ADF は完全に閉じていますか？（198 ページ）](#)
- [スキャナーとコンピューターは正常に接続されていますか？（198 ページ）](#)

症状が改善しない場合は、[サービスセンターに連絡する前に（221 ページ）](#)の項目をチェックして、本製品を購入した**販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター（326 ページ）**に連絡してください。

- **ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿が正しくセットされていますか？**

対処方法

原稿を ADF 給紙シュート（フィーダー）にセットし直してください。

- **ADF は完全に閉じていますか？**

対処方法

ADF をしっかり閉じてください。

ADF に原稿がはさまっている場合は、原稿を取り除き、ADF を閉じてください。

- **スキャナーとコンピューターは正常に接続されていますか？**

対処方法

- **無線 LAN の場合**

スキャナーとコンピューターを無線 LAN で接続してください。無線 LAN で接続できない場合は、[スキャナーとコンピューターを無線 LAN で接続できない（170 ページ）](#)を参照してください。

- **有線 LAN の場合**

スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続してください。有線 LAN で接続できない場合は、[スキャナーとコンピューターを有線 LAN で接続できない（187 ページ）](#)を参照してください。

- **USB の場合**

USB ケーブルを正しく接続してください。詳細は、[スキャナーを USB ケーブルでコンピューターに接続する場合（48 ページ）](#)を参照してください。

原稿の読み取りに時間がかかる

ここをお調べください

- USB 接続の場合、USB ケーブルをコンピューターの USB1.1 の USB ポートに接続していませんか？ (199 ページ)
- コンピューター起動直後やログオン直後などの、コンピューターが安定していない状態のときに読み取りを開始していませんか？ (199 ページ)
- 各ローラーはきれいですか？ (199 ページ)
- コンピューターは、測定環境の条件を満たしていますか？ (199 ページ)

症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

- **USB 接続の場合、USB ケーブルをコンピューターの USB1.1 の USB ポートに接続していませんか？**

対処方法

USB 接続の場合、USB ケーブルを USB3.1 Gen1/USB3.0/USB2.0 の USB ポートに接続してください。

- **コンピューター起動直後やログオン直後などの、コンピューターが安定していない状態のときに読み取りを開始していませんか？**

対処方法

コンピューターの起動直後やログオン直後は、しばらく待ってから原稿の読み取りを開始してください。

- **各ローラーはきれいですか？**

対処方法

各ローラーを清掃してください。

詳細は、[スキャナー内部 \(ADF 内部\) の清掃 \(布による場合\) \(122 ページ\)](#)を参照してください。

- **コンピューターは、測定環境の条件を満たしていますか？**

対処方法

[スキャナー基本仕様 \(309 ページ\)](#)に記載している測定環境の CPU やメモリー容量の条件を満たしていない場合は、条件を満たしているコンピューターでのご利用をお試しください。

絵や写真が汚くなる

ここをお調べください

- スキャナードライバーで、二値白黒を設定して読み取っていますか？ (200 ページ)
- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (200 ページ)
症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

- スキャナードライバーで、二値白黒を設定して読み取っていますか？

対処方法

スキャナードライバーで、二値化（白黒化）しない設定にして読み取ってください。
絵や写真を二値白黒で読み取ると、画像がオリジナルと著しく異なることがあります。

- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？

対処方法

よごれている箇所を清掃してください。

詳細は、[スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（布による場合）](#) (122 ページ)を参照してください。

文字や線の読み取り結果が良くない

ここをお調べください

- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (201 ページ)
- 解像度は適切ですか？ (201 ページ)
- スキャナードライバーで、グレースケール、カラーを設定して読み取っていますか？ (201 ページ)
- 原稿に異物（紙粉やほこり）が付着していますか？ (201 ページ)

症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？

対処方法

よごれている箇所を清掃してください。

詳細は、[スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（布による場合）](#) (122 ページ)を参照してください。

- 解像度は適切ですか？

対処方法

スキャナードライバーで、解像度の設定を高くしてください。

- スキャナードライバーで、グレースケール、カラーを設定して読み取っていますか？

対処方法

スキャナードライバーで、二値白黒を設定して読み取ってください。

グレースケールまたはカラーで読み取ると、文字や線画の読み取り結果が鮮明ではないことがあります。

- 原稿に異物（紙粉やほこり）が付着していますか？

対処方法

原稿に付着している異物を取り除いてください。

原稿に異物が付着していると、ADF 内部のガラスに異物が付着して、よごれの原因となる場合があります。

画像がゆがむまたは鮮明ではない

ここをお調べください

- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (202 ページ)
- ADF で読み取り中に、ADF の上部を押さえつけていますか？または上に重いものを置いていますか？ (202 ページ)
- 不安定な場所、振動がある場所で読み取っていますか？ (202 ページ)
- スキャナーは水平で平らな面に置かれていますか？またはスキャナーのゴム足は付いていますか？ (202 ページ)
- 原稿にしわ/カールはありますか？ (202 ページ)

症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？

対処方法

よごれている箇所を清掃してください。

詳細は、[スキャナー内部 \(ADF 内部\) の清掃 \(布による場合\)](#) (122 ページ)を参照してください。

- ADF で読み取り中に、ADF の上部を押さえつけていますか？または上に重いものを置いていますか？

対処方法

ADF の上部を押さえつけたり、上に重いものを置いたりしないでください。

- 不安定な場所、振動がある場所で読み取っていますか？

対処方法

安定した場所、振動がない場所で読み取ってください。

- スキャナーは水平で平らな面に置かれていますか？またはスキャナーのゴム足は付いていますか？

対処方法

スキャナーを水平で平らな面に置いてください。

または、ゴム足を取り付けてください。

- 原稿にしわ/カールはありますか？

対処方法

原稿のしわ/カールをのばしてください。

画像に縦線（縦筋）が出る

ここをお調べください

- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (203 ページ)
 - 原稿に異物（紙粉やほこり）が付着していますか？ (203 ページ)
 - スキャナードライバーで、「縦筋軽減」を有効にして読み取っていますか？ (203 ページ)
- 症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？

対処方法

よごれている箇所を清掃してください。

詳細は、スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（布による場合）(122 ページ)を参照してください。

- 原稿に異物（紙粉やほこり）が付着していますか？

対処方法

原稿に付着している異物を取り除いてください。

原稿に異物が付着していると、ADF 内部のガラスに異物が付着して、よごれの原因となる場合があります。

- スキャナードライバーで、「縦筋軽減」を有効にして読み取っていますか？

対処方法

スキャナードライバーで、「縦筋軽減」を有効にして読み取ってください。

読み取り中に、タッチパネルに「U4:40」のコードが表示される

ここをお調べください

- [ADF はしっかりと閉じられていますか？ \(204 ページ\)](#)

症状が改善しない場合は、[サービスセンターに連絡する前に \(221 ページ\)](#)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(326 ページ\)](#)に連絡してください。

- **ADF はしっかりと閉じられていますか？**

対処方法

ADF をしっかりと閉じてください。

詳細は、[ADF の閉じ方 \(65 ページ\)](#)を参照してください。

頻繁に原稿が重なって搬送される

ここをお調べください

- 原稿の状態は条件を満たしていますか？ (205 ページ)
 - A3 キャリアシートを使用していますか？ (205 ページ)
 - 原稿の重なりを検出する設定が有効になっているとき、原稿の重なりを正しく検出するための条件を満たしていますか？ (205 ページ)
 - プラスチックカードのような厚い原稿を読み取りましたか？ (206 ページ)
 - 原稿をセットする前に、原稿をさばきましたか？ (206 ページ)
 - 原稿は、コピー機またはレーザープリンターで印刷したばかりですか？ (206 ページ)
 - ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？ (206 ページ)
 - ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？ (206 ページ)
 - ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？ (206 ページ)
 - 標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用していますか？ (207 ページ)
- 症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

- **原稿の状態は条件を満たしていますか？**

対処方法

条件を満たしている原稿を使用してください。
詳細は、[読み取りできる原稿 \(82 ページ\)](#)を参照してください。

- **A3 キャリアシートを使用していますか？**

対処方法

スキャナードライバーで、A3 キャリアシート用の読み取り設定にしてください。
詳細は、[写真や切り抜きなどの原稿を読み取りたいとき \(104 ページ\)](#)を参照してください。

- **原稿の重なりを検出する設定が有効になっているとき、原稿の重なりを正しく検出するための条件を満たしていますか？**

対処方法

原稿の重なりを正しく検出するための条件を満たしてください。
詳細は、[原稿の重なり \(マルチフィード\) を正しく検出するための条件 \(88 ページ\)](#)を参照してください。
必要に応じて原稿の重なりを検出する範囲を指定してください。
詳細は、[原稿の重なりを検出する範囲の設定 \(マルチフィード原稿チェック領域指定\) \(292 ページ\)](#)を参照してください。

● **プラスチックカードのような厚い原稿を読み取りましたか？**

対処方法

次のどれかの設定で読み取ってください。

- インテリジェントマルチフィード検出機能を使用する。
- 超音波センサーで原稿の重なりを検出する設定を無効にする。
- 手差し・単送モードで読み取る。

● **原稿をセットする前に、原稿をさばきましたか？**

対処方法

原稿をセットする前に原稿をさばいてください。

詳細は、[原稿の準備 \(78 ページ\)](#)を参照してください。

● **原稿は、コピー機またはレーザープリンターで印刷したばかりですか？**

対処方法

3、4回さばいて、原稿にたまっている静電気の電荷を取り除いてください。

詳細は、[原稿の準備 \(78 ページ\)](#)を参照してください。

● **ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？**

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを正しく取り付けてください。

詳細は、[ブレーキローラの交換 \(130 ページ\)](#)および[ピックローラの交換 \(135 ページ\)](#)を参照してください。

● **ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？**

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを清掃してください。

詳細は、[スキャナー内部 \(ADF 内部\) の清掃 \(布による場合\) \(122 ページ\)](#)を参照してください。

● **ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？**

対処方法

タッチパネルの「枚数カウンター」画面で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認し、必要に応じてブレーキローラおよびピックローラを交換してください。

「枚数カウンター」画面は、次の手順で表示できます。



→ 「清掃 / 点検」 → 「枚数カウンター」

Software Operation Panel の場合は、[枚数カウンタの確認 \(267 ページ\)](#)を参照してください。

ブレーキローラおよびピックローラの交換は、[ブレーキローラの交換 \(130 ページ\)](#)および[ピックローラの交換 \(135 ページ\)](#)を参照してください。

- 標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用していますか？

対処方法

タッチパネルの「高地モード」画面で、「有効にする」を ON にしてください。
「高地モード」画面は、次の手順で表示できます。



→ 「スキャナー設定」 → 「給紙 / 搬送」 → 「高地モード」

Software Operation Panel の場合は、[高地で読み取る機能の設定（高地モード）（288 ページ）](#)を参照してください。

なお、標高 2,000m 未満の平地で、「高地モード」を有効に設定してスキャナーを使用すると、原稿の重なりが検出されないことがあります。

原稿が ADF に送り込まれない状態が頻繁に起こる

ここをお調べください

- 原稿の状態は条件を満たしていますか？ (208 ページ)
- 原稿をセットする前に、原稿をさばきましたか？ (208 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？ (208 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？ (208 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？ (208 ページ)

症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

- 原稿の状態は条件を満たしていますか？

対処方法

条件を満たしている原稿を使用してください。
詳細は、[読み取りできる原稿 \(82 ページ\)](#)を参照してください。

- 原稿をセットする前に、原稿をさばきましたか？

対処方法

原稿をセットする前に原稿をさばいてください。
詳細は、[原稿の準備 \(78 ページ\)](#)を参照してください。

- ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを正しく取り付けてください。
詳細は、[ブレーキローラの交換 \(130 ページ\)](#)および[ピックローラの交換 \(135 ページ\)](#)を参照してください。

- ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを清掃してください。
詳細は、[スキャナー内部 \(ADF 内部\) の清掃 \(布による場合\) \(122 ページ\)](#)を参照してください。

- ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？

対処方法

タッチパネルの「枚数カウンター」画面で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認し、必要に応じてブレーキローラおよびピックローラを交換してください。
「枚数カウンター」画面は、次の手順で表示できます。



→ 「清掃 / 点検」 → 「枚数カウンター」

Software Operation Panel の場合は、[枚数カウンタの確認 \(267 ページ\)](#)を参照してください。
ブレーキローラおよびピックローラの交換は、[ブレーキローラの交換 \(130 ページ\)](#)および[ピックローラの交換 \(135 ページ\)](#)を参照してください。

原稿保護が頻繁に起こる

ここをお調べください

- 原稿の状態は条件を満たしていますか？ (210 ページ)
- ADF 内部に異物が入り込んでいますか？ (210 ページ)
- ブレーキローラおよびピックアップローラは正しく取り付けられていますか？ (210 ページ)
- ブレーキローラおよびピックアップローラはきれいですか？ (210 ページ)
- ブレーキローラおよびピックアップローラが擦り減っていますか？ (211 ページ)
- タッチパネルまたは Software Operation Panel の原稿を保護する機能の検知レベルを高く設定していますか？ (211 ページ)

症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

- **原稿の状態は条件を満たしていますか？**

対処方法

条件を満たしている原稿を使用してください。
詳細は、[読み取りできる原稿 \(82 ページ\)](#)を参照してください。

- **ADF 内部に異物が入り込んでいますか？**

対処方法

ADF を清掃してください。
または、ADF から異物を取り除いてください。
詳細は、[スキャナー内部 \(ADF 内部\) の清掃 \(布による場合\) \(122 ページ\)](#)を参照してください。

- **ブレーキローラおよびピックアップローラは正しく取り付けられていますか？**

対処方法

ブレーキローラおよびピックアップローラを正しく取り付けてください。
詳細は、[ブレーキローラの交換 \(130 ページ\)](#)および[ピックアップローラの交換 \(135 ページ\)](#)を参照してください。

- **ブレーキローラおよびピックアップローラはきれいですか？**

対処方法

ブレーキローラおよびピックアップローラを清掃してください。
詳細は、[スキャナー内部 \(ADF 内部\) の清掃 \(布による場合\) \(122 ページ\)](#)を参照してください。

- **ブレーキローラおよびピックアップローラが擦り減っていますか？**

対処方法

タッチパネルの「枚数カウンター」画面で、ブレーキローラおよびピックアップローラのカウンターを確認し、必要に応じてブレーキローラおよびピックアップローラを交換してください。
「枚数カウンター」画面は、次の手順で表示できます。



→ 「清掃 / 点検」 → 「枚数カウンター」

Software Operation Panel の場合は、[枚数カウンタの確認 \(267 ページ\)](#)を参照してください。
ブレーキローラおよびピックアップローラの交換は、[ブレーキローラの交換 \(130 ページ\)](#)および[ピックアップローラの交換 \(135 ページ\)](#)を参照してください。

- **タッチパネルまたは Software Operation Panel の原稿を保護する機能の検知レベルを高く設定していますか？**

対処方法

タッチパネルの「ペーパープロテクション」画面の「原稿のたわみ検知レベル」および「原稿のつまり音検知レベル」を「低」にしてください。
「ペーパープロテクション」画面は、次の手順で表示できます。



→ 「スキャナー設定」 → 「原稿保護」 → 「ペーパープロテクション」または「ペーパープロテクション (タッチパネル設定)」

Software Operation Panel の場合は、[原稿を保護する機能の感度設定 \(ペーパープロテクション検知レベル\) \(286 ページ\)](#)を参照してください。

原稿づまり/ピックミスが頻繁に起こる

ここをお調べください

- 原稿の状態は条件を満たしていますか？ (212 ページ)
- ADF 内部に異物が入り込んでいますか？ (212 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？ (212 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？ (212 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？ (212 ページ)

症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

- 原稿の状態は条件を満たしていますか？

対処方法

条件を満たしている原稿を使用してください。
詳細は、読み取りできる原稿 (82 ページ)を参照してください。

- ADF 内部に異物が入り込んでいますか？

対処方法

ADF を清掃してください。
または、ADF から異物を取り除いてください。
詳細は、スキャナー内部 (ADF 内部) の清掃 (布による場合) (122 ページ)を参照してください。

- ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを正しく取り付けてください。
詳細は、ブレーキローラの交換 (130 ページ)およびピックローラの交換 (135 ページ)を参照してください。

- ブレーキローラおよびピックローラはきれいですか？

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを清掃してください。
詳細は、スキャナー内部 (ADF 内部) の清掃 (布による場合) (122 ページ)を参照してください。

- ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？

対処方法

タッチパネルの「枚数カウンター」画面で、ブレーキローラおよびピックローラのカウンターを確認し、必要に応じてブレーキローラおよびピックローラを交換してください。
「枚数カウンター」画面は、次の手順で表示できます。



→ 「清掃 / 点検」 → 「枚数カウンター」

Software Operation Panel の場合は、[枚数カウンタの確認 \(267 ページ\)](#)を参照してください。
ブレーキローラおよびピックローラの交換は、[ブレーキローラの交換 \(130 ページ\)](#)および[ピックローラの交換 \(135 ページ\)](#)を参照してください。

画像が間延びする

ここをお調べください

- 各ローラーはきれいですか？ (214 ページ)
- 原稿の状態は条件を満たしていますか？ (214 ページ)
- ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？ (214 ページ)
- 読み取り倍率を調整しましたか？ (214 ページ)

症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

- **各ローラーはきれいですか？**

対処方法

各ローラーを清掃してください。

詳細は、[スキャナー内部 \(ADF 内部\) の清掃 \(布による場合\) \(122 ページ\)](#)を参照してください。

- **原稿の状態は条件を満たしていますか？**

対処方法

条件を満たしている原稿を使用してください。

詳細は、[読み取りできる原稿 \(82 ページ\)](#)を参照してください。

- **ブレーキローラおよびピックローラは正しく取り付けられていますか？**

対処方法

ブレーキローラおよびピックローラを正しく取り付けてください。

詳細は、[ブレーキローラの交換 \(130 ページ\)](#)および[ピックローラの交換 \(135 ページ\)](#)を参照してください。

- **読み取り倍率を調整しましたか？**

対処方法

タッチパネルの「倍率調整」画面で、搬送方向の読み取り倍率を調整してください。

「倍率調整」画面は、次の手順で表示できます。



→ 「スキャナー設定」 → 「画像」 → 「倍率調整」

Software Operation Panel の場合は、[読み取り開始位置の調整 \(オフセット設定/倍率調整\) \(273 ページ\)](#)を参照してください。

画像の先端または後端に影がある

ここをお調べください

- オフセット（原稿の読み取り開始位置）を調整しましたか？ (215 ページ)
- 縁消し機能を使用して原稿端にできる影を塗りつぶしていますか？ (215 ページ)
症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

● オフセット（原稿の読み取り開始位置）を調整しましたか？

対処方法

タッチパネルの「オフセット」画面で、「ADF 表面副走査」および「ADF 裏面副走査」のオフセットを調整してください。

「オフセット」画面は、次の手順で表示できます。



→ 「スキャナー設定」 → 「画像」 → 「オフセット」

Software Operation Panel の場合は、読み取り開始位置の調整（オフセット設定/倍率調整） (273 ページ)を参照してください。

● 縁消し機能を使用して原稿端にできる影を塗りつぶしていますか？

対処方法

タッチパネルの「縁消し範囲」画面で、原稿端にできる影を塗りつぶしてください。

「縁消し範囲」画面は、次の手順で表示できます。



→ 「スキャナー設定」 → 「画像」 → 「縁消し範囲」

Software Operation Panel の場合は、画像の端にできる影やスジの消去（縁消し（ADF）） (276 ページ)を参照してください。

スキャナードライバーの場合は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

原稿に黒い跡が残る

ここをお調べください

- 鉛筆書きの原稿またはカーボン紙を読み取っていますか？ (216 ページ)
- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (216 ページ)
症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

- 鉛筆書きの原稿またはカーボン紙を読み取っていますか？

対処方法

鉛筆書きの原稿を読み取る時は、原稿に黒い跡が転写される可能性があるため、こまめに各ローラーを清掃してください。

ローラー類のよごれ、原稿送り不良の原因となります。

詳細は、[スキャナー内部 \(ADF 内部\) の清掃 \(布による場合\) \(122 ページ\)](#)を参照してください。

- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？

対処方法

よごれている箇所を清掃してください。

詳細は、[スキャナー内部 \(ADF 内部\) の清掃 \(布による場合\) \(122 ページ\)](#)を参照してください。

A3 キャリアシートがうまく送られない/つまる

ここをお調べください

- A3 キャリアシートだけを連続して読み取りましたか？ (217 ページ)
 - A3 キャリアシートはきれいですか？ (217 ページ)
 - ADF 給紙シュート（フィーダー）に A3 キャリアシートをセットしてから、読み取りを開始しましたか？ (217 ページ)
 - ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？ (217 ページ)
 - ブレーキローラおよびピックローラが擦り減っていますか？ (218 ページ)
 - ADF 内部に異物が入り込んでいますか？ (218 ページ)
 - 厚みのある原稿を A3 キャリアシートにはさんでいますか？ (218 ページ)
- 症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に (221 ページ)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)に連絡してください。

- A3 キャリアシートだけを連続して読み取りましたか？

対処方法

PPC 用紙（再生紙）を 50 枚ほど連続給紙したあとに、A3 キャリアシートを読み取ってください。PPC 用紙（再生紙）は、印刷された用紙でも白紙でもかまいません。

- A3 キャリアシートはきれいですか？

対処方法

次のどちらかを行って、対処してください。

- A3 キャリアシートを清掃してください。
詳細は、[A3 キャリアシートの清掃 \(127 ページ\)](#)を参照してください。
- 新しい A3 キャリアシートに交換してください。
A3 キャリアシートの購入については、[株式会社 PFU PFU ダイレクト \(327 ページ\)](#)にお問い合わせください。

- ADF 給紙シュート（フィーダー）に A3 キャリアシートをセットしてから、読み取りを開始しましたか？

対処方法

ADF 給紙シュート（フィーダー）に A3 キャリアシートをセットしてから、読み取りを開始してください。
詳細は、[写真や切り抜きなどの原稿を読み取りたいとき \(104 ページ\)](#)を参照してください。

- ADF 内部のガラスまたは各ローラーはきれいですか？

対処方法

よごれている箇所を清掃してください。
詳細は、[スキャナー内部（ADF 内部）の清掃（布による場合） \(122 ページ\)](#)を参照してください。

- **ブレーキローラおよびピックアップローラが擦り減っていますか？**

対処方法

タッチパネルの「枚数カウンター」画面で、ブレーキローラおよびピックアップローラのカウンターを確認し、必要に応じてブレーキローラおよびピックアップローラを交換してください。
「枚数カウンター」画面は、次の手順で表示できます。



→ 「清掃 / 点検」 → 「枚数カウンター」

Software Operation Panel の場合は、[枚数カウンタの確認 \(267 ページ\)](#)を参照してください。
ブレーキローラおよびピックアップローラの交換は、[ブレーキローラの交換 \(130 ページ\)](#)および[ピックアップローラの交換 \(135 ページ\)](#)を参照してください。

- **ADF 内部に異物が入り込んでいますか？**

対処方法

ADF を清掃してください。
または、ADF から異物を取り除いてください。
詳細は、[スキャナー内部 \(ADF 内部\) の清掃 \(布による場合\) \(122 ページ\)](#)を参照してください。

- **厚みのある原稿を A3 キャリアシートにはさんでいますか？**

対処方法

厚みのある原稿を A3 キャリアシートにはさんで読み取れません。
条件を満たしている原稿を使用してください。
詳細は、[A3 キャリアシートを使用する場合の条件 \(94 ページ\)](#)を参照してください。

A3 キャリアシートで読み取ると画像が欠ける

ここをお調べください

- A3 キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を複数枚並べて読み取りましたか？（219 ページ）
- 原稿が A3 キャリアシートからはみ出ていますか？（219 ページ）
症状が改善しない場合は、サービスセンターに連絡する前に（221 ページ）の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター（326 ページ）に連絡してください。

- A3 キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を複数枚並べて読み取りましたか？

対処方法

A3 キャリアシートに小型原稿（写真・はがきなど）を 1 枚ずつはさんで読み取ってください。

- 原稿が A3 キャリアシートからはみ出ていますか？

対処方法

原稿の折り曲げ部分の検出誤差により、画像が欠ける場合があります。

A3 キャリアシートに原稿をはさむときは、原稿の折り曲げ部分を A3 キャリアシートの端から 1mm ほど内側にずらしてはさんでください。

工場出荷設定の管理者パスワードを入力するとエラーになる

ここをお調べください

入力した工場出荷設定のパスワードは正しいですか？ (220 ページ)

症状が改善しない場合は、[サービスセンターに連絡する前に \(221 ページ\)](#)の項目をチェックして、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター ([326 ページ](#))に連絡してください。

- 入力した工場出荷設定のパスワードは正しいですか？

対処方法

工場出荷設定の管理者パスワードは、ラベルの有無で確認できます。

ラベルの詳細は、[装置ラベルの確認 \(223 ページ\)](#)を参照してください。

サービスセンターに連絡する前に

当社のサービスセンター（株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)）に連絡する前に、次の項目をお調べください。

- [概要 \(221 ページ\)](#)
- [エラーの状況 \(221 ページ\)](#)

概要

調べる項目	調査結果
スキャナー名	例：fi-7300NX 詳細は、 装置ラベルの確認 (223 ページ) を参照してください。
シリアル No.	例：XXXX000001 詳細は、 装置ラベルの確認 (223 ページ) を参照してください。
製造年月	例：20XX-01（20XX 年 01 月） 詳細は、 装置ラベルの確認 (223 ページ) を参照してください。
購入年月日	
症状	
故障頻度	
保証書の有無	
使用しているオプション品名	

エラーの状況

- **コンピューター接続時の問題**

調べる項目	調査結果
オペレーティングシステム (Windows) の種類	
画面のエラーメッセージ	
インターフェイスの種類	例：USB インターフェイス
インターフェイスコントローラーの種類	
接続形態	例：無線 LAN

● 搬送系の問題

調べる項目	調査結果
原稿の種類	
主な使用目的	
最新の清掃年月日	
消耗品の交換年月日	
タッチパネルの状況	

● 画像系の問題

調べる項目	調査結果
スキャナードライバーの種類と版数	
インターフェイスコントローラーの種類	
オペレーティングシステム (Windows) の種類	
アプリケーションの種類	例：PaperStream ClickScan
読み取り面	例：表面、裏面、両面
読み取り解像度	例：600dpi、75dpi
読み取り色	例：カラー、グレースケール、二値白黒

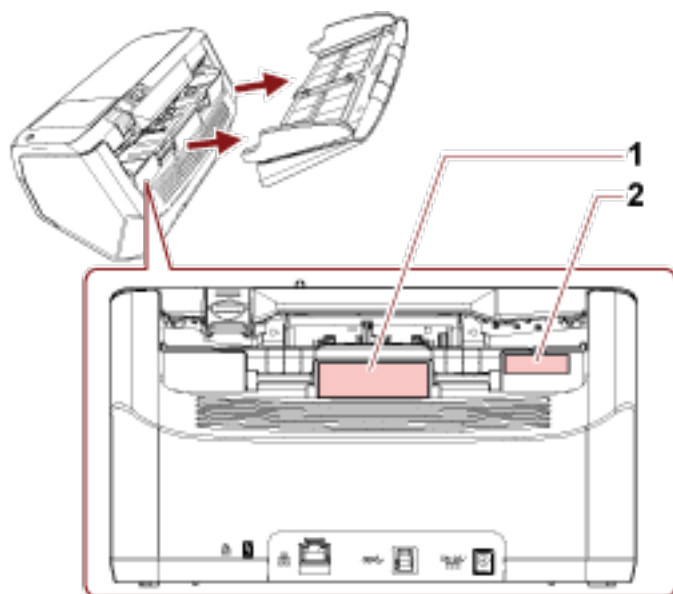
● そのほか

調べる項目	調査結果
原稿の状態がわかるような写真と、出力結果の両方を E-mail または FAX で送ることは可能ですか？	

装置ラベルの確認

ラベルの確認方法について説明します。

ラベルは、次の図に示す場所に貼付されています。
ADF 給紙シュート（フィーダー）を取り外して、確認してください。



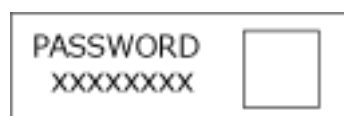
1のラベル例

スキャナーの情報を示しています。



2のラベル例

工場出荷設定の管理者パスワードの初期値を示しています。xxxxxxx部分(8桁の数字)がパスワードです。



ラベルがない場合、工場出荷設定の管理者パスワードの初期値は「password」です。


スキャナー設定（タッチパネル編）

ここでは、タッチパネルを使ったスキャナーの設定方法について説明します。

ヒント

一部の設定項目は、Software Operation Panel でも設定できます。詳細は、[スキャナー設定（Software Operation Panel 編）](#)（252 ページ）を参照してください。

設定項目

スキャナーの設定は、タッチパネル右下の  を押して表示される画面の「スキャナー設定」で変更できます。

ここでは、設定できる項目を一覧で示します。

重要

スキャナーの設定を変更するには、管理者パスワードが必要です。
工場出荷設定の管理者パスワードは、ラベルの有無で確認できます。
ラベルの詳細は、[装置ラベルの確認](#)（223 ページ）を参照してください。
管理者以外による設定の変更を防止するために、管理者パスワードを変更してください。
また、管理者パスワードは、定期的に見直してください。
管理者パスワードは、次の手順で表示される画面で設定できます。



→ 「スキャナー設定」 → 「管理者パスワード」

設定項目	説明	
接続方法 (227 ページ)	スキャナーの接続方法を設定します。	
電源管理 (228 ページ)	起動モード (228 ページ)	スキャナーの起動モードを設定します。
	省電力モード (228 ページ)	スキャナーの電源を投入したままで一定時間何も操作しない場合に、省電力状態に移行したり、自動的に電源を切断するまでの待機時間を設定します。
	電源ボタン (228 ページ)	スキャナーの [Power] ボタンの操作で、スキャナーの電源を投入/切断するかどうかを設定します。
スキャナー名 (230 ページ)	スキャナーの名前を設定します。	
スキャナーコード (230 ページ)	スキャナーコードを発行するかどうかを設定します。	

設定項目		説明
		スキャナーコードは、「PaperStream NX Manager」の設定が有効な場合に、コンピュータやモバイル機器から、ユーザーアプリケーションを使用して読み取るときに利用できます。
ネットワーク (231 ページ)	無線 LAN (231 ページ)	無線 LAN の設定をします。
	有線 LAN (232 ページ)	有線 LAN の設定をします。
	サーバー (234 ページ)	スキャナーと接続するサーバーを設定します。
	通信の暗号化 (236 ページ)	ネットワークの通信データを暗号化するかどうかを設定します。
	接続確認 (Ping) (236 ページ)	スキャナーと接続先のコンピュータの通信状態を確認します。
給紙 / 搬送 (237 ページ)	プレピックモード (237 ページ)	連続読み取りをする場合に、原稿の読み取り時間を短くする設定をします。
	給紙リトライ (237 ページ)	原稿が ADF 給紙シュート (フィーダー) から搬送されなかったときのリトライ回数を設定します。
	マルチフィード検出 (237 ページ)	原稿の読み取り中に、原稿の重なりを検出する設定をします。
	マルチフィード検出範囲 (239 ページ)	原稿の重なりを検出する範囲を設定します。
	インテリジェントマルチフィード検出 (239 ページ)	原稿の重なりを検出する設定をしている場合に、原稿の決まったパターンの重なりを自動的に検出しないようにする設定をします。
	手差し (241 ページ)	原稿を 1 枚ずつセットして読み取るときの設定をします。
	高地モード (241 ページ)	標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用する場合に設定します。
原稿保護 (242 ページ)	ペーパープロテクション (242 ページ)	原稿の搬送異常を検出する設定をします。
	ペーパープロテクション (タッチパネル設定) (243 ページ)	「ペーパープロテクション」 および Software Operation Panel の設定より優先したい設定がある場合に有効にします。
	タッチパネル設定を優先 (243 ページ)	
画像 (245 ページ)	自動用紙サイズ検出 (245 ページ)	自動で原稿の用紙サイズを検出する場合に、画像の端の処理方法を設定します。

設定項目		説明
	縁消し範囲 (245 ページ)	画像の端に発生する原稿の影やスジを塗りつぶすための設定をします。
	ドロップアウトカラー (246 ページ)	赤・緑・青（光の三原色）のどれかの色を取り除いて原稿を読み取る設定をします。
	オフセット (247 ページ)	原稿の読み取り開始位置を設定します。
	倍率調整 (248 ページ)	搬送方向の読み取り倍率を設定します。
	画質モード (248 ページ)	fi-6130Z で読み取った場合の画質に近づけて読み取りたいときに設定します。
清掃 / 点検 (249 ページ)	清掃周期 (249 ページ)	スキャナー内部の清掃周期を設定します。
	ピックアップローラー交換 (249 ページ)	ピックアップローラーの交換周期を設定します。
	ブレーキローラー交換 (249 ページ)	ブレーキローラーの交換周期を設定します。
	保守・点検周期 (249 ページ)	サービスエンジニアによるスキャナーの保守・点検の周期を設定します。
USB (250 ページ)		USB の動作を設定します。
管理者パスワード (250 ページ)		管理者パスワードを変更したり、無効にしたりします。
工場出荷設定に戻す (251 ページ)		スキャナーの設定を、工場出荷設定に戻します。

重要

タッチパネルでは、スキャナーの設定を退避して復元することはできません。

接続方法

接続方法

スキャナーの接続方法を設定します。

- 無線 LAN
- 有線 LAN
- USB

続けて設定する

「続けて設定する」を ON に設定すると、本設定に続けて、接続に必要な情報を設定できます。

電源管理

起動モード

スキャナーの起動モードを設定します。

- クイック
[Power] ボタンを2秒以上押し続けると、省電力状態に移行します。
省電力状態から復帰したら、すぐに読み取りを開始できます。
- ノーマル
[Power] ボタンを2秒以上押し続けると、電源を切断します。
工場出荷設定です。

重要

「クイック」を設定すると、「省電力モード」の「自動電源切断 (時間)」の設定に関係なく、スキャナーの電源は切断されません。

省電力モード

スキャナーの電源を投入したままで一定時間何も操作しない場合に、省電力状態に移行したり、自動的に電源を切断するまでの待機時間を設定します。

省電力 (分)

省電力状態に移行するまでの待機時間を設定します。
工場出荷設定は「15」です。

自動電源切断 (時間)

自動でスキャナーの電源を切断するまでの待機時間を設定します。

- 無効
- 1
- 2
- 4
工場出荷設定です。
- 8

重要

- 「起動モード」を「クイック」に設定している場合は無効になります。
- 「電源ボタン」を「電源ボタン無効」に設定している場合は無効になります。

電源ボタン

スキャナーの [Power] ボタンの操作で、スキャナーの電源を投入/切断するかどうかを設定します。

- 電源ボタン有効
スキャナーの [Power] ボタンでスキャナーの電源を投入/切断します。

工場出荷設定です。

- 電源ボタン無効

コンピューターの電源に合わせて、スキャナーなどの周辺機の電源を管理する AC ケーブルタップを使用する場合に選択します。

スキャナーの [Power] ボタンでスキャナーの電源を投入/切断しません。

USB 連動

「電源ボタン有効」を選択していて、スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続している場合に設定できます。

「USB 連動」を ON に設定すると、スキャナーの [Power] ボタンのほかに、コンピューターの電源の投入/切断と連動してスキャナーの電源を投入/切断します。

USB ケーブルの抜き差しでもスキャナーの電源を投入/切断します。

重要

コンピューターや USB ハブの種類によって、コンピューターの電源を切断しても USB バスに電源を供給し続けるものがあります。

そのような環境では、「USB 連動」が正しく機能しない場合があります。

スキャナー名

スキャナー名

スキャナーの名前を設定します。
 スキャナー名を 64 文字以内で入力します。
 スキャナー名に使用できる文字は、次のとおりです。

- 英数字
- ハイフン (-)
- アンダースコア (_)
- スペース
 先頭と末尾のスペースは削除されます。

ヒント

「ダイナミック DNS」を有効にする場合は、スキャナー名に次の文字を使用しないことを推奨します。
 詳細は、[ダイナミック DNS \(232 ページ\)](#)を参照してください。

- アンダースコア (_)
- スペース

スキャナーコード

スキャナーコード

スキャナーコードを発行するかどうかを設定します。
 スキャナーコードは、「PaperStream NX Manager」の設定が有効な場合に、コンピューターやモバイル機器から、ユーザーアプリケーションを使用して読み取るときに利用できます。

有効にする

工場出荷設定は「有効にする」が OFF です。
 「有効にする」を ON にした場合は、「コード」を必ず入力します。

コード

コードを 64 文字以内で入力します。
 スキャナーのタッチパネルで入力できる文字を使用できます。
 先頭と末尾のスペースは削除されます。

ネットワーク

「接続方法」で「無線 LAN」または「有線 LAN」を選択した場合に設定できます。

無線 LAN

無線 LAN の設定をします。

「接続方法」で「無線 LAN」を選択した場合に設定できます。

アクセスポイント

無線 LAN で接続するときの設定方法を選択します。

工場出荷設定は「一覧から選択」です。

- 一覧から選択

アクセスポイント一覧から、接続する無線アクセスポイントを選択します。

[開始] ボタンを押すと、無線 LAN の設定を開始します。

以降の設定項目は、[無線アクセスポイントの一覧から選択して接続する場合 \(39 ページ\)](#)を参照してください。

- WPS を使用

無線アクセスポイントの WPS を使用して設定します。

[開始] ボタンを押すと、無線 LAN の設定を開始します。

以降の設定項目は、[無線アクセスポイントの WPS のボタンを押して接続する場合 \(40 ページ\)](#)または[無線アクセスポイントの WPS の PIN コードを入力して接続する場合 \(41 ページ\)](#)を参照してください。

- 手動で設定

無線アクセスポイントの情報を手動で設定します。

[開始] ボタンを押すと、無線 LAN の設定を開始します。

以降の設定項目は、[無線アクセスポイントの情報を入力して接続する場合 \(42 ページ\)](#)を参照してください。

IP アドレス

IP アドレスの取得

スキャナーの IP アドレスを設定します。

- 自動で取得 (DHCP)

工場出荷設定です。

- 手動で設定

「手動で設定」を選択した場合は、次の項目も設定します。

- IP アドレス

- サブネットマスク

- デフォルトゲートウェイ

DNS サーバー

有効にする

手動で IP アドレスを設定した場合に、DNS サーバーを設定します。
工場出荷設定は「有効にする」が OFF です。
「有効にする」を ON にした場合は、次の項目も設定します。

- プライマリー DNS
- セカンダリー DNS

ダイナミック DNS

有効にする

IP アドレスを自動で取得する場合に設定します。
スキャナー選択ツール for fi Series で、スキャナー名（ホスト名）を指定して、スキャナーを検索するときに有効にします。
工場出荷設定は「有効にする」が OFF です。
「有効にする」を ON にすると、ネットワークに接続したときに、DNS サーバーにスキャナー名（ホスト名）と IP アドレスを自動で登録します。
DNS サーバーに登録するスキャナー名（ホスト名）は、「スキャナー設定」の「スキャナー名」で設定できます。詳細は [スキャナー名 \(230 ページ\)](#) を参照してください。

ヒント

「スキャナー名」に半角空白や "_" が含まれている場合は、該当文字を "-" に変換して、DNS サーバーに登録します。

DHCP サーバーから割り当てられる IP アドレスが変更されても、DNS サーバーに登録したスキャナー名（ホスト名）でスキャナーを検索できます。
スキャナーの検索については、スキャナー選択ツール for fi Series のヘルプを参照してください。
スキャナー選択ツール for fi Series の起動方法については、[スキャナー選択ツール for fi Series の起動方法 \(316 ページ\)](#) を参照してください。

無線 LAN 診断

スキャナーと無線 LAN の接続状態を確認します。

【診断】 ボタン

診断結果が表示されます。

有線 LAN

有線 LAN の設定をします。
「接続方法」で「有線 LAN」を選択した場合に設定できます。

IP アドレス

IP アドレスの取得

スキャナーの IP アドレスを設定します。

- 自動で取得 (DHCP)
工場出荷設定です。
- 手動で設定
「手動で設定」を選択した場合は、次の項目も設定します。
- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ

DNS サーバー

有効にする

手動で IP アドレスを設定した場合に、DNS サーバーを設定します。
工場出荷設定は「有効にする」が OFF です。
「有効にする」を ON にした場合は、次の項目も設定します。

- プライマリー DNS
- セカンダリー DNS

ダイナミック DNS

有効にする

IP アドレスを自動で取得する場合に設定します。
スキャナー選択ツール for fi Series で、スキャナー名（ホスト名）を指定して、スキャナーを検索するときに有効にします。
工場出荷設定は「有効にする」が OFF です。
「有効にする」を ON にすると、ネットワークに接続したときに、DNS サーバーにスキャナー名（ホスト名）と IP アドレスを自動で登録します。
DNS サーバーに登録するスキャナー名（ホスト名）は、「スキャナー設定」の「スキャナー名」で設定できます。詳細は[スキャナー名 \(230 ページ\)](#)を参照してください。

ヒント

「スキャナー名」に半角空白や"_"が含まれている場合は、該当文字を"-"に変換して、DNS サーバーに登録します。

DHCP サーバーから割り当てられる IP アドレスが変更されても、DNS サーバーに登録したスキャナー名（ホスト名）でスキャナーを検索できます。
スキャナーの検索については、スキャナー選択ツール for fi Series のヘルプを参照してください。
スキャナー選択ツール for fi Series の起動方法については、[スキャナー選択ツール for fi Series の起動方法 \(316 ページ\)](#)を参照してください。

サーバー

スキャナーと接続するサーバーを設定します。

プロキシサーバー

有効にする

プロキシサーバーを経由する場合に設定します。
工場出荷設定は「有効にする」が OFF です。
「有効にする」を ON にした場合は、次の項目も設定します。

- ホスト名 / IP アドレス
- ポート番号
工場出荷設定は「8080」です。

認証

プロキシサーバーに認証が必要かどうかを設定します。
工場出荷設定は「認証」が OFF です。
「認証」を ON にした場合は、次の項目も設定します。

- ユーザー名
- パスワード

PaperStream NX Manager

PaperStream NX Manager を設定します。

PaperStream NX Manager

PaperStream NX Manager を使用するかどうかを設定します。
PaperStream NX Manager を使用する場合は、サーバー種別を設定します。

サーバー種別

使用しない

PaperStream NX Manager を使用しません。
工場出荷設定です。

自社サーバー

自社サーバーの PaperStream NX Manager を使用します。
「自社サーバー」を設定した場合は、次の項目も設定します。

- ホスト名 / IP アドレス
- ポート番号
工場出荷設定は「20447」です。

【接続確認】 ボタン

PaperStream NX Manager に接続しているかどうかを確認できます。

自動ログイン / ログアウト

PaperStream NX Manager の自動ログイン方法と自動ログアウト時間のどちらかを設定します。

自動ログアウト時間 (分)

PaperStream NX Manager にログインしている場合で、スキャナーを一定時間何も操作しないときに、自動的にログアウトする時間（分）を設定します。

- 無効
工場出荷設定です。
- 1
- 2
- 3

自動ログイン

PaperStream NX Manager の自動ログイン方法を設定します。

- 無効
工場出荷設定です。
- ユーザー名/パスワード
- ジョブグループコード

アプリケーション(インターネット)

PaperStream NX Manager がインターネットに構築されている場合に、コンピューターやモバイル機器から、ユーザーアプリケーションを使用して読み取るときに設定します。

有効にする

工場出荷設定は「有効にする」が OFF です。

Scanner Central Admin Server

PaperStream NX Manager を使用する場合に、Scanner Central Admin Server を設定します。スキャナーを Scanner Central Admin Server から遠隔監視したり、一括操作する場合に設定します。

有効にする

Scanner Central Admin Server を使用するかどうかを設定します。
工場出荷設定は「有効にする」が OFF です。
「有効にする」を ON にした場合は、次の項目も設定します。

- ホスト名 / IP アドレス
- ポート番号
工場出荷設定は「20444」です。

【接続確認】 ボタン

Scanner Central Admin Server に接続しているかどうかを確認できます。

通信の暗号化

ネットワークの通信データを暗号化するかどうかを設定します。

- 非暗号化 (HTTP)
読み取り速度を優先した転送方法です。
工場出荷設定です。
- 暗号化 (HTTPS)
セキュリティを優先した転送方法です。読み取り速度は遅くなります。

接続確認 (Ping)

スキャナーと接続先のコンピューターの通信状態を確認します。

ホスト名 / IP アドレス

ホスト名または IP アドレスを指定します。

【実行】 ボタン

Ping を実行します。

給紙 / 搬送

プレピックモード

連続読み取りをする場合に、原稿の読み取り時間を短くする設定をします。
 連続読み取りをする場合、読み取り中の原稿を排出する前に、次の原稿を ADF 内部まで搬送しておくことを、「プレピック」と呼びます。

有効にする

工場出荷設定は「有効にする」が ON です。

ヒント

- プレピックを有効にすると、途中で読み取りを中止したときに、プレピックされた原稿を一度取り出して、再度セットする必要があります。
- スキャナードライバーでも設定できます。
 この場合、スキャナードライバーの設定が優先されます。

給紙リトライ

原稿が ADF 給紙シュート（フィーダー）から搬送されなかったときのリトライ回数を設定します。

給紙リトライ回数

工場出荷設定は「3」です。

マルチフィード検出

マルチフィードとは、一度に 2 枚以上の原稿が重なって搬送される現象のことです。
 原稿の読み取り中に、原稿の重なりを検出する設定をします。
 原稿の重なりは、超音波センサーや原稿の長さの違いで検出します。
 原稿の重なりを検出すると、タッチパネルにエラーメッセージを表示して、読み取りを中断します。
 ただし、搬送方向で、原稿の先端から約 30mm の範囲に原稿が重なっていても、重なりは検出されません。

検出方法

原稿の重なりを検出する方法を設定します。

- 検出しない
 原稿の重なりを検出しません。
 工場出荷設定です。
- 重なりを検出 (超音波)
 超音波センサーで原稿の重なりを検出します。
 この設定をした場合、さらに次の 2 つの検出オプションを設定できます。
 - 搬送方向で、重なりを検出する範囲を、原稿の先端からの長さで設定できます。
 「マルチフィード検出範囲」で設定します。
 - 原稿に紙片が貼られている場合、紙片の長さや位置を記憶して、重なりを検出しないように設定できます。

「インテリジェントマルチフィード検出」で設定します。

- 長さの違いを検出
原稿の長さの違いで原稿の重なりを検出します。
同じ長さの原稿を読み取る場合に設定してください。
長さの異なる原稿を混載して読み取る場合は、原稿の重なりを正しく検出できません。
- 重なりと長さの違いを検出
「重なりを検出 (超音波)」と「長さの違いを検出」によって、原稿の重なりを検出します。
この設定をした場合、さらに次の2つの検出オプションを設定できます。
 - 搬送方向で、重なりを検出する範囲を、原稿の先端からの長さで設定できます。
「マルチフィード検出範囲」で設定します。
 - 原稿に紙片が貼られている場合、紙片の長さや位置を記憶して、重なりを検出しないように設定できます。
「インテリジェントマルチフィード検出」で設定します。
長さの異なる原稿を混載して読み取る場合は、原稿の重なりを正しく検出できません。

しきい値 (長さの違い)

重なりと判断する原稿の長さの差を設定します。

原稿の長さの差が設定した長さよりも長い場合に、原稿の重なりを検出します。

「検出方法」に「長さの違いを検出」または「重なりと長さの違いを検出」を設定した場合に設定します。

選択された長さ以下は、誤差とみなされて、原稿の重なりを検出しません。

- 10 mm 以下は検出しない
工場出荷設定です。
- 15 mm 以下は検出しない
- 20 mm 以下は検出しない

重要

- 長さの異なる原稿を読み取る場合は、「重なりを検出 (超音波)」を選択してください。
- 原稿の上に付箋紙、伝票、写真などの紙片が貼り付けてある場合は、「重なりを検出 (超音波)」を選択すると、紙片が貼ってある部分を重なりと検出する場合があります。このような場合は、「長さの違いを検出」を選択してください。
または、重なりを検出する範囲に紙片の貼り付け部分以外を設定すれば、重なりを検出しません。

ヒント

- スキャナードライバーでも設定できます。
この場合、スキャナードライバーの設定が優先されます。
- スキャナードライバーで、A3 キャリアシートの設定を有効にしている場合、タッチパネルにエラーメッセージは表示されません。スキャナードライバーからエラーが通知されます。

マルチフィード検出範囲

原稿の重なりを検出する範囲を設定します。

「マルチフィード検出」に「重なりを検出 (超音波)」または「重なりと長さの違いを検出」を設定した場合に設定します。

有効にする

原稿の重なりを検出する範囲を指定するかどうかを設定します。

工場出荷設定は「有効にする」が OFF です。

検出範囲の指定方法

原稿の重なりを検出する範囲の指定方法として、無効領域を指定するか、有効領域を指定するかを設定します。

- 無効領域を指定
工場出荷設定です。
- 有効領域を指定

開始位置 (mm)

搬送方向に、検出範囲の開始位置を、原稿の先端からの長さで指定します。

工場出荷設定は「0」です。

終了位置 (mm)

搬送方向に、検出範囲の終了位置を、原稿の先端からの長さで指定します。

工場出荷設定は「0」です。

ヒント

- 開始位置=0、終了位置=0 に設定した場合は、「検出範囲の指定方法」の設定に関係なく、原稿の全範囲で重なりを検出します。
- 原稿の全範囲で重なりを検出を無効にしたい場合は、「検出範囲の指定方法」で「無効領域を指定」を選択し、開始位置=0、終了位置 \geq 原稿の長さを設定してください。
- 開始位置を原稿の長さを超えた位置に設定すると、「検出範囲の指定方法」が「無効領域を指定」の場合は全範囲で重なりを検出し、「検出範囲の指定方法」が「有効領域を指定」の場合は全範囲で重なりを検出を無効にします。
- 原稿の重なりを検出するには、範囲の長さが 5mm 以上必要です。
範囲を指定する場合は、終了位置 - 開始位置 \geq 6mm になるように指定してください。
- 原稿の重なりを検出する範囲の設定例は、[原稿の重なりを検出する範囲の設定例 \(295 ページ\)](#)を参照してください。

インテリジェントマルチフィード検出

原稿の重なりを検出する設定をしている場合に、原稿の決まったパターンの重なりを自動的に検出しないようにする設定をします。

この設定を行うには、事前に、スキャナードライバーおよびタッチパネルの「マルチフィード検出 (237 ページ)」で、「重なりを検出 (超音波)」または「重なりと長さの違いを検出」を設定しておく必要があります。

動作モード

動作モードを設定します。

手動で無効

重なりが検出された原稿を再度読み取るときだけ、重なりを検出するか、検出しないかを指定できます。

原稿に貼ってある紙片の位置や大きさは記憶しません。

工場出荷設定です。

自動で無効 (長さと位置)

重なりが検出された原稿に貼ってある紙片の長さや位置を、重なりパターンとして記憶するか、記憶しないかを指定できます。

重なりパターンを記憶した場合、次の読み取りから、同じ重なりパターンの原稿は、重なりを検出しません。

ヒント

「重なりパターンの記憶」の「電源切断時」を有効にした場合、原稿の重なりパターンを記憶します（重なりパターンは最新の 8 枚分だけ記憶できます）。

自動で無効 (長さ)

重なりが検出された原稿に貼ってある紙片で最も長いものを、重なりパターンとして記憶するか、記憶しないかを指定できます。

重なりパターンを記憶した場合、次の読み取りから、同じ長さかそれよりも短い紙片が貼ってある原稿は、重なりを検出しません。

重なりパターンの記憶

画像確認時

原稿の重なりを検出した画像を確認する画面を表示したときに、重なりパターンを自動で記憶するかどうかを設定します。

工場出荷設定は「画像確認時」が OFF です。

電源切断時

電源を切断するときに、重なりパターンを記憶するかどうかを設定します。

「電源切断時」を ON に設定すると、電源を切断しても、重なりパターンを記憶した状態を保持します。電源の再投入後も、同じ重なりパターンを使用する場合は ON に設定してください。

工場出荷設定は「電源切断時」が OFF です。

重なりパターン

【クリア】 ボタン

記憶されている重なりパターンをすべて消去します。

ヒント

スキャナードライバーで、A3 キャリアシートの設定を有効にしている場合、「インテリジェントマルチフィード検出」は無効になります。

手差し

原稿を1枚ずつセットして読み取るときの設定をします。

手で1枚ずつ原稿をセットして読み取る場合（手差し）に、最後に原稿をセットしてから次に原稿をセットするまでの時間を設定しておく、設定した時間内であれば原稿をセットする間隔が空いても、連続して読み取りができます。

設定した時間を超えると、自動的に読み取りが終了します。

連送モード

連送モードを有効にするかどうかを設定します。

複数枚の原稿を、手差しで連続して読み取るときに、「連送モード」をONにします。

工場出荷設定は「連送モード」がOFFです。

手差し・単送モードの場合、「連送モード」の設定は無視されます。

タイムアウト時間 (秒)

ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がセットされていないと判断するまでの時間（最後に原稿を読み取ってから、次の原稿の有無を検出するまでの時間）を設定します。

工場出荷設定は「10」です。

ヒント

- 「連送モード」の設定がONになっていると、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がない状態で読み取りを開始しても、タイムアウト時間に設定した時間内で原稿がセットされるのを待ちます。
- 給紙モードスイッチが手差し・単送モードのときは、「連送モード」の設定に関係なく、タイムアウト時間に設定した時間内で原稿がセットされるのを待ちます。

高地モード

標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用する場合に設定します。

高地では気圧が低いため、超音波センサーによる原稿の重なりを検出する精度が低下する場合があります。

有効にする

「有効にする」をONにすると、原稿の重なりを検出する精度が向上します。

工場出荷設定は「有効にする」がOFFです。

原稿保護

ペーパープロテクション

原稿の搬送異常を検出する設定をします。

次のどれかの時点で、原稿の搬送異常を検知します。

- 原稿の搬送が異常なときに発生する、原稿のたわみを検知した時点
- 原稿づまりが発生したときの音を検知した時点

原稿の読み取り中に搬送異常が発生すると、原稿づまりによって大切な原稿が折れ曲がったり破れたりしてしまう可能性があります。

原稿の搬送異常を検知して読み取りを中止すれば、原稿の破損を防げます。

本機能は、薄紙のようなコシの弱い原稿など、搬送性の悪い原稿を読み取るときに効果があります。

検知方法

原稿の搬送異常を検知する方法を設定します。

- 無効
原稿の搬送異常を検出しません。
- 原稿のたわみを検知
原稿の搬送が異常なときに発生する、原稿のたわみを検知した時点で、読み取りが中止されます。
工場出荷設定です。
- 原稿のつまり音を検知
原稿づまりが発生したときの音を検知した時点で、読み取りが中止されます。
- 原稿のたわみとつまり音を検知
原稿の搬送が異常なときに発生する原稿のたわみ、または原稿づまりが発生したときの音を検知した時点で、読み取りが中止されます。

原稿のたわみ検知レベル

原稿のたわみを検知するレベルを設定します。

- 低
原稿のたわみを検知する感度を低くします。
たわみによる変形量が大きいときだけ検知する場合に指定します。
- 通常
最適な感度で原稿のたわみを検知します。
工場出荷設定です。
- 高
原稿のたわみを検知する感度を高くします。
たわみによる変形量が小さくても検知する場合に指定します。

原稿のつまり音検知レベル

原稿がつまる音を検知するレベルを設定します。

- 低
原稿がつまる音を検知する感度を低くします。

原稿がつまる音が大きいときだけ検知する場合に指定します。

- 通常
最適な感度で原稿がつまる音を検知します。
工場出荷設定です。
- 高
原稿がつまる音を検知する感度を高くします。
原稿がつまる音が小さくても検知する場合に指定します。

重要

- 原稿を保護する機能は、原稿の破損を防ぐための機能ですが、必ずしもすべての原稿の破損防止を保証するものではありません。
- 原稿を保護する機能を有効にする場合、原稿の先端をきちんとそろえてセットしてください（特に長さの異なる原稿を混載する場合）。
先端がそろっていないまま読み取った場合、正常に原稿を搬送しているときでも、読み取りが中止されることがあります。

ヒント

- しわが多く寄っている原稿を読み取った場合、正常に原稿を搬送しているときでも、読み取りが中止されることがあります。
その場合は、タッチパネルで再度読み取るときだけ原稿を保護する機能を無効にできます。
詳細は、[原稿保護機能（ペーパープロテクション）を無効にしたいとき（113 ページ）](#)を参照してください。
- 原稿を保護する機能によって、読み取りが頻繁に中止される場合は、[原稿保護が頻繁に起こる（210 ページ）](#)を参照してください。

ペーパープロテクション（タッチパネル設定）

原稿の搬送異常を検出する設定をします。

「タッチパネル設定を優先」を ON に設定した場合に設定します。

次の項目を設定します。

- 検知方法
 - 原稿のたわみ検知レベル
 - 原稿のつまり音検知レベル
- 設定項目の詳細は、[検知方法（242 ページ）](#)を参照してください。

タッチパネル設定を優先

「ペーパープロテクション」および Software Operation Panel の設定より優先したい設定がある場合に有効にします。

工場出荷設定は「タッチパネル設定を優先」が OFF です。

ヒント

- スキャナードライバーでも設定できます。
スキャナードライバーで原稿を保護する設定を有効にした場合は、スキャナーの設定に関係なく、「原稿のたわみとつまり音を検知」が有効になります。
- 原稿を保護する設定は、次の順で優先されます。
 - 1 スキャナードライバーの「ペーパープロテクション」
 - 2 タッチパネルの「ペーパープロテクション (タッチパネル設定)」
 - 3 タッチパネルの「ペーパープロテクション」または Software Operation Panel の「ペーパープロテクション」

画像

自動用紙サイズ検出

自動で原稿の用紙サイズを検出する場合に、画像の端の処理方法を設定します。
用紙サイズを検出するときに、定型サイズに対して端数が発生する場合があります。
この端数の処理に応じて、出力する画像のサイズが変わります。

- 最適化
情報の欠落を防げます。
ただし、画像の端に影が入ることがあります。
工場出荷設定です。
- 切り捨て
定型の用紙サイズになります。
ただし、用紙の端ぎりぎりに文字などの情報が書かれているような原稿を読み取ると、情報が欠落した画像が出力されることがあります。

重要

自動用紙サイズ検出の設定方法については、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

ヒント

二値白黒で読み取るときだけ有効です。

縁消し範囲

画像の端に発生する原稿の影やスジを塗りつぶすための設定をします。
読み取る原稿の状態によっては、画像の端に原稿の影が入って、黒いスジが発生する場合があります。
このような場合に、原稿の端を塗りつぶして、黒いスジを消去します。
設定した範囲を、背景色（裏当ての色）が白色の場合は白色で塗りつぶし、黒色の場合は黒色で塗りつぶします。

上端(mm)

上端を塗りつぶす幅を設定します。工場出荷設定は「0」です。

下端(mm)

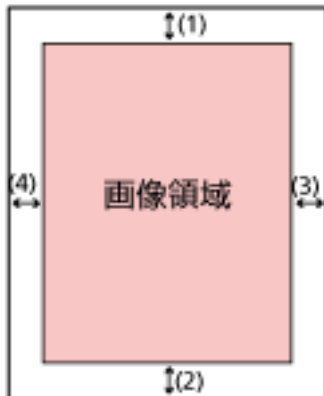
下端を塗りつぶす幅を設定します。工場出荷設定は「0」です。

右端(mm)

右端を塗りつぶす幅を設定します。工場出荷設定は「0」です。

左端(mm)

左端を塗りつぶす幅を設定します。工場出荷設定は「0」です。



- (1) : 上端=0～15mm
 - (2) : 下端=-7～7mm
 - (3) : 右端=0～15mm
 - (4) : 左端=0～15mm
- (1mm 刻み)

重要

用紙の端に文字が書かれた原稿は、縁消し領域を広く取ると、端の文字が消えてしまうことがあるので注意してください。

ヒント

- 背景色は、スキャナードライバーで白色または黒色に変更できます。
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- 縁消しの下端の設定に応じて、縁消し機能は次のように動作します。
 - 1～7mm
画像の下端から内側に向かって、指定した範囲を背景色で塗りつぶします。
 - -1～-7mm
画像の下端から外側に向かって、指定した範囲を背景色で塗りつぶさずに出力します (スキャナードライバーで「後端検出」を指定しているときは、指定した範囲分多く画像を出力します)。
- スキャナードライバーでも設定できます。
この場合、スキャナーで縁消しされた画像に対して、スキャナードライバーの縁消し処理が行われず。

ドロップアウトカラー

赤・緑・青 (光の三原色) のどれかの色を取り除いて原稿を読み取る設定をします。
どの色も取り除かずに原稿を読み取ることもできます。

例えば、黒い文字と緑色の枠がある原稿の場合、ドロップアウトカラーを緑に設定すると、原稿の黒い文字部分だけを読み取ります。

- 赤
- 緑
工場出荷設定です。
- 青
- なし

重要

- 対象となる部分の色が薄い場合は有効に機能しますが、色が濃い場合はうまく機能しないことがあります。
- 赤、緑、青以外の任意の色は指定できません。
任意の色をドロップアウトカラーに指定したい場合は、スキャナードライバーで設定してください。
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

ヒント

- 二値白黒またはグレースケールで読み取るときだけ有効です。
- スキャナードライバーでも設定できます。
この場合、スキャナードライバーの設定が優先されます。

オフセット

原稿の読み取り開始位置を設定します。
-2～+2mm の範囲で 0.5mm 刻みの指定ができます。
工場出荷設定は「0」です。

ADF 表面主走査 (mm)

ADF 表面の主走査（幅）方向の位置を設定します。

ADF 表面副走査 (mm)

ADF 表面の副走査（長さ）方向の位置を設定します。

ADF 裏面主走査 (mm)

ADF 裏面の主走査（幅）方向の位置を設定します。

ADF 裏面副走査 (mm)

ADF 裏面の副走査（長さ）方向の位置を設定します。

重要

工場出荷のときに調整されているので、通常は設定する必要はありません。

倍率調整

倍率 (%)

搬送方向の読み取り倍率を設定します。
 -3.1～+3.1%の範囲で0.1%刻みの指定ができます。
 工場出荷設定は「0.0」です。

重要

工場出荷のときに調整されているので、通常は設定する必要はありません。

画質モード

fi-6130Z で読み取った場合の画質に近づけて読み取りたいときに設定します。

- 無効
工場出荷設定です。
- fi-6130Z

清掃 / 点検

清掃周期


スキャナー内部の清掃周期を設定します。
 清掃後の読み取り枚数が、ここで設定する値の 95%以上になった場合に「枚数カウンター」画面の「清掃後」のカウンターの背景色が黄色、100%以上になった場合に赤色に変わります。

周期 (x 1000 枚)

清掃周期を 1000 枚単位で設定します。
 工場出荷設定は「5」です。

清掃時期を通知する

清掃指示メッセージを表示するかどうかを設定します。

清掃時期を通知するを ON に設定すると、タッチパネルの  に清掃時期が通知されます。
 工場出荷設定は「清掃時期を通知する」が OFF です。

ピックアップローラー交換

ピックアップローラーの交換周期を設定します。
 ピックアップローラー交換後の読み取り枚数が、ここで設定する値の 95%以上になった場合に「枚数カウンター」画面の「ピックアップローラー交換後」のカウンターの背景色が黄色、100%以上になった場合に赤色に変わります。


また、タッチパネルの  にピックアップローラーを交換する時期が通知されます。

周期 (x 10000 枚)

ピックアップローラーの交換周期を 10000 枚単位で設定します。
 工場出荷設定は「20」です。

ブレーキローラー交換

ブレーキローラーの交換周期を設定します。
 ブレーキローラー交換後の読み取り枚数が、ここで設定する値の 95%以上になった場合に「枚数カウンター」画面の「ブレーキローラー交換後」のカウンターの背景色が黄色、100%以上になった場合に赤色に変わります。


また、タッチパネルの  にブレーキローラーを交換する時期が通知されます。

周期 (x 10000 枚)

ブレーキローラーの交換周期を 10000 枚単位で設定します。
 工場出荷設定は「20」です。

保守・点検周期

サービスエンジニアによるスキャナーの保守・点検の周期を設定します。

保守・点検を実施した日から、周期に設定した期間が経過したときに、タッチパネルの  に「保守・点検」のメッセージを通知できます。

サービスエンジニアによるスキャナーの定期保守・点検方法は、サービスエンジニアまたは当社のサービスセンター（[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(326 ページ\)](#)）にお問い合わせください。

有効にする

保守・点検の時期が近づいたときに、保守・点検の時期を通知するかどうかを設定します。
工場出荷設定は「有効にする」が OFF です。

周期（ヶ月）

保守・点検の時期を通知する周期を設定します。
工場出荷設定は「12」です。

USB

USB

USB の動作を設定します。
設定を変更するとスキャナーが再起動されます。

- 自動
接続環境に従って動作します。工場出荷設定です。
- USB 2.0
USB 2.0 で動作します。

管理者パスワード

管理者パスワード

管理者パスワードを変更したり、無効にしたりします。
管理者パスワードを無効にするかどうかは、運用に合わせて設定してください。
管理者パスワードは定期的に見直してください。

有効にする

工場出荷設定は「有効にする」が ON です。

現在のパスワード

現在のパスワードを入力します。
工場出荷設定の管理者パスワードは、ラベルの有無で確認できます。
ラベルの詳細は、[装置ラベルの確認 \(223 ページ\)](#)を参照してください。

新しいパスワード

パスワードを変更する場合に、新しいパスワードを 16 文字以内で入力します。

スキャナーのタッチパネルで入力できる文字を使用できます。
先頭と末尾のスペースは削除されます。

確認パスワード

パスワードを変更する場合に、「新しいパスワード」に入力したパスワードを、確認のため再度入力します。

工場出荷設定に戻す

工場出荷設定に戻す

スキャナーの設定を、工場出荷設定に戻します。

【開始】 ボタン

工場出荷設定に戻します。
スキャナーが再起動し、「セットアップ」画面が表示されます。

スキャナー設定（Software Operation Panel 編）

ここでは、Software Operation Panel を使ったスキャナーの設定方法について説明します。

ヒント

スキャナーの設定は、タッチパネルからでも設定できます。詳細は、[スキャナー設定（タッチパネル編）](#)（224 ページ）を参照してください。

Software Operation Panel の起動

Software Operation Panel は PaperStream IP ドライバーと同時にインストールされます。このアプリケーションを利用すると、スキャナーの動作や消耗品の管理などの設定ができます。

重要

- 読み取り中に Software Operation Panel を起動しないでください。
- スキャナードライバーの画面を表示しているときに、Software Operation Panel の設定を変更した場合、変更した設定がすぐに反映されない場合があります。その場合は、スキャナードライバーの画面を開き直してください。
- Software Operation Panel 起動中、タッチパネルを操作しないでください。

1 スキャナーとコンピューターが接続されていることを確認し、スキャナーの電源を投入します。

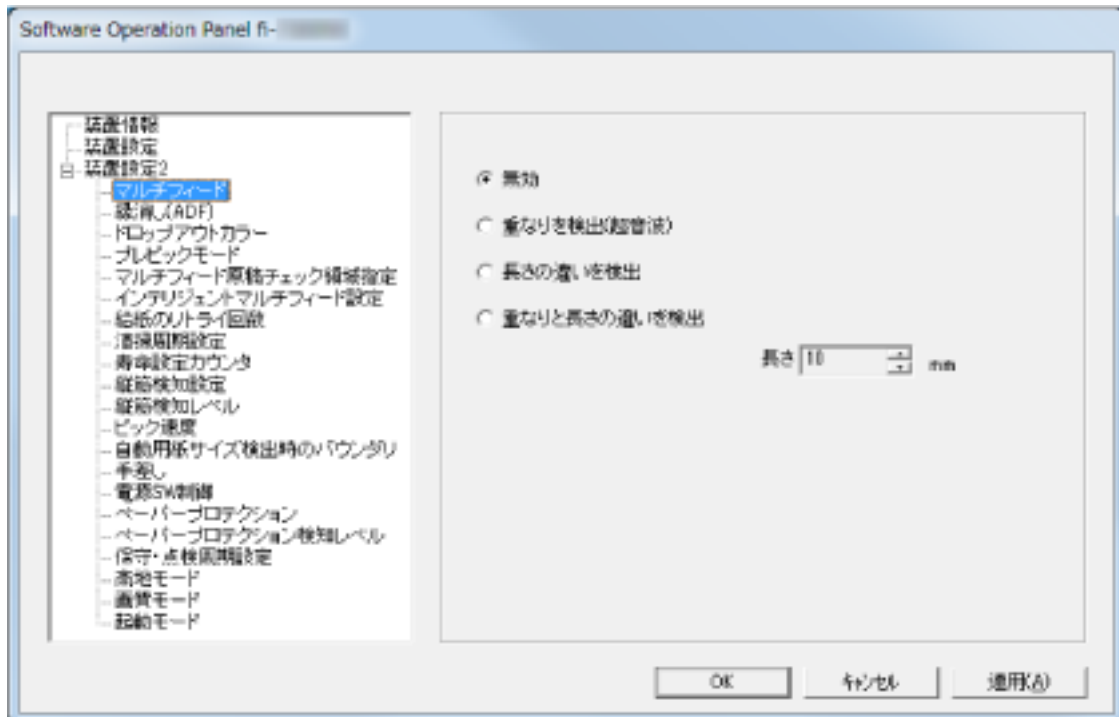
スキャナーとコンピューターの接続方法については、[スタートアップガイド](#)および[スキャナーのセットアップ](#)（33 ページ）を参照してください。


スキャナーの電源の投入方法については、[電源の投入](#)（57 ページ）を参照してください。

2 「Software Operation Panel」画面を表示します。

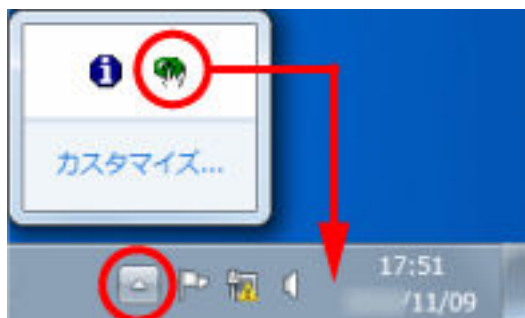
- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022
「スタート」メニュー→「fi Series」→「Software Operation Panel」をクリックします。
- Windows 11

「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「fi Series」→「Software Operation Panel」をクリックします。



画面右下の通知領域にある  をクリックして表示されるメニューに、Software Operation Panel のアイコンが表示されます。

通知領域に Software Operation Panel のアイコンを常に表示させるには、アイコンを通知領域にドラッグ&ドロップしてください。



Software Operation Panel のパスワード設定

Software Operation Panel にパスワードを設定すると、スキャナーの設定内容を閲覧だけできる「閲覧モード」として起動できます。

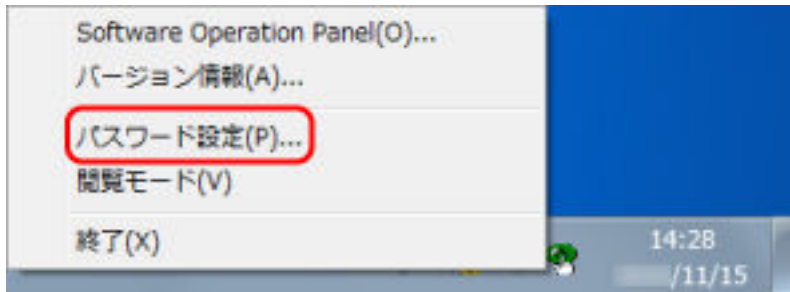
パスワードを設定していない状態では、スキャナーの設定が可能なモードとして起動します。

パスワードを設定して操作を制限すると、不用意な設定変更を防止できます。

パスワードの設定

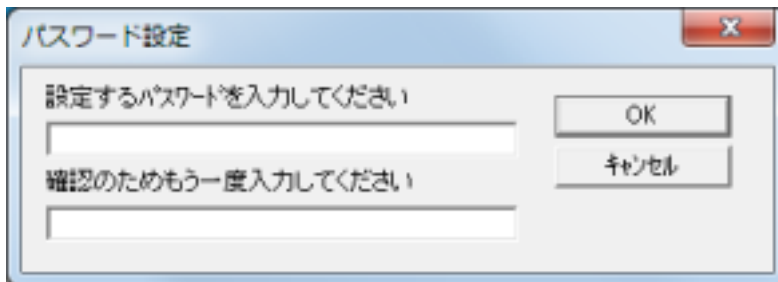
Software Operation Panel にパスワードを設定します。

- 1 画面右下の通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 設定するパスワードと確認用パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。
パスワードとして設定できる最大文字数は 32 文字までです。
入力可能文字は、半角英数字 (a~z、A~Z、0~9) です。



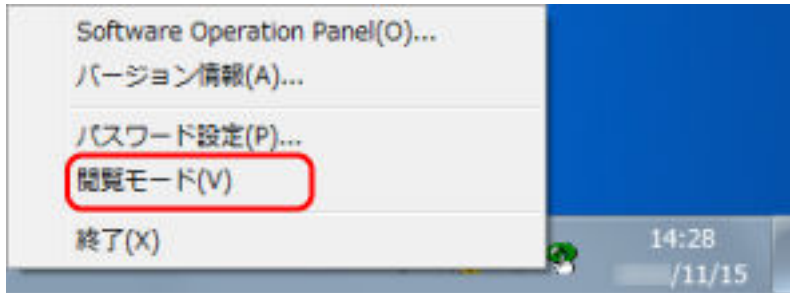
メッセージ画面が表示されます。

- 3 [OK] ボタンをクリックします。
パスワードが設定されます。

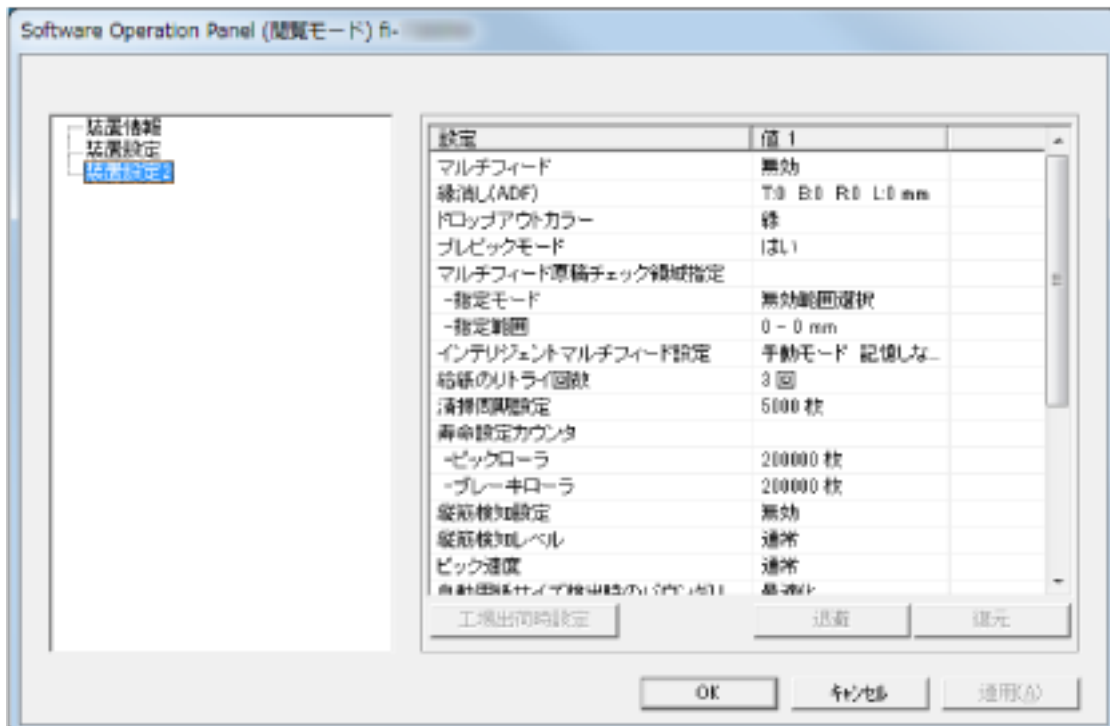
「閲覧モード」の設定

Software Operation Panel を「閲覧モード」に設定します。

- 1 パスワードを設定します。
詳細は、[パスワードの設定 \(255 ページ\)](#)を参照してください。
- 2 画面右下の通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「閲覧モード」をクリックします。

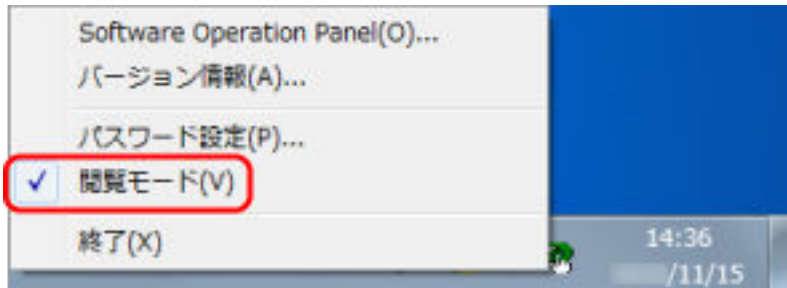


Software Operation Panel が「閲覧モード」で起動されます。



ヒント

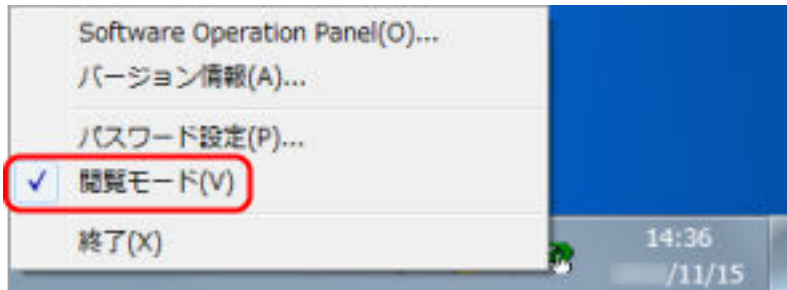
Software Operation Panel を「閲覧モード」に設定した場合は、通知領域の Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューの「閲覧モード」の左側にチェックマークが表示されます。



「閲覧モード」の設定解除

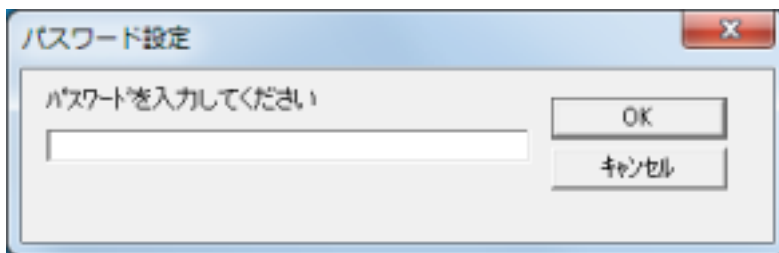
Software Operation Panel の「閲覧モード」の設定を解除します。

- 1 画面右下の通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「閲覧モード」をクリックします。

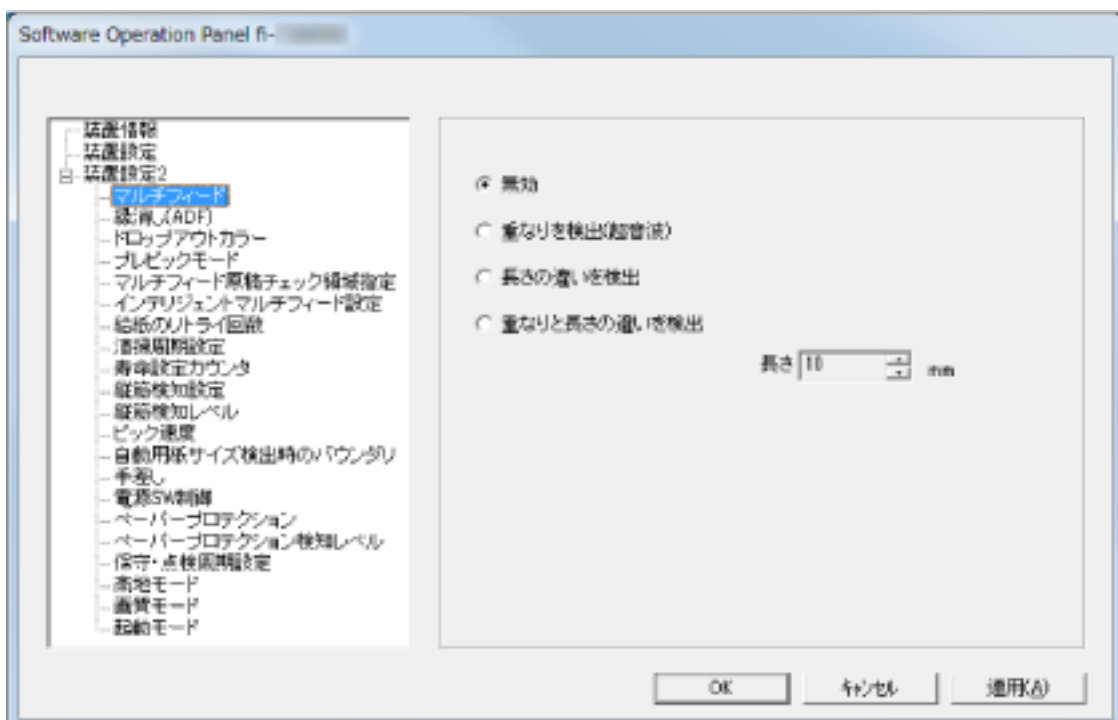


「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

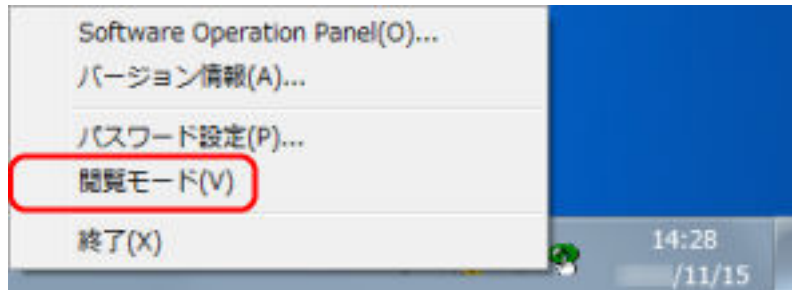


「閲覧モード」の設定が解除され、Software Operation Panel がスキャナー設定可能なモードで起動されます。



ヒント

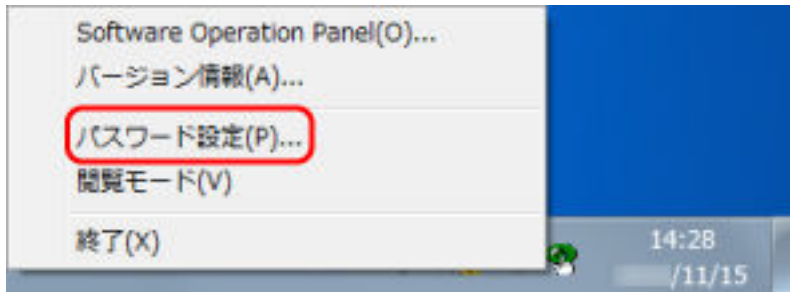
Software Operation Panel の「閲覧モード」の設定を解除した場合は、通知領域の Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューの「閲覧モード」の左側のチェックマークが非表示となります。



パスワードの変更

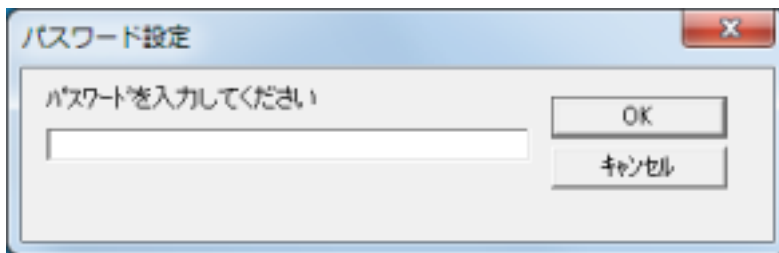
パスワードを変更します。

- 1 画面右下の通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



「パスワード設定」画面が表示されます。

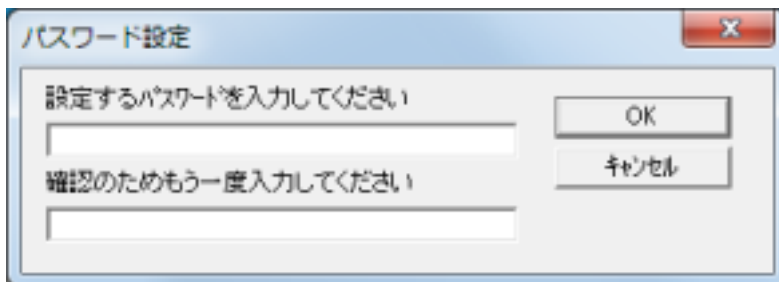
- 2 設定しているパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



「パスワード設定」画面が表示されます。

- 3 設定するパスワードと確認用パスワードに、変更後のパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

パスワードとして設定できる最大文字数は 32 文字までです。
入力可能文字は、半角英数字 (a~z、A~Z、0~9) です。



メッセージ画面が表示されます。

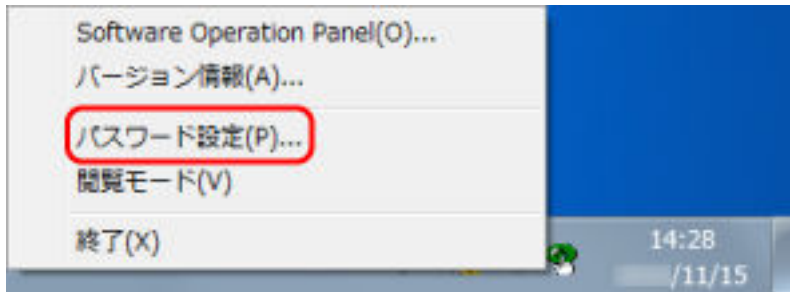
- 4 [OK] ボタンをクリックします。

パスワードが変更されます。

パスワードの設定解除

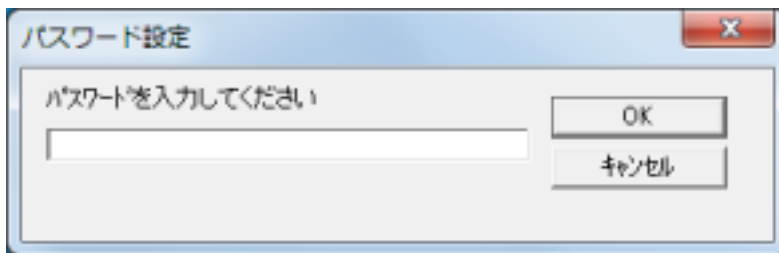
パスワードの設定を解除します。

- 1 画面右下の通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



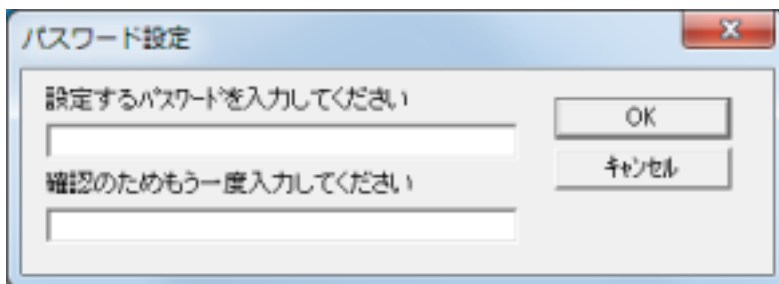
「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 設定しているパスワードを入力し、【OK】 ボタンをクリックします。



「パスワード設定」画面が表示されます。

- 3 設定するパスワードと確認用パスワードを空欄にし、【OK】 ボタンをクリックします。



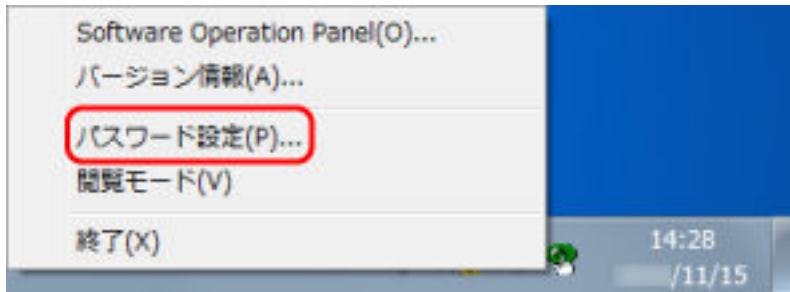
メッセージ画面が表示されます。

- 4 【OK】 ボタンをクリックします。
パスワードの設定が解除されます。

パスワードを紛失したときの対応

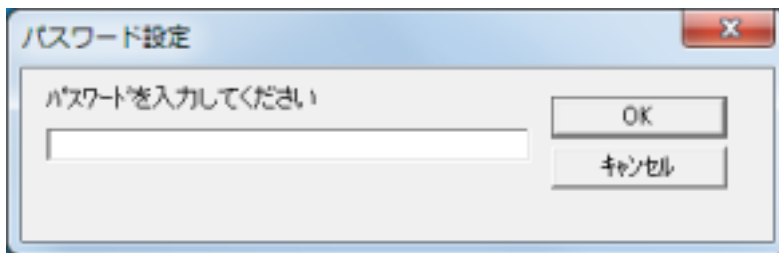
パスワードを紛失した場合は、パスワードを再設定します。

- 1 画面右下の通知領域にある Software Operation Panel のアイコンを右クリックして表示されるメニューから「パスワード設定」をクリックします。



「パスワード設定」画面が表示されます。

- 2 デフォルトパスワード「fi-scanner」を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

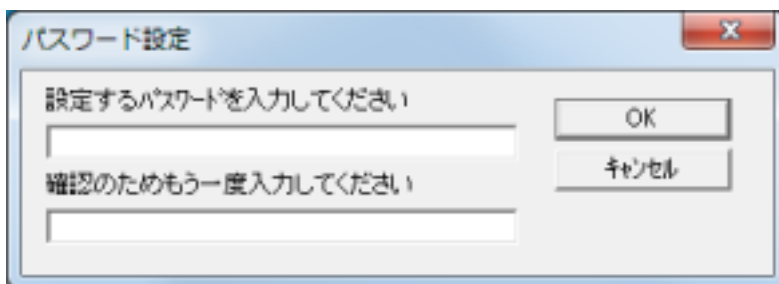


「パスワード設定」画面が表示されます。

- 3 設定するパスワードと確認用パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。

パスワードとして設定できる最大文字数は 32 文字までです。

入力可能文字は、半角英数字 (a~z、A~Z、0~9) です。



メッセージ画面が表示されます。

- 4 [OK] ボタンをクリックします。

パスワードが再設定されます。

設定項目

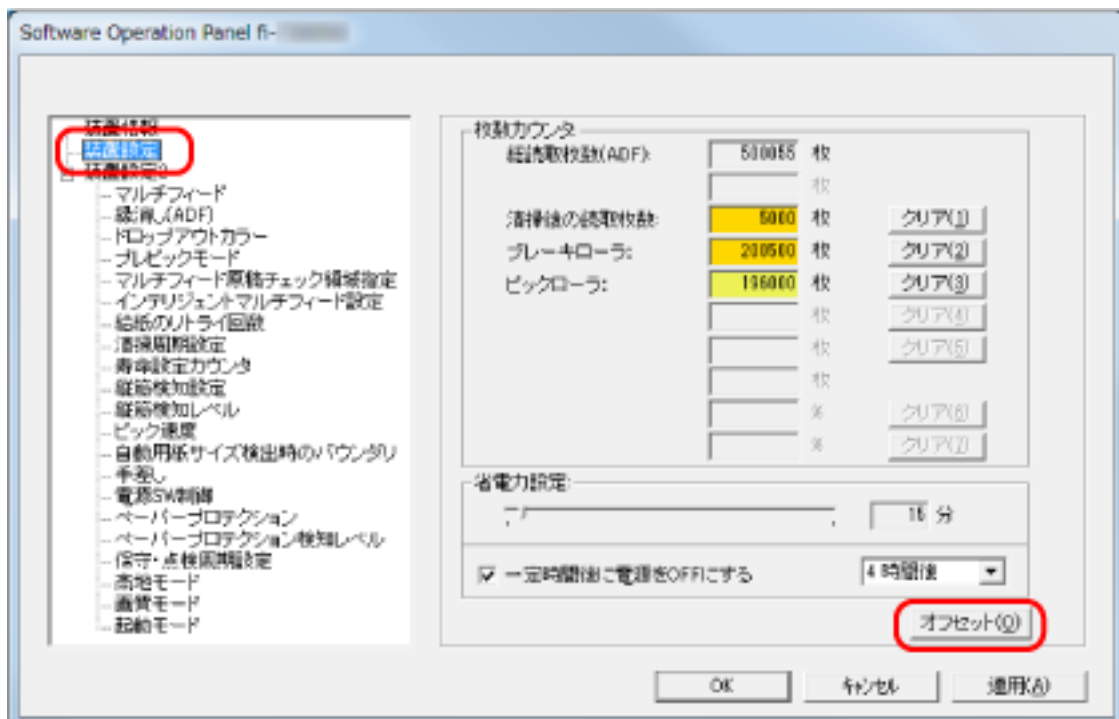
Software Operation Panel では、コンピューターに接続されているスキャナーに対して原稿を読み取る
ときの動作や消耗品の管理などの設定ができます。

設定は、次のリストで行います。

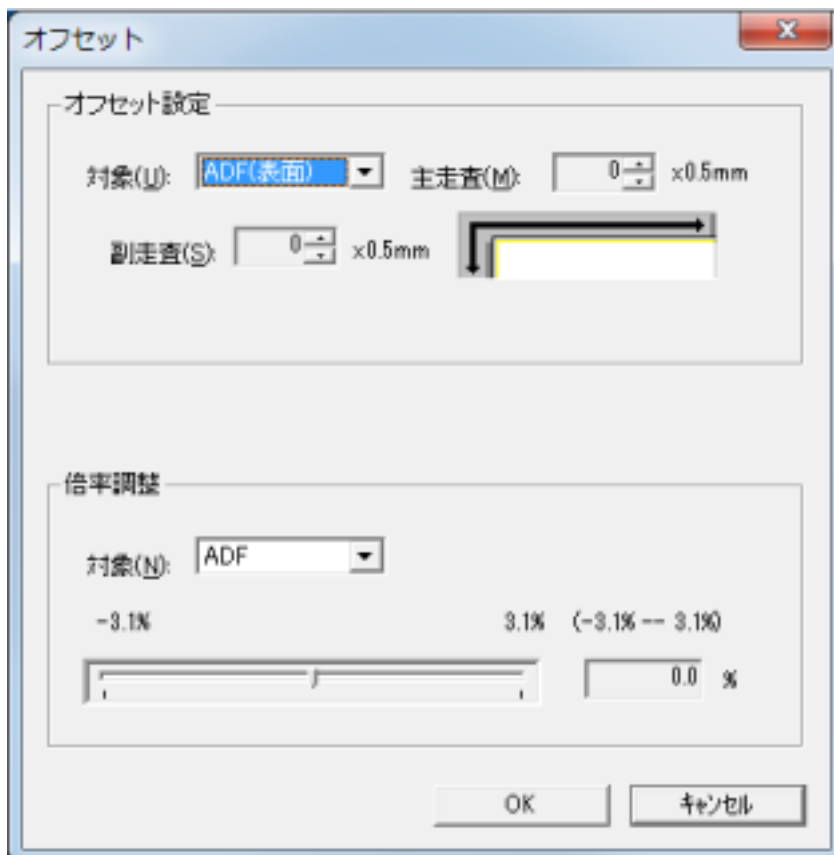
- 「装置設定」
読み取り枚数や消耗品の管理の設定ができます。また、スキャナーの電源管理、原稿の読み取り開始
位置の設定もできます。
- 「装置設定 2」
原稿を読み取る時の動作に関する設定ができます。

装置設定

- 1 Software Operation Panel を起動します。
詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定」をクリックして、[オフセット] ボタンをクリックします。



「オフセット」画面が表示されます。



これらの画面で設定できる項目を次に示します。

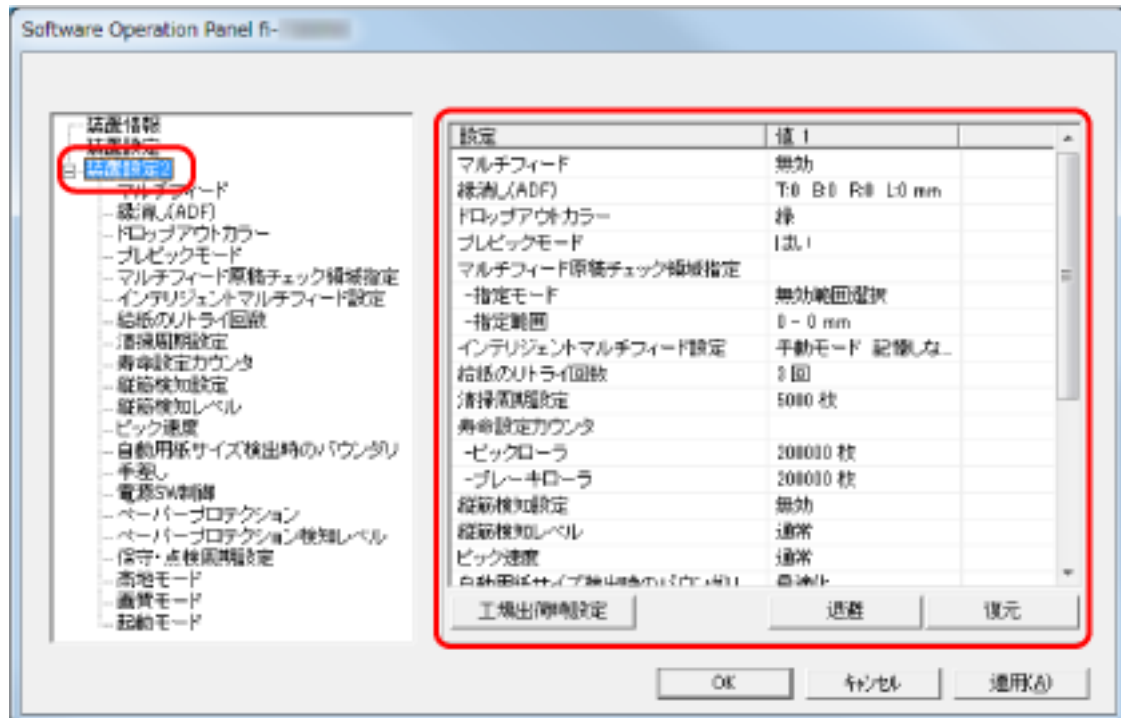
設定項目	説明
枚数カウンタ (確認/クリア)	消耗品の交換時期や清掃時期を確認できます。 消耗品を交換した場合または清掃した場合は、該当するカウンターをクリアします。
省電力設定	省電力状態に移行するまでの待機時間を設定します。
オフセット設定	原稿の読み取り開始位置を設定します。
倍率調整	搬送方向の読み取り倍率を設定します。

装置設定 2

1 Software Operation Panel を起動します。

詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。

2 画面左のリストから「装置設定 2」をクリックします。



「装置設定 2」で現在設定されている内容が画面右に一覧表示されます。

ヒント

- Software Operation Panel の設定内容を工場出荷の設定に戻せます。
工場出荷の設定に戻すには、[工場出荷時設定] ボタンをクリックしてください。メッセージ画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてください。
変更した設定内容がクリアされますので、注意してください。
- Software Operation Panel の設定内容をバックアップとして、退避できます。
退避するには、[退避] ボタンをクリックして表示される画面で、ファイル名を指定し、[保存] ボタンをクリックしてファイルに退避してください。
- Software Operation Panel の設定内容を退避したファイルを使用して、同種のスキャナーに同じ設定内容を復元できます。
復元するには、[復元] ボタンをクリックして表示される画面で、退避したファイルを指定し、[開く] ボタンをクリックして復元してください。メッセージ画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてください。
なお、異なるスキャナーには復元できません。

「装置設定 2」で設定できる項目を次に示します。

設定項目	説明
マルチフィード	原稿の読み取り中に、原稿の重なりを検出する設定をします。
縁消し (ADF)	画像の端に発生する原稿の影やスジを塗りつぶすための設定をします。
ドロップアウトカラー	赤・緑・青 (光の三原色) のどれかの色を取り除いて原稿を読み取る設定をします。
プレピックモード	連続読み取りをする場合に、原稿の読み取り時間を短くする設定をします。
マルチフィード原稿チェック領域指定	原稿の重なりを検出する範囲を設定します。
インテリジェントマルチフィード設定	原稿の重なりを検出する設定をしている場合に、原稿の決まったパターンの重なりを自動的に検出しないようにする設定をします。
給紙のリトライ回数	原稿が ADF 給紙シュート (フィーダー) から搬送されなかったときのリトライ回数を設定します。
清掃周期設定	スキャナー内部の清掃周期を設定します。
寿命設定カウンタ	消耗品の交換周期を設定します。
縦筋検知設定	ガラスのよごれを検知する設定ができます。
縦筋検知レベル	「縦筋検知設定」を「有効」にした場合の、ガラスのよごれに対する検知レベルを設定します。
ピック速度	原稿の搬送を開始するタイミングを設定できます。
自動用紙サイズ検出時のバウンダリ	自動で原稿の用紙サイズを検出する場合に、画像の端の処理方法を設定します。
手差し	原稿を 1 枚ずつセットして読み取る時の設定をします。
電源スイッチ制御	スキャナーの [Power] ボタンの操作で、スキャナーの電源を投入/切断するかどうかを設定します。
ペーパープロテクション	原稿の搬送異常を検出する設定をします。
ペーパープロテクション検知レベル	原稿を保護する機能を有効にした場合の、原稿の搬送異常を検知するレベルを設定します。
保守・点検周期設定	サービスエンジニアによるスキャナーの保守・点検の周期を設定します。
高地モード	標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用する場合に設定します。
画質モード	fi-6130Z で読み取った場合の画質に近づけて読み取りたいときに設定します。
起動モード	スキャナーの起動モードを設定します。

枚数カウンタに関する設定

枚数カウンタの確認

消耗品の交換時期や清掃時期を確認できます。

消耗品の交換時期、清掃が必要な時期が近づくと、カウンターの背景色が変わります。

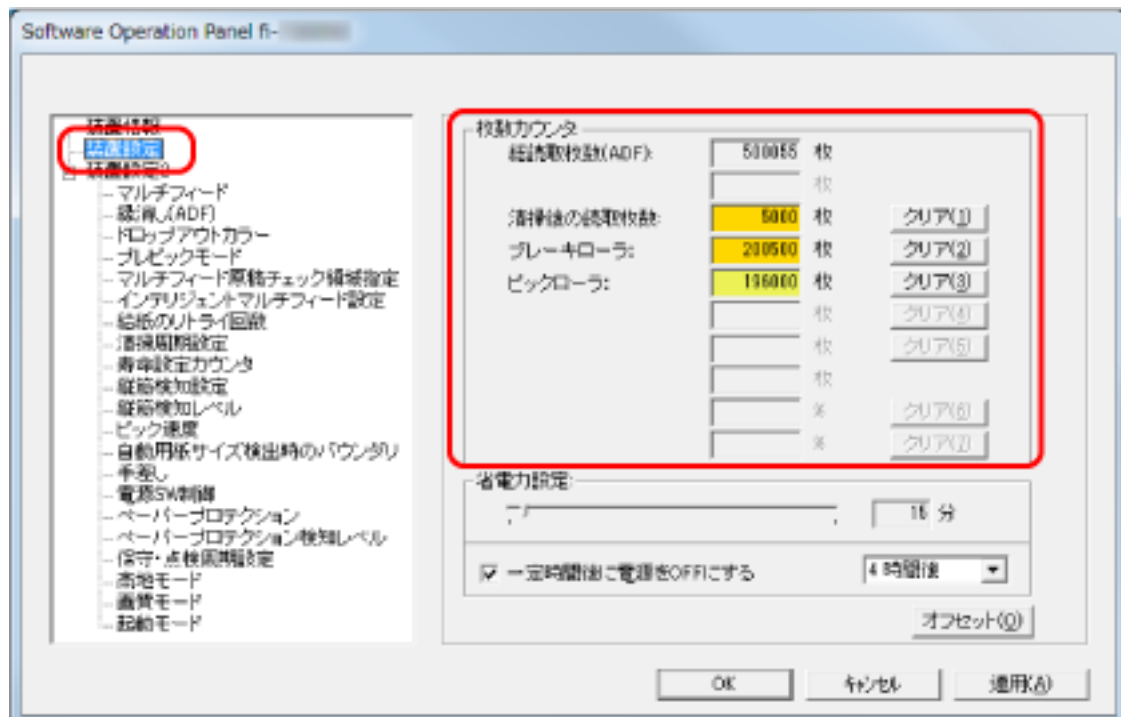
各カウンターの背景色が変わるタイミングを次に示します。

- 「清掃後の読取枚数」のカウンター
 清掃後の読み取り枚数が、Software Operation Panel のスキャナーの清掃周期の設定（清掃周期設定）（271 ページ）で設定した枚数以上になった場合にカウンターの背景色が黄色に変わります。
- 「ブレーキローラ」/「ピックアップローラ」のカウンター
 消耗品交換後の読み取り枚数が、Software Operation Panel の消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンタ）（272 ページ）で設定した値の 95%以上になった場合にカウンターの背景色が薄い黄色、100%以上になった場合に黄色に変わります。

1 Software Operation Panel を起動します。

詳細は、Software Operation Panel の起動 (252 ページ)を参照してください。

2 画面左のリストから「装置設定」をクリックします。



この画面で、次のことが確認できます。

総読取枚数 (ADF)

ADF でこれまでに読み取った原稿の枚数

清掃後の読取枚数

清掃してからこれまでに読み取った原稿の枚数

ブレーキローラ

ブレーキローラを交換してから読み取った原稿の枚数

ピックアップローラ

ピックアップローラを交換してから読み取った原稿の枚数

各枚数カウンターの工場出荷設定は「0」です。

重要

電源ケーブルを抜いて電源を切断した場合や電源スイッチ無効モードを設定している場合には、「総読取枚数」のカウンターが反映されないことがあります。

電源スイッチ無効モードの設定については、[電源投入/切断方法の設定 \(電源スイッチ制御\) \(303 ページ\)](#)を参照してください。

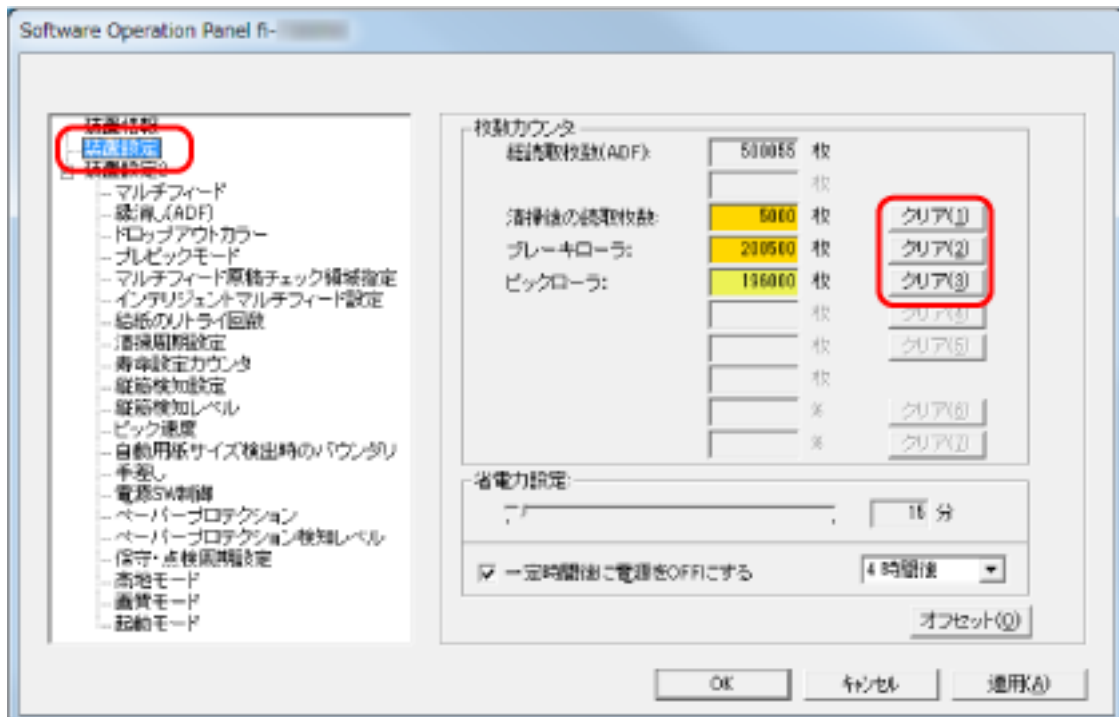
枚数カウンタのクリア

消耗品を交換した場合または清掃した場合は、該当するカウンターをクリアします。

1 Software Operation Panel を起動します。

詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。

2 画面左のリストから「装置設定」をクリックして、清掃した場合は清掃後の読取枚数の【クリア】ボタン、消耗品を交換した場合は交換した消耗品の【クリア】ボタンをクリックします。



カウンター値が0になります。

3 【OK】 ボタンをクリックします。

メッセージ画面が表示されます。

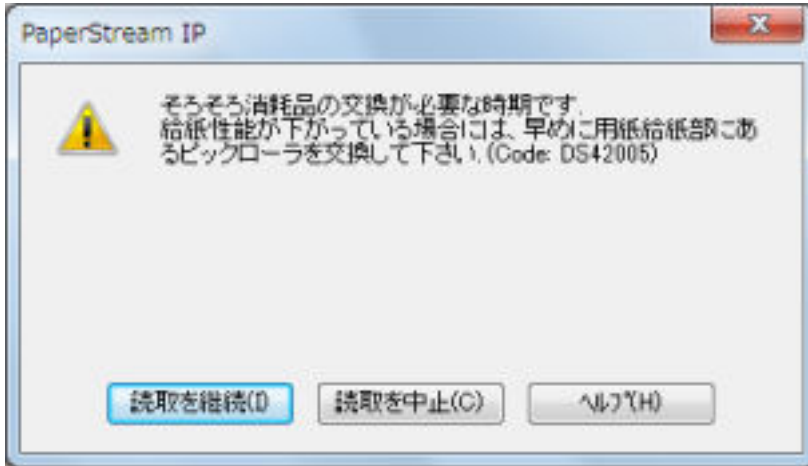
4 【OK】 ボタンをクリックします。

設定が保存されます。

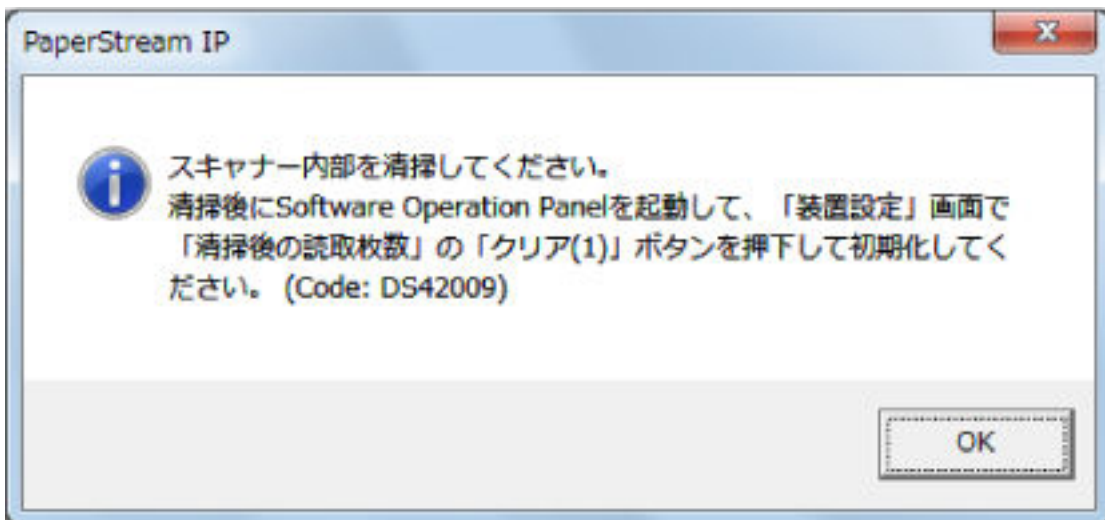
消耗品交換/清掃指示メッセージ

スキャナーを使用していると、次のようなメッセージがコンピューターに表示されることがあります。


例:消耗品交換メッセージ



例:清掃指示メッセージ



このメッセージが表示されたら、表示内容を確認し消耗品を交換または清掃してください。

また、このメッセージが表示されているとき、タッチパネルの  にも交換または清掃に関するメッセージが通知されます。

消耗品の交換方法は、次を参照してください。

- ブレーキローラ
[ブレーキローラの交換 \(130 ページ\)](#)
- ピックローラ
[ピックアップローラの交換 \(135 ページ\)](#)

清掃方法は、[日常のお手入れ \(115 ページ\)](#)を参照してください。

スキャナーの清掃周期の設定 (清掃周期設定)

スキャナー内部の清掃周期を設定します。

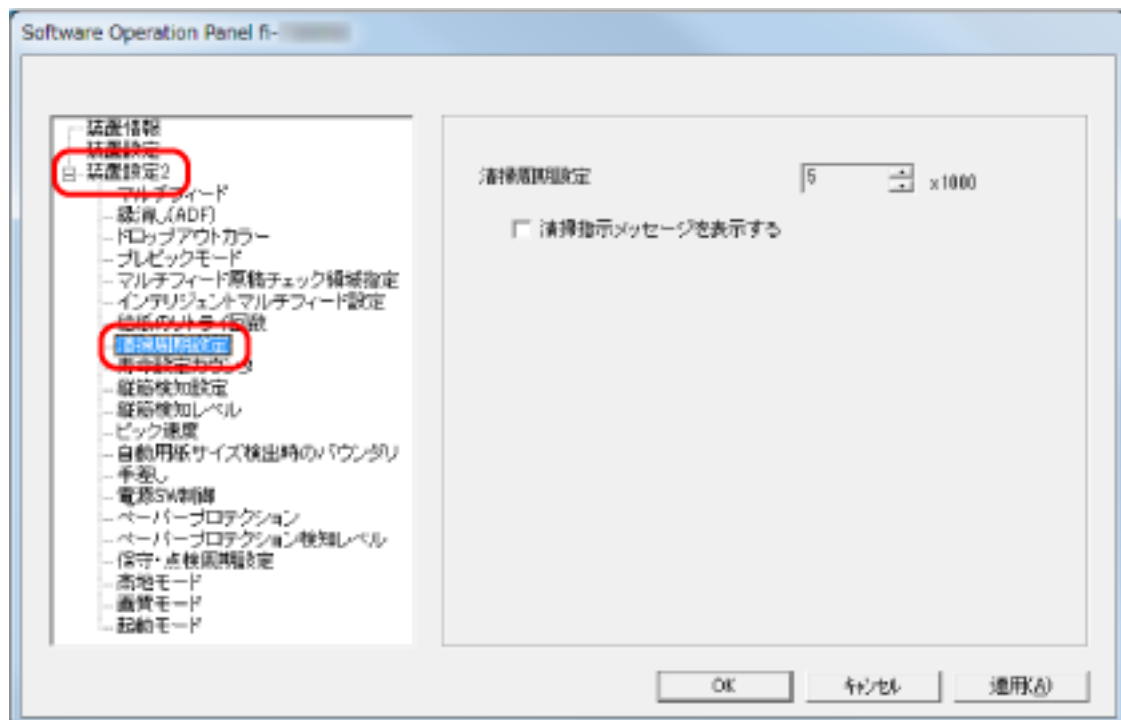
清掃後の読み取り枚数が、ここで設定する枚数以上になった場合に「装置設定」の「清掃後の読取枚数」のカウンターの背景色が黄色に変わります。

また、[消耗品交換/清掃指示メッセージ \(270 ページ\)](#)の清掃指示メッセージを表示するようにできます。

1 Software Operation Panel を起動します。

詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。

2 画面左のリストから「装置設定 2」→「清掃周期設定」をクリックします。



3 清掃周期のカウント値を設定します。

1,000 枚から 255,000 枚まで、1,000 枚単位で設定できます。

工場出荷設定は「5」です。

4 清掃指示メッセージを表示するかどうかを設定します。

工場出荷設定は「清掃指示メッセージを表示する」チェックボックスのチェックが外れています。

消耗品の交換周期の設定 (寿命設定カウンタ)

消耗品の交換周期を設定します。

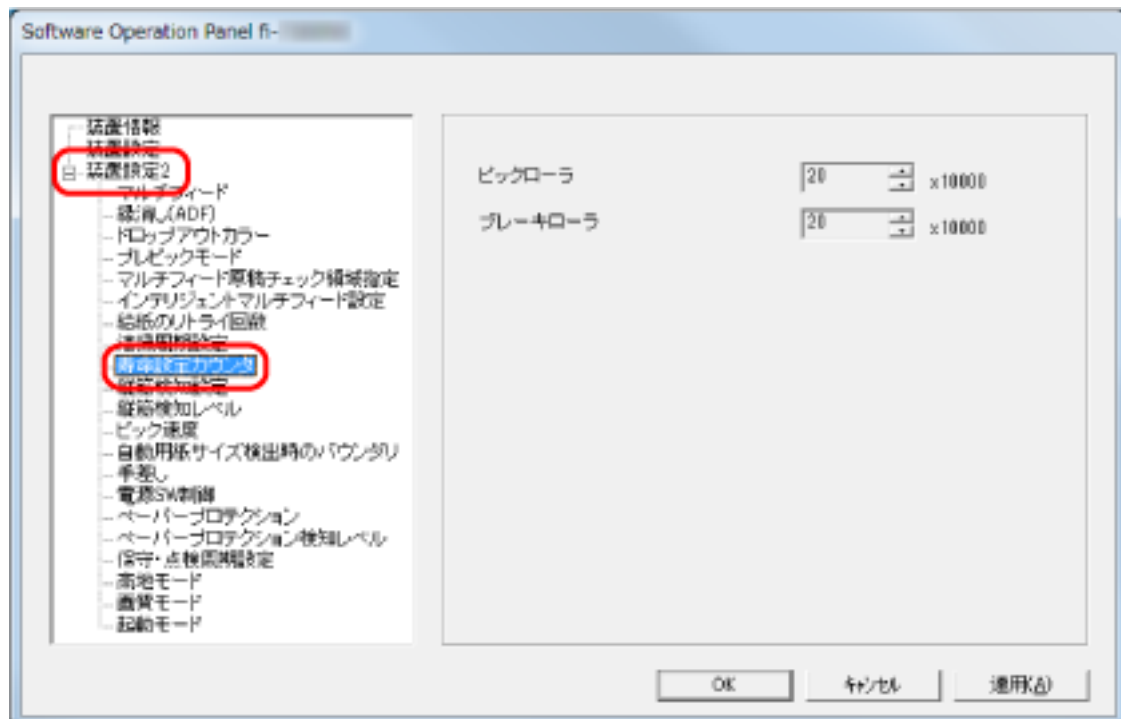
消耗品交換後の読み取り枚数が、ここで設定する値の95%以上になった場合に「装置設定」の「ブレーキローラ」または「ピックアップローラ」のカウンターの背景色が薄い黄色、100%以上になった場合に黄色に変わります。

また、[消耗品交換/清掃指示メッセージ \(270 ページ\)](#)の消耗品交換メッセージを表示するようにできます。

1 Software Operation Panel を起動します。

詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。

2 画面左のリストから「装置設定 2」→「寿命設定カウンタ」をクリックします。



3 各消耗品 (ブレーキローラおよびピックアップローラ) の寿命設定カウント値を設定します。

10,000 枚から 2,550,000 枚まで、10,000 枚単位で設定できます。

工場出荷設定は「20」です。

読み取りに関する設定

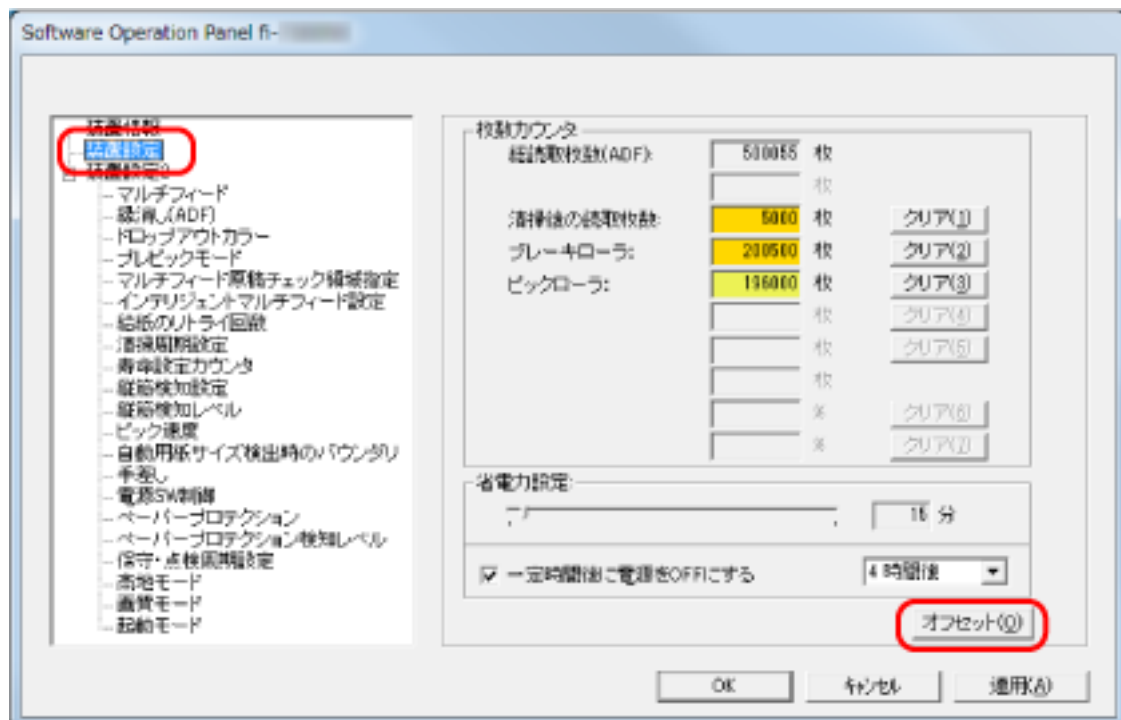
読み取り開始位置の調整 (オフセット設定/倍率調整)

読み取った原稿に対して、画像の出力位置がずれたり、画像が縦方向につぶれたり間延びしたりして見える場合は、オフセット調整および副走査方向の倍率調整を行います。

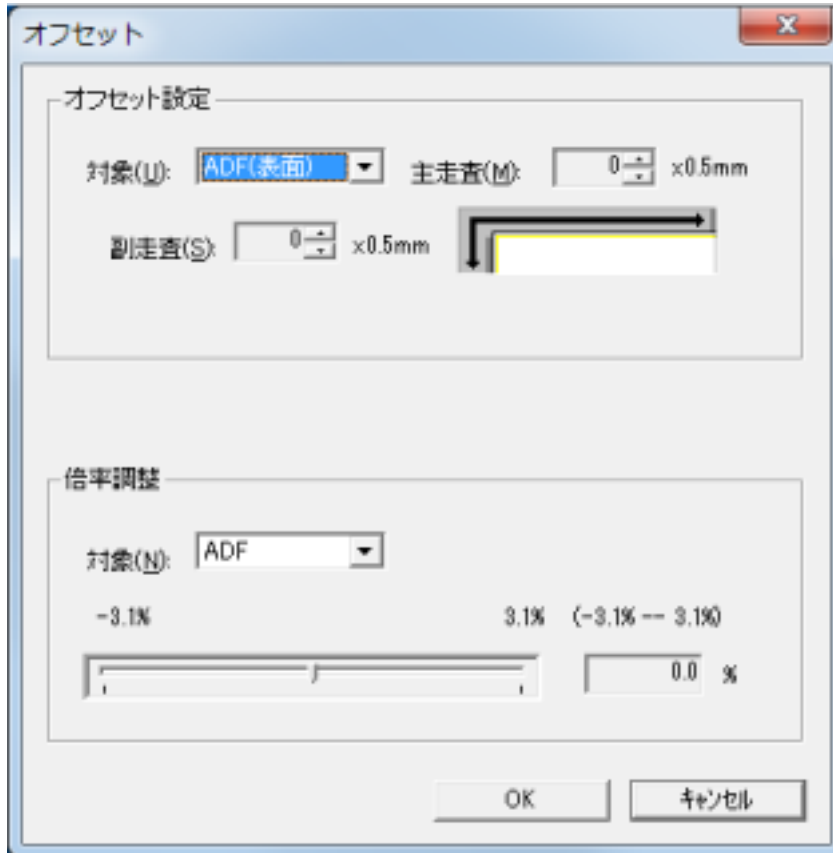
重要

工場出荷のときに調整されているので、通常は設定する必要はありません。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定」をクリックし、[オフセット] ボタンをクリックします。



3 必要に応じてオフセット/副走査方向の倍率調整を行います。



オフセット設定

対象

オフセット調整を行う対象を、「ADF (表面)」、「ADF (裏面)」から選択します。
工場出荷設定は「ADF (表面)」です。

主走査

主走査 (幅) 方向のオフセットを指定します。
-2~+2mm の範囲で 0.5mm 刻みの指定ができます。
工場出荷設定は「0」です。

副走査

副走査 (長さ) 方向のオフセットを指定します。
-2~+2mm の範囲で 0.5mm 刻みの指定ができます。
工場出荷設定は「0」です。

倍率調整

対象

倍率調整を行う対象は「ADF」固定です。

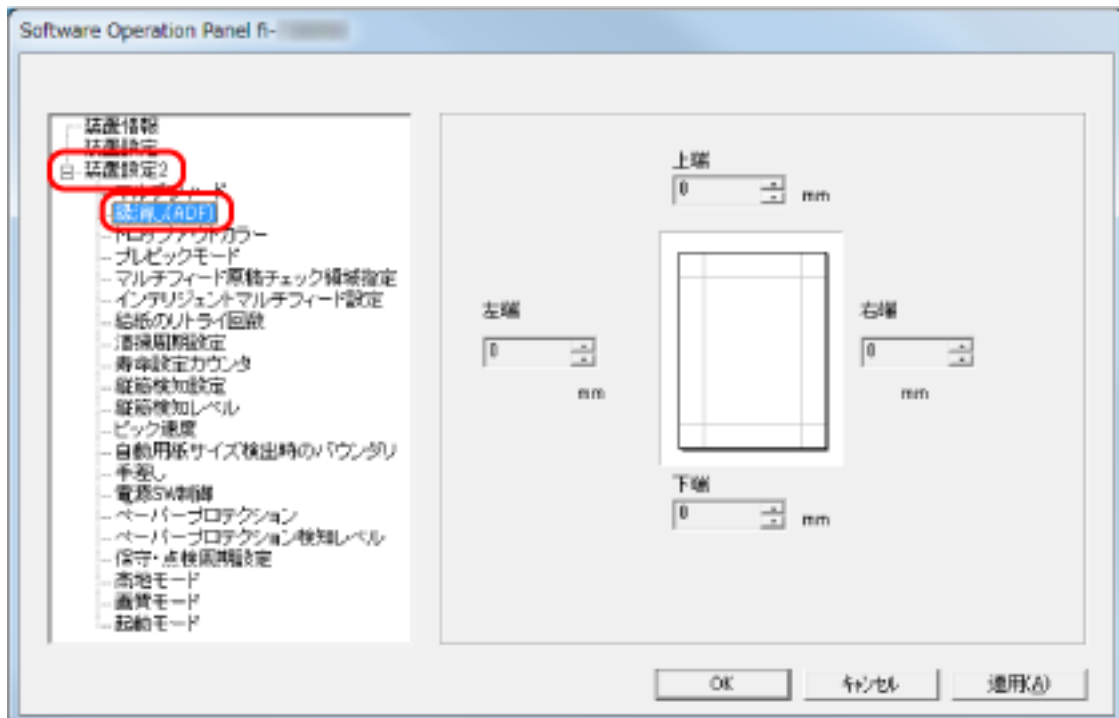
倍率調整

副走査（長さ）方向の倍率を指定します。
-3.1～+3.1%の範囲で 0.1%刻みの指定ができます。
工場出荷設定は「0.0」です。

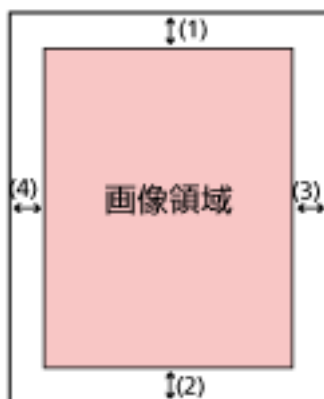
画像の端にできる影やスジの消去 (縁消し (ADF))

画像の端に発生する原稿の影やスジを塗りつぶすための設定をします。
読み取る原稿の状態によっては、画像の端に原稿の影が入って、黒いスジが発生する場合があります。
このような場合に、原稿の端を塗りつぶして、黒いスジを消去します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「縁消し (ADF)」をクリックします。



- 3 上端/下端/右端/左端の塗りつぶす幅を設定します。
工場出荷設定は「0」です。
設定した範囲を、背景色 (裏当ての色) が白色の場合は白色で塗りつぶし、黒色の場合は黒色で塗りつぶします。



(1) : 上端=0~15mm

- (2) : 下端=-7~7mm
 - (3) : 右端=0~15mm
 - (4) : 左端=0~15mm
- (1mm 刻み)

重要

用紙の端に文字が書かれた原稿は、縁消し領域を広く取ると、端の文字が消えてしまうことがあるので注意してください。

ヒント

- 背景色は、スキャナードライバーで白色または黒色に変更できます。
詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- 縁消しの下端の設定に応じて、縁消し機能は次のように動作します。
 - 1 ~ 7mm
画像の下端から内側に向かって、指定した範囲を背景色で塗りつぶします。
 - -1 ~ -7mm
画像の下端から外側に向かって、指定した範囲を背景色で塗りつぶさずに出力します（スキャナードライバーで「後端検出」を指定しているときは、指定した範囲分多く画像を出力します）。
- スキャナードライバーでも設定できます。
この場合、スキャナーで縁消しされた画像に対して、スキャナードライバーの縁消し処理が行われます。

指定した色を除いた読み取りの設定 (ドロップアウトカラー)

赤・緑・青 (光の三原色) のどれかの色を取り除いて原稿を読み取る設定をします。

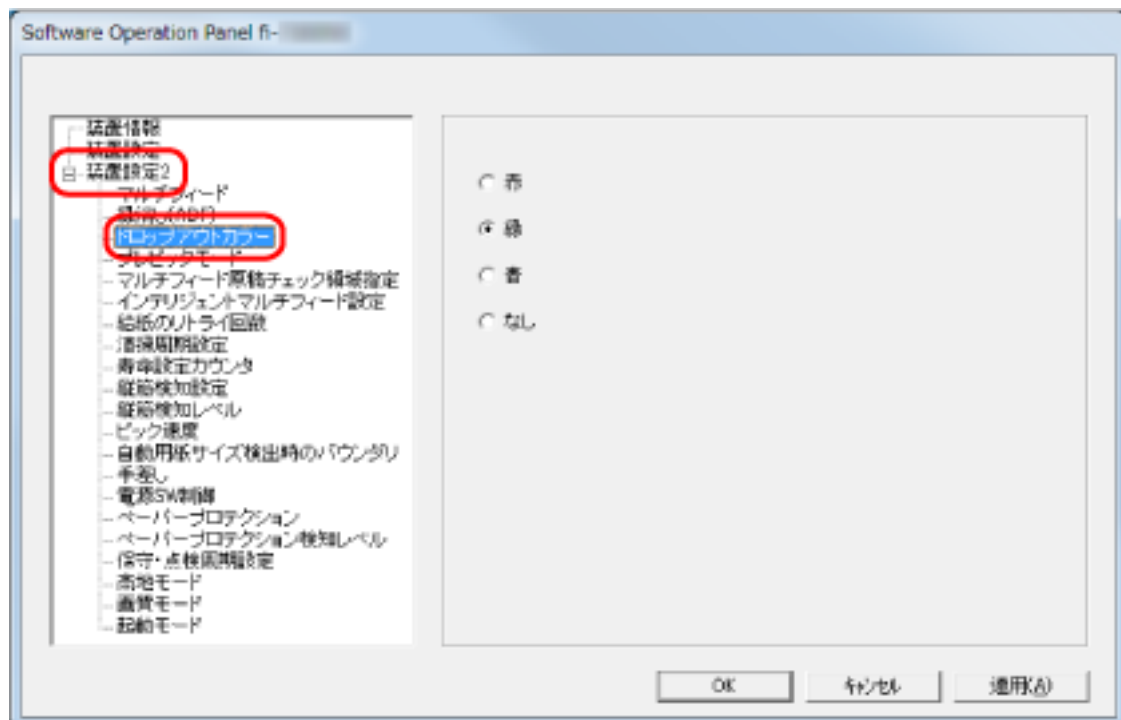
どの色も取り除かずに原稿を読み取ることもできます。

例えば、黒い文字と緑色の枠がある原稿の場合、ドロップアウトカラーを緑に設定すると、原稿の黒い文字部分だけを読み取ります。

1 Software Operation Panel を起動します。

詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。

2 画面左のリストから「装置設定 2」→「ドロップアウトカラー」をクリックします。



3 取り除きたい色を選択します。

赤、緑、青

選択した色を取り除きます。

工場出荷設定は「緑」です。

なし

どの色も取り除きません。

重要

- 対象となる部分の色が薄い場合は有効に機能しますが、色が濃い場合はうまく機能しないことがあります。
- 赤、緑、青以外の任意の色は指定できません。
任意の色をドロップアウトカラーに指定したい場合は、スキャナードライバーで設定してください。

詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

ヒント

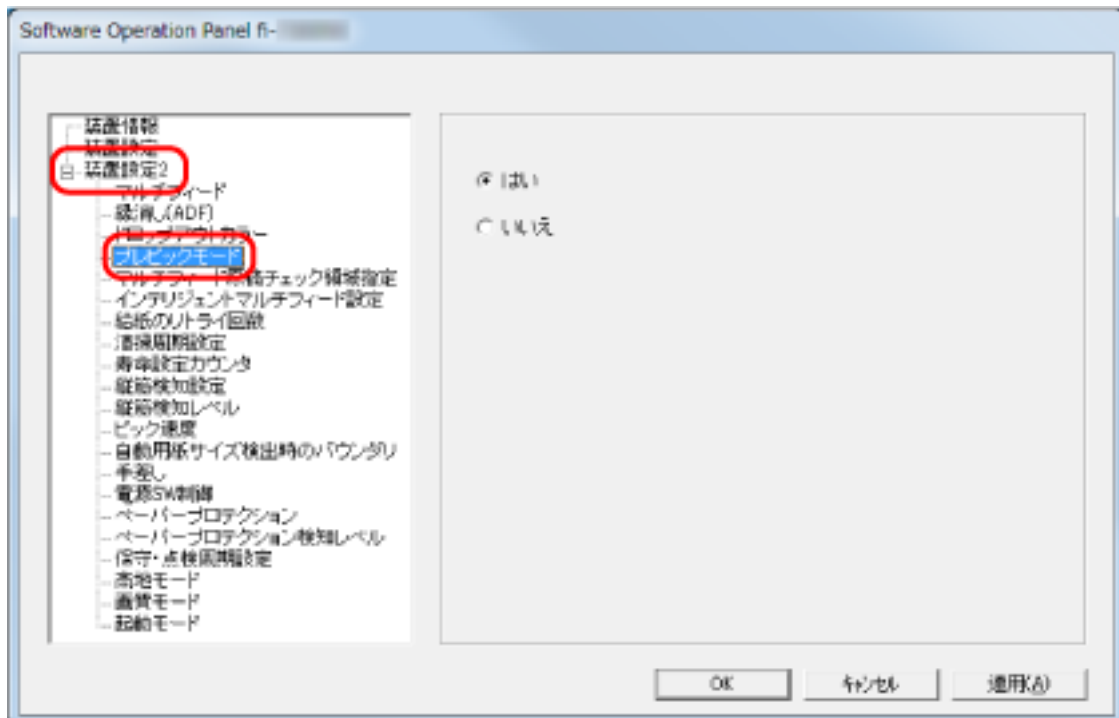
- 二値白黒またはグレースケールで読み取るときだけ有効です。
- スキャナードライバーでも設定できます。
この場合、スキャナードライバーの設定が優先されます。

読み取り時間の短縮 (プレピックモード)

連続読み取りをする場合に、原稿の読み取り時間を短くする設定をします。

連続読み取りをする場合、読み取り中の原稿を排出する前に、次の原稿を ADF 内部まで搬送しておくことを、「プレピック」と呼びます。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「プレピックモード」をクリックします。



- 3 プレピックの設定を行います。
プレピックを設定する場合は「はい」、しない場合は「いいえ」を選択します。
工場出荷設定は「はい」です。

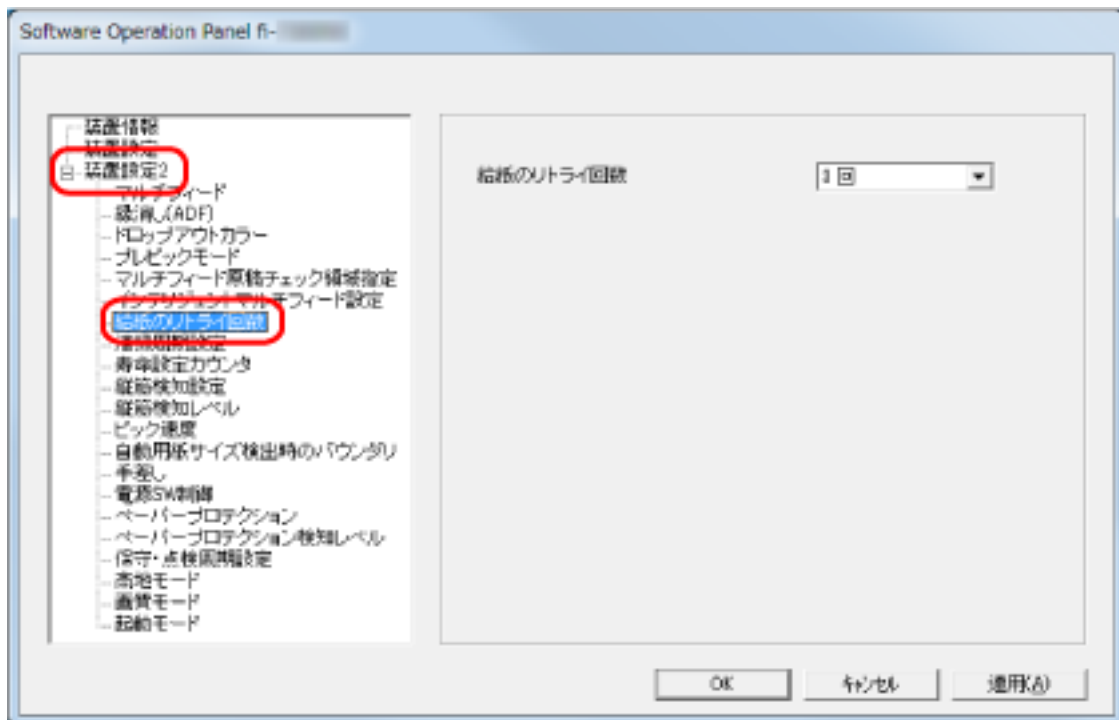
ヒント

- プレピックを有効にすると、途中で読み取りを中止したときに、プレピックされた原稿を一度取り出して、再度セットする必要があります。
- スキャナードライバーでも設定できます。
この場合、スキャナードライバーの設定が優先されます。

給紙のリトライ回数の設定 (給紙のリトライ回数)

原稿が ADF 給紙シュート (フィーダー) から搬送されなかったときのリトライ回数を設定します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「給紙のリトライ回数」をクリックします。



- 3 給紙のリトライ回数を選択します。
1～12 回の範囲で選択できます。
工場出荷設定は「3 回」です。

原稿送りの設定 (ピック速度)

原稿の搬送を開始するタイミングを設定できます。

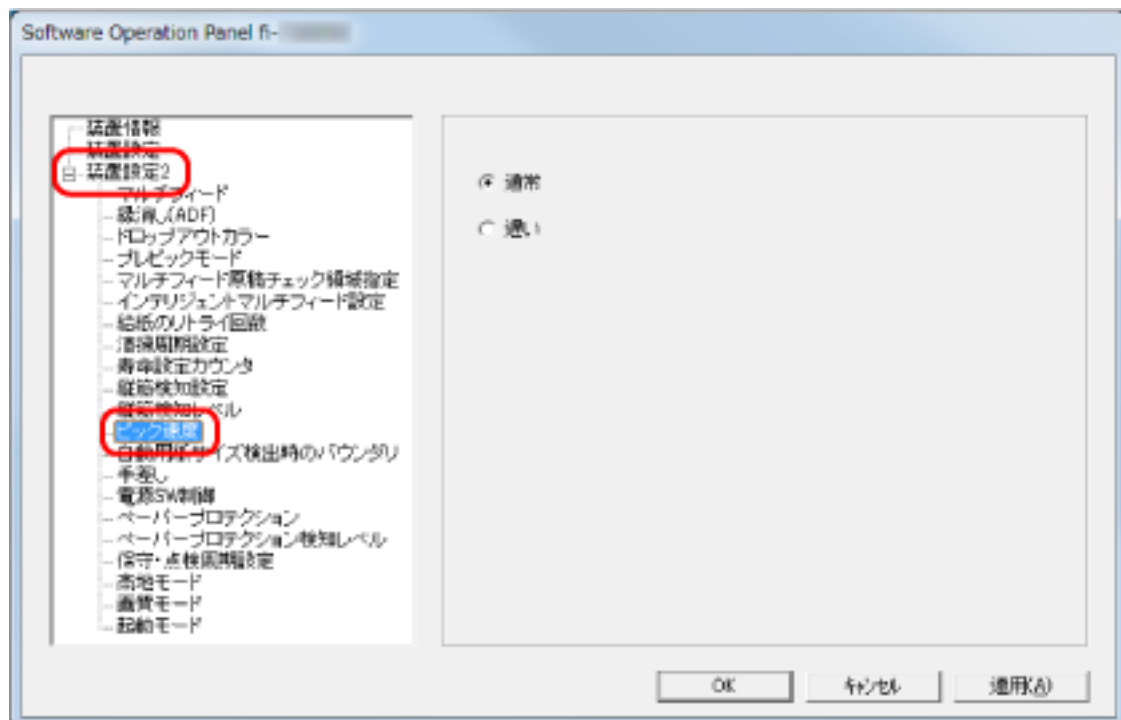
原稿が重なって搬送されたり、原稿づまりが頻繁に発生する場合に、原稿の搬送を開始するタイミングを遅くすると、改善できることがあります。

この設定は、薄い原稿を読み取る場合に効果があります。

1 Software Operation Panel を起動します。

詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。

2 画面左のリストから「装置設定 2」→「ピック速度」をクリックします。



3 原稿送り速度を選択します。

通常

最適な原稿送り速度です。

工場出荷設定です。

遅い

搬送の開始が「通常」より遅くなります。

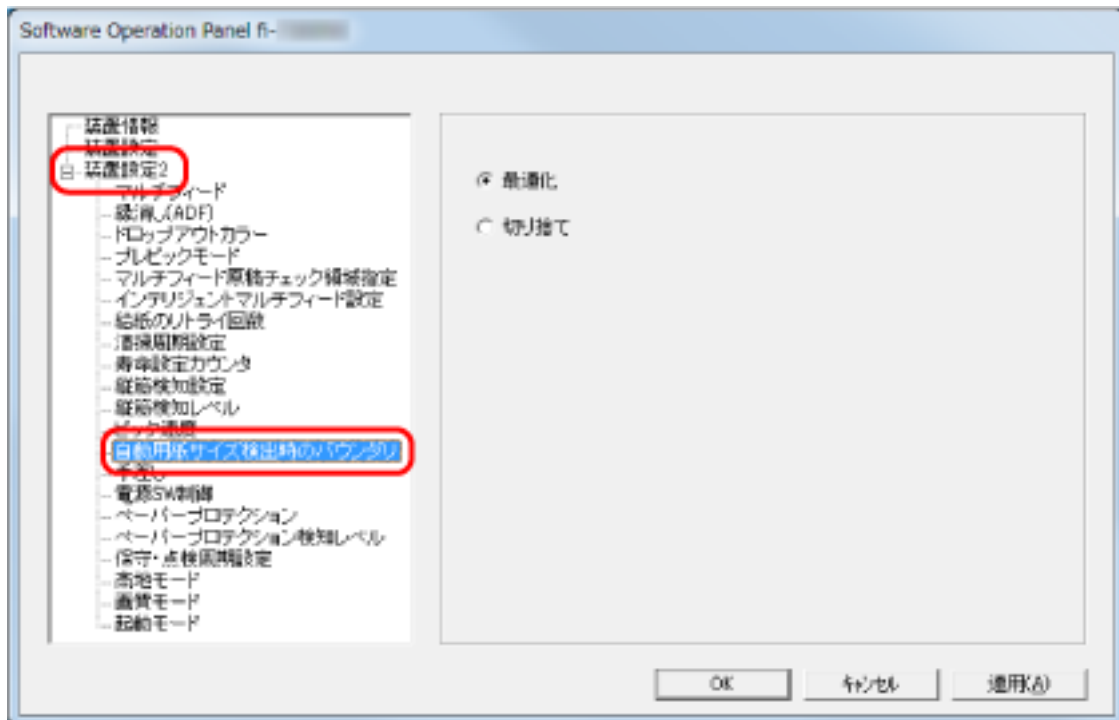
重要

原稿の搬送開始が遅くなる分、全体の読み取りにかかる時間が長くなります。

画像の端数の設定 (自動用紙サイズ検出時のバウンダリ)

自動で原稿の用紙サイズを検出する場合に、画像の端の処理方法を設定します。
用紙サイズを検出するときに、定型サイズに対して端数が発生する場合があります。
この端数の処理に応じて、出力する画像のサイズが変わります。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「自動用紙サイズ検出時のバウンダリ」をクリックします。



- 3 端数が発生した場合の処理を選択します。
情報の欠落を防ぎたい場合は「最適化」を選択します。
工場出荷設定は「最適化」です。

重要

- 「最適化」を選択した場合、情報の欠落を防げますが、画像の端に影が入ることがあります。
- 「切り捨て」を選択した場合、用紙の端ぎりぎりに文字などの情報が書かれているような原稿を読み取ると、情報が欠落した画像が出力されることがあります。
- 自動用紙サイズ検出の設定方法については、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。

ヒント

二値白黒で読み取るときだけ有効です。

原稿を保護する機能の設定 (ペーパープロテクション)

原稿の搬送異常を検出する設定をします。

次のどれかの時点で、原稿の搬送異常を検知します。

- 原稿の搬送が異常なときに発生する、原稿のたわみを検知した時点
- 原稿づまりが発生したときの音を検知した時点

原稿の読み取り中に搬送異常が発生すると、原稿づまりによって大切な原稿が折れ曲がったり破れたりしてしまう可能性があります。

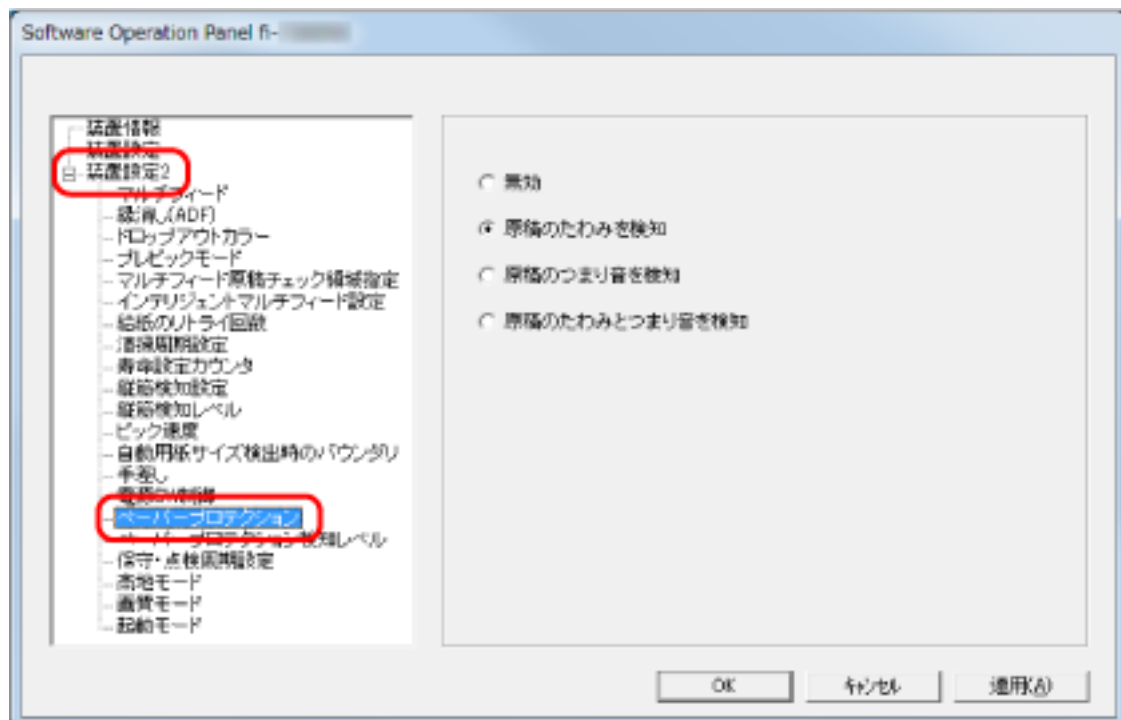
原稿の搬送異常を検知して読み取りを中止すれば、原稿の破損を防げます。

本機能は、薄紙のようなコシの弱い原稿など、搬送性の悪い原稿を読み取るときに効果があります。

1 Software Operation Panel を起動します。

詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。

2 画面左のリストから「装置設定 2」→「ペーパープロテクション」をクリックします。



3 検知方法を選択します。

無効

原稿の搬送異常を検出しません。

原稿のたわみを検知

原稿の搬送が異常なときに発生する、原稿のたわみを検知した時点で、読み取りが中止されます。工場出荷設定です。

原稿のつまり音を検知

原稿づまりが発生したときの音を検知した時点で、読み取りが中止されます。

原稿のたわみとつまり音を検知

原稿の搬送が異常なときに発生する原稿のたわみ、または原稿づまりが発生したときの音を検知した時点で、読み取りが中止されます。

重要

- 原稿を保護する機能は、原稿の破損を防ぐための機能ですが、必ずしもすべての原稿の破損防止を保証するものではありません。
- 原稿を保護する機能を有効にする場合、原稿の先端をきちんとそろえてセットしてください (特に長さの異なる原稿を混載する場合)。
先端がそろっていないまま読み取った場合、正常に原稿を搬送しているときでも、読み取りが中止されることがあります。

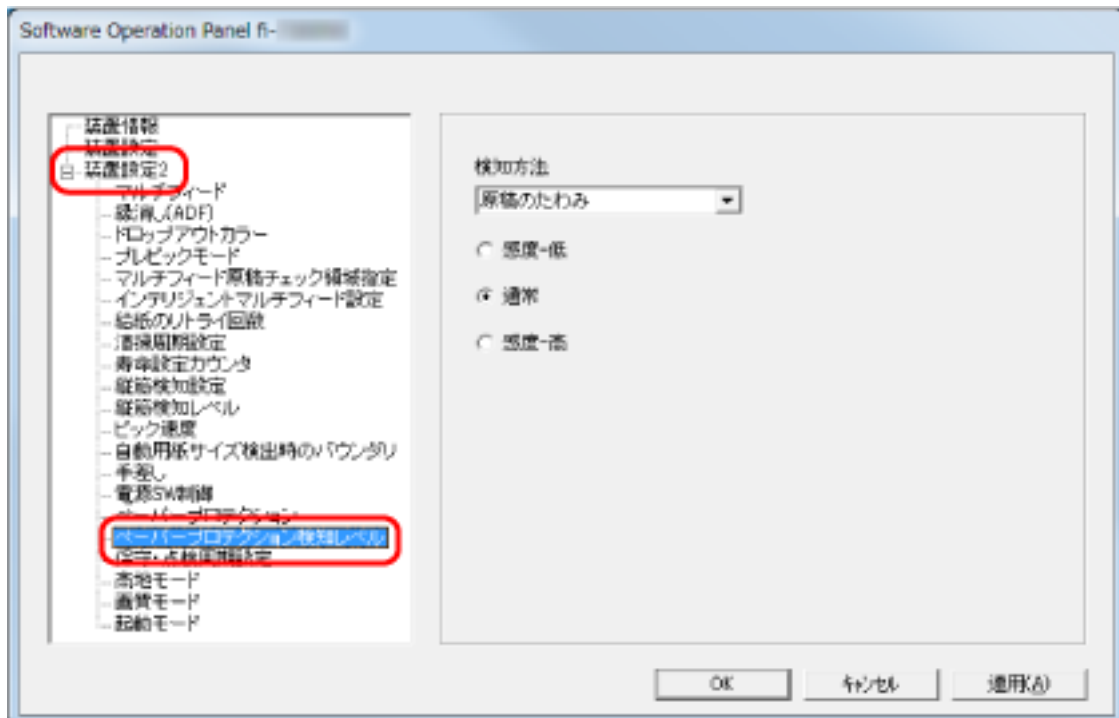
ヒント

- しわが多く寄っている原稿を読み取った場合、正常に原稿を搬送しているときでも、読み取りが中止されることがあります。
その場合は、タッチパネルで再度読み取るときだけ原稿を保護する機能を無効にできます。
詳細は、[原稿保護機能 \(ペーパープロテクション\) を無効にしたいとき \(113 ページ\)](#)を参照してください。
- 原稿を保護する機能によって、読み取りが頻繁に中止される場合は、[原稿保護が頻繁に起こる \(210 ページ\)](#)を参照してください。
- スキャナードライバーでも設定できます。
スキャナードライバーで原稿を保護する設定を有効にした場合は、Software Operation Panel の設定に関係なく、「原稿のたわみとつまり音を検知」が有効になります。
- 原稿を保護する設定は、次の順で優先されます。
 1. スキャナードライバーの「ペーパープロテクション」
 2. タッチパネルの「ペーパープロテクション (タッチパネル設定)」
 3. タッチパネルの「ペーパープロテクション」または Software Operation Panel の「ペーパープロテクション」

原稿を保護する機能の感度設定 (ペーパープロテクション検知レベル)

原稿を保護する機能を有効にした場合の、原稿の搬送異常を検知するレベルを設定します。
原稿が正常に搬送できない場合に、原稿がたわんで変形したり、原稿がつまる音がしたりします。
たわみによる変形量または原稿がつまる音を検知する感度を設定します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「ペーパープロテクション検知レベル」をクリックします。



- 3 検知方法を選択します。

原稿のたわみ

「ペーパープロテクション」の「検知方法」に「原稿のたわみを検知」または「原稿のたわみとつまり音を検知」を設定した場合に有効です。

原稿のつまり音

「ペーパープロテクション」の「検知方法」に「原稿のつまり音を検知」または「原稿のたわみとつまり音を検知」を設定した場合に有効です。

- 4 検知レベルを選択します。

感度-低

原稿のたわみまたは原稿がつまる音を検知する感度を低くします。
たわみによる変形量または原稿がつまる音が大きいときだけ検知する場合に指定します。

通常

最適な感度で原稿のたわみまたは原稿がつまる音を検知します。
工場出荷設定です。

感度－高

原稿のたわみまたは原稿がつまる音を検知する感度を高くします。
たわみによる変形量または原稿がつまる音が小さくても検知する場合に指定します。

ヒント

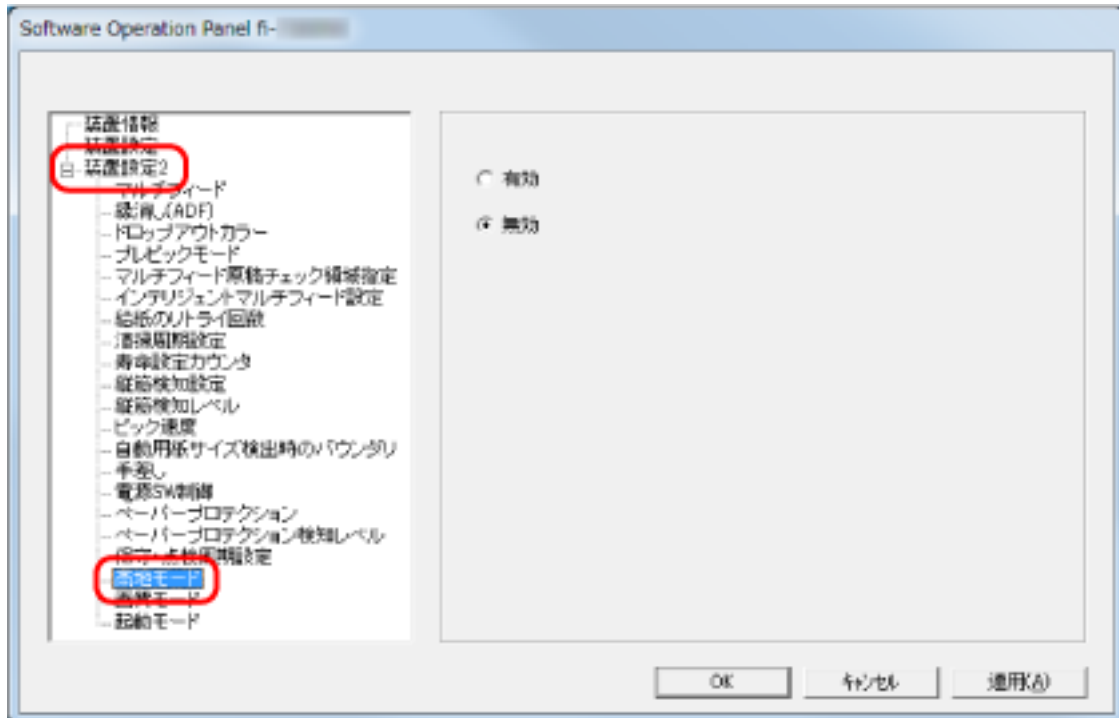
- 原稿のたわみや原稿がつまる音をより早く検知し、読み取りを中止させたいときは、「感度－高」を選択してください。
- 原稿を保護する機能によって、読み取りが頻繁に中止される場合は、「感度－低」を選択してください。
- タッチパネルの設定を優先している場合は、タッチパネルの設定が Software Operation Panel の設定より優先されます。

高地で読み取る機能の設定 (高地モード)

標高 2,000m 以上の高地でスキャナーを使用する場合に設定します。

高地では気圧が低いため、超音波センサーによる原稿の重なりを検出する精度が低下する場合があります。高地モードを「有効」に設定すると、原稿の重なりを検出する精度が向上します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「高地モード」をクリックします。

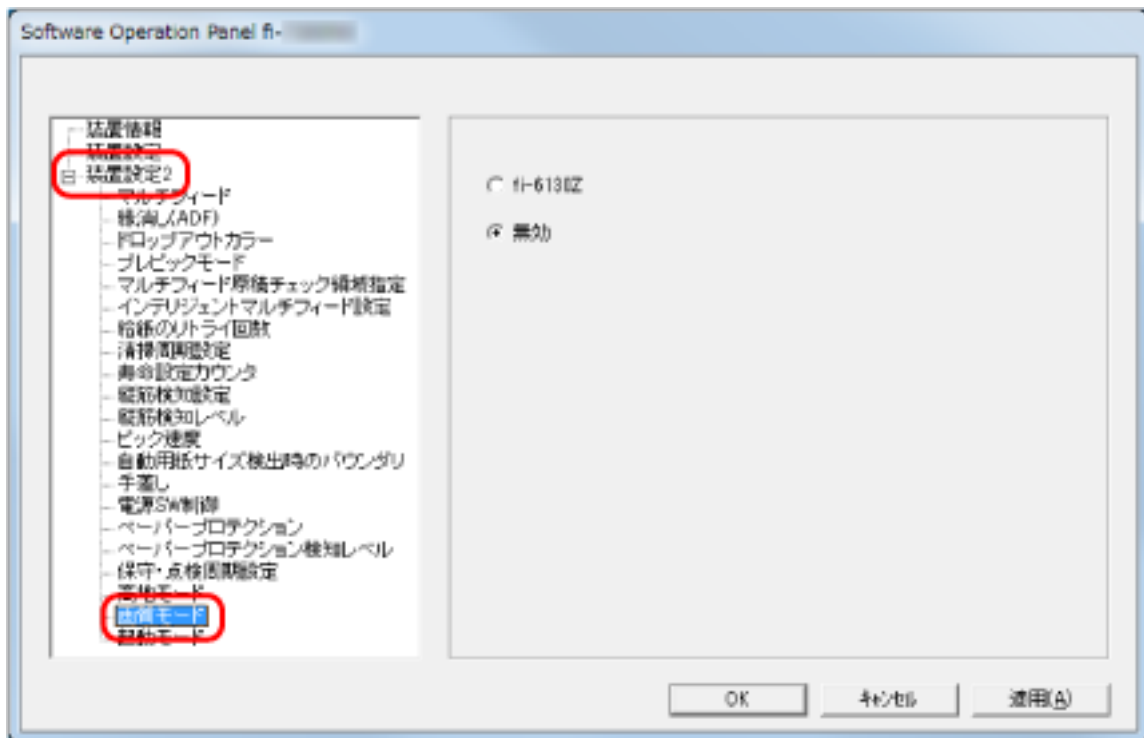


- 3 スキャナーを高地で使用する場合は、「有効」を選択します。
工場出荷設定は「無効」です。

読み取るときの画質の設定 (画質モード)

fi-6130Z で読み取った場合の画質に近づけて読み取りたいときに設定します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「画質モード」をクリックします。



- 3 fi-6130Z の画質に近づけるか、近づけないかを選択します。
工場出荷設定は「無効」です。

原稿の重なり (マルチフィード) 検出に関する設定

原稿の重なりを検出する方法の設定 (マルチフィード)

マルチフィードとは、一度に2枚以上の原稿が重なって搬送される現象のことです。

原稿の読み取り中に、原稿の重なりを検出する設定をします。

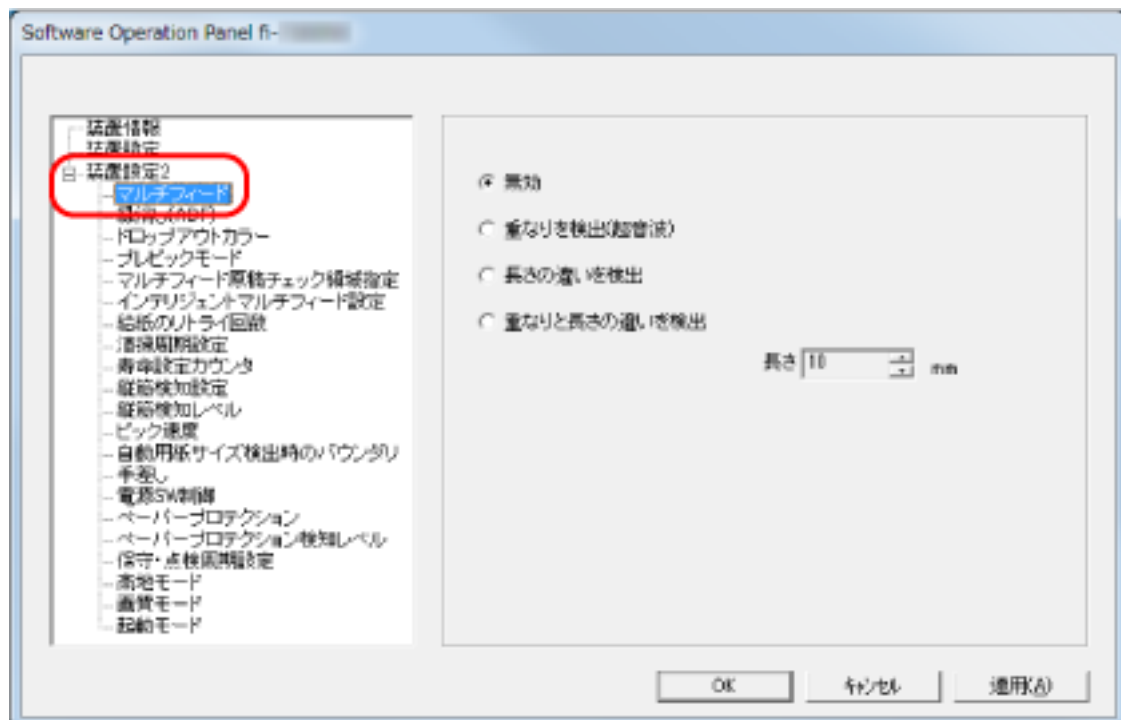
原稿の重なりは、超音波センサーや原稿の長さの違いで検出します。

原稿の重なりを検出すると、タッチパネルにエラーメッセージを表示して、読み取りを中断します。ただし、搬送方向で、原稿の先端から約30mmの範囲に原稿が重なっていても、重なりは検出されません。

1 Software Operation Panel を起動します。

詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。

2 画面左のリストから「装置設定 2」→「マルチフィード」をクリックします。



3 検出方法を選択します。

無効

原稿の重なりを検出しません。
工場出荷設定です。

重なりを検出 (超音波)

超音波センサーで原稿の重なりを検出します。

この設定をした場合、さらに次の2つの検出オプションを指定できます。

- 搬送方向で、重なりを検出する範囲を、原稿の先端からの長さで設定できます。

原稿の重なりを検出する範囲の設定 (マルチフィード原稿チェック領域指定) (292 ページ)を参照して、指定します。

- 原稿に紙片が貼られている場合、紙片の長さや位置を記憶して、重なりを検出しないように設定できます。
決まったパターンの原稿の重なりを検出したくないとき (110 ページ)を参照して、指定します。

長さの違いを検出

原稿の長さの違いで原稿の重なりを検出します。

同じ長さの原稿を読み取る場合に設定してください。

長さの異なる原稿を混載して読み取る場合は、原稿の重なりを正しく検出できません。

重なりと長さの違いを検出

「重なりを検出 (超音波)」と「長さの違いを検出」によって、原稿の重なりを検出します。

この設定をした場合、さらに次の2つの検出オプションを指定できます。

- 搬送方向で、重なりを検出する範囲を、原稿の先端からの長さで設定できます。
原稿の重なりを検出する範囲の設定 (マルチフィード原稿チェック領域指定) (292 ページ)を参照して、指定します。
- 原稿に紙片が貼られている場合、紙片の長さや位置を記憶して、重なりを検出しないように設定できます。
決まったパターンの原稿の重なりを検出したくないとき (110 ページ)を参照して、指定します。
ただし、長さの異なる原稿を混載して読み取る場合は、原稿の重なりを正しく検出できません。

長さ

重なりと判断する原稿の長さの差を設定します。

原稿の長さの差が設定した長さよりも長い場合に、長さの違いによる重なりを検出します。

「長さの違いを検出」または「重なりと長さの違いを検出」を設定した場合に設定します。

選択された長さ以下は、誤差とみなされて、原稿の重なりを検出しません。

10/15/20mm から選択します。工場出荷設定は「10」です。

重要

- 長さの異なる原稿を読み取る場合は、「重なりを検出 (超音波)」を選択してください。
- 原稿の上に付箋紙、伝票、写真などの紙片が貼り付けてある場合は、「重なりを検出 (超音波)」を選択すると、紙片が貼ってある部分を重なりと検出する場合があります。このような場合は、「長さの違いを検出」を選択してください。
または、重なりを検出する範囲に紙片の貼り付け部分以外を設定すれば、重なりを検出しません。

ヒント

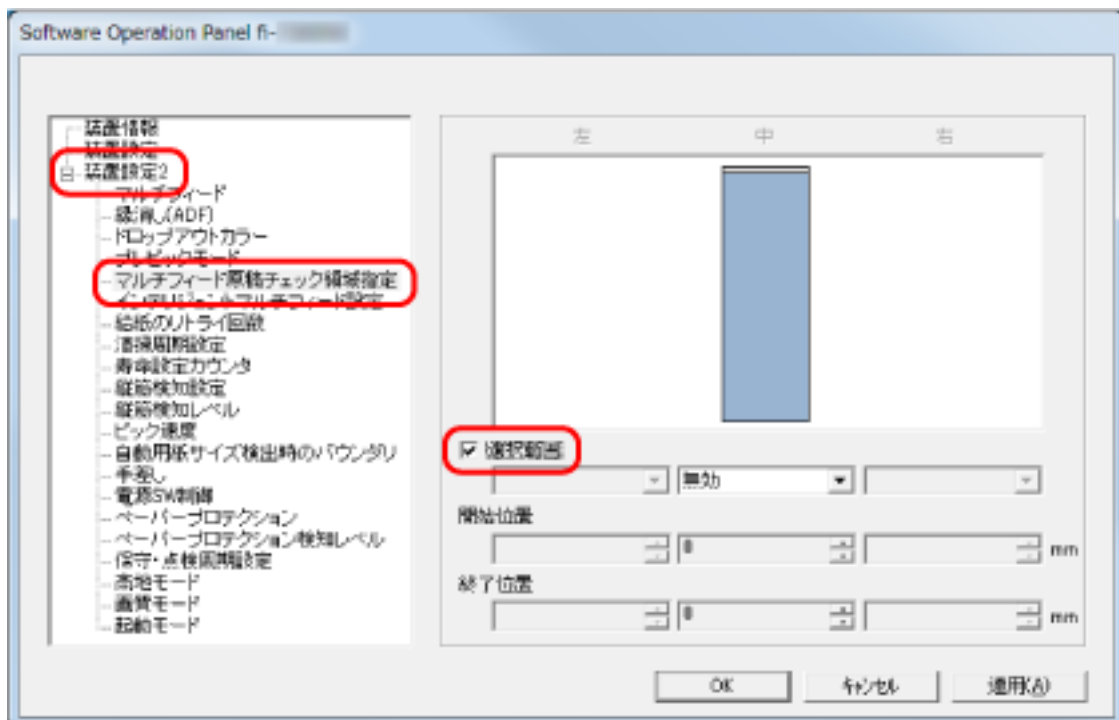
- スキャナードライバーでも設定できます。
この場合、スキャナードライバーの設定が優先されます。
- スキャナードライバーで、A3 キャリアシートの設定を有効にしている場合、タッチパネルにエラーメッセージは表示されません。スキャナードライバーからエラーが通知されます。

原稿の重なりを検出する範囲の設定 (マルチフィード原稿チェック領域指定)

原稿の重なりを検出する範囲を設定します。

「マルチフィード」に「重なりを検出 (超音波)」または「重なりと長さの違いを検出」を設定した場合に設定します。

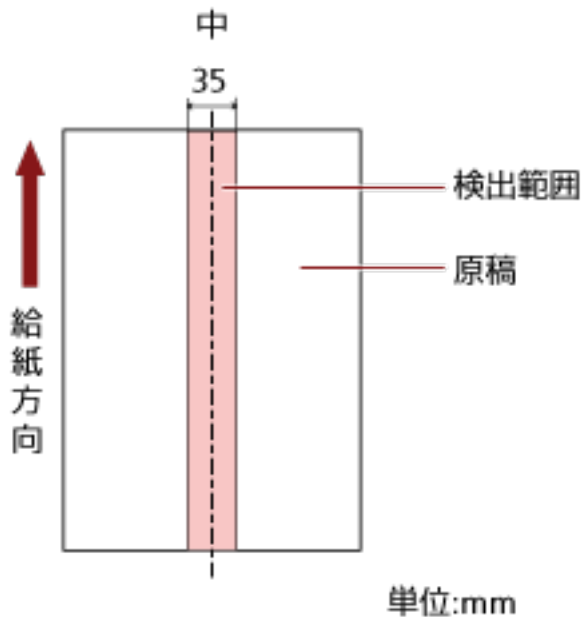
- 1 Software Operation Panel を起動します。
詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「マルチフィード原稿チェック領域指定」をクリックします。
画面内の「選択範囲」チェックボックスをチェックします。



- 3 検出範囲を設定します。

「選択範囲」チェックボックス

次の図にある薄桃色の検出範囲を指定する場合にチェックします。



工場出荷設定はチェックが外れています。

チェックが外れていると、開始位置=0 終了位置=0 となり、全範囲について原稿の重なりを検出します。

この条件は、原稿がピックアップの幅の中央（左右対称）にセットされていることが前提となります。

搬送方向で、原稿の先端から約 30mm の範囲に原稿が重なっていても、重なりは検出されません。

無効 (中)

「選択範囲」チェックボックスにチェックを付けた場合に選択できます。

指定した範囲の重なりを検出しません。

工場出荷設定です。

有効 (中)

「選択範囲」チェックボックスにチェックを付けた場合に選択できます。

指定した範囲の重なりを検出します。

開始位置 (中)

搬送方向に、検出範囲の開始位置を、原稿の先端からの長さで指定します。

設定可能範囲：0～510mm、2mm 刻み、開始位置 < 終了位置

工場出荷設定は「0」です。

終了位置 (中)

搬送方向に、検出範囲の終了位置を、原稿の先端からの長さで指定します。

設定可能範囲：0～510mm、2mm 刻み、開始位置 < 終了位置

工場出荷設定は「0」です。

ヒント

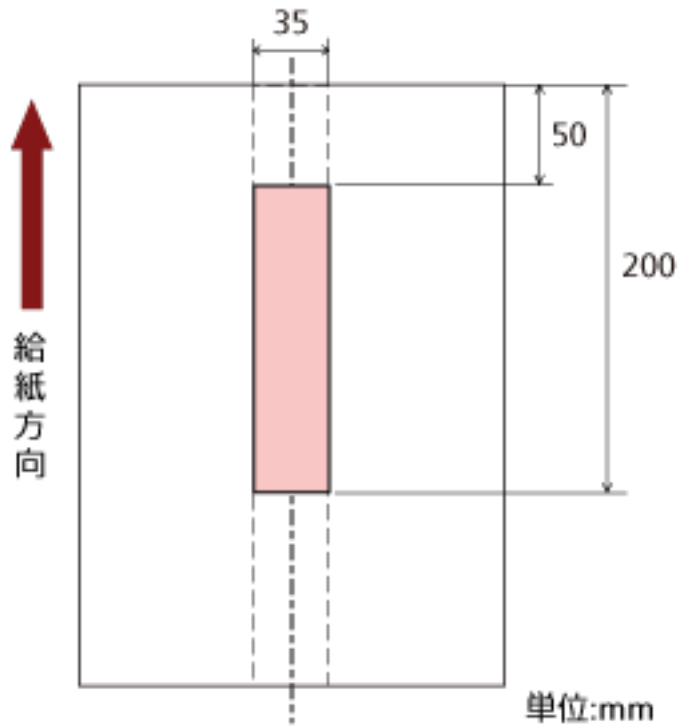
- 開始位置=0、終了位置=0 に設定した場合は、「選択範囲」の設定に関係なく、原稿の全範囲で重なりを検出します。
- 原稿の全範囲で重なりを検出を無効にしたい場合は、「選択範囲」で「無効」を選択し、開始位置=0、終了位置 \geq 原稿の長さを設定してください。
- 開始位置を原稿の長さを超えた位置に設定すると、「選択範囲」が「無効」の場合は全範囲で重なりを検出し、「選択範囲」が「有効」の場合は全範囲で重なりを検出を無効にします。
- 原稿の重なりを検出するには、範囲の長さが 5mm 以上必要です。
範囲を指定する場合は、終了位置 - 開始位置 \geq 6mm になるように指定してください。
- 次の方法でも開始位置、終了位置を設定できます。
 - 検出範囲を示す画面上で、マウスをドラッグして方形領域を作成する。
 - 検出範囲を示す画面上で、開始位置/終了位置を示すハンドルをマウスでドラッグする。
- 原稿の重なりを検出する範囲の設定例は、[原稿の重なりを検出する範囲の設定例 \(295 ページ\)](#)を参照してください。

■ 原稿の重なりを検出する範囲の設定例

設定例 1

次の場合の設定例について説明します。

検出範囲：有効領域を指定、開始位置：50mm、終了位置：200mm

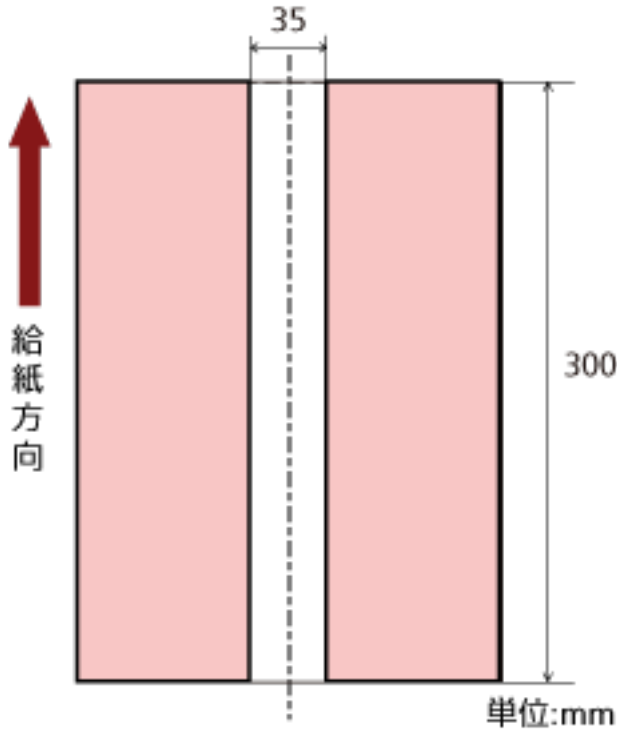


薄桃色の範囲内だけ原稿の重なりを検出します。

設定例 2

次の場合の設定例について説明します。

検出範囲：無効領域を指定、開始位置：0mm、終了位置：300mm

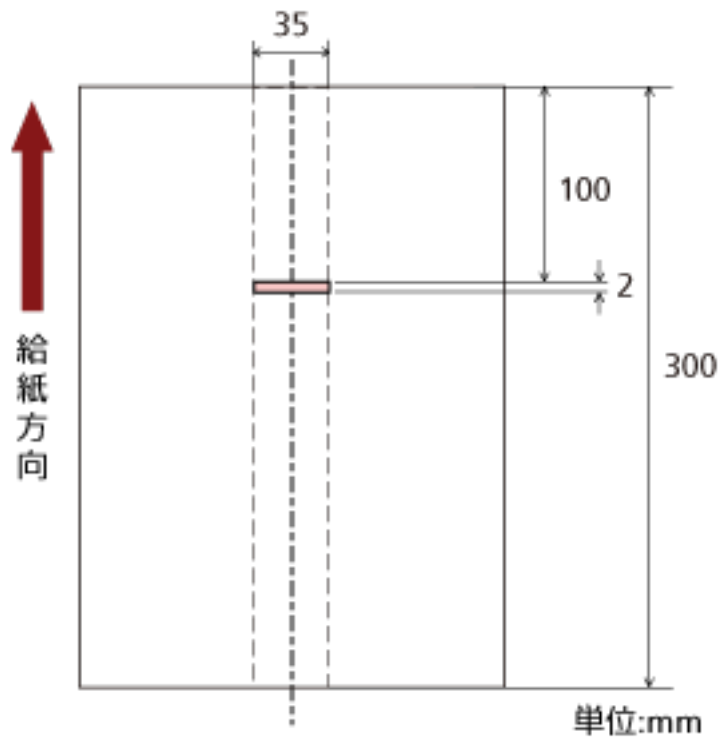


薄桃色の範囲内だけ原稿の重なりを検出します。

設定例 3 (悪い例)

次の場合の設定例について説明します。

検出範囲：有効領域を指定、開始位置：100mm、終了位置：102mm



検出範囲 (長さ) が 5mm に満たないため、原稿の重なりを正しく検出できません。

決まったパターンの重なりを検出しない設定 (インテリジェントマルチフィード設定)

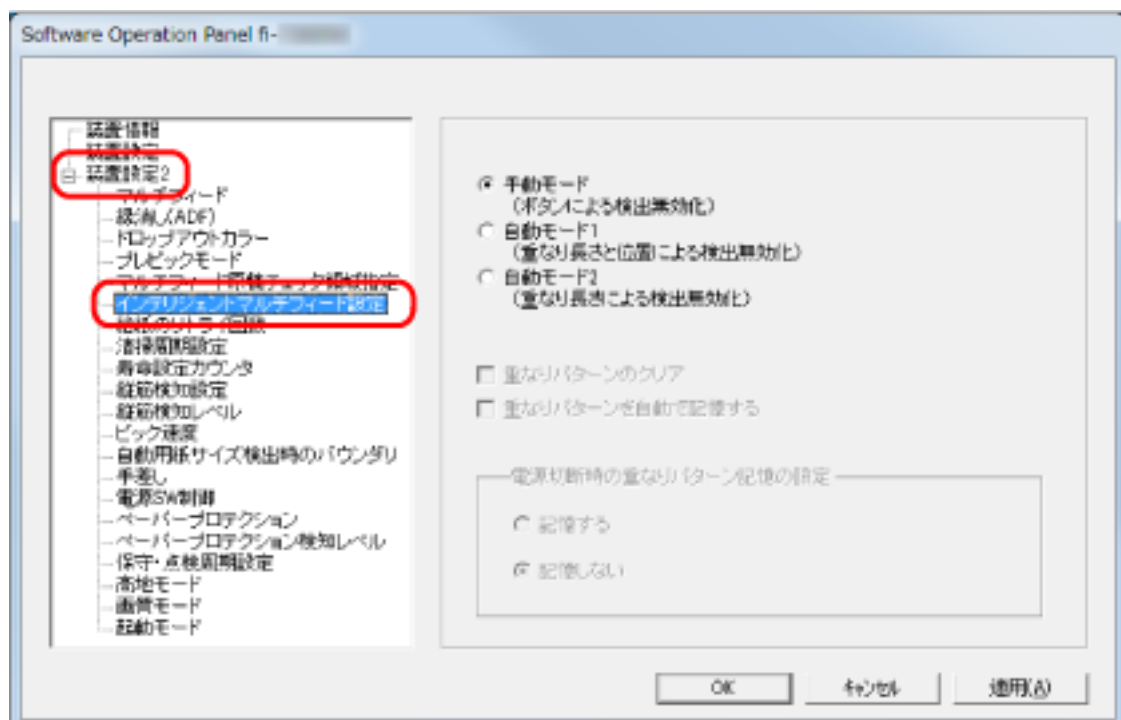
原稿の重なりを検出する設定をしている場合に、原稿の決まったパターンの重なりを自動的に検出しないようにする設定をします。

この設定を行うには、事前に、スキャナードライバーおよび Software Operation Panel の [原稿の重なりを検出する方法の設定 \(マルチフィード\) \(290 ページ\)](#) で、「重なりを検出 (超音波)」または「重なりと長さの違いを検出」を設定しておく必要があります。

1 Software Operation Panel を起動します。

詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。

2 画面左のリストから「装置設定 2」→「インテリジェントマルチフィード設定」をクリックします。



3 動作モードを選択します。

手動モード

重なりが検出された原稿を再度読み取るときだけ、重なりを検出するか、検出しないかを指定できます。

原稿に貼ってある紙片の位置や大きさは記憶しません。

工場出荷設定です。

自動モード 1

重なりが検出された原稿に貼ってある紙片の長さや位置を、重なりパターンとして記憶するか、記憶しないかを指定できます。

重なりパターンを記憶した場合、次の読み取りから、同じ重なりパターンの原稿は、重なりを検出しません。

ヒント

「電源切断時の重なりパターン記憶の設定」の「記憶する」を選択した場合、記憶した重なりパターンの中で、最新の 8 枚だけが記憶されます。

自動モード 2

重なりが検出された原稿に貼ってある最も長い紙片を、重なりパターンとして記憶するか、記憶しないかを指定できます。

重なりパターンを記憶した場合、次の読み取りから、同じ長さかそれよりも短い紙片が貼ってある原稿は、重なりを検出しません。

ヒント

- 「重なりパターンのクリア」チェックボックスにチェックを付けると、自動モードで記憶した重なりパターンをクリアできます。
誤って記憶された重なりパターンを消去できますが、記憶しているパターンすべてが消去されるため、注意して操作してください。
工場出荷設定はチェックが外れています。
- 「重なりパターンを自動で記憶する」チェックボックスにチェックを付けると、自動モードで原稿の重なりが検出されたときに、原稿の重なりパターンの記憶機能を有効にします。
工場出荷設定はチェックが外れています。
- 「電源切断時の重なりパターン記憶の設定」で電源を切断するときに、重なりパターンを記憶するか、記憶しないかを指定できます。
「記憶する」を指定すると、電源を切断するときに記憶された最新の重なりパターン 8 枚分を、次に電源を投入したときに使用できます。
工場出荷設定は「記憶しない」です。
- スキャナードライバーで、A3 キャリアシートの設定を有効にしている場合、「インテリジェントマルチフィード設定」は無効になります。

待機時間に関する設定

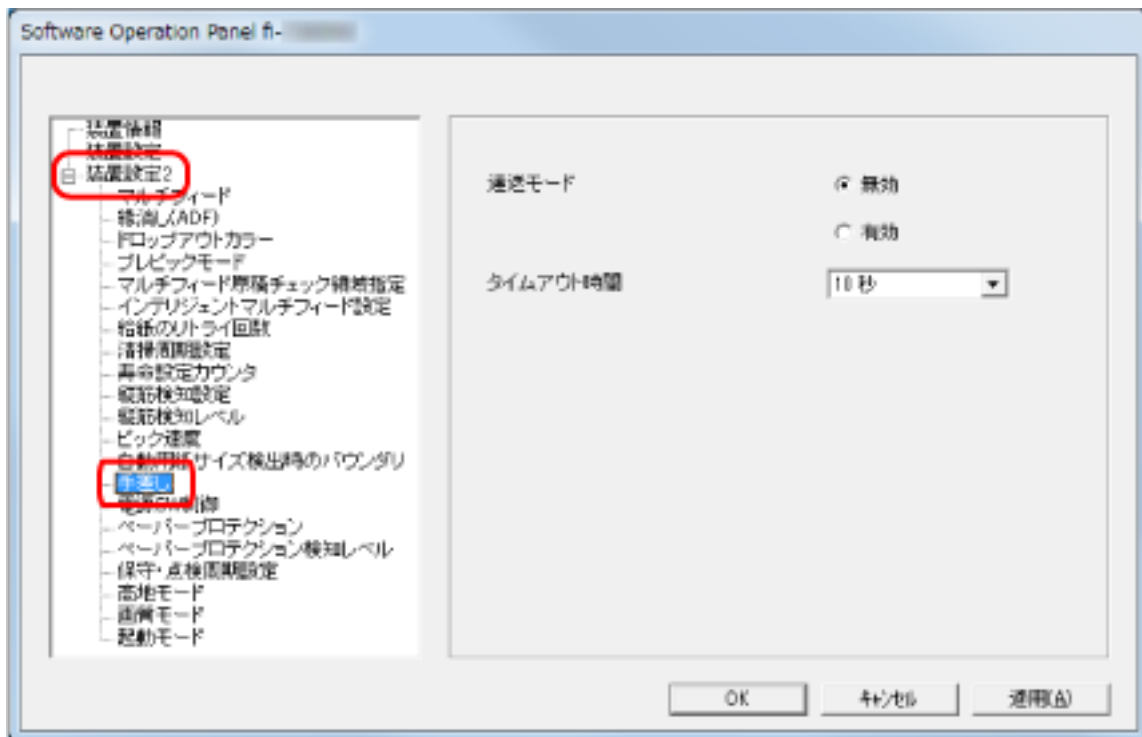
手差しで原稿を読み取るときの待機時間の設定 (手差し)

原稿を1枚ずつセットして読み取る時の設定をします。

手で1枚ずつ原稿をセットして読み取る場合 (手差し) に、最後に原稿をセットしてから次に原稿をセットするまでの時間を設定しておく、設定した時間内であれば原稿をセットする間隔が空いても、連続して読み取りができます。

設定した時間を超えると、自動的に読み取りが終了します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「手差し」をクリックします。



- 3 「タイムアウト時間」を設定します。

「タイムアウト時間」は、ADF 給紙シュート (フィーダー) に原稿がセットされていないと判断するまでの時間 (最後に原稿を読み取ってから、次の原稿の有無を検出するまでの時間) です。

工場出荷設定は「10 秒」です。

- 複数枚の原稿を、手差しで連続して読み取る時
 1. 「送送モード」を「有効」にします。
 2. 「タイムアウト時間」を選択します。
- 2つ折りの原稿、封筒、複数枚つづりの複写紙を、手差しで1枚ずつ読み取る時
 1. 給紙モードスイッチを左にスライドし、手差し・単送モードにします。
 2. 「タイムアウト時間」を選択します。

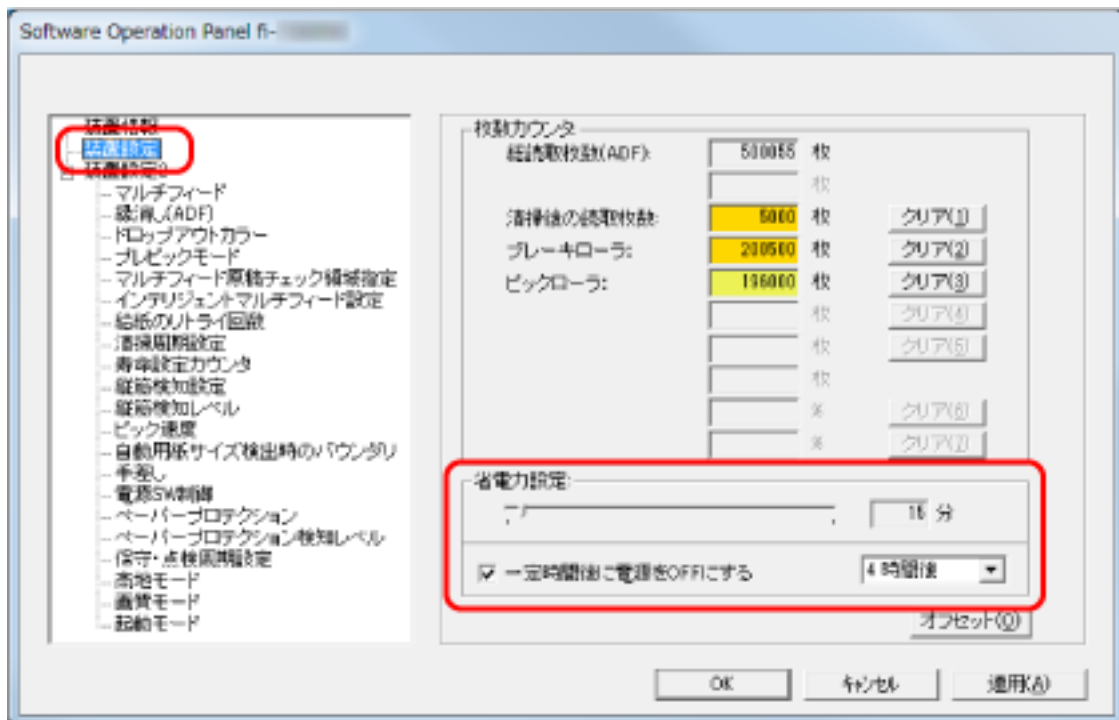
ヒント

- 「連送モード」の設定が「有効」になっていると、ADF 給紙シュート（フィーダー）に原稿がない状態で読み取りを開始しても、タイムアウト時間に設定した時間内で原稿がセットされるのを待ちます。
- 給紙モードスイッチが手差し・単送モードのときは、「連送モード」の設定に関係なく、タイムアウト時間に設定した時間内で原稿がセットされるのを待ちます。

省電力モードの待機時間の設定 (省電力設定)

省電力状態に移行するまでの待機時間を設定します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定」をクリックします。



- 3 スライダーを使い、省電力状態に移行するまでの待機時間を設定します。
5～115分の範囲で設定 (5分刻みで設定) できます。
工場出荷設定は「15」分です。

ヒント

「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスにチェックを付けた場合、スキャナーの電源を投入したままで一定時間何も操作しないと、自動でスキャナーの電源が切断されます。

工場出荷設定はチェックボックスにチェックが付いています。

自動でスキャナーの電源が切断されるまでの時間は、1時間後/2時間後/4時間後/8時間後から選択できます。

工場出荷設定は「4時間後」です。

ただし、次のどちらかの項目を設定していると、自動でスキャナーの電源が切断されるまでの時間が経過しても、スキャナーの電源は切断されません。

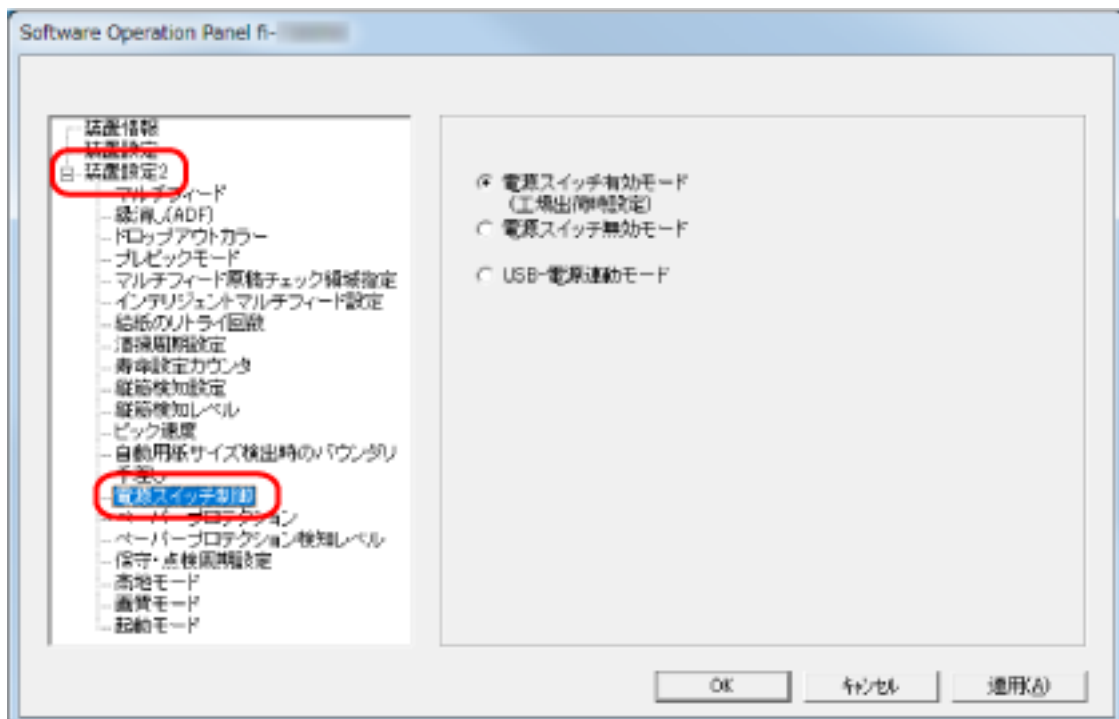
- 「起動モード」を「クイック」に設定
- 「電源スイッチ制御」を「電源スイッチ無効モード」に設定

電源投入/切断およびスキャナーの起動に関する設定

電源投入/切断方法の設定 (電源スイッチ制御)

スキャナーの [Power] ボタンの操作で、スキャナーの電源を投入/切断するかどうかを設定します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「電源スイッチ制御」をクリックします。



- 3 電源の投入/切断方法を選択します。

電源スイッチ有効モード

スキャナーの [Power] ボタンでスキャナーの電源を投入/切断します。
工場出荷設定です。

電源スイッチ無効モード

コンピューターの電源に合わせて、スキャナーなどの周辺機の電源を管理する AC ケーブルタップを使用する場合に選択します。
スキャナーの [Power] ボタンでスキャナーの電源を投入/切断しません。

USB-電源連動モード

スキャナーとコンピューターを USB ケーブルで接続している場合に選択できます。
スキャナーの [Power] ボタンのほかに、コンピューターの電源の投入/切断と連動してスキャナーの電源を投入/切断します。

USB ケーブルの抜き差しでもスキャナーの電源を投入/切断します。

重要

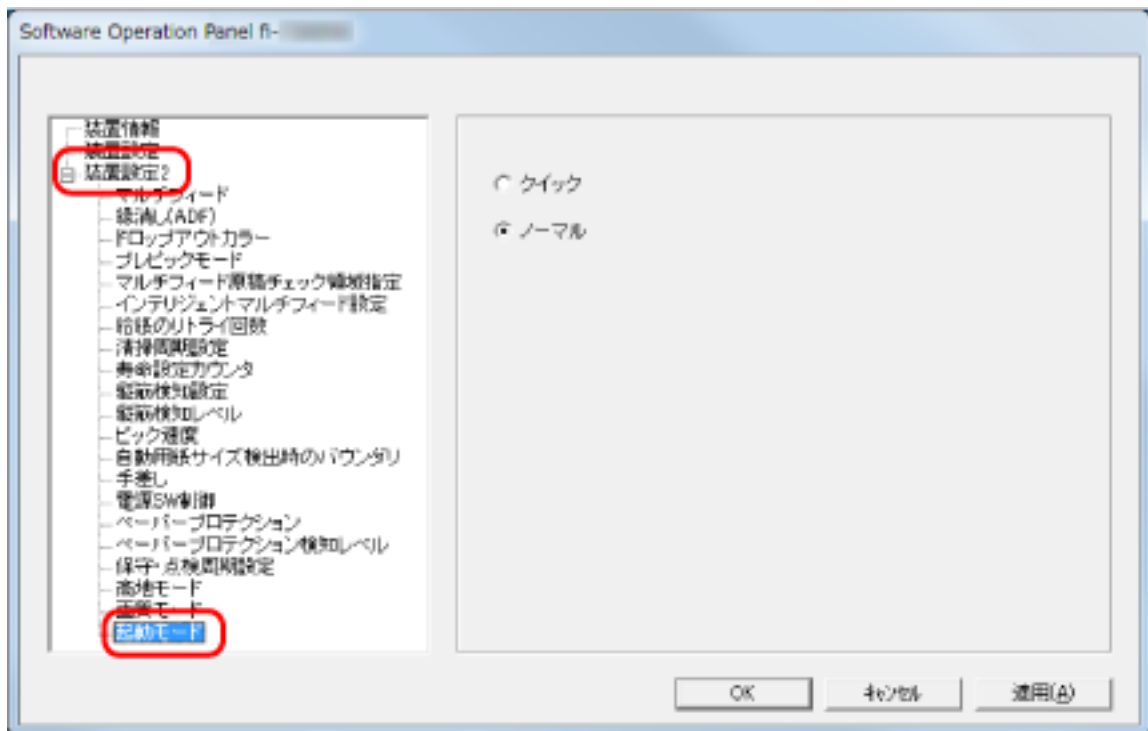
コンピューターや USB ハブの種類によって、コンピューターの電源を切断しても USB バスに電源を供給し続けるものがあります。

そのような環境では、「USB-電源連動モード」が正しく機能しない場合があります。

スキャナーの起動モードの設定 (起動モード)

スキャナーの起動モードを設定します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「起動モード」をクリックします。



- 3 スキャナーの起動方法を選択します。

クイック

[Power] ボタンを 2 秒以上押すと、省電力状態に移行します。
省電力状態から復帰したら、すぐに読み取りを開始できます。

ノーマル

[Power] ボタンを 2 秒以上押すと、電源を切断します。
工場出荷設定です。

重要


「クイック」を設定すると、「省電力設定」の「一定時間後に電源を OFF にする」チェックボックスのチェックの有無に関係なく、スキャナーの電源は切断されません。

スキャナーの保守に関する設定

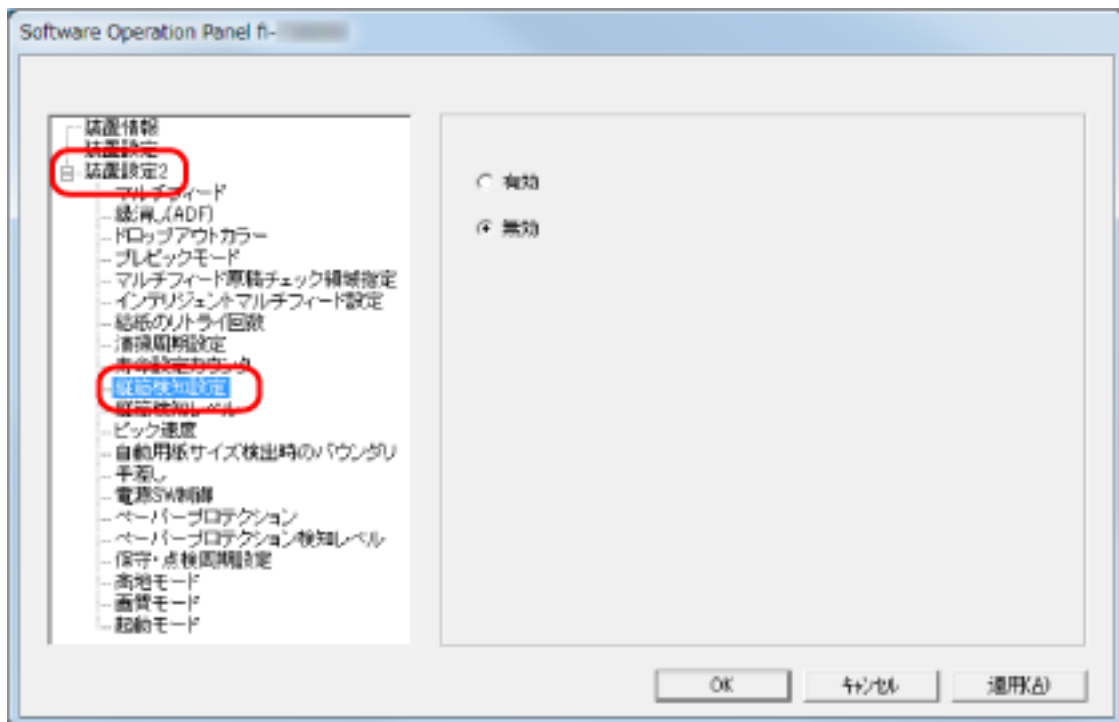
縦筋を検知する機能の設定 (縦筋検知設定)

ガラスのよごれを検知する設定ができます。

ガラスがよごれていると、画像に縦筋が発生することがあります。

縦筋を検知する設定を「有効」にすると、タッチパネルの  に「ガラス清掃」のメッセージが通知されます。メッセージが通知されたら、縦筋の発生を防ぐために、ガラスを清掃してください。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「縦筋検知設定」をクリックします。



- 3 ガラスのよごれ (縦筋) を検知するかどうかを選択します。
「有効」を選択すると、ガラスのよごれ (縦筋) を検知します。
工場出荷設定は「無効」です。

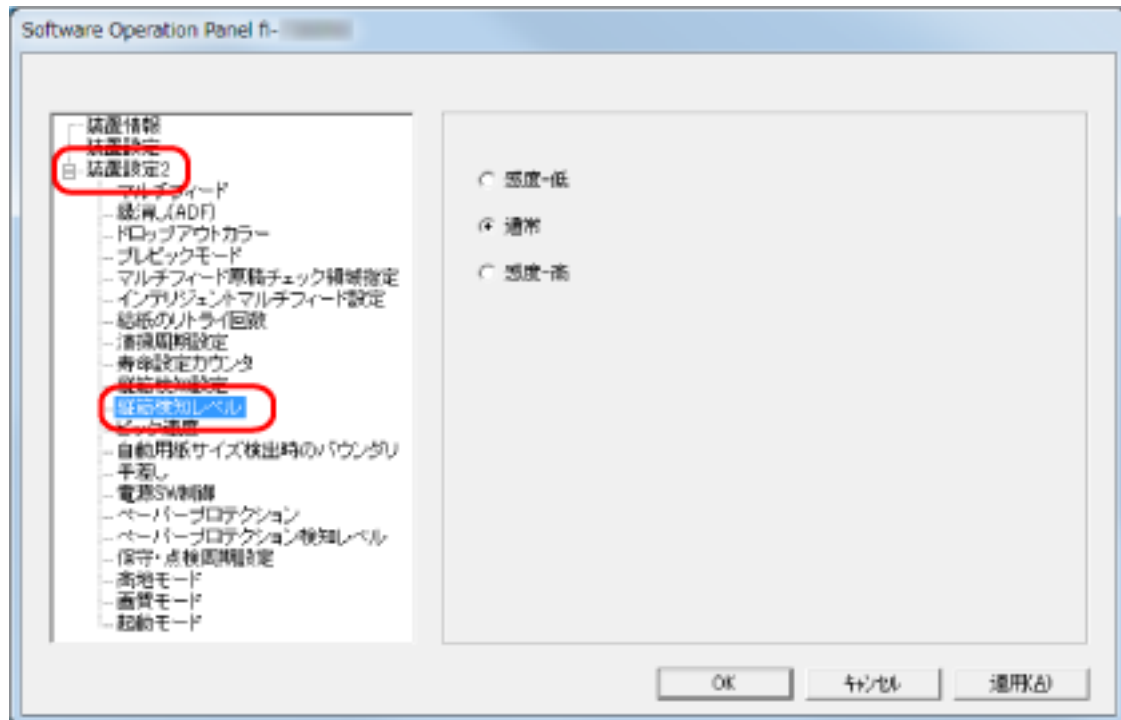
縦筋を検知する機能の感度設定 (縦筋検知レベル)

「縦筋検知設定」を「有効」にした場合の、ガラスのよごれに対する検知レベルを設定します。
ガラスのよごれ具合に応じて検知レベルを変更します。

1 Software Operation Panel を起動します。

詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。

2 画面左のリストから「装置設定 2」→「縦筋検知レベル」をクリックします。



3 ガラスのよごれの検知レベルを選択します。

感度-低

ガラスのよごれを検知する感度を低くします。
ガラスのよごれがひどい場合だけ検知したいときに設定します。

通常


最適な感度でガラスのよごれを検知します。
工場出荷設定です。

感度-高

ガラスのよごれを検知する感度を高くします。
ガラスのよごれが少なくても検知したいときに設定します。

スキャナーの保守・点検周期の設定 (保守・点検周期設定)

サービスエンジニアによるスキャナーの保守・点検の周期を設定します。

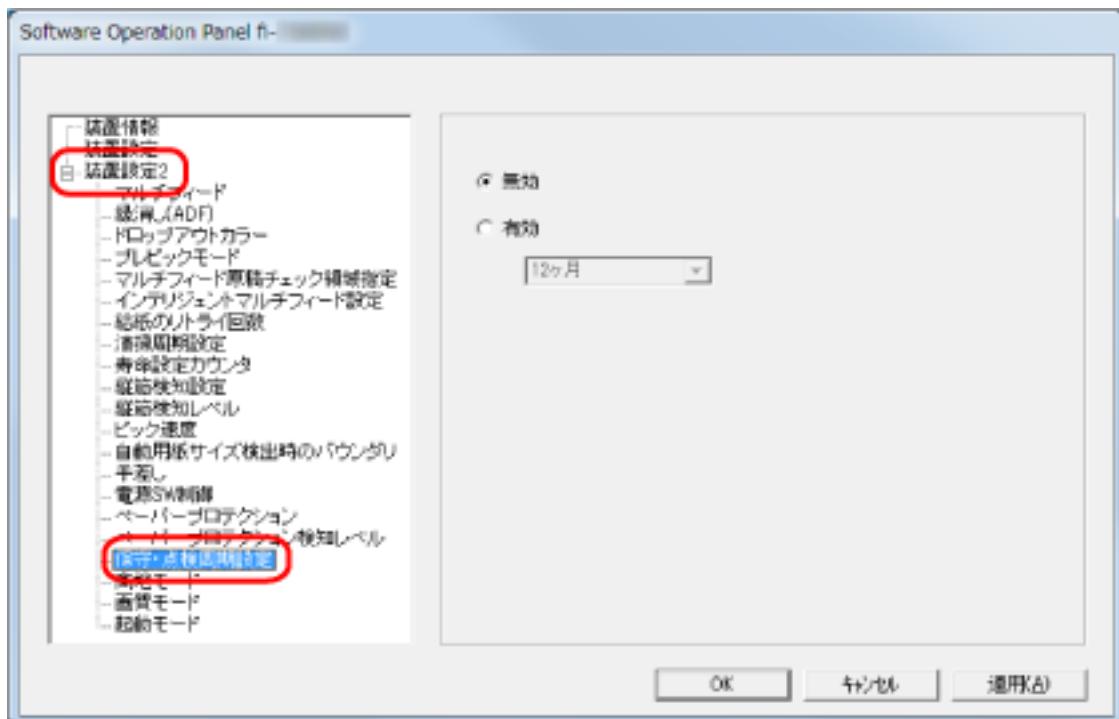
保守・点検を実施した日から、周期に設定した期間が経過したときに、タッチパネルの  に「保守・点検」のメッセージを通知できます。

サービスエンジニアによるスキャナーの定期保守・点検方法は、サービスエンジニアまたは当社のサービスセンター (株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (326 ページ)) にお問い合わせください。

1 Software Operation Panel を起動します。

詳細は、[Software Operation Panel の起動 \(252 ページ\)](#)を参照してください。

2 画面左のリストから「装置設定 2」→「保守・点検周期設定」をクリックします。



3 保守・点検の時期が近づいたときに、タッチパネルにメッセージを通知する場合は、「有効」を選択します。

工場出荷設定は「無効」です。

4 メッセージを通知する周期を選択します。

工場出荷設定は「12ヶ月」です。

付録

スキャナー基本仕様

項目		仕様
スキャナータイプ		ADF（自動給紙機構） ADFは、手差し（単送/連送）可能
イメージセンサー		カラー CCD×2（表、裏）
光源		白色 LED×2（表、裏）
読み取り可能原稿サイズ（幅×長さ）	最小サイズ	50.8×54mm 54×50.8mm
	最大サイズ	A4 縦（210×297mm）（*1） リーガル縦（8.5×14 インチ）（*1）
原稿の厚さ		27～413g/m ² （23～355kg/連） A8 サイズ以下は 128～209g/m ² （110～180kg/連） プラスチックカードは 1.4mm 以下（*2）
読み取り速度（A4、縦、300dpi）（*3）	USB 接続時	片面 60 枚/分、両面 120 面/分
	有線 LAN 接続時	片面 60 枚/分、両面 120 面/分
	無線 LAN 接続時	片面 60 枚/分、両面 120 面/分
原稿搭載容量（*4）		80 枚 厚さ 80g/m ² （69kg/連）の原稿 原稿の総厚みが 8mm 以下
光学解像度		600dpi
出力解像度	バイナリー（二値白黒）	50～600dpi（1dpi ごとに設定可能） 1200dpi（スキャナードライバーで生成）
	グレースケール	
	カラー	
多値レベル		カラー：24bit グレースケール：8bit バイナリー（二値白黒）：1bit
インターフェイス	USB	USB3.1 Gen1/USB3.0/USB2.0/USB1.1（*5） タイプ B
	有線 LAN	IEEE802.3 Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T RJ-45
	無線 LAN	詳細は、 無線 LAN 仕様（310 ページ） 参照

項目	仕様
ネットワークプロトコル（有線 LAN、無線 LAN）	IPv4（*6）、TCP、UDP、ICMP、DHCP、DNS HTTP/HTTPS
タッチパネル	4.3 インチ TFT カラータッチパネル 感圧式
非接触 IC カードリーダー	通信方式 <ul style="list-style-type: none"> ● ISO/IEC 14443 Type A/Type B 準拠 ● ISO/IEC 18092 準拠

- *1：長尺帳票を読み取る場合は、読み取り解像度を 200dpi 以下にすると、最大の長さ 5,588mm（220 インチ）まで読み取りできます。
- *2：プラスチックカードを読み取る場合は、ADF 給紙シュート（フィーダー）に、最大 3 枚までセットできます。
- *3：読み取り速度は、ハードウェアの最大速度であり、実際の読み取り時間にはデータ転送時間などのソフトウェアの処理時間が付加されます。
読み取り速度の測定環境は、次のとおりです。

オペレーティングシステム	Windows 10
CPU	Intel® Core™ i3-10105 3.7GHz
メモリー容量	8GB
ストレージ	SSD

- *4：最大枚数は原稿の厚さによって変わります。
詳細は、[読み取りできる原稿 \(82 ページ\)](#)を参照してください。
- *5：添付の USB ケーブルを使用してください。
USB ハブに接続する場合、必ずコンピューターの USB ポートに接続されている USB ハブに接続してください。
USB3.1 Gen1/USB3.0/USB2.0 で接続する場合、USB ポートおよびハブが USB3.1 Gen1/USB3.0/USB2.0 に対応している必要があります。
また、USB 1.1 で接続すると、読み取り速度が遅くなります。
- *6：IPv6 はサポートしていません。

● 無線 LAN 仕様

項目	仕様
準拠規格	IEEE802.11a IEEE802.11b IEEE802.11g IEEE802.11n IEEE802.11ac
通信モード	インフラストラクチャーモード（*1）

項目	仕様
周波数	2.4GHz 帯 5GHz 帯
チャンネル	2.4GHz 帯：1～13ch 5GHz 帯：36～60ch、100～140ch、149～165ch（4ch ごと）
暗号化	WEP（64bit/128bit） WPA（TKIP/AES） WPA2（AES） WPA-PSK（TKIP/AES） WPA2-PSK（AES）
簡単設定	WPS2.0 に対応（ボタン/PIN コード）（*2）

*1：本スキャナーと同じ規格に対応した無線アクセスポイントが必要です。

*2：WPS 機能に対応した無線アクセスポイントが必要です。

設置諸元

項目		仕様
外形寸法（幅×奥行き×高さ）（*1）		300×202×170mm
設置スペース（幅×奥行き×高さ）（*2）		400×700×380mm
質量		4.9kg 以下
入力電源	電圧範囲	AC100～240V ±10%
	相	単相
	周波数範囲	50/60Hz ±3Hz
消費電力	動作時	42W 以下
	省電力時	2.4W 以下
	電源切断時	0.3W 以下
操作環境	温度	動作時：5～35℃ 非使用時：-20～60℃
	湿度	動作時：20～80% 非使用時：8～95%
発熱量	動作時	36.12kcal/h 以下
	省電力時	2.07kcal/h 以下
出荷時質量（*3）		7.2kg 以下
サポート期間		5年

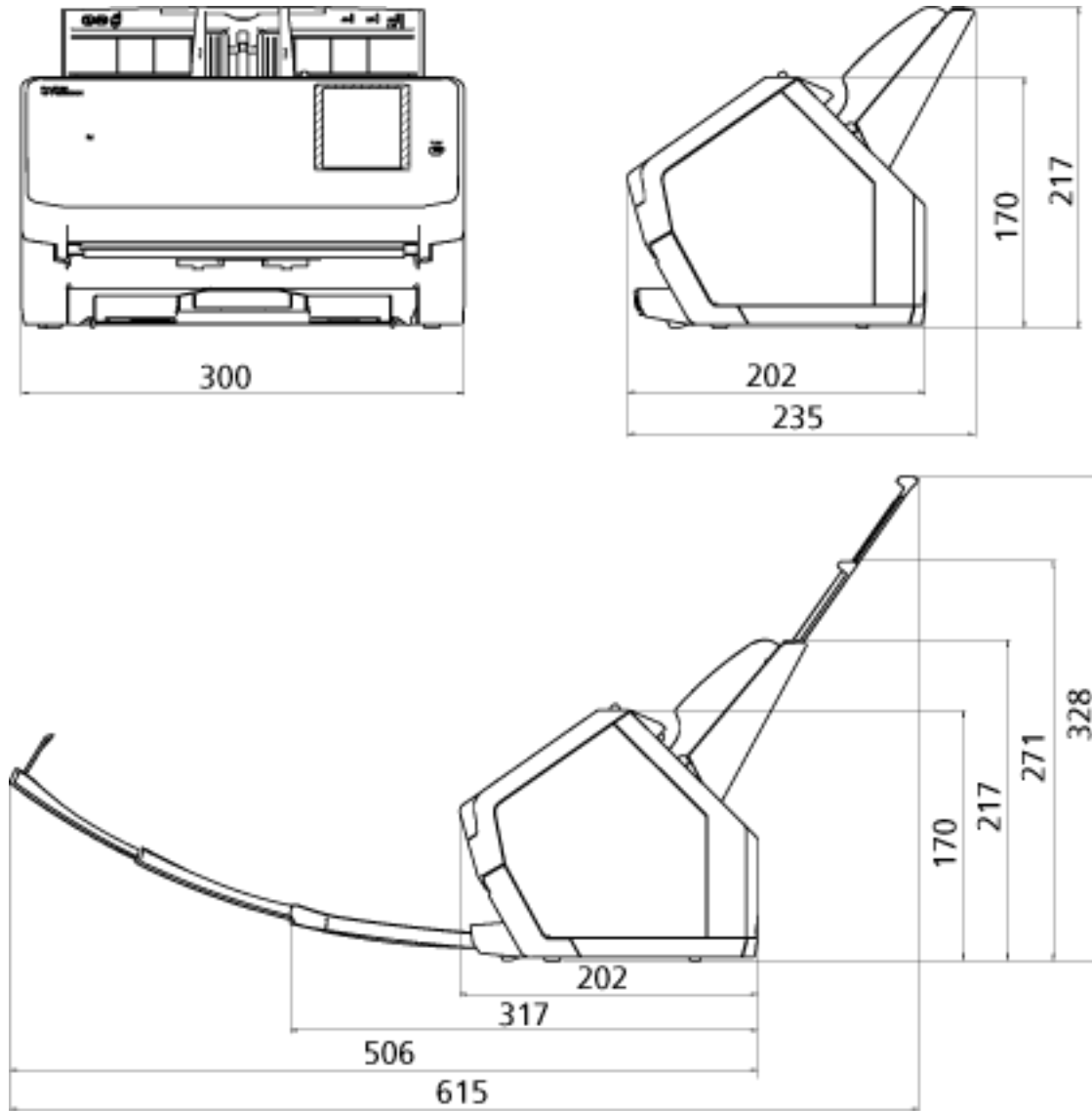
*1：奥行きは、ADF 給紙シュート（フィーダー）およびスタッカーを除きます。

*2：設置スペースの値は、A4 原稿を読み取る場合に必要な設置スペースの参考値です。

*3：梱包品を含めた質量です。



外形寸法

外形寸法は次のとおりです。



(単位：mm)

スキャナーのオプション


品名	型名	説明
A3 キャリアシート 	FI-X15ES	<p>写真や切り抜きなどの原稿を読み取るためのオプションです。</p> <p>A3 キャリアシートを使用すると、傷つけたくない写真や、資料の切り抜きなどの原稿を読み取りできます。</p> <p>A3 キャリアシートが、破損、磨耗によって、読み取りができなくなった場合は、A3 キャリアシート（5枚）を別途購入できます。</p> <p>A3 キャリアシートは、目安として、500回読み取るごとに交換することを推奨します。</p> <p>ただし、傷やよごれが目立つ場合は、必要に応じて交換してください。</p>
タッチペン 	FI-730TP	<p>タッチパネルの操作で使用するためのオプションです。</p> <p>タッチペンを使用すると、指で押すよりも正確にタッチパネル上の目的の位置を押せます。</p>
ScanAid	FI-728SA	<p>スキャナーに必要な消耗品・清掃用品（ローラー、クリーナーなど）をまとめたオプションです。</p> <p>ScanAidを購入すると、必要な消耗品・清掃用品が一度にそろいます。</p> <p>ScanAidの梱包品については、ScanAidの梱包品 (314ページ)を参照してください。</p>




スキャナーのオプションの購入については、[株式会社 PFU PFU ダイレクト \(327 ページ\)](#)にお問い合わせください。

スキャナーのオプションの詳細は、本製品を購入した販社/販売店または[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(326 ページ\)](#)にお問い合わせください。

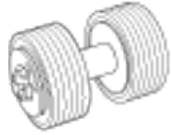
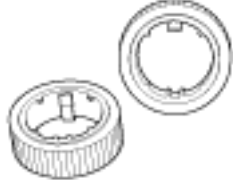
● ScanAid の梱包品

● 清掃用品

品名	備考
クリーナ F1 (1本) 	容量：50ml

品名	備考
クリーニングペーパー (1 パック) 	10 枚入り/1 パック
クリーニングクロス (1 パック) 	20 枚入り/1 パック
綿棒 (2 パック) 	50 本入り/1 パック

● 消耗品

品名	備考
ブレーキローラ (1 個) 	200,000 枚または 1 年ごとに交換
ピックローラ (1 組) 	200,000 枚または 1 年ごとに交換

スキャナー選択ツール for fi Series の起動方法

スキャナー選択ツール for fi Series は、次の手順で起動します。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022
「スタート」メニュー→「fi Series」→「スキャナー選択ツール for fi Series」をクリックします。
- Windows 11
「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「fi Series」→「スキャナー選択ツール for fi Series」をクリックします。

ソフトウェアのアンインストール手順

- 1 コンピューターの電源を投入して、コンピューターの管理者権限を持つユーザーで、Windows にログインします。
- 2 動作しているソフトウェアをすべて終了させます。
- 3 「コントロール パネル」画面を表示します。
 - Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022
「スタート」メニュー→「Windows システムツール」→「コントロール パネル」をクリックします。
 - Windows 11
「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「Windows ツール」をクリックし、「コントロール パネル」をダブルクリックします。
- 4 「プログラムのアンインストール」をクリックします。

「プログラムと機能」画面が表示され、インストールされているソフトウェアの一覧が表示されます。
- 5 削除するソフトウェアをクリックします。
 - PaperStream IP ドライバーを削除する場合
次のどれかをクリックしてください。
 - PaperStream IP (TWAIN)
 - PaperStream IP (TWAIN x64)
 - PaperStream IP (ISIS) Bundle
 - Network Setup Tool for fi Series を削除する場合
「Network Setup Tool for fi Series」をクリックしてください。
 - Software Operation Panel を削除する場合
「Software Operation Panel」をクリックしてください。
Software Operation Panel は、PaperStream IP ドライバーをインストールすると同時にインストールされます。
 - Error Recovery Guide を削除する場合
「Error Recovery Guide for fi-7300NX」をクリックしてください。
 - PaperStream ClickScan を削除する場合
「PaperStream ClickScan」をクリックしてください。
 - PaperStream ClickScan Searchable PDF Option を削除する場合
「PaperStream ClickScan Searchable PDF Option」をクリックしてください。
 - PaperStream Capture/PaperStream Capture Pro (EVALUATION) を削除する場合
「PaperStream Capture」をクリックしてください。
 - ABBYY FineReader for ScanSnap™を削除する場合
「ABBYY FineReader for ScanSnap (TM)」をクリックしてください。
 - マニュアルを削除する場合
「fi Series manuals for fi-7300NX」をクリックしてください。
 - Scanner Central Admin Agent を削除する場合

「Scanner Central Admin Agent」をクリックしてください。

- fi Series Online Update を削除する場合
「fi Series Online Update」をクリックしてください。

6 **【アンインストール】 ボタンまたは【アンインストールと変更】 ボタンをクリックします。**

7 **アンインストールの確認画面が表示される場合は、【OK】 ボタンまたは【はい】 ボタンをクリックします。**

アンインストールが実行されます。

e-文書法に適合した電子文書の作成

これまで企業活動で発生する見積書、注文書、契約書などの帳票は、紙文書のまま保存しておく必要がありましたが、e-文書法（*1）の施行により、これらの紙文書を本製品で読み取り、電子化することにより、保存・管理・運用などのコストを大きく低減できます（紙による原本保存が不要になります）。

次に、本製品を使用して e-文書法に適合した電子文書を作成する方法をまとめます。

重要

- 画像の原本再現性および画質確認（文章の判読不能のないことなど）は、お客様の責任で実施してください。
- 2つ折りの原稿を読み取る場合や両面印刷された原稿を読み取って表裏の画像を合成する場合は、文書の種類によって次の点に注意してください。
 - 国税関係書類の場合
表裏の画像を合成することは、推奨しません。
 - 国税関係書類以外の場合
表裏の画像を合成した場合、折り目にある情報が欠けていないかを確認してください。
情報が欠けていた場合は、次の対処をしてから、再度原稿を読み取ってください。
 - 文字などの情報がない部分に折り目を変更する
 - 原稿をしっかりと折り曲げる

*1：e-文書法（通称）とは、民間事業者などに対して、法令により紙での原本保存が義務付けられていた文書を、スキャナーで電子化し、原本の保存に代えて画像での保存を容認する法律です。

e-文書法の正式名称は、「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律」および「民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」です。

● e-文書法に対応する要件

e-文書法に対応した読み取り設定で原稿を読み取ると、次の法令要件に対応した画像を作成できます。

財務省の省令（電子帳簿保存法）に定められた要件

解像度：200dpi（8ドット/mm）以上

カラー：24bit カラー（RGB 各色 256 階調）以上またはグレー（256 階調以上）（*1）

非可逆圧縮での画質規定：JIS X6933 または ISO12653 テストチャートの 4 ポイントの文字が認識できること

*1：国税関係書類の文書でグレー（256 階調以上）での保存が認められるのは、資金や物の移動に関連しない国税関係書類や定型的な約款が定められた契約申込書などの文書です。

例：見積書控、注文書控、定型的な約款が定められた保険契約申込書

厚生労働省の省令に定められた要件

診療等の用途に差し支えない精度

重要

- 電子帳簿保存法に対応するには、スキャナードライバーのe-文書法に対応した読み取り設定で原稿を読み取ってください。詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。
- 本製品は、各省令に合った読み取りを行う機能を持っていますが、それだけでは、紙原本に代えて画像で保存することはできません。各省庁より出される省令、およびガイドラインに従い、場合によっては、電子署名・タイムスタンプを画像に付与し、管理および運用していく必要があります。詳細は、当社にお問い合わせください。
<https://www.pfu.ricoh.com/rm/anshinrm/>
- レシート、見積書などの国税関係書類は、税法で確実な保存が規定されている重要な文書です。これらの文書を画像として保存し、紙原本を廃棄するためには、電子帳簿保存法の要件に対応したシステム、業務規程の作成、および運用管理などの法定要件を満たして、所轄税務署長の承認が必要です。詳細は、省令を必ず参照してください。

● 原稿を読み取ったあとの検証

紙文書を電子化する場合、原稿を読み取ったあとに原稿の情報が正しく読み取られているかどうかを、次の観点で検証しなければなりません。

- ページの抜けがないか
- 文字がつぶれて読めない箇所がないか
- ごみ、スジなどで不鮮明な箇所がないか
- 割り印などの、原稿の端にある情報が欠けていないか

画像の検証で問題があった場合、再度原稿を読み取って検証します。

検証で問題なければ、画像を登録、保存します。

重要

画像は、一切の修正を行ってはいけません。


スキャナー設定情報の移出（PaperStream NX Manager を使用する場合）

スキャナー設定情報の移出対象資源と移出手順について説明します。

PaperStream NX Manager を使用する場合、スキャナー設定情報を移出して Scanner Central Admin Server に登録すると、PaperStream NX Manager を使用しているほかのスキャナーにスキャナー設定情報を配付することができます。

移出したスキャナー設定情報を Scanner Central Admin Server に登録する方法や配付する方法の詳細は、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

移出対象資源

タッチパネルの  で設定した情報が移出対象資源です。
ただし、次に示す設定項目の情報は対象外です。

- 「清掃 / 点検」の「枚数カウンター」
- 「スキャナー設定」の「スキャナー名」
- 「スキャナー設定」の「ネットワーク」の次に示す設定項目
 - 「無線 LAN」の「IP アドレス」
 - 「有線 LAN」の「IP アドレス」
- 「スキャナー設定」の「画像」の次に示す設定項目
 - 「オフセット」
 - 「倍率調整」

次の手順で、スキャナー設定情報を移出します。

1 コンピューターの電源を投入して、ブラウザの URL 入力域に次の URL を入力してスキャナーに接続します。

http または https(*1)://xxx.xxx.xxx.xxx(*2)/login.cgi

*1:「スキャナー設定」で「ネットワーク」の「通信の暗号化」が「非暗号化 (HTTP)」の場合は http を、「暗号化 (HTTPS)」の場合は https を指定します。

*2:スキャナーの IP アドレスを指定します。

「スキャナー設定」で「ネットワーク」の「ダイナミック DNS」を有効にしている場合は、スキャナー名（ホスト名）を指定できます。詳細については、[ネットワーク \(231 ページ\)](#)を参照してください。

ヒント

スキャナーの「スキャナー名」に半角空白や"_"が含まれている場合は、該当文字を"-"に変換して指定してください。

2 管理者パスワードを入力してログインします。

「スキャナー設定」で「管理者パスワード」の「有効にする」が OFF になっている場合は、この手順は必要ありません。管理者パスワードの詳細は、[管理者パスワード \(250 ページ\)](#)を参照してください。

3 スキャナー設定情報を移出する画面が表示されるので、「版数/識別名」を入力します。

スキャナー設定情報を識別するための名前を、31文字以内で入力します。
入力した名前は、移出するファイル名に使用されます。

4 [ダウンロード] ボタンをクリックします。

ファイルを開くか、または保存するか確認する画面が表示されます。

5 [保存] ボタンをクリックします。

スキャナー設定情報が次のファイル名で移出されます。
ScannerSetting_yyyyyyyy(*3).cab
*3:手順3で指定した「版数/識別名」が付加されます。

6 [ログアウト] ボタンをクリックします。

「スキャナー設定」で「管理者パスワード」の「有効にする」がOFFになっている場合は、この手順は必要ありません。

重要

画面を正常に動作させるには、ブラウザの設定で、次のような設定になっていることを確認してください。

- Cookie が有効
- JavaScript が有効

ヒント

移出したファイルは、Scanner Central Admin Server に登録することでスキャナー設定情報を配付することができます。

スキャナー設定情報の配付対象は、本スキャナー（PaperStream NX Manager 運用）です。
詳細は、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

Scanner Central Admin Server から資源を配付するときの留意事項

Scanner Central Admin Server から、PaperStream NX Manager 運用をしているスキャナーに、スキャナー設定情報やファームウェアなどの資源を配付するときの留意事項について説明します。

Scanner Central Admin Server を使用した資源の配付方法は、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

- ネットワーク環境によっては、ネットワーク負荷により Scanner Central Admin Server とスキャナーの間の通信に失敗する場合があります。
この場合は、Scanner Central Admin Console で、アップデートグループのスキャナー台数や同時に接続できるスキャナーの最大台数などの調整を行ってください。
詳細は、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。
- スキャナー設定情報やファームウェアなどの資源の配付および適用は、次のタイミングで実施されます。

- スキャナーの電源を投入したとき

- PaperStream NX Manager からログアウトしたとき

スキャナーの電源を投入したときは、業務中に資源の配付および適用が実施されないように、スキャナーの電源投入から業務開始までに十分な時間を確保してください。

Scanner Central Admin Console では、資源を配付する時間帯を設定できます。

詳細は、Scanner Central Admin ユーザーズガイドを参照してください。

修理・お問い合わせ

トラブル対処

原稿づまりなどのトラブルが発生した場合は、次を参照して対処してください。

- [困ったときには \(143 ページ\)](#)
- サポート & サービスのホームページ
(<https://www.pfu.ricoh.com/imaging/contact.html>)

また、お客様から寄せられた主なご質問とその回答を、次のホームページに掲載しています。該当する項目がないか、確認してください。原稿づまりなどのトラブルが発生した場合は、次を参照して対処してください。

- よくあるご質問
(https://faq.pfu.jp/?site_domain=fi)

修理サービスのご案内

当社では、お客様に安心して業務用 イメージ スキャナー fi シリーズをお使いいただけるよう、万全のサポート体制を整えています。

購入時にご加入いただく契約サービスと、必要なときにその都度ご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強力にバックアップいたします。

ヒント

保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無償で修理いたします。
保証期間については、保証書を参照してください。

● 契約サービス（有償）

事前に契約を結んでいただくことで、ご購入後も万全のサポートを提供いたします。

- 定額定期保守サービス
年に1度サービスエンジニアが予防保守を行います。
万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のもとにおうかがいして保守修理作業を実施します。
- 定額訪問修理サービス
万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のもとにおうかがいして保守修理作業を実施します。

● スポットサービス（有償）

必要なときに、その都度ご利用いただけます。

- 訪問修理
本製品の故障発生時にご連絡いただくと、その後、サービスエンジニアが直接修理にうかがいます。
- 持込/センドバック修理 (*1)

本製品の故障発生時にお客様の製品を当社の修理センターで修理します。

- 付加サービス

センドバック修理には、次の付加サービスがあります。

- (1) 引き取り修理サービス
- (2) 代替機サービス (*2)

*1：センドバック修理で診断を行い交換部品が高額などの理由で修理をキャンセルされた場合は診断料が必要になりますので注意してください。

*2：代替機サービスは、引き取り修理サービスとの併用でご利用できます。代替機サービスだけではご利用いただけません。

詳細はホームページをご覧ください。

<https://www.pfu.ricoh.com/fi/support/maintenance-service/>

サービス内容は、予告なく変更される場合がございます。

詳細は、当社ホームページでご確認いただくか、株式会社 Pfu イメージング サービス & サポートセンターにお問い合わせください。

重要

- 本製品の修理はお客様自身で行わないでください。
- 本製品の保証条件は同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。
- 本製品の修理部品の供給期間は販売終了後 5 年間です。

お問い合わせ窓口

お客様からの業務用 イメージ スキャナー fi シリーズ全般に関する操作や故障・トラブルのお問い合わせに迅速に対応いたします。

故障・トラブルのお問い合わせのときは、[サービスセンターに連絡する前に \(221 ページ\)](#)を参考に必要事項を確認してください。

● 株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター

お問い合わせ先

以下のホームページをご覧ください。

<https://www.pfu.rioh.com/imaging/contact.html>

上記窓口では、ABBYY FineReader for ScanSnap™に関するお問い合わせにはお答えできません。

ABBYY FineReader for ScanSnap™に関しては、次の操作で表示される ABBYY FineReader for ScanSnap™ ユーザーズガイドの「テクニカル サポート」を参照してください。

- Windows 10/Windows Server 2016/Windows Server 2019/Windows Server 2022
「スタート」メニュー→「ABBYY FineReader for ScanSnap (TM)」→「ユーザーズガイド」をクリックします。
- Windows 11
「スタート」メニュー→「すべてのアプリ」→「ABBYY FineReader for ScanSnap (TM)」→「ユーザーズガイド」をクリックします。

サプライ用品の購入先

スキャナーの清掃方法と消耗品の交換方法については、[日常のお手入れ \(115 ページ\)](#)および[消耗品の交換 \(128 ページ\)](#)を参照してください。

清掃用品や消耗品のお問い合わせやご購入については、本製品を購入した販社/販売店または株式会社 PFU PFU ダイレクトにお問い合わせください。

- **株式会社 PFU PFU ダイレクト**

ホームページ

<https://www.pfu.ricoh.com/direct/>